

北上消防署和賀分署庁舎建設（建築）工事

図面リスト									
意匠			構造				解体		
A-01	特記仕様書 No.1	A-31	3階 平面詳細図	S-01	構造関係特記仕様書(1)	S-31	配筋詳細図(1)	D-01	特記仕様書 No.1
A-02	特記仕様書 No.2	A-32	4階・塔屋・屋上 平面詳細図	S-02	構造関係特記仕様書(2)	S-32	配筋詳細図(2)	D-02	特記仕様書 No.2
A-03	特記仕様書 No.3	A-33	部分詳細図 No.1	S-03	配筋標準図(1)	S-33	部分配筋図	D-03	特記仕様書 No.3
A-04	特記仕様書 No.4	A-34	部分詳細図 No.2	S-04	配筋標準図(2)	S-34	キュービクル・発電機基礎図	D-04	配置図・附属設備表
A-05	特記仕様書 No.5	A-35	部分詳細図 No.3	S-05	配筋標準図(3)			D-05	仕上表
A-06	特記仕様書 No.6	A-36	部分詳細図 No.4	S-06	配筋標準図(4)			D-06	平面図・屋根伏図
A-07	工事概要・付近見取図・配置図	A-37	展開図 No.1	S-07	配筋標準図(5)			D-07	立面図
A-08	仕上表	A-38	展開図 No.2	S-08	ダイヤレン設計・施工標準仕様書	外構		D-08	天井伏図・建具配置図
A-09	敷地面積求積図・算定表	A-39	展開図 No.3	S-09	ブロック状混合処理工法特記仕様書	G-01	新庁舎外構平面図	D-09	建具表
A-10	床面積・建築面積求積図・算定表	A-40	展開図 No.4	S-10	地質調査資料	G-02	旧庁舎解体後外構平面図	D-10	附属設備解体(1)
A-11	居室床面積求積図	A-41	展開図 No.5	S-11	基礎伏図	G-03	新庁舎 外構断面図	D-11	附属設備解体(2)
A-12	法規チェックリスト	A-42	展開図 No.6	S-12	基礎詳細図	G-04	外構 駐車場断面図	D-12	伏図・軸組図
A-13	1階 平面図	A-43	展開図 No.7	S-13	2F(Z02層)伏図	G-05	乗入れ現況・改修平面図 断面図	D-13	断面表 No.1
A-14	2階 平面図	A-44	1階 建具配置図	S-14	2'F(Z03層)伏図	G-06	旧庁舎乗入れ改修工事	D-14	断面表 No.2
A-15	3階 平面図	A-45	2階 建具配置図	S-15	3F~PHRF(Z04~Z07層)伏図	G-07	外構 詳細図	D-15	電気設備解体平面図
A-16	4階・塔屋・屋上 平面図	A-46	3階・4階・塔屋 建具配置図	S-16	軸組図(1)	G-08	掲揚ポール 詳細図	D-16	空調・換気設備平面図
A-17	北側・西側 立面図	A-47	建具表 No.1	S-17	軸組図(2)	G-09	施設名看板 詳細図	D-17	衛生設備配置図
A-18	南側・東側 立面図	A-48	建具表 No.2	S-18	軸組図(3)	G-10	土のう用砂堆積場 詳細図	D-18	衛生設備平面図
A-19	断面図 No.1	A-49	建具表 No.3	S-19	軸組図(4)	G-11	ホース乾燥塔 詳細図	D-19	仮設計画図(参考)
A-20	断面図 No.2	A-50	什器・家具配置図	S-20	軸組図(5)				
A-21	1階 天井伏図	A-51	什器・家具リスト No.1	S-21	軸組図(6)				
A-22	2階・3階・4階・塔屋 天井伏図	A-52	什器・家具リスト No.2	S-22	柱伏図・柱リスト(1)				
A-23	矩計図 No.1	A-53	什器・家具リスト No.3	S-23	柱リスト(2)				
A-24	矩計図 No.2	A-54	什器・家具リスト No.4	S-24	地中梁リスト				
A-25	矩計図 No.3	A-55	ホースリフター詳細図(参考図)	S-25	大梁リスト(1)				
A-26	階段詳細図	A-56	仮設計画図(参考)	S-26	大梁リスト(2)				
A-27	1階 平面詳細図 No.1	A-57	日影図	S-27	大梁リスト(3)				
A-28	1階 平面詳細図 No.2			S-28	大梁リスト(4)				
A-29	1階 平面詳細図 No.3			S-29	小梁・片持梁リスト				
A-30	2階 平面詳細図			S-30	壁リスト・床リスト				

平野建築事務所

〒024-0062

岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号

TEL 0197-64-0855

一級建築士事務所 岩手県知事登録 第く(2703)504号

<p>15 屋根及び工</p> <p>2. 折板葺</p> <p>3. 粘土瓦葺</p> <p>4. と い</p> <p>14 金属工</p> <p>2. アルミニウム合金の表面処理</p> <p>3. 鉄鋼の亜鉛めっき</p>	<p>① 長尺金属板葺 (13.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>板及びコイルの種類</th> <th>塗膜の耐久性、めっき付着量の種類及び記号</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>屋根形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>※JIS G 3322の屋根用コイル</td> <td></td> <td>0.4</td> <td>・瓦葺 (心木なし) ・立平葺 ・蟻掛葺き ・積葺</td> <td></td> </tr> </table> <p>下葺材料 ・アスファルトルーフィング940 ○改質アスファルトルーフィング下葺材 (・一般タイプ・複層基材タイプ・粘着層付タイプ)</p> <p>工法 建築基準法に基づく風圧力及び積雪荷重に対応した工法 (13.2.3) 建築基準法による風圧力の(・1.0・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法 (13.2.3)</p> <p>雪止め ○設置する(図示) (13.2.3)</p>	施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量の種類及び記号	厚さ (mm)	屋根形式	備考	屋根	※JIS G 3322の屋根用コイル		0.4	・瓦葺 (心木なし) ・立平葺 ・蟻掛葺き ・積葺		<p>④ 軽重量骨 天井地下 (14.4.2)(表14.4.1)</p> <p>・屋外の軒天井、ピロティ天井等 (14.4.4)</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1.0・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>野縁受、吊ボルト及びインサートの間隔 ・図示 ・周辺部の端からの間隔 ・図示 ・野縁の間隔 ・図示 ・吊ボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 ・図示 (14.4.4)</p> <p>・天井のふとところ法による補強方法 (14.4.4)</p> <p>1.5m以上3.0m以下の場合 ※標準仕様書14.4.4(h)(1)~(2)による ・図示</p> <p>3.0mを超える場合 ・図示</p> <p>・天井下地材における耐震性を考慮した補強補強箇所 ・図示 ・補強方法 ※図示</p>	<p>④ 左官工</p> <p>⑤ 軽重量骨 天井地下 (14.5.3)(表14.5.1)</p> <p>※標準仕様書14.5.1によるスタッド高さによる区分に応じた種類 ・図示</p> <p>スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示</p> <p>⑥ 金属成形板張り (14.6.2)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">製法</th> <th rowspan="2">形状</th> <th rowspan="2">寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">板厚 (mm)</th> <th colspan="2">表面処理</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="5">アルミニウム</td> <td rowspan="2">・押し出し・ロール</td> <td>・スパン</td> <td rowspan="2">ドレル形</td> <td rowspan="2"></td> <td>・B-1種</td> <td>※B</td> </tr> <tr> <td>・C-1種</td> <td>※AA6</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・プレス</td> <td rowspan="3">・パネル形</td> <td>・C-2種</td> <td>※AA6</td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・E種</td> <td></td> </tr> </table> <p>取付用下地 ※標準仕様書14.4による ・図示 (14.6.3) 伸縮調整継手 ・設ける(施工箇所・図示) ・設けない</p> <p>部材の種類 ・250形 ・300形 ・350形 (14.7.2)(表14.7.1) 上記以外 ・図示</p> <p>表面処理 種別()種 被膜等の種類(※標準仕様書表14.2.1による) ・着色(・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー) (14.7.3)</p> <p>架木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1.0・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 (14.7.3)</p> <p>架木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1.0・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 (14.8.2)</p> <p>タラップ ○鋼製(表面処理 ※溶融亜鉛めっきC種) ・鋼製(表面処理 ※溶融亜鉛めっきC種) (14.8.3)</p> <p>※床面で断熱材打込み部分は断熱材用インサートとする</p>	種別	製法	形状	寸法 (mm)	板厚 (mm)	表面処理		種別	備考	アルミニウム	・押し出し・ロール	・スパン	ドレル形		・B-1種	※B	・C-1種	※AA6	・プレス	・パネル形	・C-2種	※AA6	・D種		・E種		<p>⑤ 鋼製軽重量 性能等級 (16.5.2)(16.5.3)(表16.2.1)</p> <p>簡易気密型 ・適用する(建具符号 ※建具表による) ・適用しない</p> <p>防音ドアセット、防音サッシ 遮音性の等級() ・適用する(建具符号は建具表による) ・適用しない</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシ 断熱性の等級() ・適用する(建具符号は建具表による) ・適用しない</p> <p>耐震ドアセット 面内変形追従性の等級() ・適用する(建具符号は建具表による) ・適用しない</p> <p>鋼板類 ・溶融亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板</p> <p>召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板</p> <p>性能等級 (16.6.2)(16.6.3)(表16.2.1)</p> <p>簡易気密型 ・適用する(建具符号 ※建具表による) ・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 ・耐風圧性() (建具符号 ※建具表による)</p> <p>防音ドアセット、防音サッシ 遮音性の等級() ・適用する(建具符号は建具表による) ・適用しない</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシ 断熱性の等級() ・適用する(建具符号は建具表による) ・適用しない</p> <p>耐震ドアセット 面内変形追従性の等級() ・適用する(建具符号は建具表による) ・適用しない</p> <p>鋼板 屋外: ※SUS430J1L・SUS443J1・SUS304 ・ 屋内: ※SUS430・SUS430J1L・SUS443J1・SUS304</p> <p>表面仕上げ ※H L仕上げ ・鏡面仕上げ</p> <p>ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (16.6.4)</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 ※B種 (16.7.2)</p> <p>表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆とする (16.7.2)</p> <p>・フラッシュ (16.7.2)</p> <p>表面材の合板の種類 ・普通合板 ① 表面の材質 不透明塗料塗り(※しな合板程度) ・生地、透明塗料塗り(※ラワン合板程度) ・板面の品質() ・接着の程度(・1種・2種)</p> <p>・天然木化粧合板 ② 樹種名() ・接着の程度(・1種・2種)</p> <p>・特殊加工化粧合板 ③ 化粧加工の方法(・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能()タイプ 接着の程度(・1種・2種)</p> <p>④ かまち戸 (16.7.2)</p> <p>かまち戸種 (カラ松) ④ 鋼板樹種 ()</p> <p>見込み寸法 ※36mm</p> <p>ふすま (16.7.2)(16.7.3)(16.7.4)</p> <p>ふすまの材料の種類 (・I型・II型)</p> <p>上張りの種類(押入等の裏紙以外) ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度</p> <p>ふすまの見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による</p> <p>戸ふすまの見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>縁仕上 ・塗り縁 ・生地縁(素地) ・生地縁(ウレタンリキヤー塗装)</p> <p>・紙張り障子 (16.7.3)(16.7.4)</p> <p>見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>⑤ 枠、くつりの材料 ※建具表による (16.7.2)</p> <p>⑥ 建具金物 (16.8.2)</p> <p>金物の種類、見え掛り部の材質等 ※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による</p> <p>樹脂製建具に使用する丁番 ※標準仕様書表16.8.3による</p> <p>錠り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取り付け位置 ・建具表による (16.8.3)</p> <p>マスターキー ○製作する(既存MK合わせ) ・製作しない (16.8.4)</p> <p>鍵箱 ※有 ・無</p> <p>⑦ 自動ドア開閉装置 (16.9.2)(16.9.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>自動ドア</th> <th>性能値</th> <th>防錆</th> <th>センサーの種類</th> <th>凍結防止</th> </tr> <tr> <td>・SSLD-1</td> <td rowspan="2">※標準仕様書表16.9.1による</td> <td rowspan="2">・適用する</td> <td rowspan="2">・マトリクススイッチ ・光線(反射)スイッチ ・熱線スイッチ</td> <td rowspan="2">・行う (使用箇所は建具表による)</td> </tr> <tr> <td>・SSLD-2</td> </tr> <tr> <td>・DSL-1</td> <td rowspan="2">※標準仕様書表16.9.2による</td> <td rowspan="2">・適用しない</td> <td rowspan="2">・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電圧スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能使用スイッチ</td> <td rowspan="2">・行わない</td> </tr> <tr> <td>・DSL-2</td> </tr> <tr> <td>・SWD-1</td> <td rowspan="2">※標準仕様書表16.9.2による</td> <td rowspan="2">・適用しない</td> <td rowspan="2">・電圧スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能使用スイッチ</td> <td rowspan="2">・行わない</td> </tr> <tr> <td>・SWD-2</td> </tr> </table> <p>・図示</p> <p>性能 ※標準仕様書表16.10.1による (16.10.3)</p> <p>シャッターの種類 (16.11.2)</p> <p>・管理用シャッター 耐風圧強度() N/m²</p> <p>・外壁用防火シャッター 耐風圧強度() N/m²</p> <p>・屋内用防火シャッター</p> <p>・防煙シャッター (16.11.2)(表16.11.1)</p> <p>開閉機能による種類</p> <p>※ 上部電動式(手動併用) ・上部手動式</p> <p>管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない (16.11.2)</p> <p>開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) (16.12.2)(表16.12.1)</p> <p>耐風圧性能 ・耐風圧強度() N/m² (16.12.3)(16.12.4)</p> <p>スラット</p> <p>材質 ・JIS G 3302(塗装溶融亜鉛めっき鋼板)</p> <p>・JIS 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 (16.13.2)(16.13.3)</p> <p>⑧ オーバーヘッドドア</p> <table border="1"> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>耐風圧(Pa)</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレールの材質</th> </tr> <tr> <td>・ステールタイプ</td> <td>・125</td> <td>※ バランス式</td> <td>○スタンダード形</td> <td>※ 溶融亜鉛めっき鋼板</td> </tr> <tr> <td>・アルミニウムタイプ</td> <td>・100</td> <td>・チェーン式</td> <td>・ローヘッド形</td> <td>※ ステンレス鋼板</td> </tr> <tr> <td>・ファイバーグラスタイプ</td> <td>・75</td> <td>・電動式</td> <td>・ハイリフト形</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・50</td> <td></td> <td>・バーチカル形</td> <td></td> </tr> </table> <p>⑨ ガラス (16.14.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>品 種</th> <th>構成種類</th> <th>性 能</th> </tr> <tr> <td>・フロート合わせガラス</td> <td>・フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート合わせガラス</td> <td>・I類</td> </tr> <tr> <td>・網入磨き合わせガラス</td> <td>・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収合わせガラス</td> <td>・II-1類 ・II-2類 ・III類</td> </tr> </table> <p>⑩ 強化ガラス (16.14.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>材料板ガラスによる種類</th> <th>種 類</th> <th>性 能</th> </tr> <tr> <td>・フロートガラス</td> <td>・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス</td> <td>・I類</td> </tr> <tr> <td>・型板ガラス</td> <td>・型板強化ガラス</td> <td>・III類</td> </tr> </table>	自動ドア	性能値	防錆	センサーの種類	凍結防止	・SSLD-1	※標準仕様書表16.9.1による	・適用する	・マトリクススイッチ ・光線(反射)スイッチ ・熱線スイッチ	・行う (使用箇所は建具表による)	・SSLD-2	・DSL-1	※標準仕様書表16.9.2による	・適用しない	・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電圧スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能使用スイッチ	・行わない	・DSL-2	・SWD-1	※標準仕様書表16.9.2による	・適用しない	・電圧スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能使用スイッチ	・行わない	・SWD-2	セクション材料による区分	耐風圧(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質	・ステールタイプ	・125	※ バランス式	○スタンダード形	※ 溶融亜鉛めっき鋼板	・アルミニウムタイプ	・100	・チェーン式	・ローヘッド形	※ ステンレス鋼板	・ファイバーグラスタイプ	・75	・電動式	・ハイリフト形			・50		・バーチカル形		品 種	構成種類	性 能	・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート合わせガラス	・I類	・網入磨き合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収合わせガラス	・II-1類 ・II-2類 ・III類	材料板ガラスによる種類	種 類	性 能	・フロートガラス	・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・I類	・型板ガラス	・型板強化ガラス	・III類	<p>⑤ マスチック塗材 (15.6.2)</p> <p>種別 ・A種 ・B種</p> <p>⑥ ロックウール (15.8.2)</p> <p>ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆とする</p> <p>⑦ 吹付け (15.8.3)</p> <p>吹付け厚さ(mm) ・図示 ・25</p> <p>⑧ 1.一般事項 (16.1.3)(16.1.4)(16.1.6)</p> <p>防火戸 ※建具表による</p> <p>建具見本の製作 ・行う(建具符号:) 見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する ・納まり等が分かる程度のもの</p> <p>・行わない</p> <p>特殊な建具の仮組 ・行う(建具符号:) ・行わない</p> <p>防犯建物部品 ・適用する(※建具表による) ・適用しない</p> <p>外部に面する建具 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>建具符号</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>※S-4</td> <td rowspan="2">※A-3</td> <td rowspan="2">※W-4</td> <td>※全て ・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>※S-5</td> <td>※全て ・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>※S-6</td> <td>※A-4</td> <td>※W-5</td> <td>※全て ・建具表による</td> </tr> </table> <p>防音ドアセット、防音サッシ 遮音性の等級(・T-1・T-2) ・適用する ・適用しない (16.2.2)</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシ 断熱性の等級() ・適用する(※建具表による) ・適用しない (16.2.2)</p> <p>耐震ドアセット 面内変形追従性の等級() ・適用する(※図示) ・適用しない (16.2.2)</p> <p>網戸等</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>線 径</th> <th>網 目</th> </tr> <tr> <td>○防虫網 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製</td> <td>※ 0.25以上</td> <td>※ 16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>○ステンレス製 (SUS316) 製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防鳥網 ・ステンレス (SUS304) 線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table> <p>建具の特 見込み寸法 ※建具表による (16.2.4) (16.2.5)</p> <p>表面処理 外部に面する建具 種別 ・B-1種 ・B-2種 着色 (・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー)</p> <p>屋内の建具 種別 ・C-1種 ・C-2種 着色 (・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー)</p> <p>被膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による</p> <p>結露水の処理方法 ※図示</p> <p>水切り板、ぜん板 ※図示</p> <p>外部に面する建具 (16.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>建具符号</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>※S-4</td> <td rowspan="2">※A-4</td> <td rowspan="2">※W-4</td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>※S-5</td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>※S-6</td> <td>※A-4</td> <td>※W-5</td> <td>※建具表による</td> </tr> </table> <p>防音ドアセット、防音サッシ 遮音性の等級(・T-1・T-2) ・適用する(建具符号: 建具表による) (16.3.2)</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシ 断熱性の等級() ・適用する(建具符号: 建具表による) (16.3.2)</p> <p>耐震ドアセット 面内変形追従性の等級() ・適用する(建具符号: 建具表による) (16.3.4)</p> <p>建具の特 見込み寸法 ※建具表による (16.2.4) (16.2.5)</p> <p>性能等級 表面色 ※標準色 ・特注色 (16.4.2~3) (表16.4.1) (表16.2.1)</p> <p>簡易気密型 ○適用する(建具符号 ※建具表による) ・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 ・耐風圧性() (建具符号 ※建具表による)</p> <p>防音ドアセット、防音サッシ 遮音性の等級() ・適用する(建具符号は建具表による) ・適用しない</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシ 断熱性の等級() ・適用する(建具符号は建具表による) ・適用しない</p> <p>耐震ドアセット 面内変形追従性の等級() ・適用する(建具符号は建具表による) ・適用しない</p> <p>鋼板類 ・溶融亜鉛めっき鋼板</p>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	建具符号	・A種	※S-4	※A-3	※W-4	※全て ・建具表による	・B種	※S-5	※全て ・建具表による	・C種	※S-6	※A-4	※W-5	※全て ・建具表による	材 種	線 径	網 目	○防虫網 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製	※ 0.25以上	※ 16~18メッシュ	○ステンレス製 (SUS316) 製			・防鳥網 ・ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm	種別	耐風圧性	気密性	水密性	建具符号	・A種	※S-4	※A-4	※W-4	※建具表による	・B種	※S-5	※建具表による	・C種	※S-6	※A-4	※W-5	※建具表による	<p>⑧ 1.一般事項 (16.1.3)(16.1.4)(16.1.6)</p> <p>防火戸 ※建具表による</p> <p>建具見本の製作 ・行う(建具符号:) 見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する ・納まり等が分かる程度のもの</p> <p>・行わない</p> <p>特殊な建具の仮組 ・行う(建具符号:) ・行わない</p> <p>防犯建物部品 ・適用する(※建具表による) ・適用しない</p> <p>外部に面する建具 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>建具符号</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>※S-4</td> <td rowspan="2">※A-3</td> <td rowspan="2">※W-4</td> <td>※全て ・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>※S-5</td> <td>※全て ・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>※S-6</td> <td>※A-4</td> <td>※W-5</td> <td>※全て ・建具表による</td> </tr> </table> <p>防音ドアセット、防音サッシ 遮音性の等級(・T-1・T-2) ・適用する ・適用しない (16.2.2)</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシ 断熱性の等級() ・適用する(※建具表による) ・適用しない (16.2.2)</p> <p>耐震ドアセット 面内変形追従性の等級() ・適用する(※図示) ・適用しない (16.2.2)</p> <p>網戸等</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>線 径</th> <th>網 目</th> </tr> <tr> <td>○防虫網 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製</td> <td>※ 0.25以上</td> <td>※ 16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>○ステンレス製 (SUS316) 製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防鳥網 ・ステンレス (SUS304) 線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table> <p>建具の特 見込み寸法 ※建具表による (16.2.4) (16.2.5)</p> <p>表面処理 外部に面する建具 種別 ・B-1種 ・B-2種 着色 (・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー)</p> <p>屋内の建具 種別 ・C-1種 ・C-2種 着色 (・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー)</p> <p>被膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による</p> <p>結露水の処理方法 ※図示</p> <p>水切り板、ぜん板 ※図示</p> <p>外部に面する建具 (16.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>建具符号</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>※S-4</td> <td rowspan="2">※A-4</td> <td rowspan="2">※W-4</td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>※S-5</td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>※S-6</td> <td>※A-4</td> <td>※W-5</td> <td>※建具表による</td> </tr> </table> <p>防音ドアセット、防音サッシ 遮音性の等級(・T-1・T-2) ・適用する(建具符号: 建具表による) (16.3.2)</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシ 断熱性の等級() ・適用する(建具符号: 建具表による) (16.3.2)</p> <p>耐震ドアセット 面内変形追従性の等級() ・適用する(建具符号: 建具表による) (16.3.4)</p> <p>建具の特 見込み寸法 ※建具表による (16.2.4) (16.2.5)</p> <p>性能等級 表面色 ※標準色 ・特注色 (16.4.2~3) (表16.4.1) (表16.2.1)</p> <p>簡易気密型 ○適用する(建具符号 ※建具表による) ・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 ・耐風圧性() (建具符号 ※建具表による)</p> <p>防音ドアセット、防音サッシ 遮音性の等級() ・適用する(建具符号は建具表による) ・適用しない</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシ 断熱性の等級() ・適用する(建具符号は建具表による) ・適用しない</p> <p>耐震ドアセット 面内変形追従性の等級() ・適用する(建具符号は建具表による) ・適用しない</p> <p>鋼板類 ・溶融亜鉛めっき鋼板</p>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	建具符号	・A種	※S-4	※A-3	※W-4	※全て ・建具表による	・B種	※S-5	※全て ・建具表による	・C種	※S-6	※A-4	※W-5	※全て ・建具表による	材 種	線 径	網 目	○防虫網 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製	※ 0.25以上	※ 16~18メッシュ	○ステンレス製 (SUS316) 製			・防鳥網 ・ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm	種別	耐風圧性	気密性	水密性	建具符号	・A種	※S-4	※A-4	※W-4	※建具表による	・B種	※S-5	※建具表による	・C種	※S-6	※A-4	※W-5	※建具表による
	施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量の種類及び記号	厚さ (mm)	屋根形式	備考																																																																																																																																																																																																								
	屋根	※JIS G 3322の屋根用コイル		0.4	・瓦葺 (心木なし) ・立平葺 ・蟻掛葺き ・積葺																																																																																																																																																																																																									
	種別	製法	形状	寸法 (mm)	板厚 (mm)	表面処理																																																																																																																																																																																																								
種別						備考																																																																																																																																																																																																								
アルミニウム	・押し出し・ロール	・スパン	ドレル形		・B-1種	※B																																																																																																																																																																																																								
		・C-1種			※AA6																																																																																																																																																																																																									
	・プレス	・パネル形	・C-2種	※AA6																																																																																																																																																																																																										
			・D種																																																																																																																																																																																																											
			・E種																																																																																																																																																																																																											
自動ドア	性能値	防錆	センサーの種類	凍結防止																																																																																																																																																																																																										
・SSLD-1	※標準仕様書表16.9.1による	・適用する	・マトリクススイッチ ・光線(反射)スイッチ ・熱線スイッチ	・行う (使用箇所は建具表による)																																																																																																																																																																																																										
・SSLD-2																																																																																																																																																																																																														
・DSL-1	※標準仕様書表16.9.2による	・適用しない	・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電圧スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能使用スイッチ	・行わない																																																																																																																																																																																																										
・DSL-2																																																																																																																																																																																																														
・SWD-1	※標準仕様書表16.9.2による	・適用しない	・電圧スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能使用スイッチ	・行わない																																																																																																																																																																																																										
・SWD-2																																																																																																																																																																																																														
セクション材料による区分	耐風圧(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質																																																																																																																																																																																																										
・ステールタイプ	・125	※ バランス式	○スタンダード形	※ 溶融亜鉛めっき鋼板																																																																																																																																																																																																										
・アルミニウムタイプ	・100	・チェーン式	・ローヘッド形	※ ステンレス鋼板																																																																																																																																																																																																										
・ファイバーグラスタイプ	・75	・電動式	・ハイリフト形																																																																																																																																																																																																											
	・50		・バーチカル形																																																																																																																																																																																																											
品 種	構成種類	性 能																																																																																																																																																																																																												
・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート合わせガラス	・I類																																																																																																																																																																																																												
・網入磨き合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収合わせガラス	・II-1類 ・II-2類 ・III類																																																																																																																																																																																																												
材料板ガラスによる種類	種 類	性 能																																																																																																																																																																																																												
・フロートガラス	・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・I類																																																																																																																																																																																																												
・型板ガラス	・型板強化ガラス	・III類																																																																																																																																																																																																												
種別	耐風圧性	気密性	水密性	建具符号																																																																																																																																																																																																										
・A種	※S-4	※A-3	※W-4	※全て ・建具表による																																																																																																																																																																																																										
・B種	※S-5			※全て ・建具表による																																																																																																																																																																																																										
・C種	※S-6	※A-4	※W-5	※全て ・建具表による																																																																																																																																																																																																										
材 種	線 径	網 目																																																																																																																																																																																																												
○防虫網 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製	※ 0.25以上	※ 16~18メッシュ																																																																																																																																																																																																												
○ステンレス製 (SUS316) 製																																																																																																																																																																																																														
・防鳥網 ・ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																																																																																																																																																												
種別	耐風圧性	気密性	水密性	建具符号																																																																																																																																																																																																										
・A種	※S-4	※A-4	※W-4	※建具表による																																																																																																																																																																																																										
・B種	※S-5			※建具表による																																																																																																																																																																																																										
・C種	※S-6	※A-4	※W-5	※建具表による																																																																																																																																																																																																										
種別	耐風圧性	気密性	水密性	建具符号																																																																																																																																																																																																										
・A種	※S-4	※A-3	※W-4	※全て ・建具表による																																																																																																																																																																																																										
・B種	※S-5			※全て ・建具表による																																																																																																																																																																																																										
・C種	※S-6	※A-4	※W-5	※全て ・建具表による																																																																																																																																																																																																										
材 種	線 径	網 目																																																																																																																																																																																																												
○防虫網 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製	※ 0.25以上	※ 16~18メッシュ																																																																																																																																																																																																												
○ステンレス製 (SUS316) 製																																																																																																																																																																																																														
・防鳥網 ・ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																																																																																																																																																												
種別	耐風圧性	気密性	水密性	建具符号																																																																																																																																																																																																										
・A種	※S-4	※A-4	※W-4	※建具表による																																																																																																																																																																																																										
・B種	※S-5			※建具表による																																																																																																																																																																																																										
・C種	※S-6	※A-4	※W-5	※建具表による																																																																																																																																																																																																										

<p>17. ガラスブロック</p> <p>17. ガラスブロック</p>	<p>・熱線吸収板ガラス (16.14.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>品 種</th> <th>性 能</th> <th>色 調</th> </tr> <tr> <td>・熱線吸収フロート板ガラス</td> <td>・1種</td> <td>・ブルー ・グレー ・ブロンズ</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収網入磨き板ガラス</td> <td>・2種</td> <td></td> </tr> </table> <p>○複層ガラス (16.14.2)</p> <p>材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ガラスの厚さ、断熱性による区分、日射取得性及び日射遮蔽性による区分、封入気体の種類</p> <p>○図示 (※建築による)</p> <p>・熱線反射ガラス (16.14.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>品 種</th> <th>日射遮蔽性</th> <th>耐久性</th> <th>色 調</th> </tr> <tr> <td>・熱線反射ガラス</td> <td>・1種</td> <td>A種</td> <td>・ブルー</td> </tr> <tr> <td>・高性能熱線反射ガラス</td> <td>・2種</td> <td>・A種 ・B種</td> <td>・グレー</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・3種</td> <td>B種</td> <td>・ブロンズ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・シルバー</td> </tr> </table> <p>反射被覆面 ・内面 ・外面 映像調整 ・行わない ・行う (16.14.4)</p> <p>○倍強度ガラス (16.14.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>材料板ガラスによる種類の名称</th> <th>色 調</th> </tr> <tr> <td>・フロート倍強度板ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収倍強度板ガラス</td> <td>・グレー ・ブルー ・ブロンズ</td> </tr> </table> <p>ガラス留め材、溝の大きさ (16.14.2) (16.14.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラスの留め材</th> <th>ガラス溝の大きさ (mm)</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>○ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレインディングチャンネル形</td> <td>※標準仕様書表16.14.1による ・ 図示</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽重</td> <td>○ シーリング材 ・ 図示</td> <td>※標準仕様書表16.14.1による ・ 図示</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>・ シーリング材 ・ 図示</td> <td>※標準仕様書表16.14.1による ・ 図示</td> </tr> </table> <p>表面形状 呼び寸法 厚さ クリア 色調 その他 目地幅 (mm) 防火性能</p> <table border="1"> <tr> <th>形状</th> <th>呼び寸法</th> <th>厚さ</th> <th>クリア</th> <th>色調</th> <th>その他</th> <th>目地幅 (mm)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">正方形</td> <td>・125×125</td> <td>・80</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・ 図示</td> <td>※8~15</td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・160×160</td> <td>・95</td> <td>・125</td> <td>-</td> <td>・ 図示</td> <td>・15~25</td> <td>・ 有り</td> </tr> <tr> <td>・200×200</td> <td>・95</td> <td>・125</td> <td>-</td> <td>・ 図示</td> <td>・15~25</td> <td>・ 有り</td> </tr> <tr> <td>・320×320</td> <td>・95</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・ 図示</td> <td>・15~25</td> <td>・ 有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">長方形</td> <td>・250×125</td> <td>・80</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・ 図示</td> <td>・15~25</td> <td>・ 有り</td> </tr> <tr> <td>・320×160</td> <td>・95</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・ 図示</td> <td>・15~25</td> <td>・ 有り</td> </tr> </table> <p>壁用金属枠及び補強材 ・ 設ける (形状 ※図示) ・ 設けない</p> <p>力骨 材質 ※ステンレス製 (SUS304) 寸法 ※径5.5mm 形状 ※はしご形状補筋及び単筋</p> <p>化粧目地モルタルの色 () シーリング材の種類 (・ シリコン系) 金属化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 ※図示 形状 ※図示</p> <p>建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※適用する (建築基準法による風圧力の (・1.0 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法)</p> <p>伸縮目地 ※6m以下ごとに幅10~25mm ・ 図示 目地部の力骨の補強方法 ※ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示</p>	品 種	性 能	色 調	・熱線吸収フロート板ガラス	・1種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ	・熱線吸収網入磨き板ガラス	・2種		品 種	日射遮蔽性	耐久性	色 調	・熱線反射ガラス	・1種	A種	・ブルー	・高性能熱線反射ガラス	・2種	・A種 ・B種	・グレー		・3種	B種	・ブロンズ				・シルバー	材料板ガラスによる種類の名称	色 調	・フロート倍強度板ガラス		・熱線吸収倍強度板ガラス	・グレー ・ブルー ・ブロンズ	建具の種類	ガラスの留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	アルミニウム製	○ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレインディングチャンネル形	※標準仕様書表16.14.1による ・ 図示	鋼製及び鋼製軽重	○ シーリング材 ・ 図示	※標準仕様書表16.14.1による ・ 図示	ステンレス製	・ シーリング材 ・ 図示	※標準仕様書表16.14.1による ・ 図示	形状	呼び寸法	厚さ	クリア	色調	その他	目地幅 (mm)	防火性能	正方形	・125×125	・80	-	-	・ 図示	※8~15	・ 無し	・160×160	・95	・125	-	・ 図示	・15~25	・ 有り	・200×200	・95	・125	-	・ 図示	・15~25	・ 有り	・320×320	・95	-	-	・ 図示	・15~25	・ 有り	長方形	・250×125	・80	-	-	・ 図示	・15~25	・ 有り	・320×160	・95	-	-	・ 図示	・15~25	・ 有り	<p>17.2</p> <p>カーテンウォール工事</p> <p>2. メタルカーテンウォール</p> <p>3. P.Cカーテンウォール</p> <p>17.3</p> <p>1 材 料</p> <p>2 表地ごしらえ</p> <p>3 錆止め塗料塗り</p> <p>4 塗 料</p> <p>5 塗装業者</p> <p>17.4</p> <p>1 接着剤</p> <p>2 ビニル床シート</p> <p>3 ビニル床タイル</p>	<p>17.3.2</p> <p>耐火材料 (17.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工部位</th> <th>種 別</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>・ ファスナー部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 取付ブラケット</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ パネル目地部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 層間ふきざり</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>カーテンウォールの材料 (17.2.2) (17.2.3) (17.2.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>規格等</th> <th>表面処理</th> <th>映像調整</th> </tr> <tr> <td>※アルミニウム製 ※標準仕様書16.2.3による</td> <td>A-1類 ・ A-2類 被覆等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による) 着色 (・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー)</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> </table> <p>製品及び取り付け位置の寸法許容差 ※標準仕様書17.2.1~3による ガラス溝の寸法、形状 ※製造所の仕様による (17.3.2~5)</p> <p>カーテンウォールの材料 コンクリート ※共通仕様書17.3.2(a)(i) ~ (v) による 鉄筋 ※SD295A (・ D13 ・ D10) 補強鉄線の径 (mm) ※3.2 ・ 4.0 ・ 5.0 ・ 6.0 配筋 ・ 図示</p> <p>先付け材料 ・ サッシ枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール 表面仕上げ ・ 磁器質タイル ・ 石材 (・ 花こう岩 ・ 大理石) ガスケットを用いる場合のアンカー溝寸法許容差 (mm) ・ h = 1 ~ 2, W1 及び W2 = e1 製品及び取り付け位置の寸法許容差 ※標準仕様書表17.3.1~2による</p> <p>18.1</p> <p>18.2</p> <p>18.3</p> <p>18.4</p> <p>18.5</p> <p>18.6</p> <p>18.7</p> <p>18.8</p> <p>18.9</p> <p>18.10</p> <p>18.11</p> <p>18.12</p> <p>18.13</p> <p>18.14</p> <p>18.15</p> <p>18.16</p> <p>18.17</p> <p>18.18</p> <p>18.19</p> <p>18.20</p> <p>18.21</p> <p>18.22</p> <p>18.23</p> <p>18.24</p> <p>18.25</p> <p>18.26</p> <p>18.27</p> <p>18.28</p> <p>18.29</p> <p>18.30</p> <p>18.31</p> <p>18.32</p> <p>18.33</p> <p>18.34</p> <p>18.35</p> <p>18.36</p> <p>18.37</p> <p>18.38</p> <p>18.39</p> <p>18.40</p> <p>18.41</p> <p>18.42</p> <p>18.43</p> <p>18.44</p> <p>18.45</p> <p>18.46</p> <p>18.47</p> <p>18.48</p> <p>18.49</p> <p>18.50</p> <p>18.51</p> <p>18.52</p> <p>18.53</p> <p>18.54</p> <p>18.55</p> <p>18.56</p> <p>18.57</p> <p>18.58</p> <p>18.59</p> <p>18.60</p> <p>18.61</p> <p>18.62</p> <p>18.63</p> <p>18.64</p> <p>18.65</p> <p>18.66</p> <p>18.67</p> <p>18.68</p> <p>18.69</p> <p>18.70</p> <p>18.71</p> <p>18.72</p> <p>18.73</p> <p>18.74</p> <p>18.75</p> <p>18.76</p> <p>18.77</p> <p>18.78</p> <p>18.79</p> <p>18.80</p> <p>18.81</p> <p>18.82</p> <p>18.83</p> <p>18.84</p> <p>18.85</p> <p>18.86</p> <p>18.87</p> <p>18.88</p> <p>18.89</p> <p>18.90</p> <p>18.91</p> <p>18.92</p> <p>18.93</p> <p>18.94</p> <p>18.95</p> <p>18.96</p> <p>18.97</p> <p>18.98</p> <p>18.99</p> <p>19.00</p>	施工部位	種 別	規格等	・ ファスナー部			・ 取付ブラケット			・ パネル目地部			・ 層間ふきざり			規格等	表面処理	映像調整	※アルミニウム製 ※標準仕様書16.2.3による	A-1類 ・ A-2類 被覆等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による) 着色 (・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー)	・ 行う ・ 行わない	<p>19.1</p> <p>19.2</p> <p>19.3</p> <p>19.4</p> <p>19.5</p> <p>19.6</p> <p>19.7</p> <p>19.8</p> <p>19.9</p> <p>19.10</p> <p>19.11</p> <p>19.12</p> <p>19.13</p> <p>19.14</p> <p>19.15</p> <p>19.16</p> <p>19.17</p> <p>19.18</p> <p>19.19</p> <p>19.20</p> <p>19.21</p> <p>19.22</p> <p>19.23</p> <p>19.24</p> <p>19.25</p> <p>19.26</p> <p>19.27</p> <p>19.28</p> <p>19.29</p> <p>19.30</p> <p>19.31</p> <p>19.32</p> <p>19.33</p> <p>19.34</p> <p>19.35</p> <p>19.36</p> <p>19.37</p> <p>19.38</p> <p>19.39</p> <p>19.40</p> <p>19.41</p> <p>19.42</p> <p>19.43</p> <p>19.44</p> <p>19.45</p> <p>19.46</p> <p>19.47</p> <p>19.48</p> <p>19.49</p> <p>19.50</p> <p>19.51</p> <p>19.52</p> <p>19.53</p> <p>19.54</p> <p>19.55</p> <p>19.56</p> <p>19.57</p> <p>19.58</p> <p>19.59</p> <p>19.60</p> <p>19.61</p> <p>19.62</p> <p>19.63</p> <p>19.64</p> <p>19.65</p> <p>19.66</p> <p>19.67</p> <p>19.68</p> <p>19.69</p> <p>19.70</p> <p>19.71</p> <p>19.72</p> <p>19.73</p> <p>19.74</p> <p>19.75</p> <p>19.76</p> <p>19.77</p> <p>19.78</p> <p>19.79</p> <p>19.80</p> <p>19.81</p> <p>19.82</p> <p>19.83</p> <p>19.84</p> <p>19.85</p> <p>19.86</p> <p>19.87</p> <p>19.88</p> <p>19.89</p> <p>19.90</p> <p>19.91</p> <p>19.92</p> <p>19.93</p> <p>19.94</p> <p>19.95</p> <p>19.96</p> <p>19.97</p> <p>19.98</p> <p>19.99</p> <p>20.00</p>	<p>19.1</p> <p>19.2</p> <p>19.3</p> <p>19.4</p> <p>19.5</p> <p>19.6</p> <p>19.7</p> <p>19.8</p> <p>19.9</p> <p>19.10</p> <p>19.11</p> <p>19.12</p> <p>19.13</p> <p>19.14</p> <p>19.15</p> <p>19.16</p> <p>19.17</p> <p>19.18</p> <p>19.19</p> <p>19.20</p> <p>19.21</p> <p>19.22</p> <p>19.23</p> <p>19.24</p> <p>19.25</p> <p>19.26</p> <p>19.27</p> <p>19.28</p> <p>19.29</p> <p>19.30</p> <p>19.31</p> <p>19.32</p> <p>19.33</p> <p>19.34</p> <p>19.35</p> <p>19.36</p> <p>19.37</p> <p>19.38</p> <p>19.39</p> <p>19.40</p> <p>19.41</p> <p>19.42</p> <p>19.43</p> <p>19.44</p> <p>19.45</p> <p>19.46</p> <p>19.47</p> <p>19.48</p> <p>19.49</p> <p>19.50</p> <p>19.51</p> <p>19.52</p> <p>19.53</p> <p>19.54</p> <p>19.55</p> <p>19.56</p> <p>19.57</p> <p>19.58</p> <p>19.59</p> <p>19.60</p> <p>19.61</p> <p>19.62</p> <p>19.63</p> <p>19.64</p> <p>19.65</p> <p>19.66</p> <p>19.67</p> <p>19.68</p> <p>19.69</p> <p>19.70</p> <p>19.71</p> <p>19.72</p> <p>19.73</p> <p>19.74</p> <p>19.75</p> <p>19.76</p> <p>19.77</p> <p>19.78</p> <p>19.79</p> <p>19.80</p> <p>19.81</p> <p>19.82</p> <p>19.83</p> <p>19.84</p> <p>19.85</p> <p>19.86</p> <p>19.87</p> <p>19.88</p> <p>19.89</p> <p>19.90</p> <p>19.91</p> <p>19.92</p> <p>19.93</p> <p>19.94</p> <p>19.95</p> <p>19.96</p> <p>19.97</p> <p>19.98</p> <p>19.99</p> <p>20.00</p>
	品 種	性 能	色 調																																																																																																																										
・熱線吸収フロート板ガラス	・1種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ																																																																																																																											
・熱線吸収網入磨き板ガラス	・2種																																																																																																																												
品 種	日射遮蔽性	耐久性	色 調																																																																																																																										
・熱線反射ガラス	・1種	A種	・ブルー																																																																																																																										
・高性能熱線反射ガラス	・2種	・A種 ・B種	・グレー																																																																																																																										
	・3種	B種	・ブロンズ																																																																																																																										
			・シルバー																																																																																																																										
材料板ガラスによる種類の名称	色 調																																																																																																																												
・フロート倍強度板ガラス																																																																																																																													
・熱線吸収倍強度板ガラス	・グレー ・ブルー ・ブロンズ																																																																																																																												
建具の種類	ガラスの留め材	ガラス溝の大きさ (mm)																																																																																																																											
アルミニウム製	○ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレインディングチャンネル形	※標準仕様書表16.14.1による ・ 図示																																																																																																																											
鋼製及び鋼製軽重	○ シーリング材 ・ 図示	※標準仕様書表16.14.1による ・ 図示																																																																																																																											
ステンレス製	・ シーリング材 ・ 図示	※標準仕様書表16.14.1による ・ 図示																																																																																																																											
形状	呼び寸法	厚さ	クリア	色調	その他	目地幅 (mm)	防火性能																																																																																																																						
正方形	・125×125	・80	-	-	・ 図示	※8~15	・ 無し																																																																																																																						
	・160×160	・95	・125	-	・ 図示	・15~25	・ 有り																																																																																																																						
	・200×200	・95	・125	-	・ 図示	・15~25	・ 有り																																																																																																																						
	・320×320	・95	-	-	・ 図示	・15~25	・ 有り																																																																																																																						
長方形	・250×125	・80	-	-	・ 図示	・15~25	・ 有り																																																																																																																						
	・320×160	・95	-	-	・ 図示	・15~25	・ 有り																																																																																																																						
施工部位	種 別	規格等																																																																																																																											
・ ファスナー部																																																																																																																													
・ 取付ブラケット																																																																																																																													
・ パネル目地部																																																																																																																													
・ 層間ふきざり																																																																																																																													
規格等	表面処理	映像調整																																																																																																																											
※アルミニウム製 ※標準仕様書16.2.3による	A-1類 ・ A-2類 被覆等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による) 着色 (・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー)	・ 行う ・ 行わない																																																																																																																											

<p>ユニツト及びその他工事</p> <p>1. フリーアクセスフロア (20.2.2)</p> <p>2. 可動間仕切 (パーテーション) (20.2.3)</p> <p>3. 移動間仕切 (スライディング型) (20.2.4)</p> <p>4. トイレブース (20.2.5)</p> <p>5. 視覚障害者用床タイル (11.2.2)(19.2.2)</p> <p>6. 階段滑り止め・手摺 (20.2.6)</p> <p>7. 黒板及びホワイトボード (20.2.8)</p> <p>8. 掲示板 (20.2.9)(20.2.10)</p>	<p>① フリーアクセスフロア (20.2.2)</p> <p>施工箇所 構造 仕上り高(mm) 寸法 許容水平力 耐荷重性能 表面仕上げ材</p> <p>② 構造形式 構成機材の種類 総厚(mm) 表面材 耐音性能 (db/500Hz) 防火性能</p> <p>③ 表面仕上げ材の品質、性能は標準仕様書19章による。</p> <p>④ パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>	<p>9. 壁突ライニング (20.2.11)</p> <p>種類 種類 種類</p> <p>⑩ ブラインド (20.2.12)</p> <p>形式 種類 スラットの材質 スラット幅(mm) ポックス・レールの材質</p> <p>⑪ ロールスクリーン (20.2.13)</p> <p>材質 操作方法 透光性能 寸法(mm) 取付箇所 備考</p>	<p>10. くつきマット</p> <p>⑫ カーテン (20.2.14)</p> <p>形式 開閉操作 巾の種類 きれ地の種類、品質 品質、特殊加工等 取付箇所 備考</p> <p>⑬ カーテンレール (20.2.14)</p> <p>カーテンレール</p> <p>⑭ ブラインドボックス及びカーテンボックス (20.2.14)</p> <p>材質 構造形式 (仕上り)</p>	<p>20. 流し台ユニット</p> <p>材質 寸法(mm) 備考</p> <p>⑮ 旗竿</p> <p>⑯ 旗竿受金物</p> <p>23. 車止めさく</p> <p>⑰ フェンス</p> <p>フェンスの種類</p>	<p>21. 排水工事</p> <p>① 屋外雨水排水 (21.2.1~2)(表21.2.1)</p> <p>排水管 材質 管の種類 形状 呼び径 備考</p> <p>② 排水スリット (21.2.1)</p> <p>方向 タイプ 耐火性能 防水性能 備考</p>	<p>22. 舗装工事</p> <p>① 路床 (22.2.2~5)(表22.2.1)</p> <p>路床材料の種類 材料 厚さ(mm)</p> <p>② 路盤 (22.2.2~5)(表22.3.1)</p> <p>路盤の厚さ 備考</p> <p>③ アスファルト舗装 (22.4.2~6)(表22.4.4)</p> <p>アスファルト舗装の構成及び厚さ</p>	<p>23. 舗装工事</p> <p>④ アスファルト舗装 (22.5.2~6)(表22.5.1~3)</p> <p>舗装の種類 部位 構成 厚さ(mm)</p> <p>⑤ カラー舗装 (22.6.2~4)</p> <p>カラー舗装の構成及び厚さ</p> <p>⑥ 透水性アスファルト舗装 (22.7.2~6)</p> <p>構成 備考</p> <p>⑦ ブロック系舗装 (22.8.2~3)</p> <p>種類 寸法(mm) 厚さ(mm) 目地材 備考</p>
	<p>① フリーアクセスフロア (20.2.2)</p> <p>② 構造形式 構成機材の種類 総厚(mm) 表面材 耐音性能 (db/500Hz) 防火性能</p> <p>③ 表面仕上げ材の品質、性能は標準仕様書19章による。</p> <p>④ パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>	<p>9. 壁突ライニング (20.2.11)</p> <p>種類 種類 種類</p> <p>⑩ ブラインド (20.2.12)</p> <p>形式 種類 スラットの材質 スラット幅(mm) ポックス・レールの材質</p> <p>⑪ ロールスクリーン (20.2.13)</p> <p>材質 操作方法 透光性能 寸法(mm) 取付箇所 備考</p>	<p>10. くつきマット</p> <p>⑫ カーテン (20.2.14)</p> <p>形式 開閉操作 巾の種類 きれ地の種類、品質 品質、特殊加工等 取付箇所 備考</p> <p>⑬ カーテンレール (20.2.14)</p> <p>カーテンレール</p> <p>⑭ ブラインドボックス及びカーテンボックス (20.2.14)</p> <p>材質 構造形式 (仕上り)</p>	<p>20. 流し台ユニット</p> <p>材質 寸法(mm) 備考</p> <p>⑮ 旗竿</p> <p>⑯ 旗竿受金物</p> <p>23. 車止めさく</p> <p>⑰ フェンス</p> <p>フェンスの種類</p>	<p>21. 排水工事</p> <p>① 屋外雨水排水 (21.2.1~2)(表21.2.1)</p> <p>排水管 材質 管の種類 形状 呼び径 備考</p> <p>② 排水スリット (21.2.1)</p> <p>方向 タイプ 耐火性能 防水性能 備考</p>	<p>22. 舗装工事</p> <p>① 路床 (22.2.2~5)(表22.2.1)</p> <p>路床材料の種類 材料 厚さ(mm)</p> <p>② 路盤 (22.2.2~5)(表22.3.1)</p> <p>路盤の厚さ 備考</p> <p>③ アスファルト舗装 (22.4.2~6)(表22.4.4)</p> <p>アスファルト舗装の構成及び厚さ</p>	<p>23. 舗装工事</p> <p>④ アスファルト舗装 (22.5.2~6)(表22.5.1~3)</p> <p>舗装の種類 部位 構成 厚さ(mm)</p> <p>⑤ カラー舗装 (22.6.2~4)</p> <p>カラー舗装の構成及び厚さ</p> <p>⑥ 透水性アスファルト舗装 (22.7.2~6)</p> <p>構成 備考</p> <p>⑦ ブロック系舗装 (22.8.2~3)</p> <p>種類 寸法(mm) 厚さ(mm) 目地材 備考</p>
	<p>① フリーアクセスフロア (20.2.2)</p> <p>② 構造形式 構成機材の種類 総厚(mm) 表面材 耐音性能 (db/500Hz) 防火性能</p> <p>③ 表面仕上げ材の品質、性能は標準仕様書19章による。</p> <p>④ パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>	<p>9. 壁突ライニング (20.2.11)</p> <p>種類 種類 種類</p> <p>⑩ ブラインド (20.2.12)</p> <p>形式 種類 スラットの材質 スラット幅(mm) ポックス・レールの材質</p> <p>⑪ ロールスクリーン (20.2.13)</p> <p>材質 操作方法 透光性能 寸法(mm) 取付箇所 備考</p>	<p>10. くつきマット</p> <p>⑫ カーテン (20.2.14)</p> <p>形式 開閉操作 巾の種類 きれ地の種類、品質 品質、特殊加工等 取付箇所 備考</p> <p>⑬ カーテンレール (20.2.14)</p> <p>カーテンレール</p> <p>⑭ ブラインドボックス及びカーテンボックス (20.2.14)</p> <p>材質 構造形式 (仕上り)</p>	<p>20. 流し台ユニット</p> <p>材質 寸法(mm) 備考</p> <p>⑮ 旗竿</p> <p>⑯ 旗竿受金物</p> <p>23. 車止めさく</p> <p>⑰ フェンス</p> <p>フェンスの種類</p>	<p>21. 排水工事</p> <p>① 屋外雨水排水 (21.2.1~2)(表21.2.1)</p> <p>排水管 材質 管の種類 形状 呼び径 備考</p> <p>② 排水スリット (21.2.1)</p> <p>方向 タイプ 耐火性能 防水性能 備考</p>	<p>22. 舗装工事</p> <p>① 路床 (22.2.2~5)(表22.2.1)</p> <p>路床材料の種類 材料 厚さ(mm)</p> <p>② 路盤 (22.2.2~5)(表22.3.1)</p> <p>路盤の厚さ 備考</p> <p>③ アスファルト舗装 (22.4.2~6)(表22.4.4)</p> <p>アスファルト舗装の構成及び厚さ</p>	<p>23. 舗装工事</p> <p>④ アスファルト舗装 (22.5.2~6)(表22.5.1~3)</p> <p>舗装の種類 部位 構成 厚さ(mm)</p> <p>⑤ カラー舗装 (22.6.2~4)</p> <p>カラー舗装の構成及び厚さ</p> <p>⑥ 透水性アスファルト舗装 (22.7.2~6)</p> <p>構成 備考</p> <p>⑦ ブロック系舗装 (22.8.2~3)</p> <p>種類 寸法(mm) 厚さ(mm) 目地材 備考</p>

2-2 舗石舗装

種類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基層	基層の厚さ (mm)
小舗石(花崗岩)	・図示	・	・うろこ張り	・コンクリート板 ・7:3砂利混合物	※70 ※50

仕上りの平坦性 ※歩行に支障のないものとし、舗石間の段差3mm以内とする

・ジオテキスタイル 単位面積質量 60g/m²以上
厚さ (mm) 0.5~1.0
引張強さ 98N/5cm (10kgf/5cm)以上
透水係数 1.5×10⁻¹ cm/sec以上

種類 ・A種 (施工範囲: 図示 通路)
・B種 (施工範囲: 図示 建物周囲地)

路面標示用塗料はJIS K 5665による。

種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)
※3種1号	溶融	粉体状	・白	・150	・1.0
・1種	常温	液状	・	・100	・1.5
・2種	加熱	・	・	・	・

低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

23-2 植栽工事

項目	性能
耐荷重性能 排水層の許容圧縮強度	最大有効土壌層の荷重の1.5倍以上、かつ、一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10 ⁴ N/m ² の荷重で破壊・有害なひずみなど異常がないこと。(保水層を有する場合は保水層共)
耐根層	重ね合せ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。但し、耐根層がこれと同等の性能を有すると認められる場合は省略することができるものとする。

・屋上緑化軽量システム
樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等
※図示
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等
※図示

(品質・性能)

項目	性能
透水、排水層等構成材の主要材料	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。(保水層を有する場合は、保水層共)
排水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生ずることがなく、植込み用土を流出させない構造であること。
排水層の鉛直方向の排水性能	240L/m ² /h以上
耐荷重性能 排水層の許容圧縮強度	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10 ⁴ N/m ² の荷重で破壊・有害なひずみなど異常がないこと。(保水層を有する場合は保水層共)
耐根層	重ね合せ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。但し、耐根層がこれと同等の性能を有すると認められる場合は省略することができるものとする。

工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の1.0・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法とする。
支柱 ・設置する(形式・図示)
かん水装置 ・設置する(種類)

23 植栽工事

1. 植栽地の確認等 土壌の水素イオン濃度指標 (pH) 試験 ・行方 ・行わない (23.1.3)
電気伝導度 (EC) の試験 ・行方 ・行わない (23.1.3)

2. 植栽基盤の整備 (23.2.2~4)

植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材
・樹木	※ A種	樹高12m以上 (※100・120・150)	・葉張り部分 ・植栽部分	・適用する ・適用しない
・ B種	樹高7m以上~12m未満 (※80・100)	・	・	・
・ C種	樹高3m以上~7m未満 (※60・80)	・	・	・
・ D種	樹高3m未満 (※50・60)	・	・	・
・芝、地被類	※ B種	※ 20	・植栽部分 ・図示	・適用する ・適用しない

植栽基盤の排水設備 ・設ける(※図示)
・設けない

・現場発生土の良質土 ・客土 (23.2.3)

・パーク堆肥 (23.2.3)

施工箇所 ※植栽範囲 図示
使用量 植栽基盤面積1㎡あたり(・50L)

・汚泥発酵肥料(下水汚泥コンポスト) (23.2.3)

施工箇所 ※植栽範囲 図示
使用量 植栽基盤面積1㎡あたり(・10L)

材料 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合した原料を使用したもので、有害試験の調査の結果、害が認められないものとする。

5. 植樹 (23.3.2~3)

・樹木 樹種、寸法、株立数等 ※図示
・支柱 支柱材 ※丸太(間伐材) 真竹
防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材
形式 図示

・幹巻き用材料 材料 ※幹巻き用テープ わら、こも

・新植、移植樹木、芝等の保証 (23.3.4~6) (23.4.7)
新植樹木(芝張り、吹付けは種及び地被類を含む)の保証の期間
※引渡の日から1年 無し
移植樹木の枯損処置を行う期間
※引渡の日から1年 無し

6. 芝、吹付けは種 地被類 (23.4.2~3)

・芝 種類 ※コウライシバ ・ノシバ
芝張りの工法 (平地) ※目地張り ・べた張り
(法面) ・目地張り ※べた張り

・吹付けは種 (23.4.2)

種子の種類	発芽率	種子の量 (g/㎡)	備考
※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上		

・地被類 (23.4.2)

樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数

7. 屋上緑化 (23.5.2~4)

植栽基盤及び材料

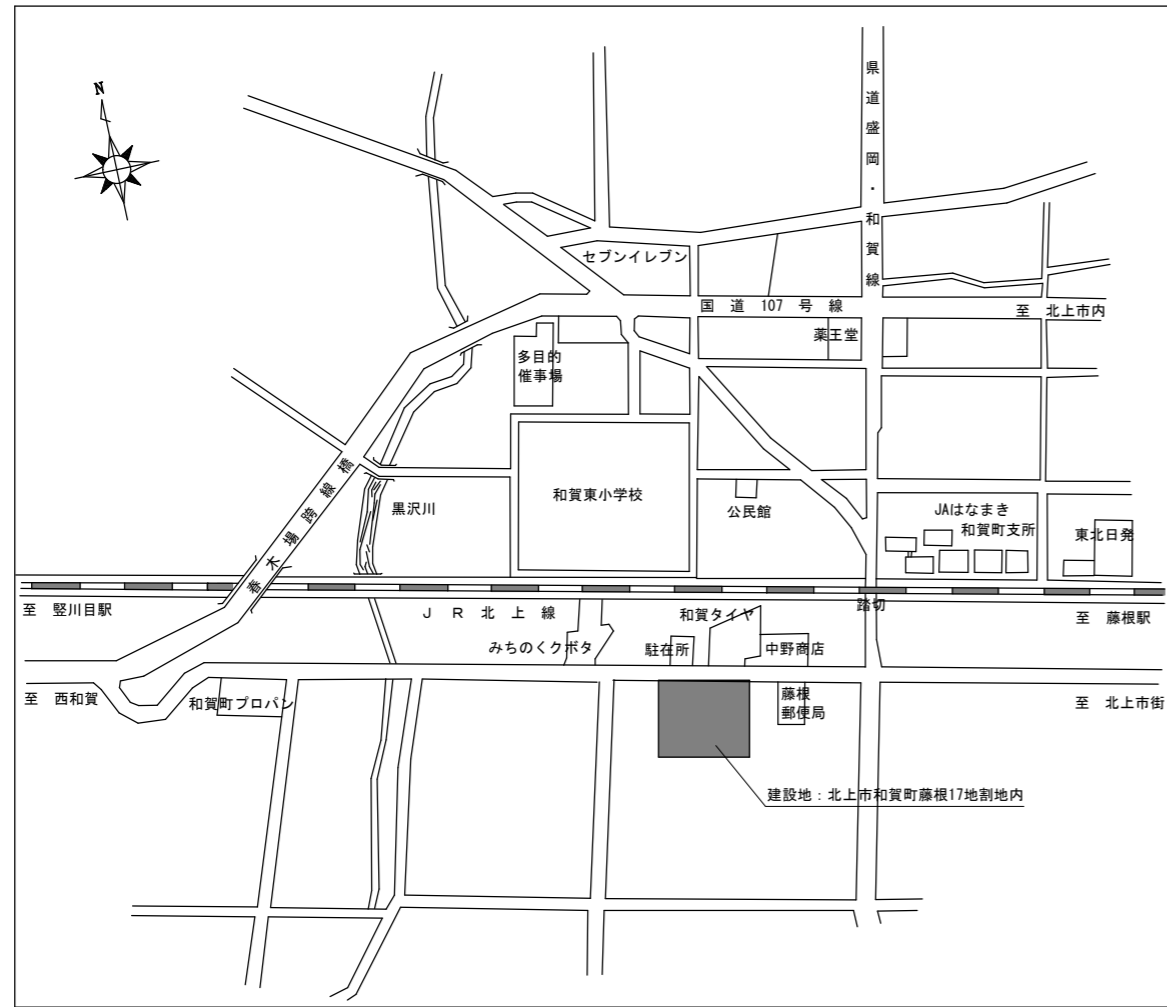
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ 図示
排水層 軽量骨材(層の厚さ)
・板状成形品
植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土
樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等
※図示
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等
※図示

(品質・性能)

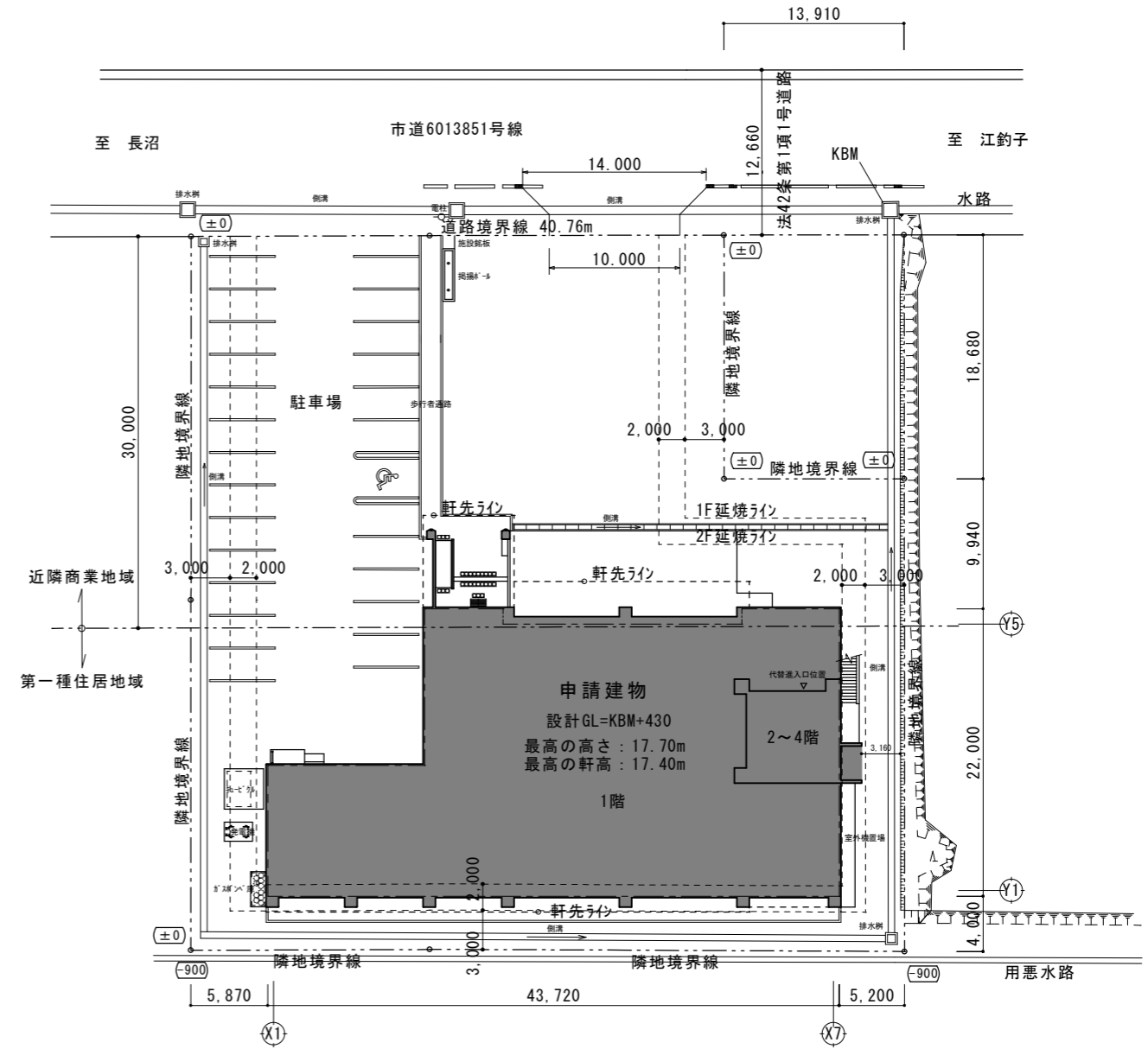
項目	性能
透水フィルターの材質及び透水性能	材質は、合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるもの。透水性能は、その透の数が直前の透の数値より高い値を維持し、透水係数の上昇傾向を確認できる事。
透水、排水層等構成材の主要材料	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。(保水層を有する場合は、保水層共)
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み用土を支え、流出しない構造をもつこと。
排水層の鉛直方向の排水性能	240L/m ² /h以上

回 工事概要

工事場所	北上市和賀町藤根17地割地内	工事規模	申請建物：RC造 4階建	耐火建築物
敷地面積	2,727.94 m ² (近隣商業：1,378.44 m ² 第一種住居：1,349.50 m ²)		1階床面積：808.88m ²	建築面積：892.51m ²
工事種別	新築工事		2階床面積：47.60m ²	最高の高さ：17.70m
主要用途	消防署		3階床面積：47.60m ²	最高の軒の高さ：17.40m
都市計画地域	都市計画区域内（区域区分非設定）		4階床面積：47.60m ²	
用途地域	近隣商業地域（建ぺい率80% 容積率200%） 第一種住居地域（建ぺい率60% 容積率200%）		塔屋床面積：13.12m ²	
防火地域	指定なし（法第22条区域）		延べ面積：964.80m ²	
道路幅員	市道6013851号線 12.65m			



付近見取図



※「設計内容は建築基準法関係法令に適合とする」

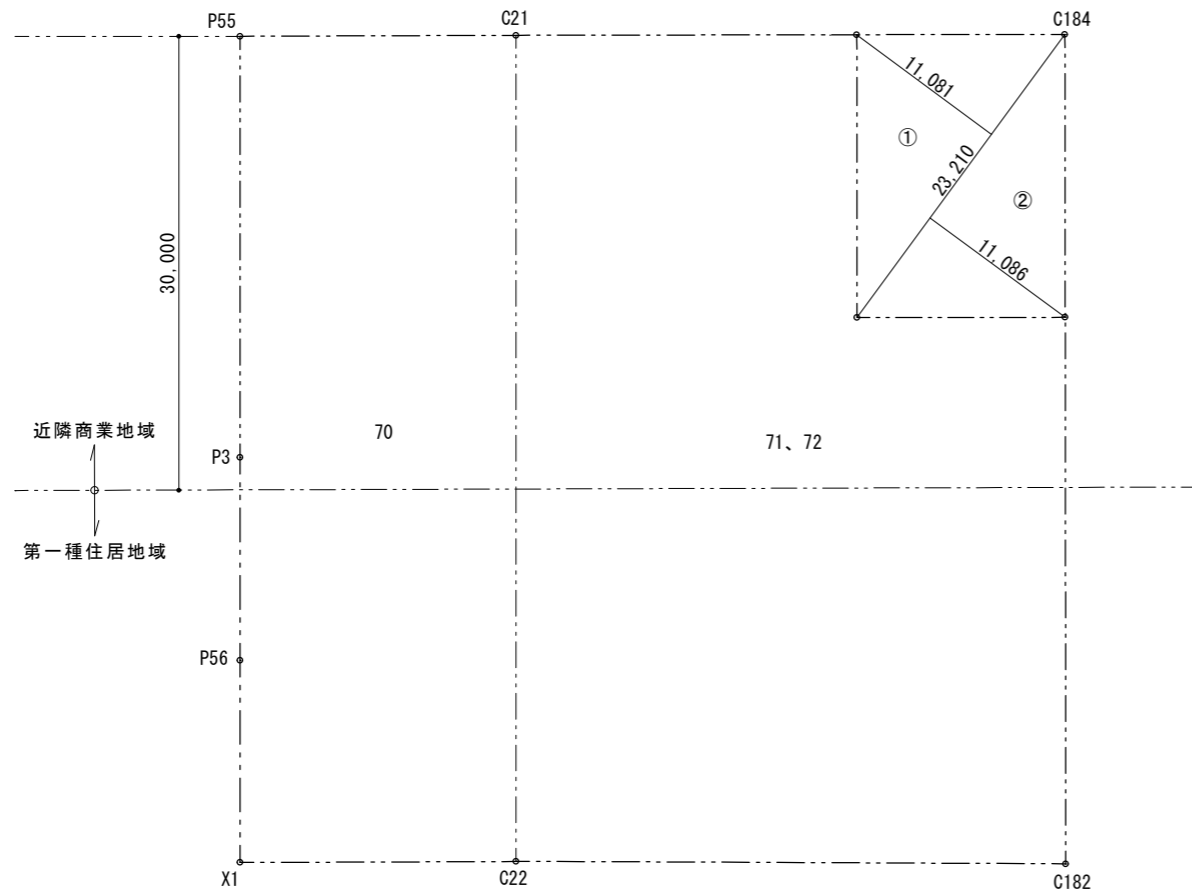
※「現況図はD-04を参照のこと」

□ 外部仕上表

屋根	部位	下地		仕上		備考	認定番号
屋根	1階屋根	改質アスファルトルーフィング+ポリエチレンシート t 4.0		フェライト系カラスステンレス防水 t 0.4 (水勾配1/100程度)		笠木: アルミ製W250	せっこうボード (GB-R) t 12.5: 不燃NM-8619
	1階屋上	コンクリート補修		ウレタン+FRP防水 無機質調仕上 (水勾配1/100)		笠木: アルミ製W200、訓練用支点	化粧せっこうボード (GB-D) t 9.5: 準不燃QM-0524
	車庫屋上	コンクリート補修		ウレタン+FRP防水 無機質調仕上 (水勾配1/100)		笠木: アルミ製W200、訓練用支点	ケイカル板 t 6.0: 不燃NM-8576
	訓練用勾配屋根	鉄骨下地+硬質木片セメント板 t 25+改質アスファルトルーフィング		カラーガルバリウム鋼板 t 0.4 横葺		破風、雨押え: カラーガルバリウム鋼板 t 0.4加工	カラーガルバリウム鋼板 t 0.4: 不燃NM-8697
	4階屋上	コンクリート補修		ウレタン+FRP防水 無機質調仕上 (水勾配1/100)		笠木: アルミ製W200、訓練用支点	硬質木片セメント板 t 25: H12建設省告示1401号準不燃材料適合品
	塔屋屋上	コンクリート補修		ウレタン+FRP防水 無機質調仕上 (水勾配1/100)		笠木: アルミ製W200、訓練用支点	せっこうボード (GB-R) t 9.5: 準不燃QM-9828 ロックウール化粧吸音板 (DR) 直張り用 t 9: 不燃NM-8599 化粧ケイカル板 t 6.0: 不燃NM-1453 (同等品)
外壁	一般	コンクリート補修		複層塗材E (弾性トップコートアクリル樹脂)		打ち継ぎ目地、化粧目地、訓練用支点	化粧ケイカル板 t 6.0: 不燃NM-1453 (同等品)
	打ち放し部	コンクリート打ち放し補修 (A種)		打ち放しコンクリート塗材 (アクリルシリコン樹脂)		打ち継ぎ目地、化粧目地、訓練用支点	ビニルクロス: 準不燃QM-0833, 0803
	ポーチ	木脚縁+ラワン合板 t5.5下張		羽目板横張り t12.0+木材保護塗料塗		水切り: カラーガルバリウム鋼板 t 0.4加工	□ 特記事項
	基礎	コンクリート打ち放し補修 (A種)		浸透性撥水剤塗布		施設名称: カラスステンレス製切文字500角 12文字程度	建築材料は法37条に適合するものとする。 内部仕上、天井裏等: すべてF☆☆☆☆とする。(下地材、接着剤共) 木材は岩手県産材の利用に努める事。 特記無き限り内部造作材は、岩手県産カラマツ集成材とする。 揮発性有機化合物 (VOC) が無い内装材 (下地材、接着剤共) 等を使用する事。 現しとなる木部は、特記無き限り水性ウレタンリキヤール塗装とする。 天井ふところ: 屋外1.0m、屋内1.5m以上となるLGS下地は振れ止め補強の事。 手摺等取付位置には適宜、下地補強の事。
軒天	一般	コンクリート補修		外装薄塗塗材E吹付		水切り目地	
	車庫軒天	LGS25@303		ケイカル板 t 6.0+E P塗		廻縁: アルミ、ジョイント部: アルミHジョイナー	
	ポーチ	LGS25@303		アルミスパンドレル		廻縁: アルミ	
開口部	一般			アルミ樹脂複合サッシ、アルミサッシ、鋼製建具			
	ガラス			Low-Eペアガラス (日射取得型)			
ポーチ	床、階段	モルタル		磁器質タイル150角 (外部用)、防滑段鼻タイル		注意喚起・誘導タイル、ステンレス手すり (壁付)、SUS靴拭マット	
	柱	コンクリート補修		複層塗材E (弾性トップコートアクリル樹脂)		化粧目地、施設名称: カラスステンレス製箱文字250角 12文字程度	
	スロープ			刷毛引き仕上		注意喚起ブロック、ステンレス手すり (自立)	
職員玄関	床			コンクリート金ゴテ直均し		袖壁: アルミ既製品、庇: アルミ既製品	
外部階段	床	モルタル金ゴテ		塗膜防水 (X-2)		段鼻: ステンレス製ノンスリップ	
	手すり壁	コンクリート補修		複層塗材E (弾性トップコートアクリル樹脂)		手すり: 壁付ステンレス製φ38	
ピット	床			コンクリート金ゴテ直均し (各ブロック毎に差場450×450×500)		差場: 既製コンクリート樹450角	
	壁	コンクリート補修		外周部: 押出法ポリスチレンフォーム3種 b・A t 60打込		タラップ: ステンレス製3段	
	外周面 (GL下)	コンクリート補修		無機質浸透性防水材			
その他	タタキ			コンクリート金ゴテ直均し			
	設備基礎			コンクリート金ゴテ直均し			

□ 内部仕上表

室名	床				巾木		壁		天井			備考				
	下地	SL=FL-	仕上	FL±	H	仕上	下地	仕上	下地	仕上1	CH	廻縁	アソビBOX	室名札		
1階	風除室	モルタル	-50	磁器質タイル150角 (外部用)	±0	100	タイル	LGS50、65+PB t 12.5	腰壁: 杉羽目板 t 12+UC塗、壁: ビニルクロス	LGS19+PB t 9.5	ロックウール化粧吸音板 t 9	2,800	塩ビ	○		
	廊下	コンクリート金ゴテ直均し	±0	防滑性複層ビニル床シート t 2.5	±0	75	木	LGS50、65+PB t 12.5	腰壁: 杉羽目板 t 12+UC塗、壁: ビニルクロス	LGS19+PB t 9.5	ロックウール化粧吸音板 t 9	2,800	塩ビ		注意喚起タイル、手すり 手すり、掲示板	
	多目的トイレ	コンクリート金ゴテ直均し	±0	長尺ビニル床シート t 2.0	±0	300	ビニル	LGS (GW充填)+PB t 12.5	化粧ケイカル板 t 6.0 (目地シーリング)	LGS19	化粧PB t=9.5	2,500	塩ビ		平付 (t'外)	
	女子トイレ	コンクリート金ゴテ直均し	±0	長尺ビニル床シート t 2.0	±0	75	ビニル	LGS (GW充填)+PB t 12.5	化粧ケイカル板 t 6.0 (目地シーリング)	LGS19	化粧PB t=9.5	2,500	塩ビ		平付 (t'外)	
	男子トイレ	コンクリート金ゴテ直均し	±0	長尺ビニル床シート t 2.0	±0	75	ビニル	LGS (GW充填)+PB t 12.5	化粧ケイカル板 t 6.0 (目地シーリング)	LGS19	化粧PB t=9.5	2,500	塩ビ		平付 (t'外)	
			±0	汚垂れ石 t 6.0	±0											
	事務室	OAフロアH50	-50	置敷きビニル床タイル t 4.5	±0	75	ビニル	LGS50、65+PB t 12.5	ビニルクロス (中級品以上、準不燃以上)	LGS19+PB t 9.5	ロックウール化粧吸音板 t 9	2,800	塩ビ	○	平付×2	キャビネット、ホワイドボード、掲示板、神棚
	職員玄関	コンクリート金ゴテ直均し	±0	防滑性複層ビニル床シート t 2.5	±0	75	ビニル	LGS50、65+PB t 12.5	ビニルクロス (中級品以上、準不燃以上)	LGS19+PB t 9.5	ロックウール化粧吸音板 t 9	2,800	塩ビ	○		コート掛、下足入、ステンレス床見切
		コンクリート金ゴテ直均し	±0	長尺ビニル床シート t 2.0	±0	75	ビニル	LGS50、65+PB t 12.5	ビニルクロス (中級品以上、準不燃以上)							
	食堂・休憩室	コンクリート金ゴテ直均し	±0	長尺ビニル床シート t 2.0	±0	75	ビニル	LGS50、65+PB t 12.5	ビニルクロス (中級品以上、準不燃以上)	LGS19+PB t 9.5	ビニルクロス (中級品以上、準不燃以上)	2,800	塩ビ	○	平付	システムキッチン、食器戸棚
		木床組+ラワン合板 t 12	±0	畳敷き (D種KT-III) t 55	+300		畳寄せ	木	LGS50、65+PB t 12.5	ビニルクロス (中級品以上、準不燃以上)	LGS19+PB t 9.5	ビニルクロス (中級品以上、準不燃以上)	2,500	塩ビ		上り框
		木床組	±0	ラワン合板 t 12	+300		雑巾摺	木	LGS50、65	押入ボード t 12.5	LGS19	押入ボード t 9.5	2,500	塩ビ		中棚、枕棚
	書庫	コンクリート金ゴテ直均し	±0	長尺ビニル床シート t 2.0	±0	75	ビニル	LGS50、65+PB t 12.5	ビニルクロス (中級品以上、準不燃以上)	LGS19	化粧PB t=9.5	2,800	塩ビ		平付	可動書架
	出勤準備室	コンクリート金ゴテ直均し	±0	長尺ビニル床シート t 2.0	±0	75	ビニル	LGS50、65、100+PB t 12.5	ケイカル板 t 6.0 (目透かし)+E P塗	LGS19+PB t 9.5	ロックウール化粧吸音板 t 9	5,000	塩ビ		平付×3	防火衣ロッカー
掃除用具室	コンクリート金ゴテ直均し	±0	長尺ビニル床シート t 2.0	±0	75	ビニル	LGS50、65+PB t 12.5	E P塗	LGS19	化粧PB t=9.5	2,500	塩ビ		平付		
男子更衣室	コンクリート金ゴテ直均し	±0	長尺ビニル床シート t 2.0	±0	75	ビニル	LGS (GW充填)+PB t=12.5	ビニルクロス (中級品以上、準不燃以上)	LGS19	化粧PB t=9.5	2,700	塩ビ		平付	ロッカー	
男子トイレ	コンクリート金ゴテ直均し	±0	長尺ビニル床シート t 2.0	±0	75	ビニル	LGS (GW充填)+PB t=12.5	ビニルクロス (中級品以上、準不燃以上)	LGS19	化粧PB t=9.5	2,500	塩ビ		平付		
男子洗面所	コンクリート金ゴテ直均し	±0	長尺ビニル床シート t 2.0	±0	75	ビニル	LGS50、65+PB t 12.5	化粧ケイカル板 t 6.0 (目地シーリング)	LGS19	ケイカル板 t 6.0 (目透かし)+E P塗	2,500	塩ビ			洗面化粧台、洗濯機パン、膳板、タオル掛	
男子脱衣室	コンクリート金ゴテ直均し	±0	長尺ビニル床シート t 2.0	±0	75	ビニル	LGS50、65+PB t 12.5	化粧ケイカル板 t 6.0 (目地シーリング)	LGS19	ケイカル板 t 6.0 (目透かし)+E P塗	2,500	塩ビ			カーテンレール、カーテン	
男子シャワー室	コンクリート金ゴテ直均し	-150						シャワーユニット0816							樹脂製三方枠	
仮眠室	コンクリート金ゴテ直均し	±0	タイルカーペット t 6.5	±0	75	ビニル	LGS (GW充填)+PB t=12.5	ビニルクロス (中級品以上、準不燃以上)	LGS19+PB t 9.5	ビニルクロス (中級品以上、準不燃以上)	2,500	塩ビ	○	平付 (表示)	ベット、物干ポール	
廊下	コンクリート金ゴテ直均し	±0	長尺ビニル床シート t 2.0	±0	75	ビニル	LGS65+PB t 12.5	ビニルクロス (中級品以上、準不燃以上)	LGS19+PB t 9.5	ロックウール化粧吸音板 t 9	2,700	塩ビ			カーテンレール、カーテン	
女子更衣室	コンクリート金ゴテ直均し	±0	長尺ビニル床シート t 2.0	±0	75	ビニル	LGS (GW充填)+PB t=12.5	ビニルクロス (中級品以上、準不燃以上)	LGS19	化粧PB t=9.5	2,500	塩ビ			ロッカー	
踏込	コンクリート金ゴテ直均し	±0	長尺ビニル床シート t 2.0	±0	75	ビニル	LGS (GW充填)+PB t=12.5	ビニルクロス (中級品以上、準不燃以上)	LGS19	化粧PB t=9.5	2,500	塩ビ		平付		
女子トイレ	コンクリート金ゴテ直均し	±0	長尺ビニル床シート t 2.0	±0	75	ビニル	LGS (GW充填)+PB t=12.5	ビニルクロス (中級品以上、準不燃以上)	LGS19	化粧PB t=9.5	2,500	塩ビ		平付		
女子洗面脱衣室	コンクリート金ゴテ直均し	±0	長尺ビニル床シート t 2.0	±0	75	ビニル	LGS (GW充填)+PB t=12.5	化粧ケイカル板 t 6.0 (目地シーリング)	LGS19	ケイカル板 t 6.0 (目透かし)+E P塗	2,500	塩ビ			洗面化粧台、洗濯機パン、膳板、タオル掛	
女子シャワー室	コンクリート金ゴテ直均し	-150						シャワーユニット0816							樹脂製三方枠	
車庫	コンクリート金ゴテ直均し	-50~-150	無機質系耐久床材 (防滑)	-50~-150	150	撥水剤	LGS50、65+PB t 12.5	ケイカル板 t 6.0 (目透かし)+E P塗	LGS19	ケイカル板 t 6.0 (目透かし)+E P塗	4,600	塩ビ			洗い場、洗濯機パン、ホース収納、ラック、作業台	
救急倉庫	コンクリート金ゴテ直均し	-100	防塵塗装	-100	150	撥水剤	LGS65+PB t 12.5 (二重) 両面	ケイカル板 t 6.0 (目透かし)+E P塗	LGS19	化粧PB t=9.5	2,600	塩ビ		平付	流し台、薬品庫	
除染・乾燥室	コンクリート金ゴテ直均し	-150	防塵塗装	-150	150	撥水剤	LGS50PB t 12.5	ケイカル板 t 6.0 (目透かし)+E P塗	LGS19	ケイカル板 t 6.0 (目透かし)+E P塗	2,600	塩ビ		平付	洗い場、洗濯機パン、防火衣掛、長靴掛、グレーチング	
物品庫	コンクリート金ゴテ直均し	±0	防塵塗装	±0	75	ビニル	LGS (GW充填)+PB t=12.5	ケイカル板 t 6.0 (目透かし)+E P塗	LGS19	化粧PB t=9.5	2,700	塩ビ		平付×3	タイヤラック、資器材ラック	
2~PH階	階段 (1~2階)			モルタル金ゴテ		75	ビニル	LGS50PB t 12.5	ケイカル板 t 6.0 (目透かし)+E P塗	LGS19	化粧PB t=9.5		塩ビ		手すり	
	物品庫	コンクリート金ゴテ直均し	±0	防塵塗装	±0	75	ビニル	LGS50PB t 12.5	ケイカル板 t 6.0 (目透かし)+E P塗	LGS19	化粧PB t=9.5	2,600	塩ビ			
								LGS65+PB t 12.5 (二重) 両面	ケイカル板 t 6.0 (目透かし)+E P塗							
	階段 (3~PH階)			モルタル金ゴテ		150	撥水剤	コンクリート補修	浸透性撥水剤塗布	コンクリート補修	浸透性撥水剤塗布				手すり	
3階訓練スペース	コンクリート金ゴテ直均し	±0	ウレタン+FRP防水 無機質調仕上	±0	150	撥水剤	コンクリート補修	浸透性撥水剤塗布	コンクリート補修	浸透性撥水剤塗布	3,000				訓練用支点	
								LGS65+PB t 12.5 (二重) 両面	ケイカル板 t 6.0 (目透かし)+E P塗							
4階訓練スペース	コンクリート金ゴテ直均し	±0	ウレタン+FRP防水 無機質調仕上	±0	150	撥水剤	コンクリート補修	浸透性撥水剤塗布	コンクリート補修	浸透性撥水剤塗布	3,000				訓練用支点	



敷地求積図 S=1:500

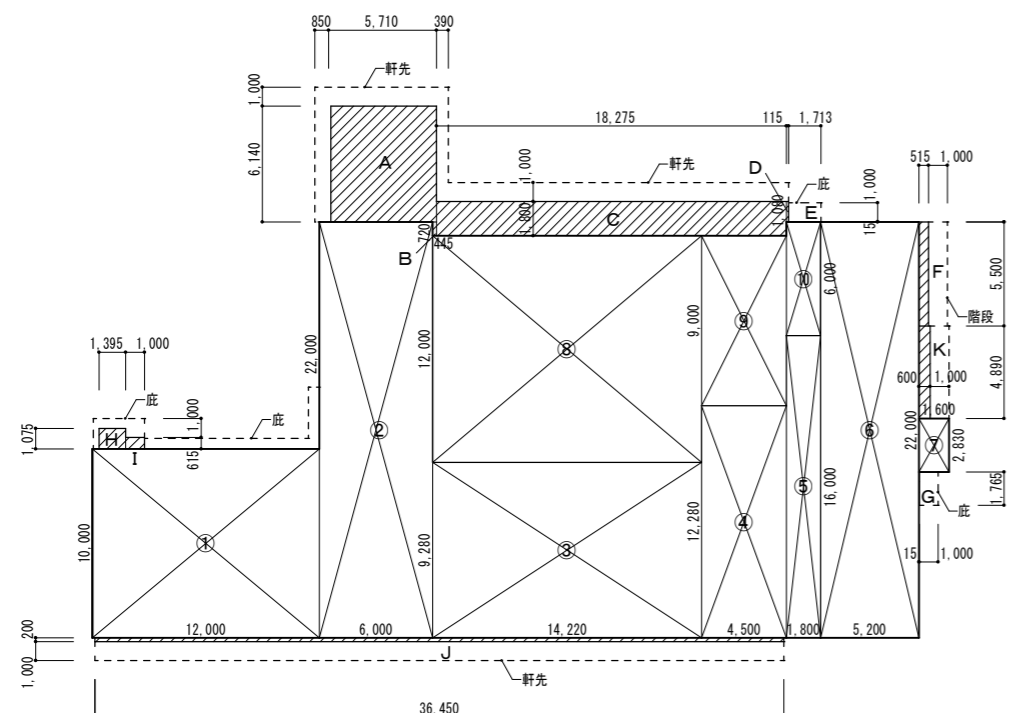
地番 70				
No.	X _n	Y _n	Y _{n+1} -Y _{n-1}	X _n · (Y _{n+1} -Y _{n-1})
P55	-77505.687	17025.709	23.638	-1832079.429306
C21	-77509.464	17043.542	6.474	-501796.269936
C22	-77562.898	17032.183	-29.270	2270266.024460
X1	-77559.125	17014.272	-15.095	1170754.991875
P56	-77546.043	17017.088	5.632	-436739.314176
P3	-77532.962	17019.904	8.621	-668411.665402
合計				1994.337515
合計面積				997.1687575
地積				997.16 m ²

地番 71、72			
No.	X	Y	辺長
C21	-77509.463	17043.543	
C22	-77562.894	17032.185	54.625
C182	-77570.629	17067.693	36.341
C184	-77516.952	17079.050	54.865
C21	-77509.463	17043.543	36.288
面積			1988.0219450
地積			1988.02 m ²

地番 71、72の一部	
①	23.210 × 11.081 = 257.190010
②	23.210 × 11.086 = 257.306060
514.496070	
面積 1/2 = 257.248035	
地積 257.24 m ²	

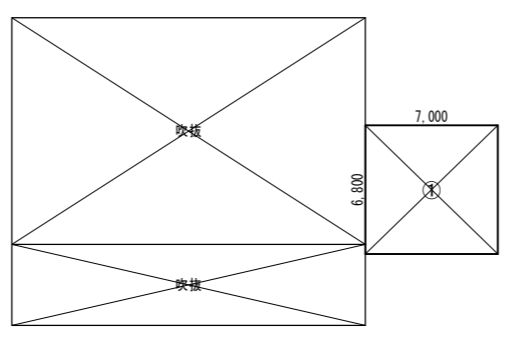
地番 70、71、72	
敷地面積	997.16 + 1988.02 - 257.24 = 2727.94 m ²

用途地域別地積	
近隣商業地域	1378.44 m ²
第一種住居地域	1349.50 m ²
合計	2727.94 m ²

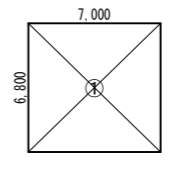


1階床面積・建築面積求積図 S=1:400

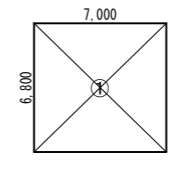
建築面積算入部分を示す



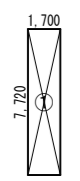
2階床面積求積図 S=1:400



3階床面積求積図 S=1:400

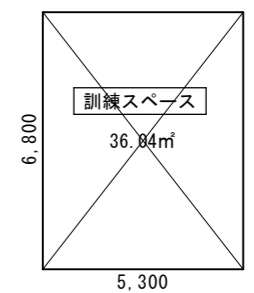
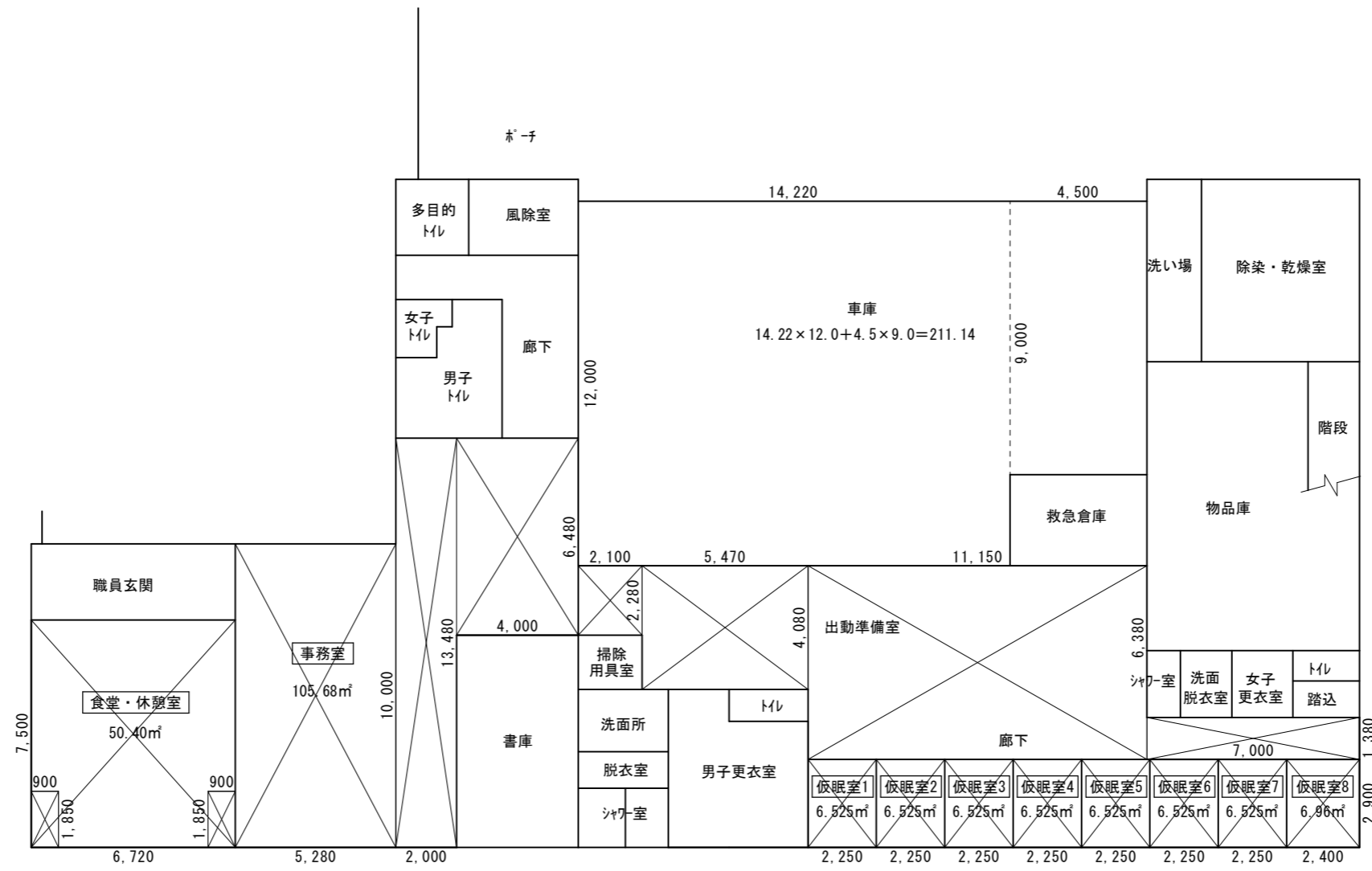


4階床面積求積図 S=1:400



塔屋床面積求積図 S=1:400

1階床面積算定表			2階床面積算定表			3階床面積算定表			4階床面積算定表			塔屋床面積算定表			建築面積算定表		
名称・記号	計算式	面積 (㎡)	名称・記号	計算式	面積 (㎡)	名称・記号	計算式	面積 (㎡)	名称・記号	計算式	面積 (㎡)	名称・記号	計算式	面積 (㎡)	記号	計算式	面積 (㎡)
庁舎 ①	12.00 × 10.00	120.0000	庁舎 ①	7.00 × 6.80	47.6000	庁舎 ①	7.00 × 6.80	47.6000	庁舎 ①	7.00 × 6.80	47.6000	庁舎 ①	1.70 × 7.72	13.1240			
②	6.00 × 22.00	132.0000															
③	14.22 × 9.28	131.9616															
④	4.50 × 12.28	55.2600															
⑤	1.80 × 16.00	28.8000															
⑥	5.20 × 22.00	114.4000															
⑦	1.60 × 2.83	4.5280															
	小計	586.9496															
車庫 ⑧	14.22 × 12.00	170.6400															
⑨	4.50 × 9.00	40.5000															
⑩	1.80 × 6.00	10.8000															
	小計	221.9400															
	合計	808.8896															
1階床面積		808.88 ㎡	2階床面積		47.60 ㎡	3階床面積		47.60 ㎡	4階床面積		47.60 ㎡	塔屋床面積		13.12 ㎡	延べ面積 808.88 + 47.60 + 47.60 + 47.60 + 13.12 = 964.80 ㎡		
建築面積																892.51 ㎡	



3・4階（共通）訓練スペース
5.30 × 6.80 = 36.04

出動準備室、廊下
2.10 × 2.28 = 4.788
5.47 × 4.08 = 22.3176
11.15 × 6.38 = 71.137
7.00 × 1.38 = 9.66
} 107.9026

食堂・休憩室
6.72 × 7.50 = 50.40
-0.900 × 1.85 = -1.665
-0.900 × 1.85 = -1.665
} 47.07

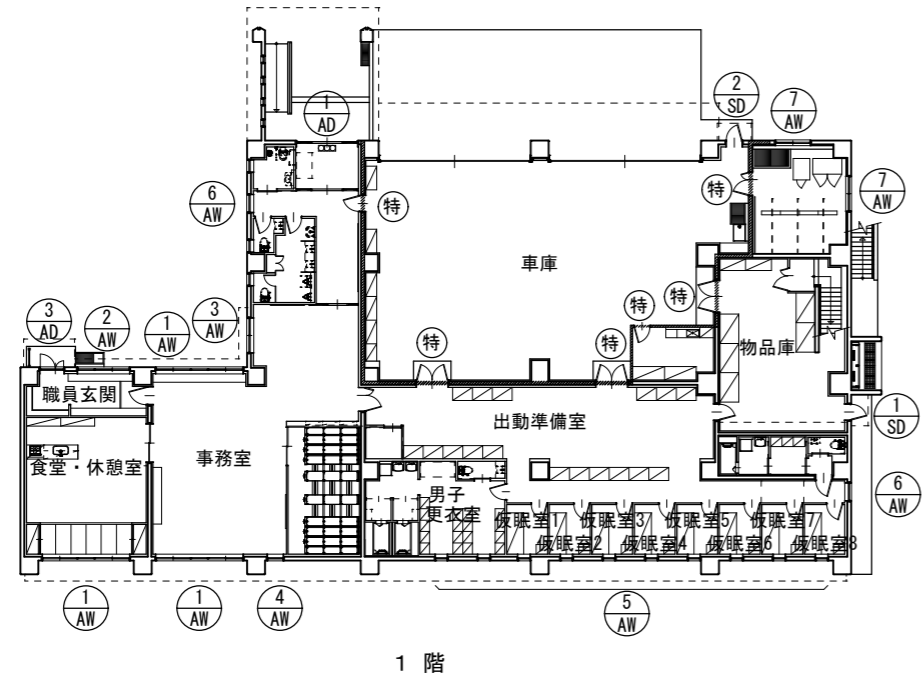
事務室
5.28 × 10.00 = 52.8
2.00 × 13.48 = 26.96
4.00 × 6.48 = 25.92
} 105.68

仮眠室1~7
2.25 × 2.90 = 6.525

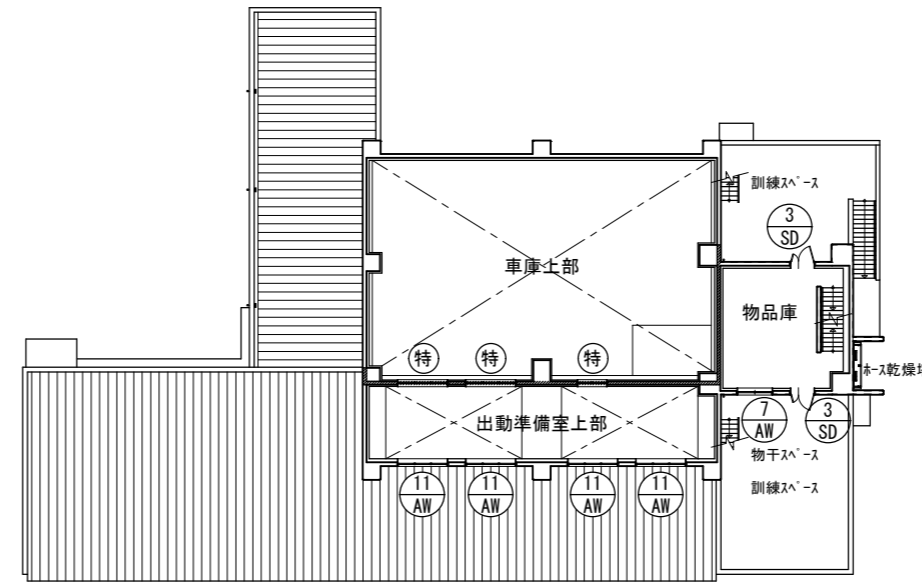
仮眠室8
2.40 × 2.90 = 6.96

居室床面積求積図 S=1:200





1 階



2 階

車庫防火区画 凡例
 ■ RC造 t=150~220 告示1399第1第一号イ
 ■ LGS下地12.5強化PB二重張り(両面、小屋裏迄) 告示195第1第一号ハ(2)
 (特) 特定防火設備 告示1369号、告示2563号

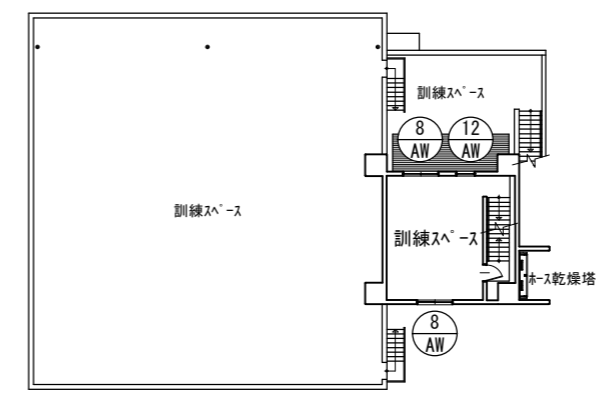
火気使用室内装制限 (食堂・休憩室)
 壁下地: 石膏ボード t=12.5 (不燃材料 NM-8619)
 壁仕上: ビニルクロス (準不燃材料 QM-0833, QM-0803同等品)
 一部化粧ケイカル板 t=6.0 (不燃材料 NM-1453同等品)
 壁下地: 石膏ボード t=9.5 (準不燃材料 QM-9828)
 天井仕上: ビニルクロス (準不燃材料 QM-0833, QM-0803同等品)

車庫室内装制限
 壁仕上: ケイカル板 t=6.0 (不燃材料 NM-8576)
 天井仕上: ケイカル板 t=6.0 (不燃材料 NM-8576)

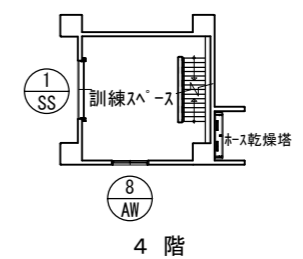
消防法による 無窓階判定

有効=有効幅(W)×高さ(H)×連窓個数

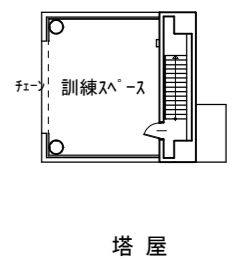
階	床面積(A)	建具符号	箇所数	必要(A)×1/30	判定	有効				
						有効	有効幅(W)	高さ(H)	連窓個数	
1	808.88	AD-1	1	26.97	OK	27.48	4.00	1.60	2.50	2
		AD-3	1				2.52	1.20	2.10	
		SD-1	1				1.60	0.80	2.00	
		SD-2	1				1.60	0.80	2.00	
		AW-1	3				6.48	0.90	1.20	
							3.06	0.85	1.20	
		AW-2	1				1.08	0.90	1.20	
							1.02	0.85	1.20	
		AW-3	1				1.08	0.90	1.20	
		AW-4	1				0.72	0.60	1.20	
AW-6	2	2.16	0.90	1.20						
AW-7	2	2.16	0.90	1.20						
2	52.12	SD-3	2	1.74	OK	3.20	3.20	0.80	2.00	
3	52.12	AW-8	2	1.74	OK	2.16	2.16	0.90	1.20	
4	52.12	AW-8	1	1.74	OK	7.53	1.08	0.90	1.20	
		SS-1	1				6.45	3.00	2.15	



3 階



4 階



塔屋

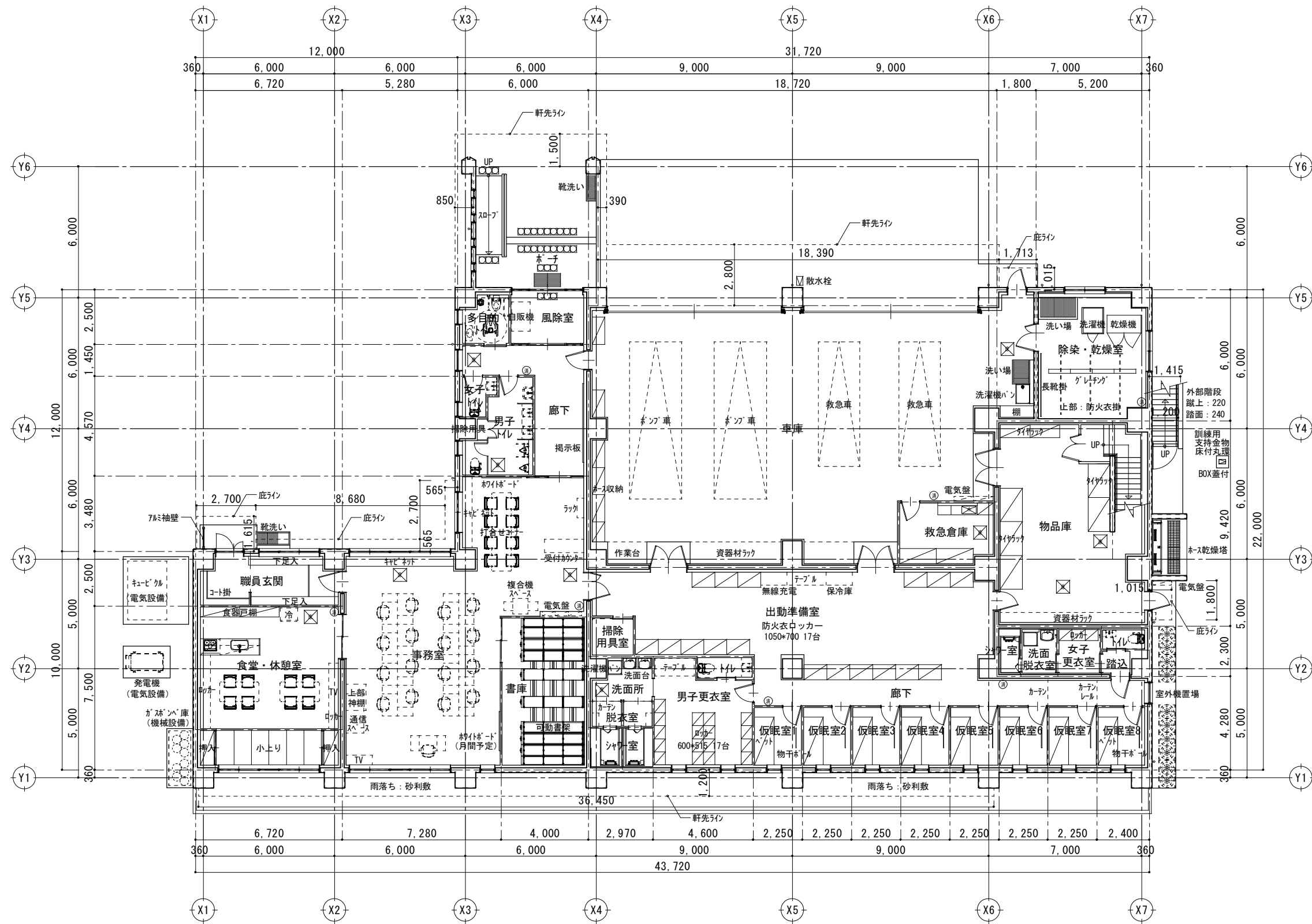
開口部算定表

有効=幅(W)×高さ(H)×係数×個数

室名	床面積(A)	建具符号	箇所数	採光					換気					排煙										
				必要(A)×1/20	判定	有効	幅(W)	高さ(H)	係数	個数	必要(A)×1/20	判定	有効	幅(W)	高さ(H)	係数	個数	必要(A)×1/50	判定	有効	幅(W)	高さ(H)	係数	個数
事務室	105.68	AW-1	2	5.29	OK	48.96	1.80	1.70	3.00	4	5.29	OK	8.37	1.80	1.70	1/2	4	2.12	OK	3.09	1.80	0.665	1/2	4
		AW-3	1				1.80	1.70	3.00	1				1.80	1.70	1/2	1				1.80	0.665	1/2	1
		AW-4	1				0.60	1.70	3.00	1				0.60	1.20	1.0	1				0.60	0.165	1.0	1
食堂・休憩室	47.07	AW-1	1	2.36	OK	9.18	1.80	1.70	3.00	2	2.36	OK	3.06	1.80	1.70	1/2	2	0.95	OK	1.19	1.80	0.665	1/2	2
仮眠室1~7	6.53	AW-5	1	0.33	OK	1.62	0.60	0.90	3.00	1	0.33	OK	0.54	0.60	0.90	1.0	1	0.13	OK	0.42	0.60	0.70	1.0	1
仮眠室8	6.96	AW-5	1	0.35	OK	1.62	0.60	0.90	3.00	1	0.35	OK	0.54	0.60	0.90	1.0	1	0.14	OK	0.42	0.60	0.70	1.0	1
出動準備室・廊下	107.90	AW-6	1	5.40	OK	17.64	0.90	1.20	3.00	1	5.40	OK	5.88	0.90	1.20	1.0	1	2.16	OK	4.80	0.80	0.50	1.0	12
		AW-11	4				0.80	0.50	3.00	12				0.80	0.50	1.0	12							
3階訓練スペース	36.04	AW-8	2	1.81	OK	16.20	1.80	1.20	3.00	2	1.81	OK	3.24	1.80	1.20	1/2	2	0.73	OK	0.90	1.80	0.50	1/2	2
		AW-12	1				0.90	1.20	3.00	1				0.90	1.20	1.0	1				0.90	0.50	1.0	1
4階訓練スペース	36.04	AW-8	1	1.81	OK	6.48	1.80	1.20	3.00	1	1.81	OK	7.53	1.80	1.20	1/2	1	0.73	OK	1.50	1.80	0.50	1/2	1
		SS-1	1				1.80	1.20	3.00	1				1.80	1.20	1.0	1				3.00	0.35	1.0	1

※ 4階訓練スペース使用時SS-1は常時開放

※ トイレ、物品庫、書庫、物置の排煙上有効な開口部は告示1436-3-ニ-(4)により検討免除

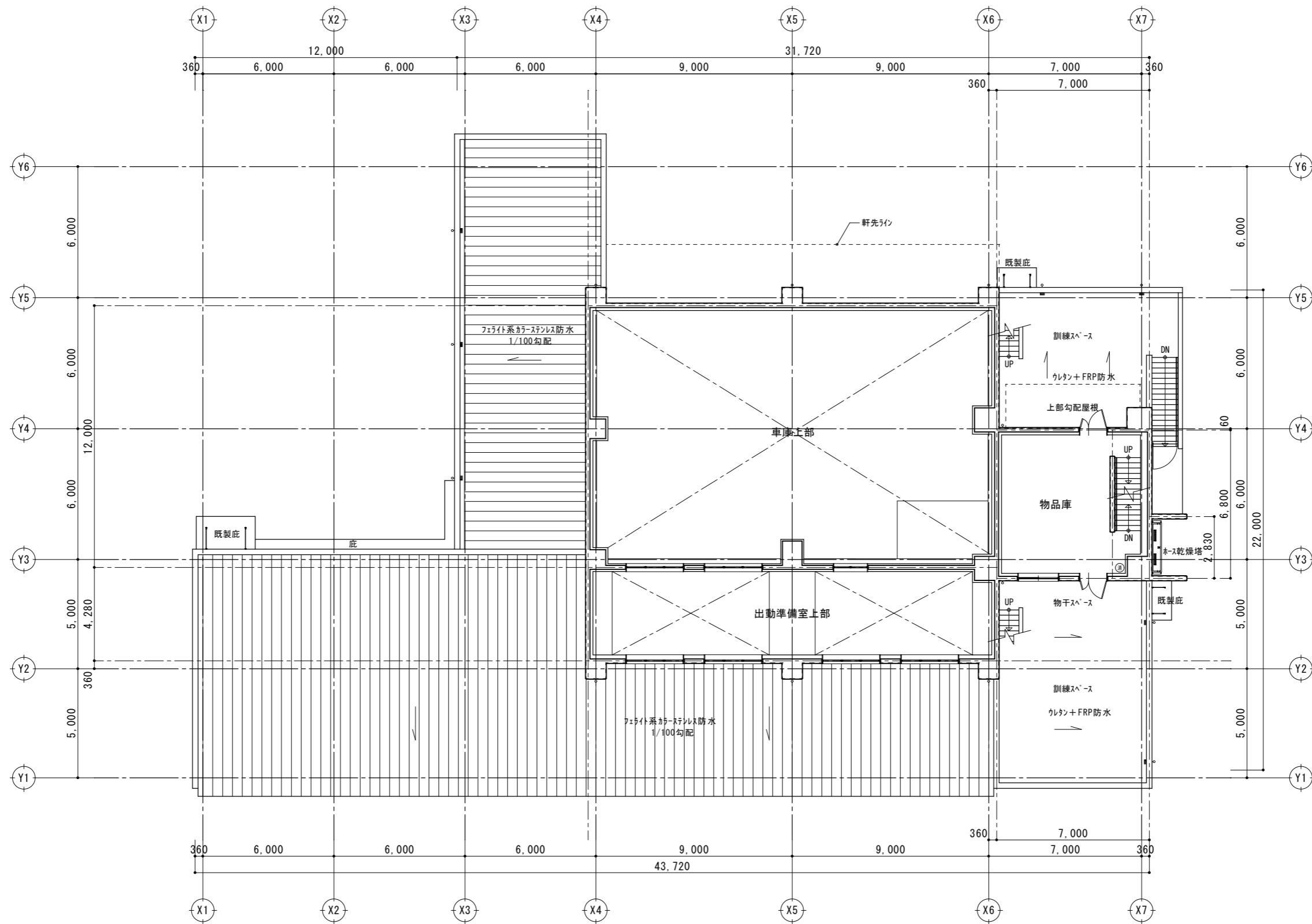


1 階平面図 S=1:200

※ 軒下、底下は屋内適用と無し。



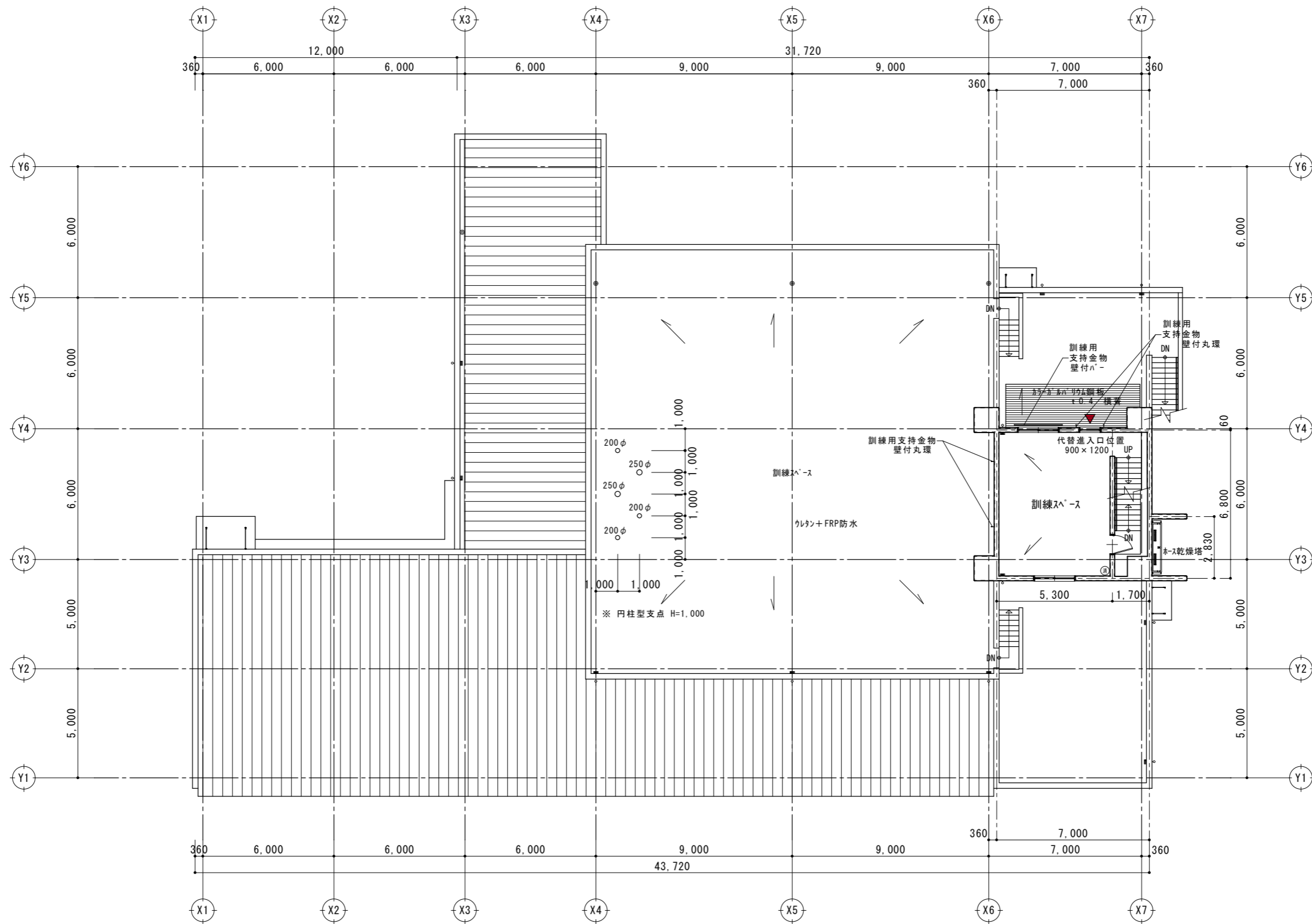
平野建築事務所 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(2703)504号 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日	検図	製図	図面名称	縮尺	工事名称 北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事	図面番号
	R 08・02			1 階平面図	A1-1:100 A3-1:200		



2階平面図 S=1:200

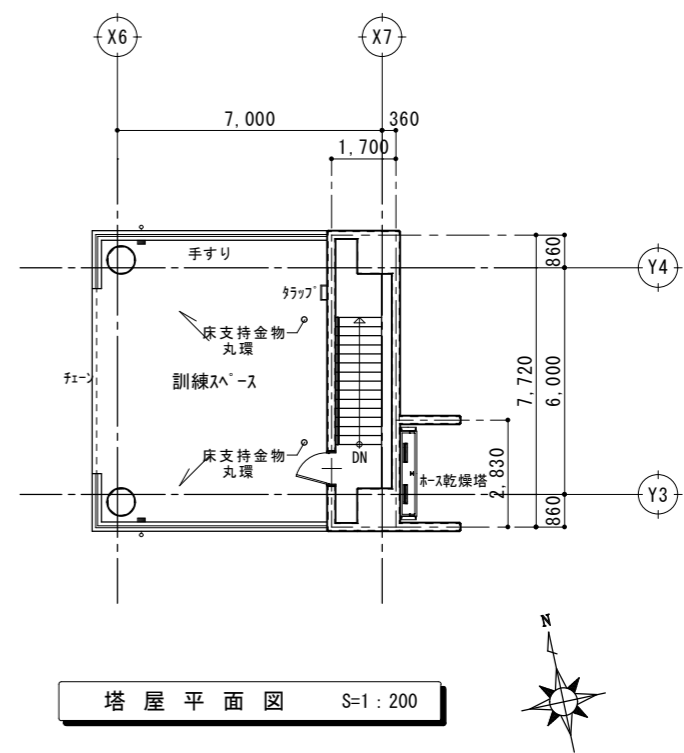
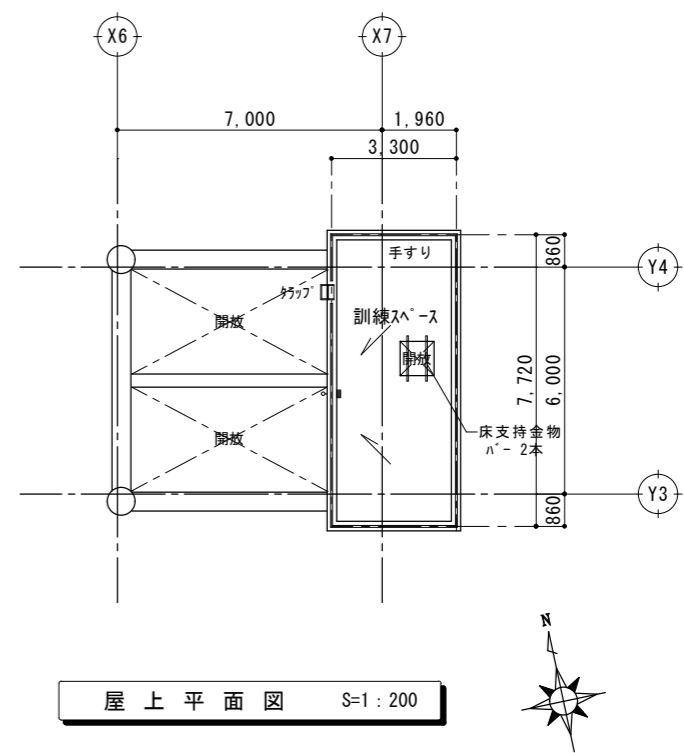
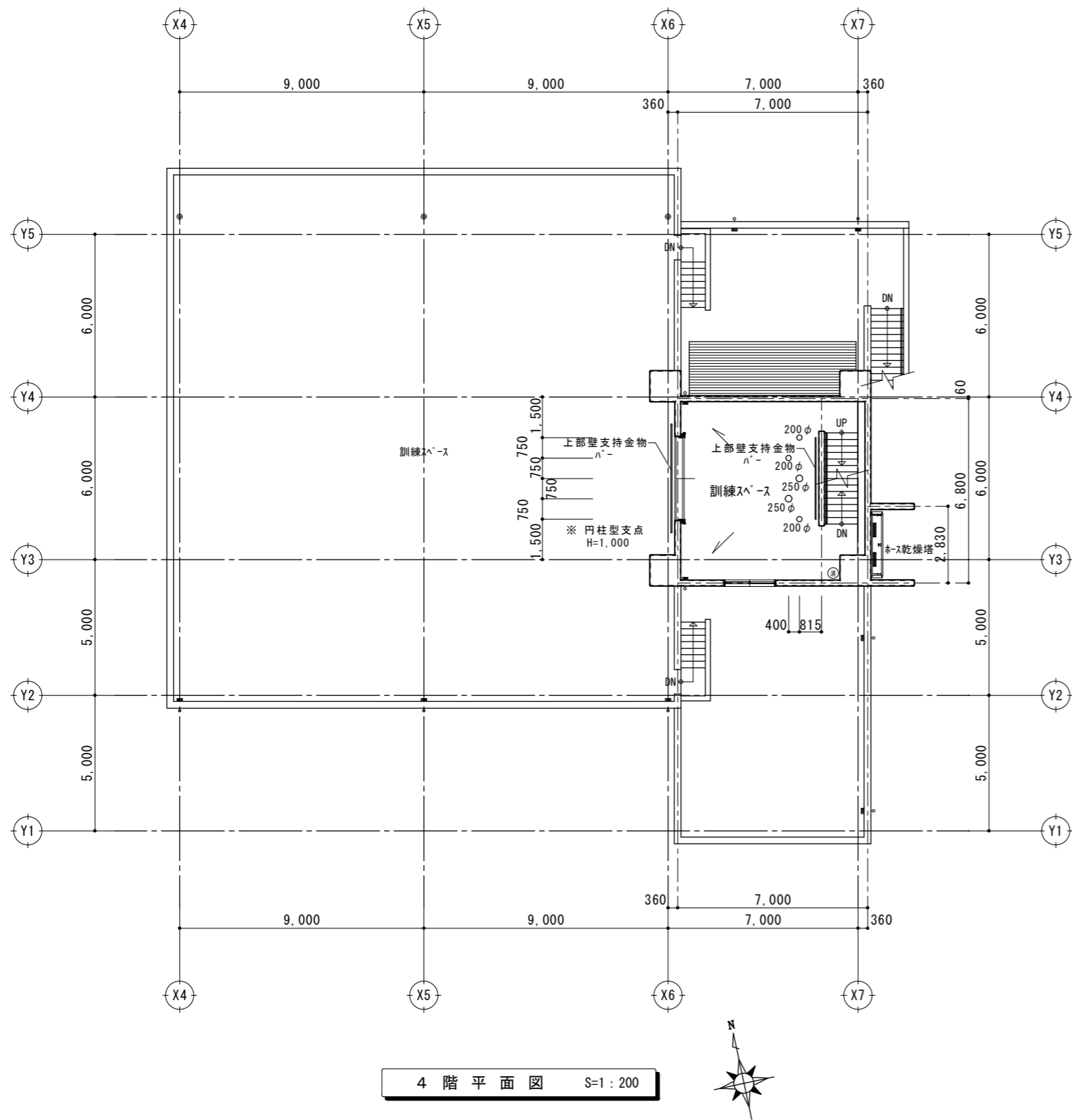
※ 軒下、底下は屋内適用と無し。



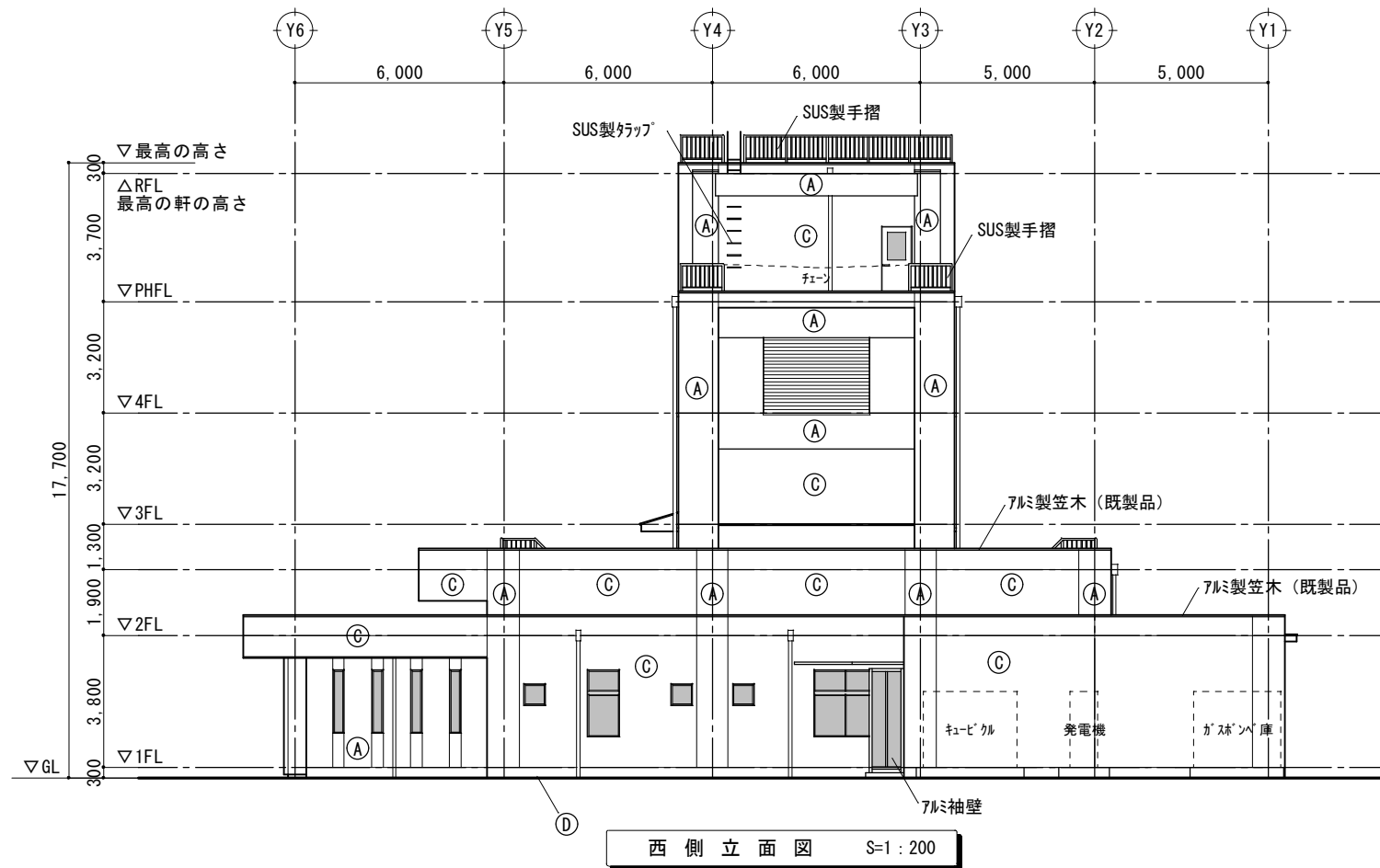
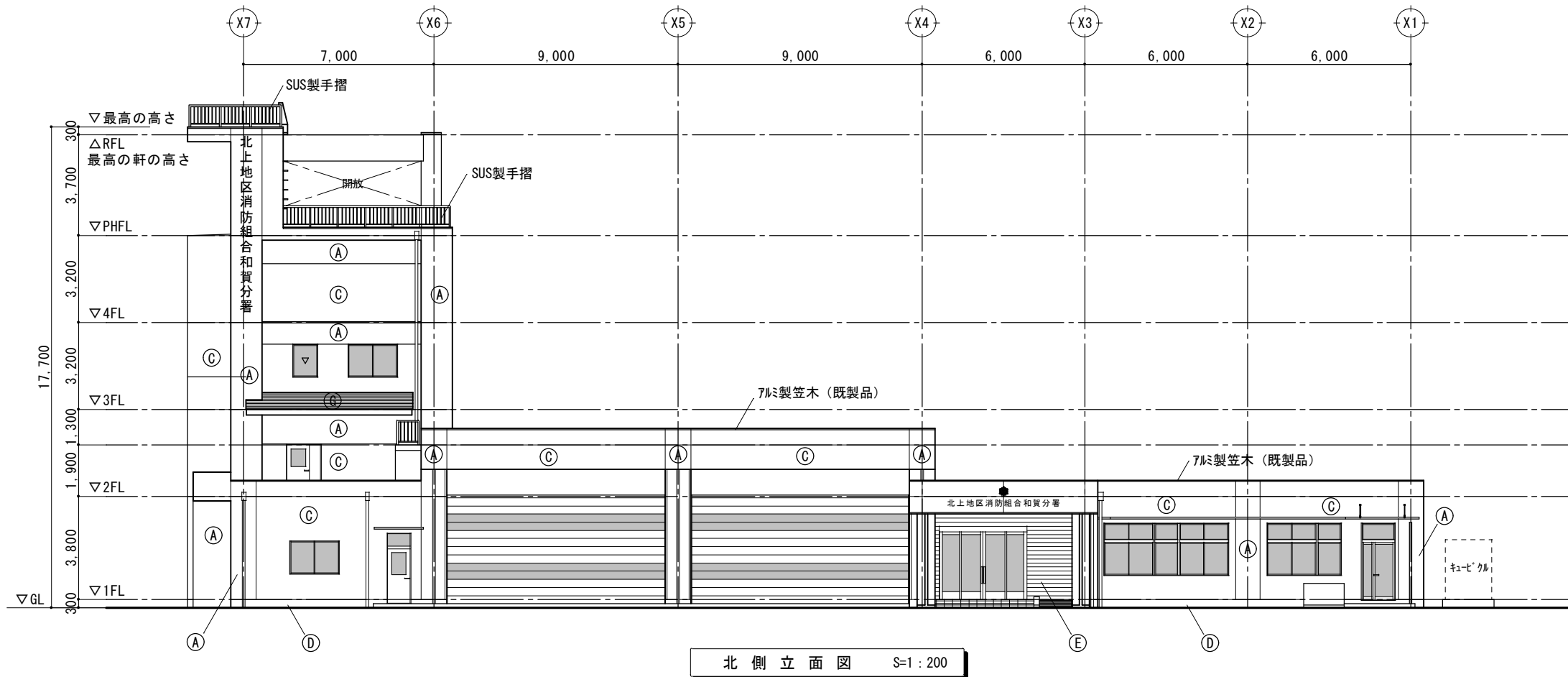


3 階 平 面 図 S=1:200



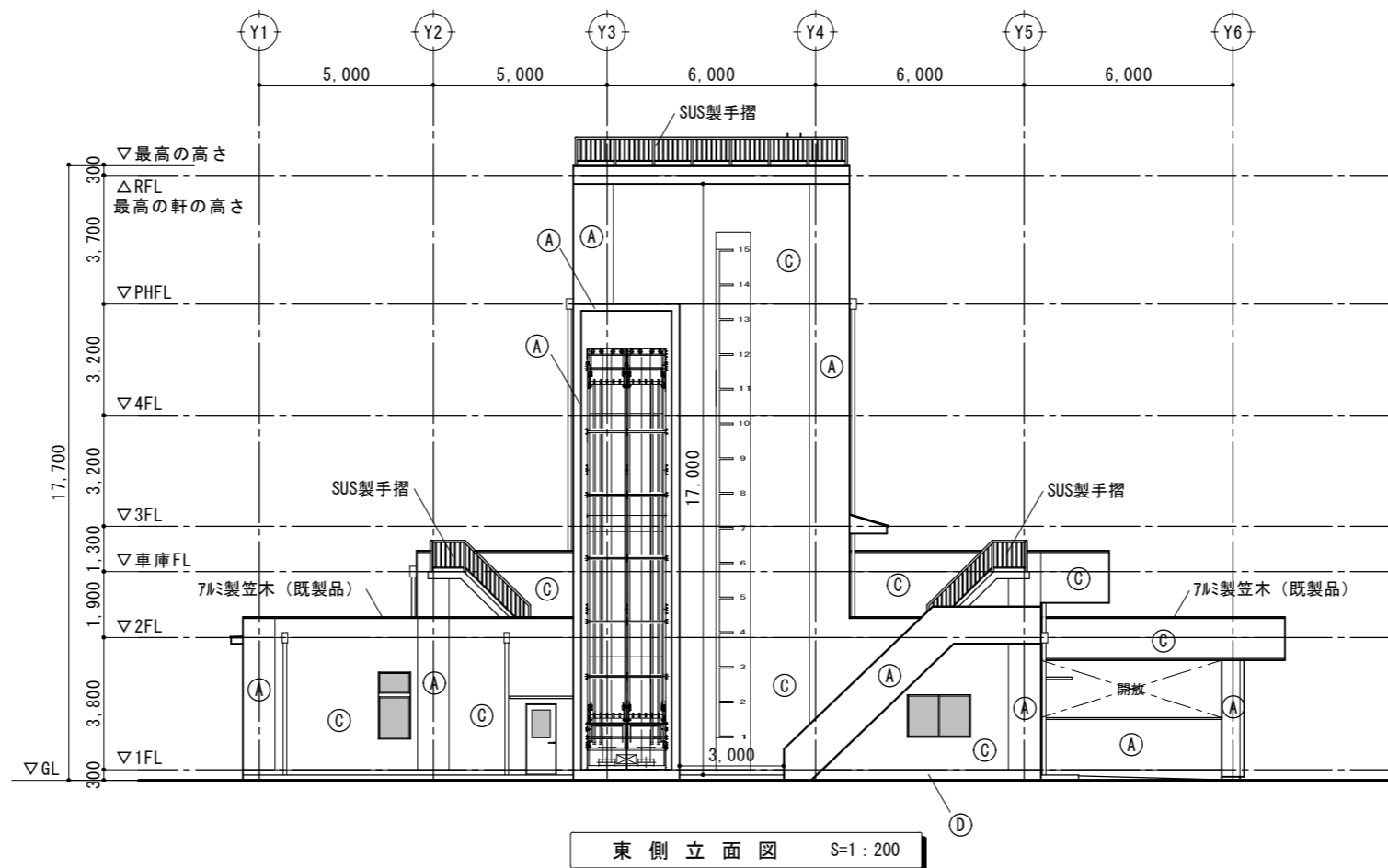
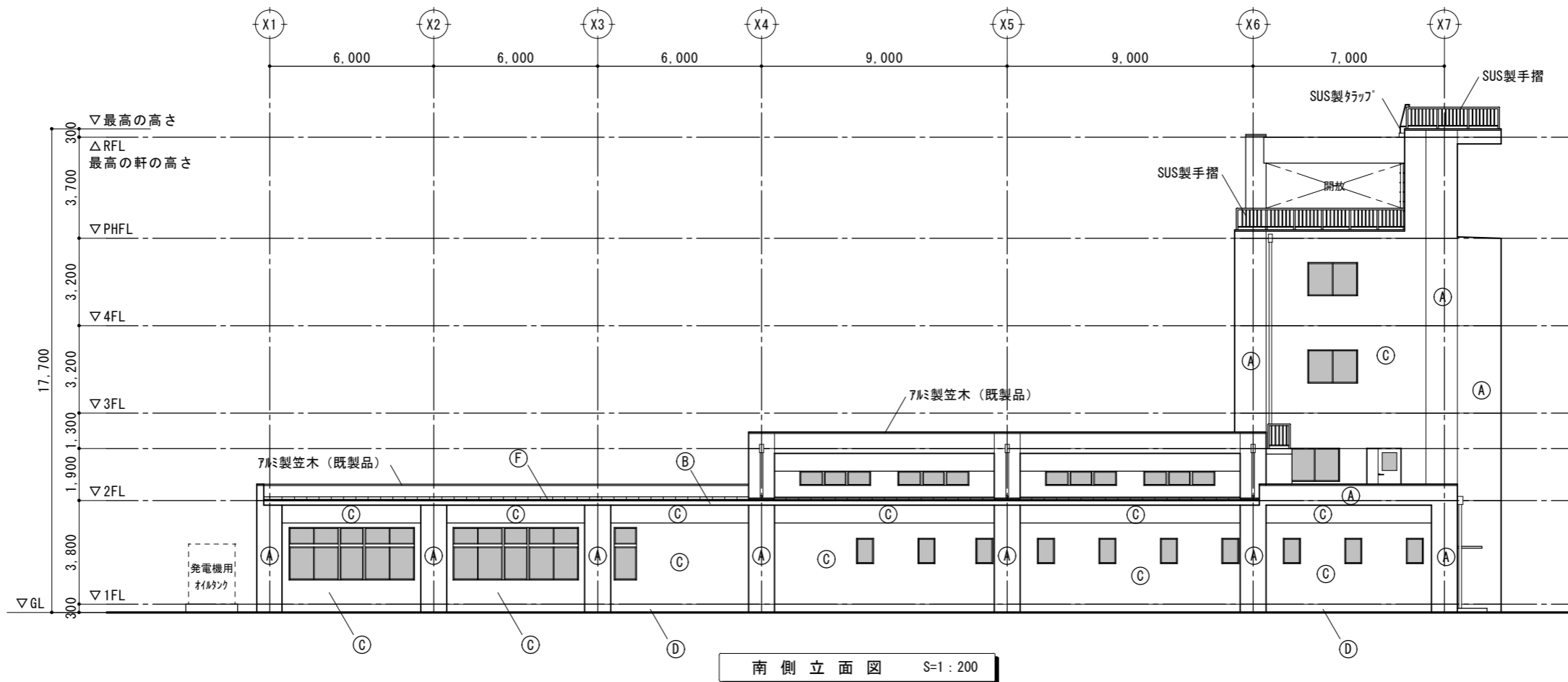


平野建築事務所 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(2703)504号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日	検図	製図	図面名称	縮尺	工事名称 北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事	図面番号
	R 08・02			4階・塔屋・屋上平面図	A1-1:100 A3-1:200		



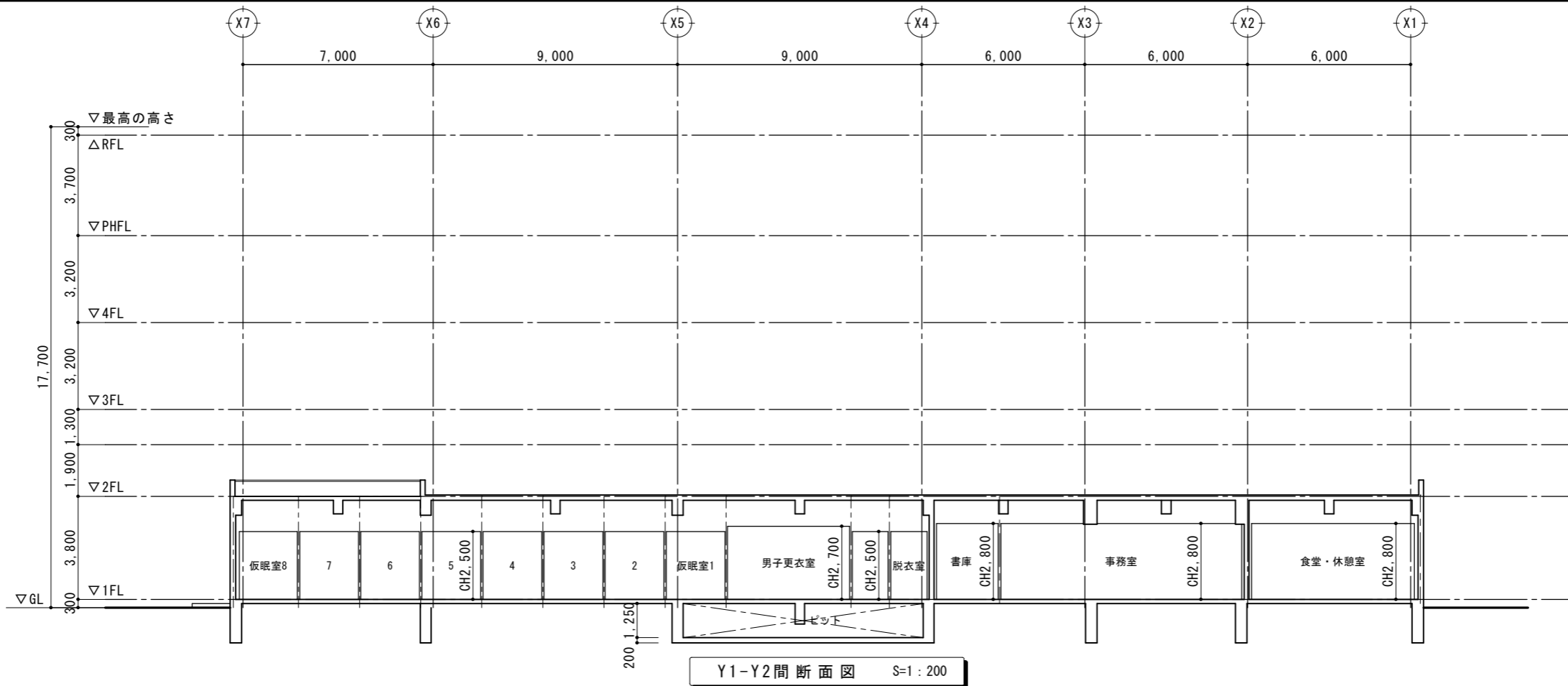
・凡例

符号	仕上げ
(A)	複層塗材E
(B)	外装薄塗材E
(C)	打放しコンクリート塗材
(D)	浸透性吸水防止剤塗
(E)	羽目板ヨコ張り+WP
(F)	フェライト系カラーステンレス防水
(G)	カラーガルバリウム鋼板横葺き屋根

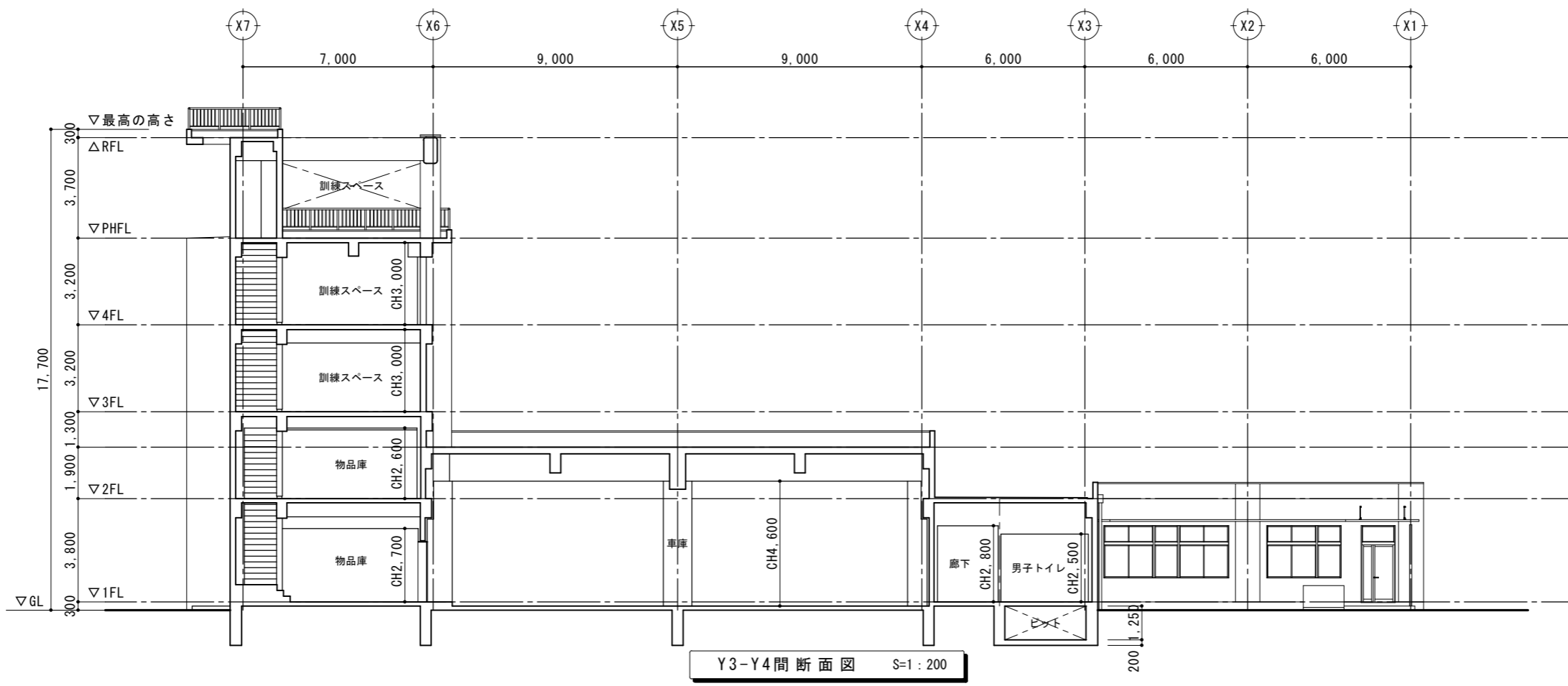


・凡例

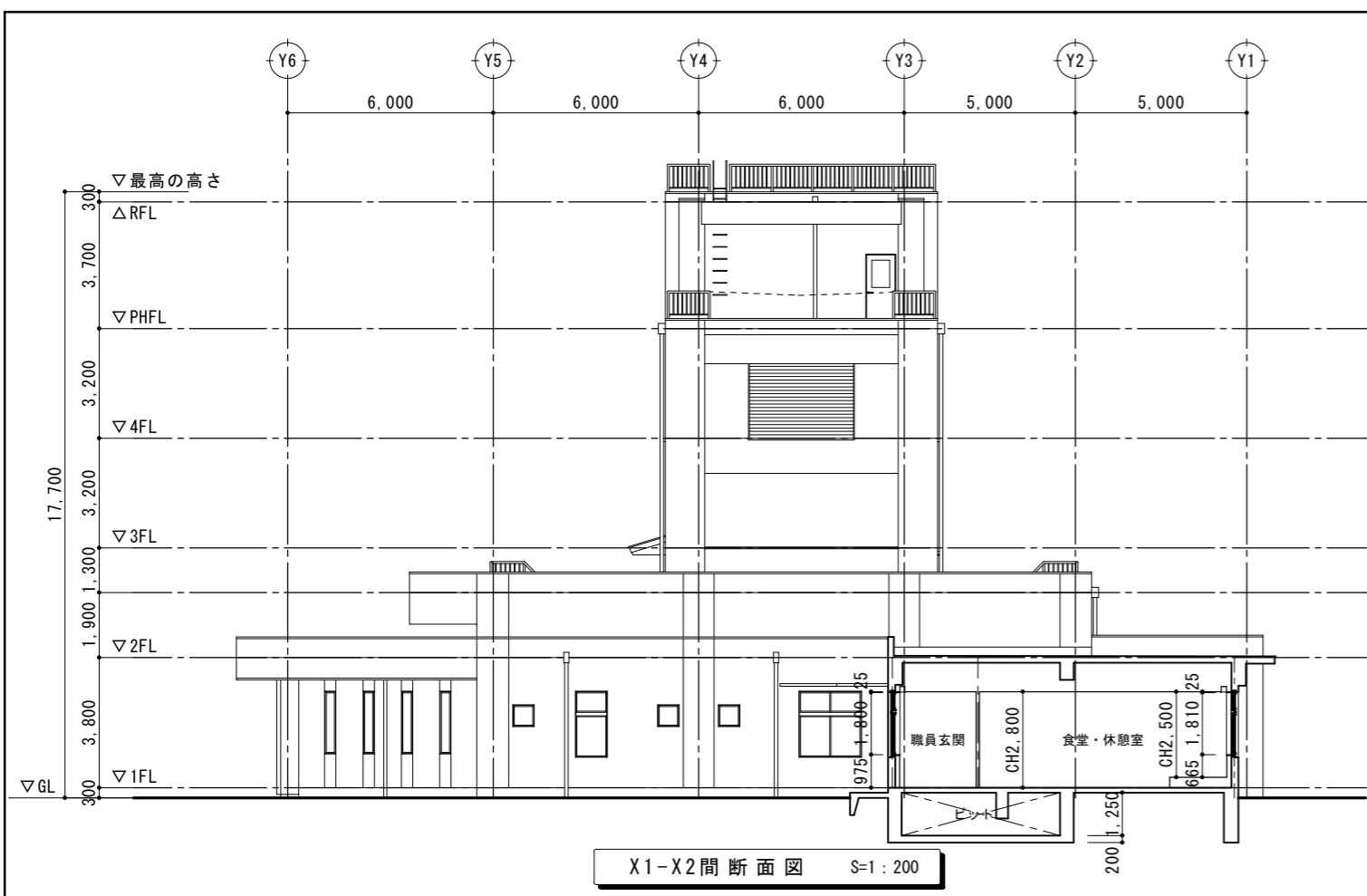
符号	仕上げ
(A)	複層塗材 E
(B)	外装薄塗材 E
(C)	打放しコンクリート塗材
(D)	浸透性吸水防止剤塗
(E)	羽目板ヨコ張り+WP
(F)	フェライト系カーステンレス防水
(G)	カラーガルバリウム鋼板横葺き屋根



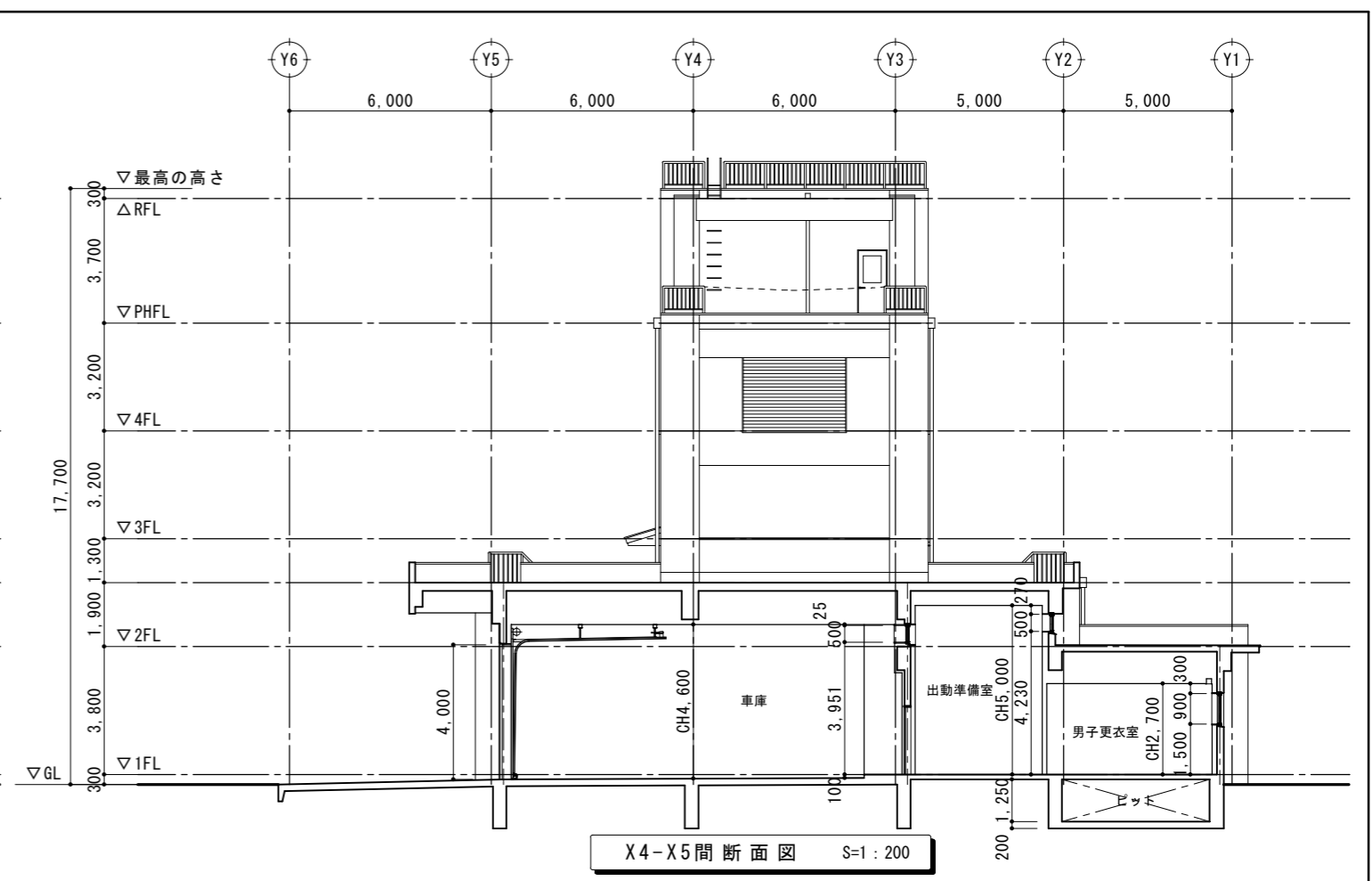
Y1-Y2間断面図 S=1:200



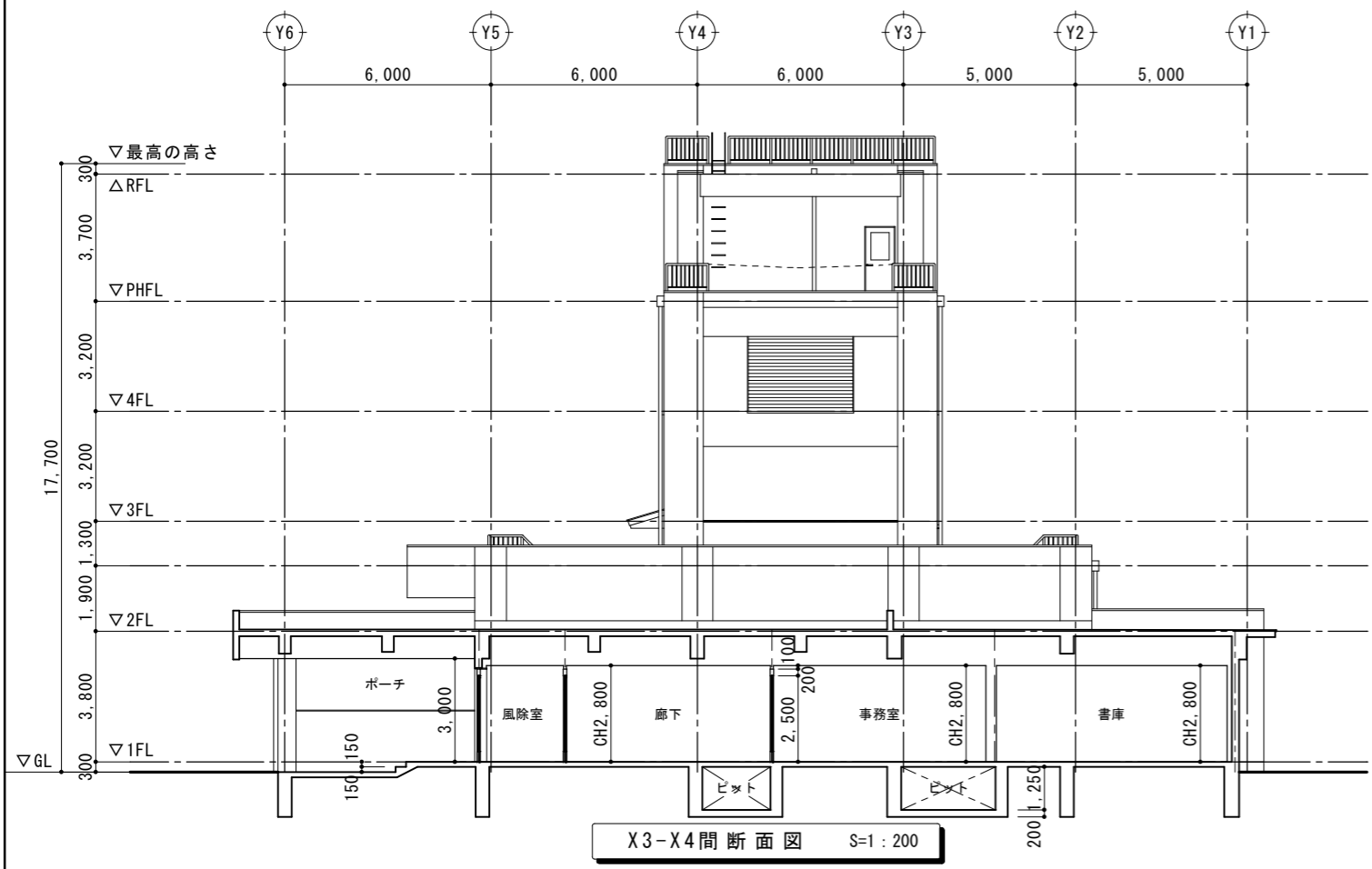
Y3-Y4間断面図 S=1:200



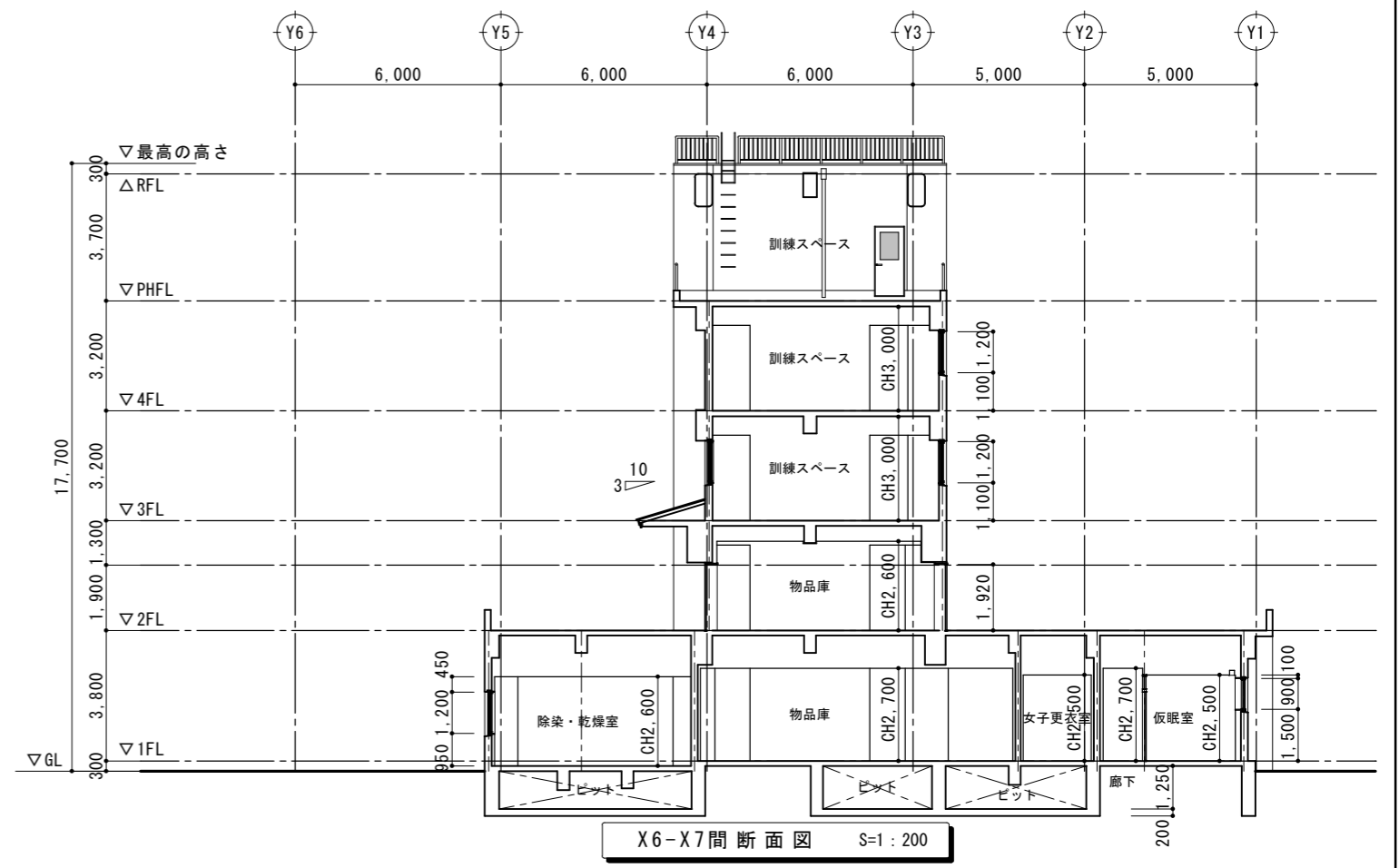
X1-X2間断面図 S=1:200



X4-X5間断面図 S=1:200

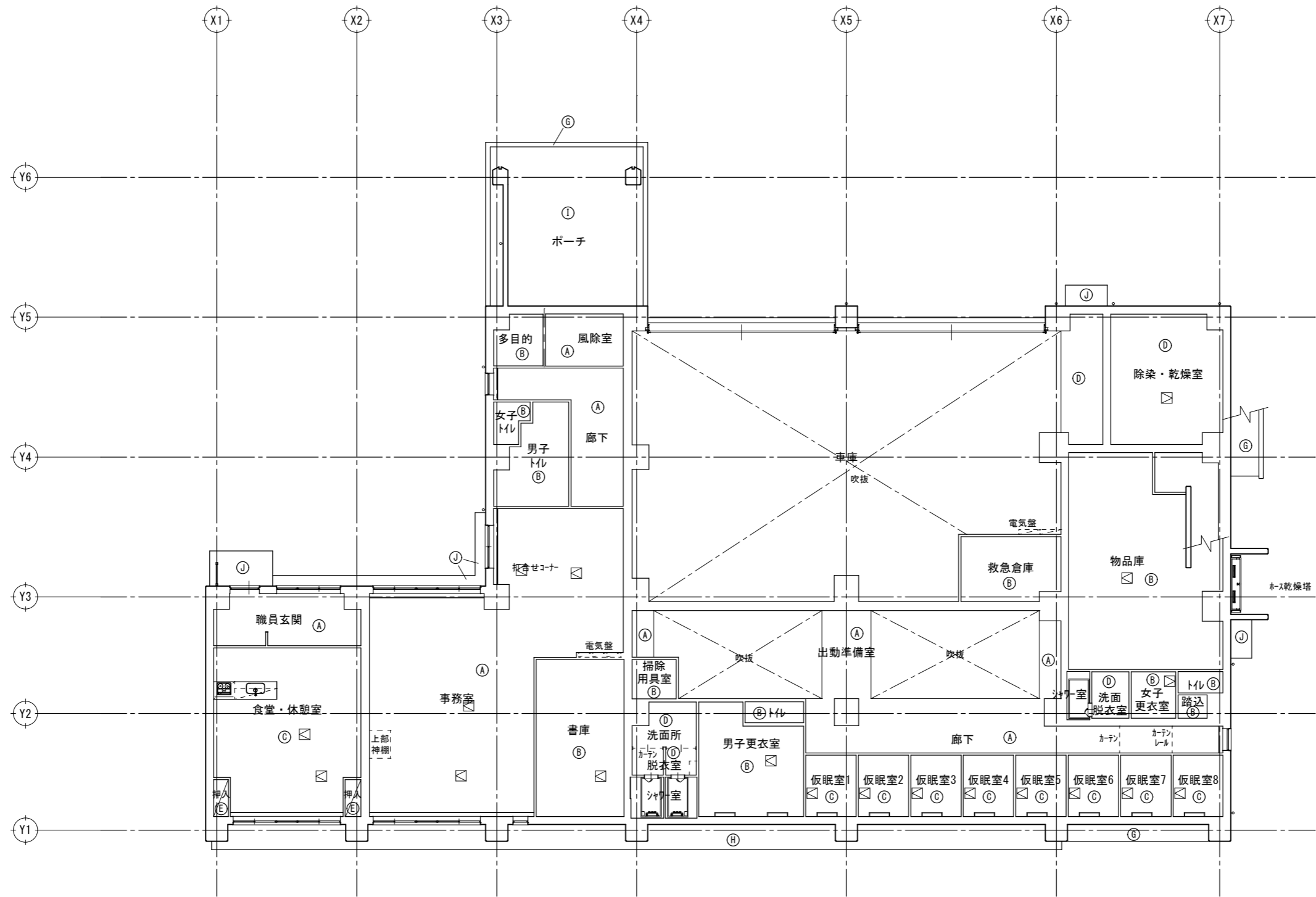


X3-X4間断面図 S=1:200



X6-X7間断面図 S=1:200

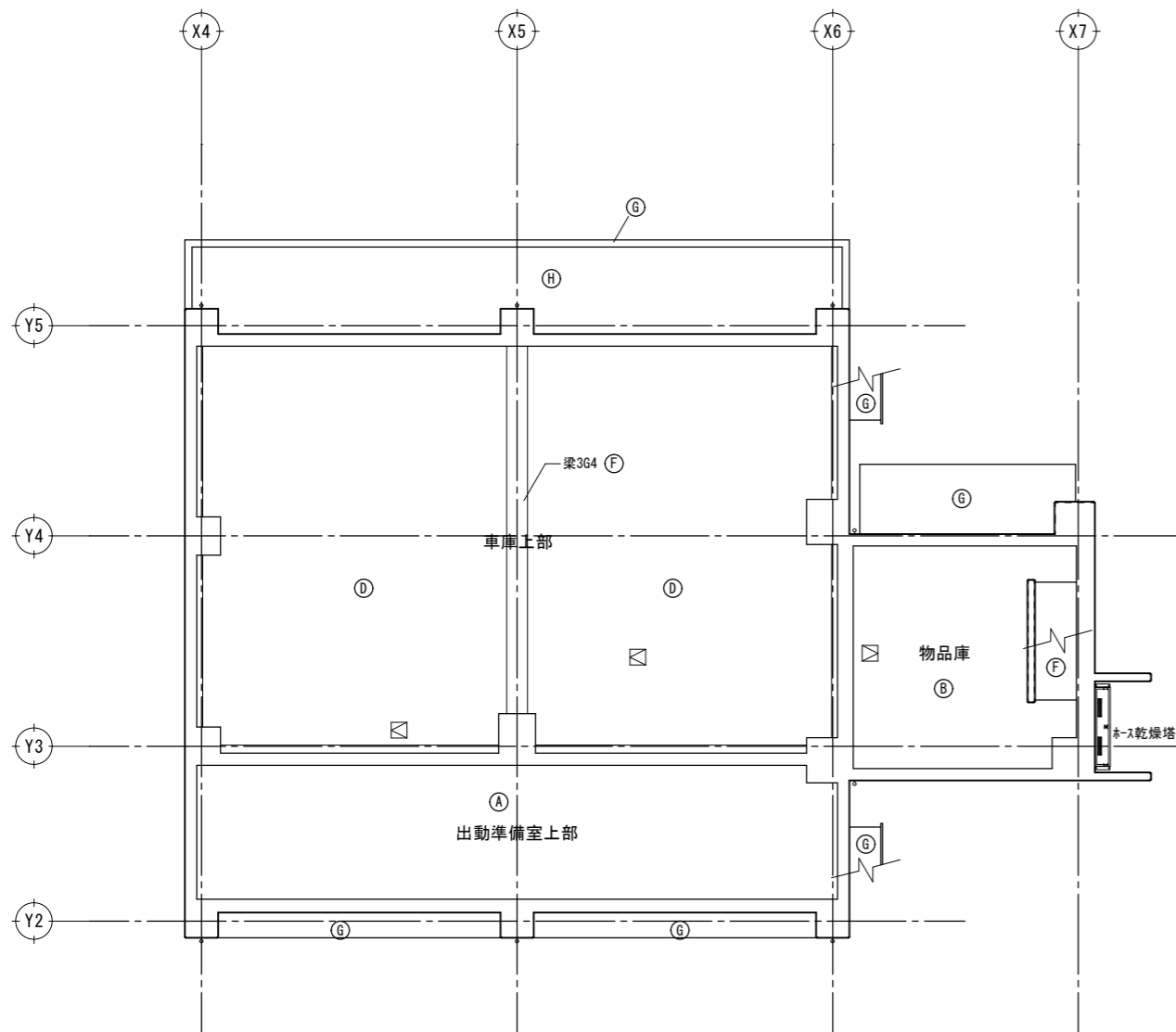
平野建築事務所 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(2703)504号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日 R 08・02	検図	製図	図面名称	縮尺	工事名称 北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事	図面番号 A-20
				断面図 No.2	A1-1:100 A3-1:200		



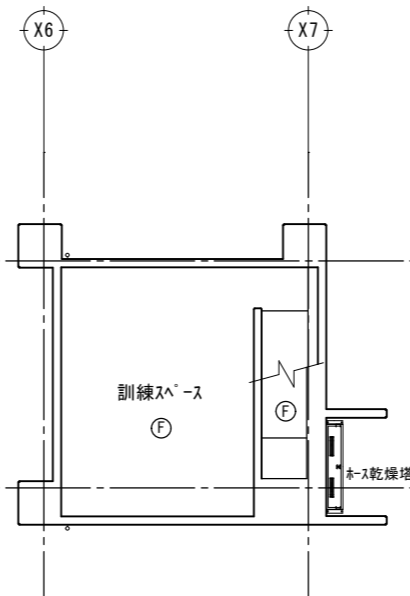
1階天井伏図 S=1:200



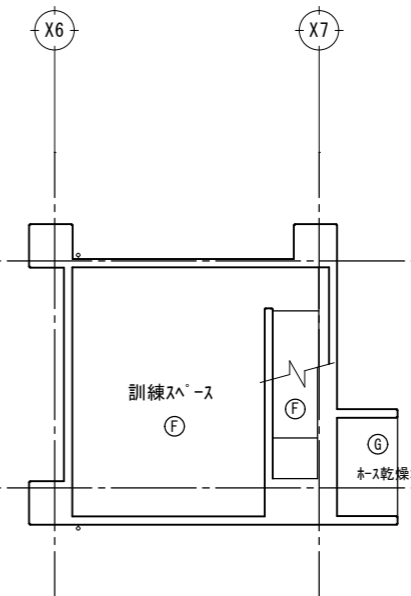
天井伏図：凡例	
符号	仕上げ
(A)	PBt9.5 (下地張り) + ロックウール化粧吸音板t9.0
(B)	化粧PBt9.5
(C)	PBt9.5 (継目処理) + 化粧クロス
(D)	ケイ酸板t6.0 (目透かし) + EP塗
(E)	押入板t9.5
(F)	コンクリート補修+浸透性撥水剤塗布
(G)	外装薄塗塗材E吹付
(H)	ケイ酸板t6.0 (7&3HV' オイター) + EP塗
(I)	7&3製 ント' レ
(J)	7&3製 庇
□	天井点検口 (特記無きは450×450)



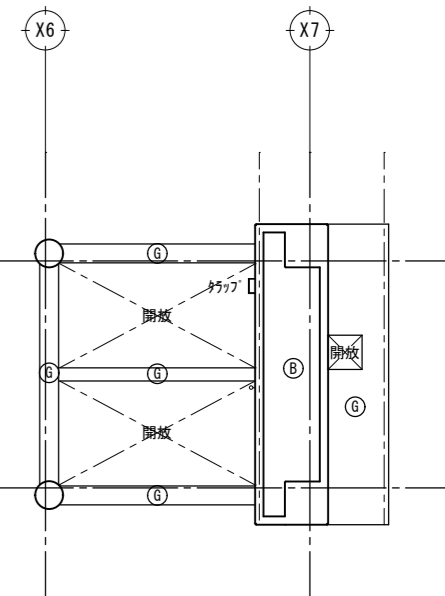
2階天井伏図 S=1:200



3階天井伏図 S=1:200



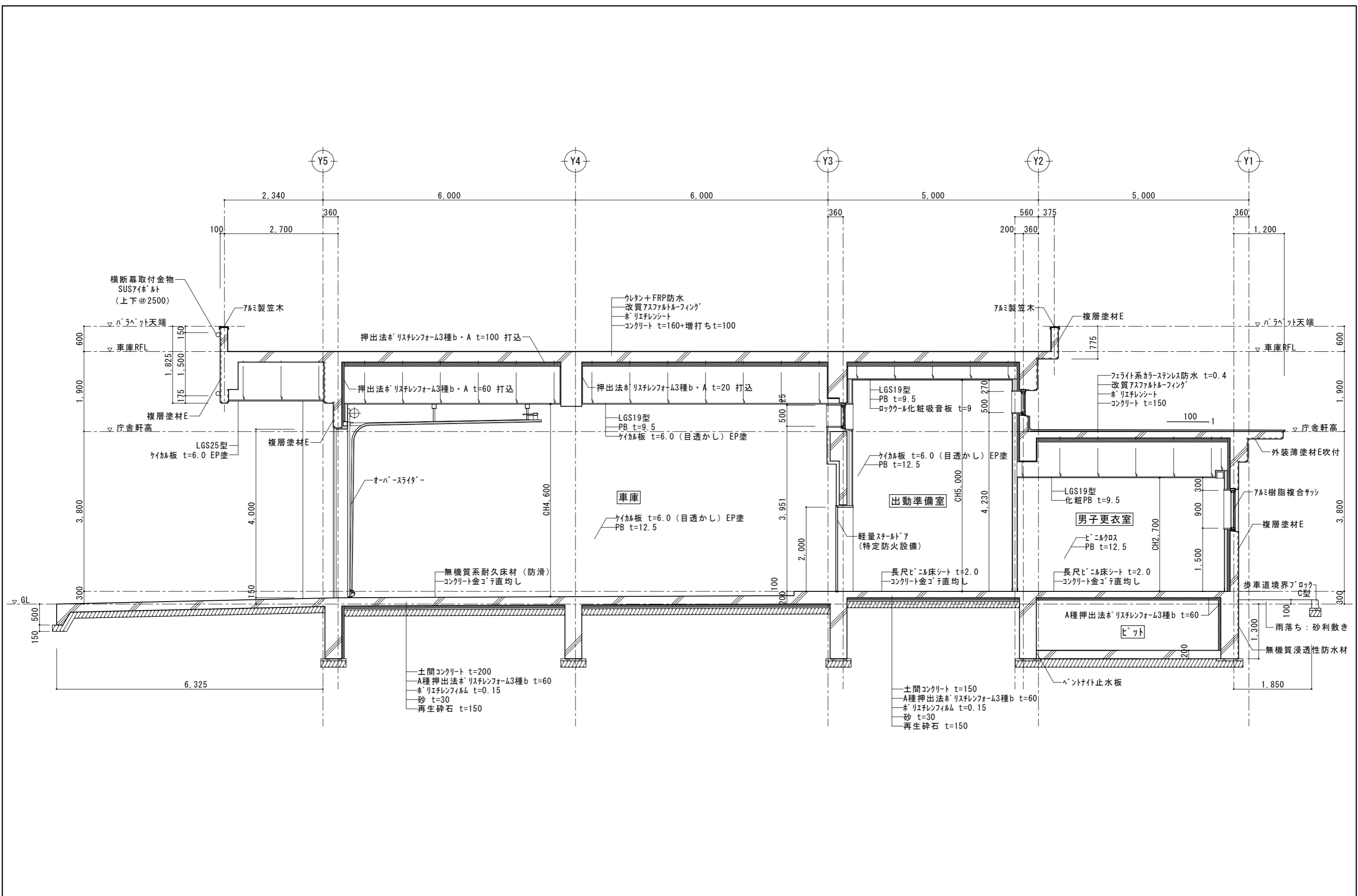
4階天井伏図 S=1:200



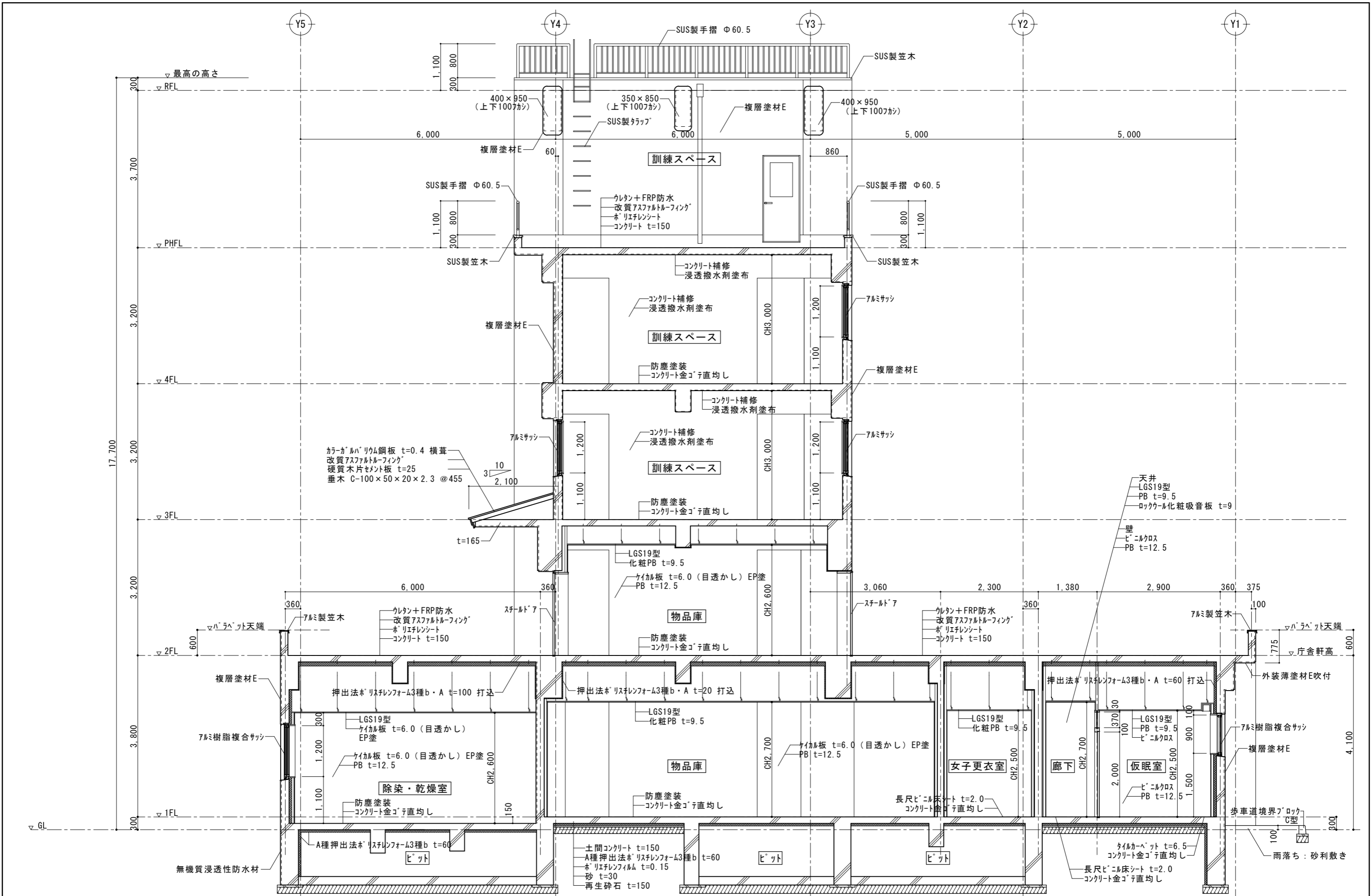
塔屋天上伏図 S=1:200



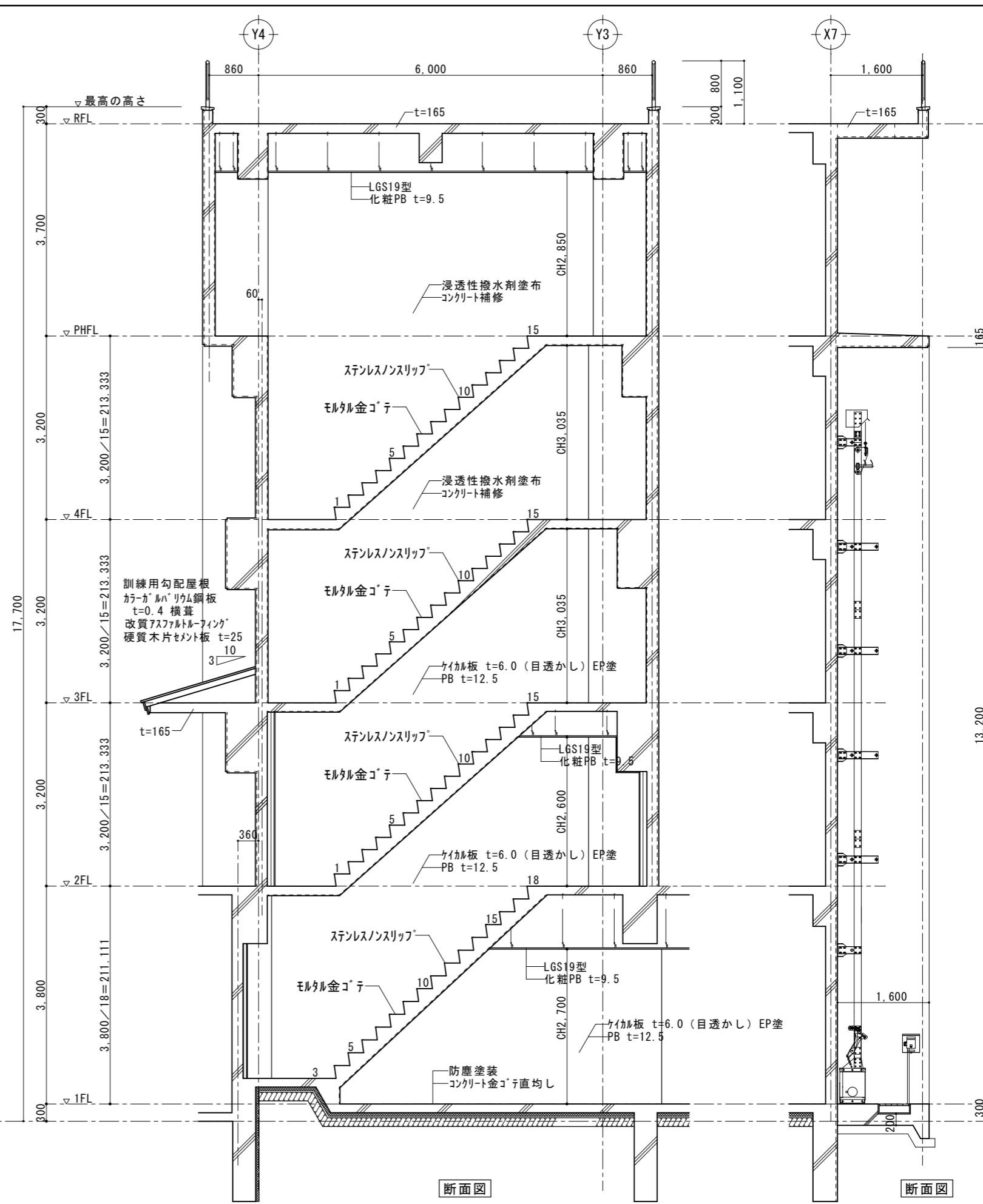
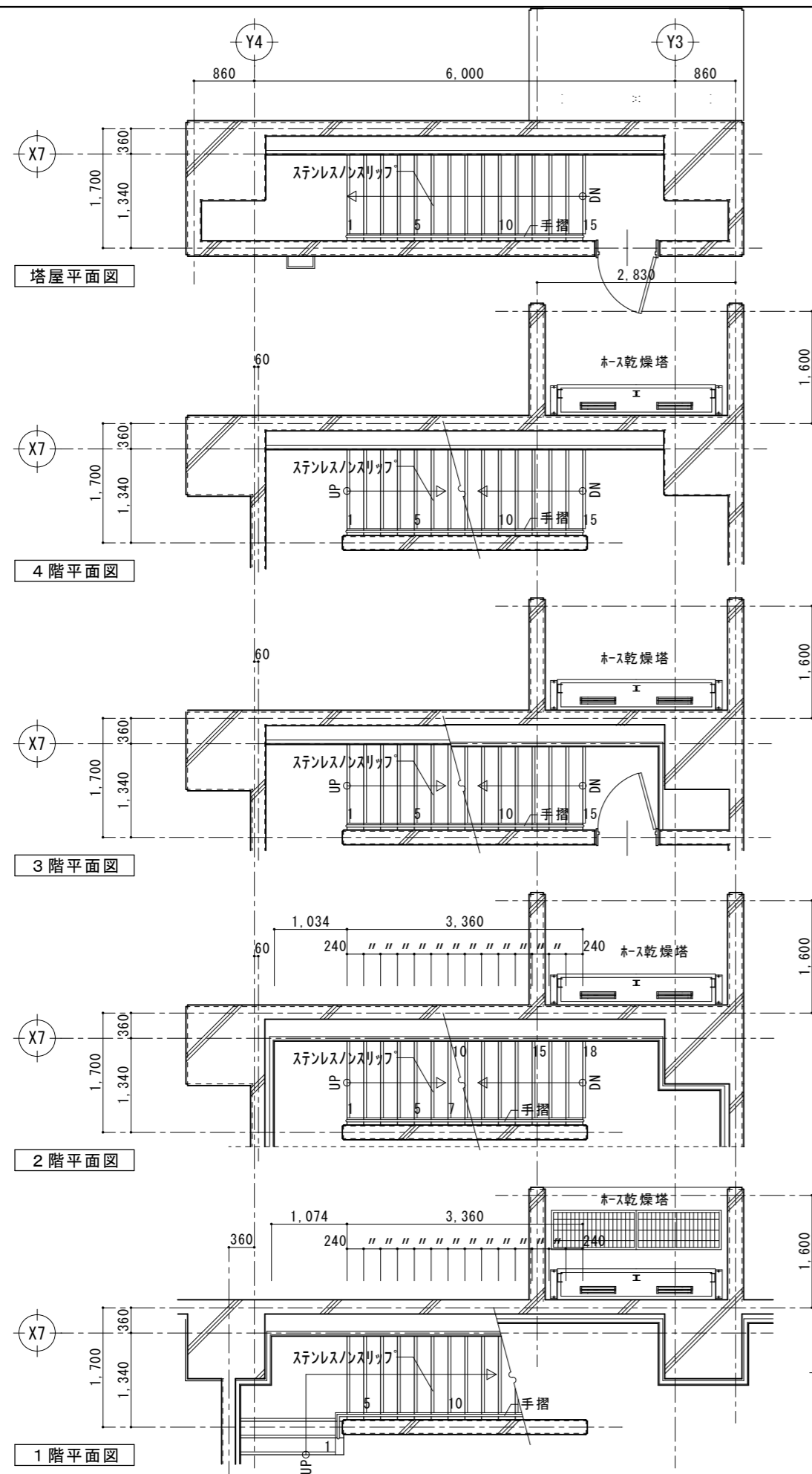
天井伏図：凡例	
符号	仕上げ
(A)	PBt9.5 (下地張り) + ロックウール化粧吸音板t9.0
(B)	化粧PBt9.5
(C)	PBt9.5 (継目処理) + 化粧クロス
(D)	ケイ酸板t6.0 (目透かし) + EP塗
(E)	押入板t9.5
(F)	コンクリート補修+浸透性撥水剤塗布
(G)	外装薄塗塗材E吹付
(H)	ケイ酸板t6.0 (7&8mmH' ョイテ-) + EP塗
(I)	7&8mmH' ント' ll
(J)	7&8mm 底
□	天井点検口 (特記無きは450×450)

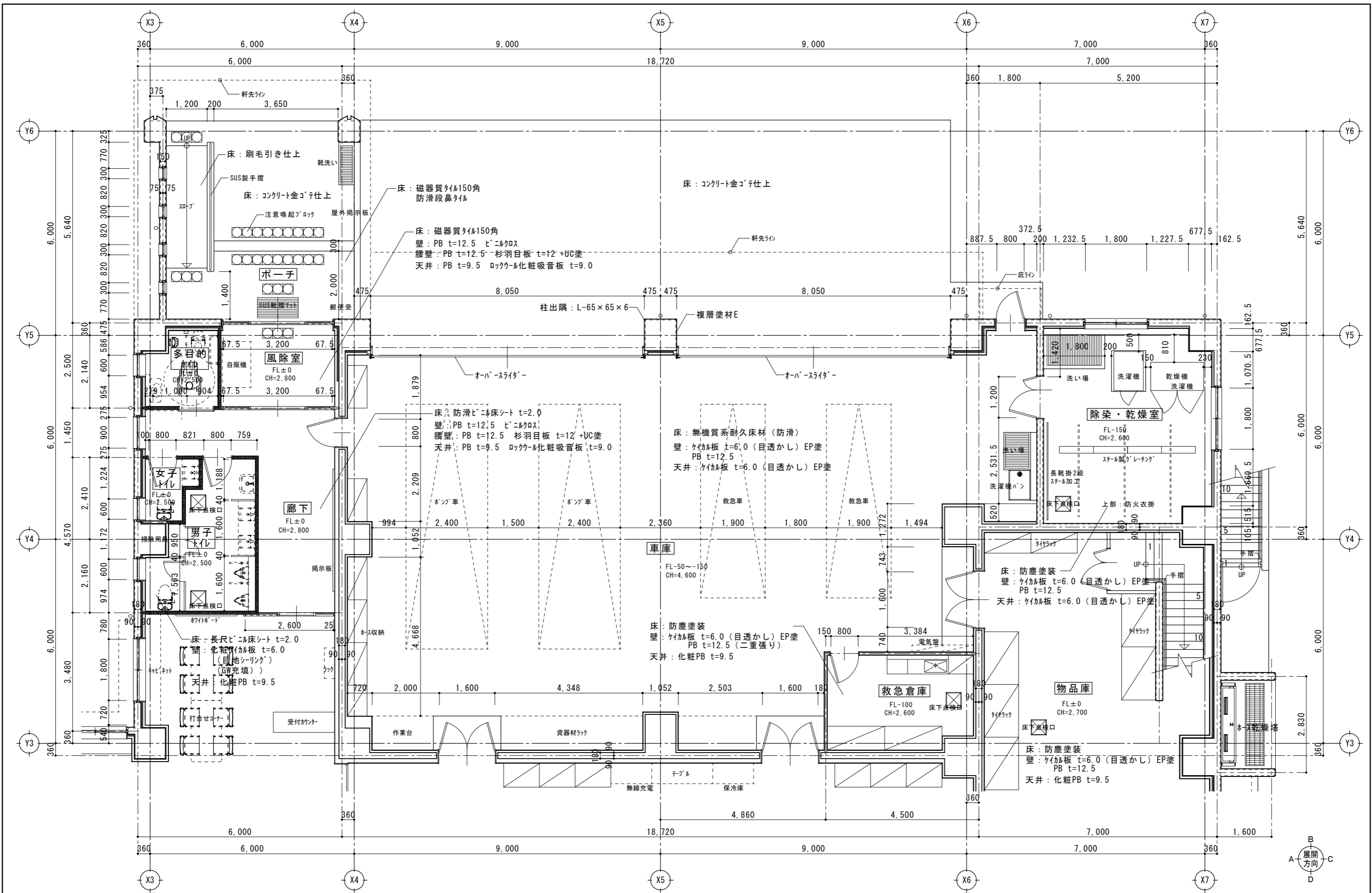


平野建築事務所 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(2703)504号 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日	検図	製図	図面名称	縮尺	工事名称	図面番号
	R 08・02			矩計図 No. 2	A1-1:40 A3-1:80	北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事 設計図	A-24

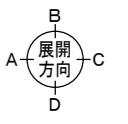


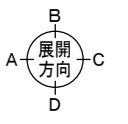
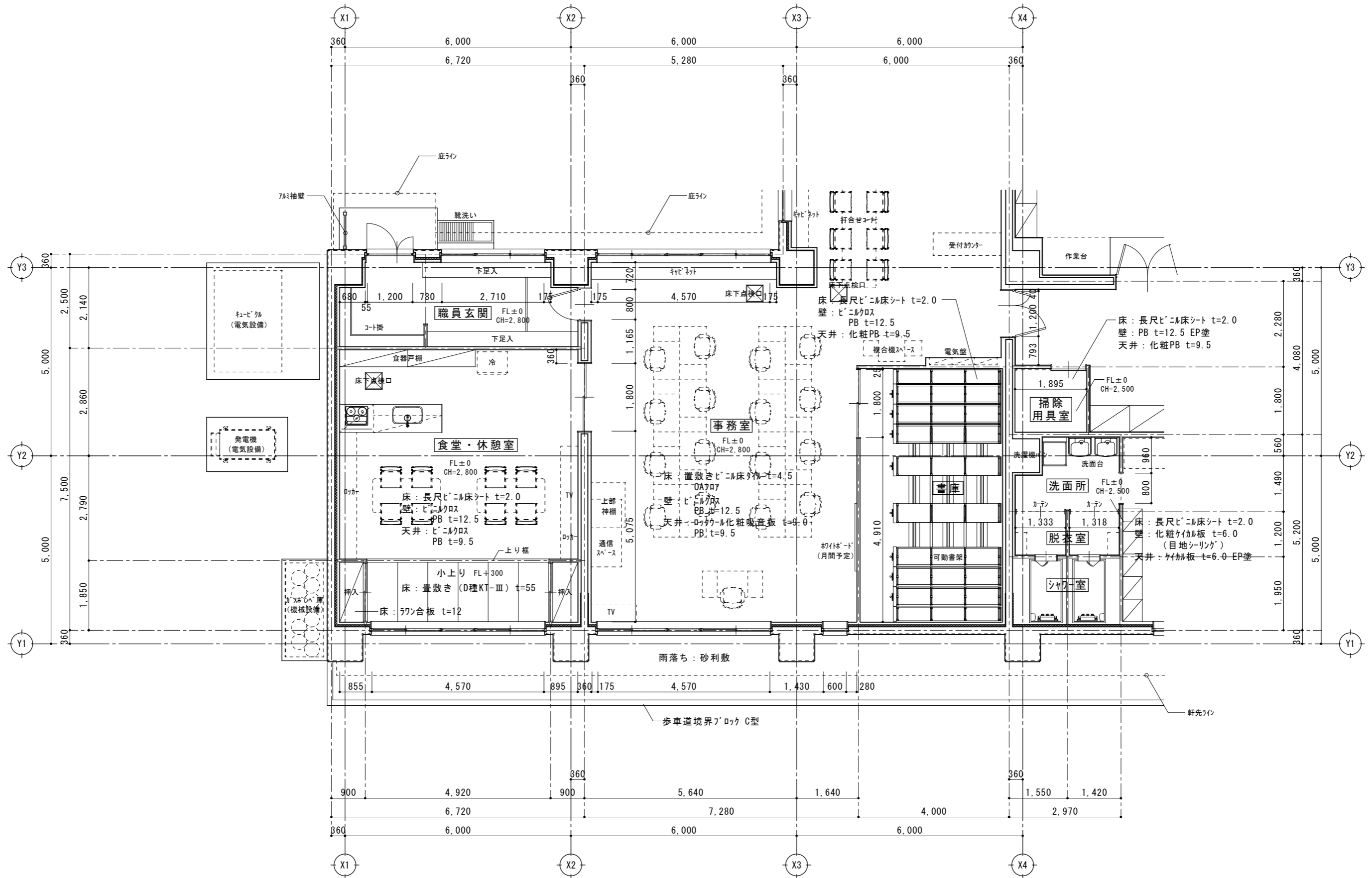
<p>平野建築事務所 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号</p>	<p>一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(2703)504号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855</p>	<p>設計年月日 R 08・02</p>	<p>検図</p>	<p>製図</p>	<p>図面名称 矩計図 No.3</p>	<p>縮尺 A1-1:40 A3-1:80</p>	<p>工事名称 北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事</p>	<p>図面番号 A-25</p>
---	---	----------------------	-----------	-----------	----------------------	---------------------------	---------------------------------	------------------



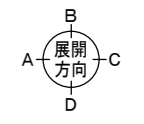
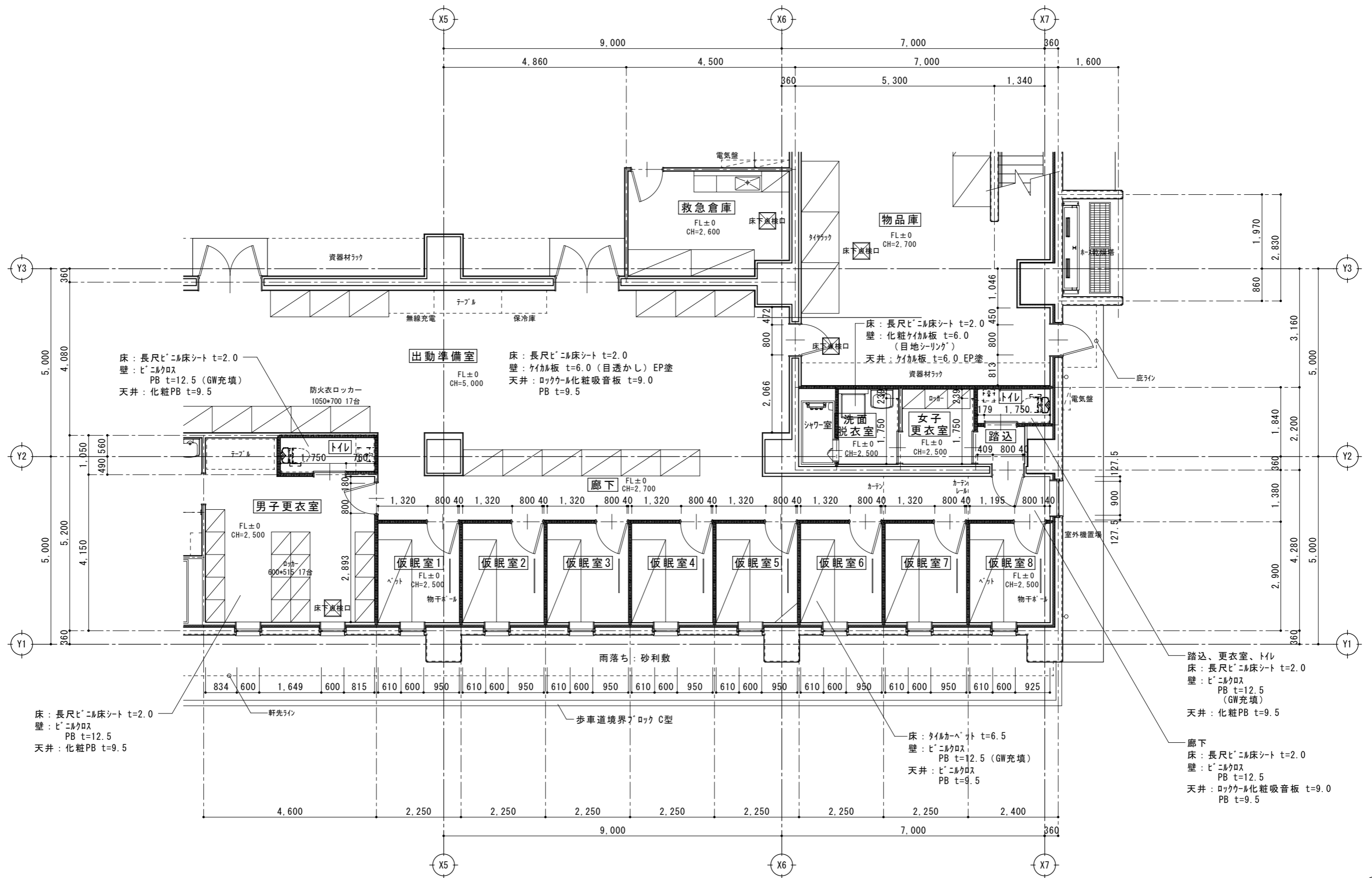


平野建築事務所 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(2703)504号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日	検図	製図	図面名称	縮尺	工事名称 北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事	図面番号
	R 08・02			1階 平面詳細図 No.1	A1-1:50 A3-1:100		

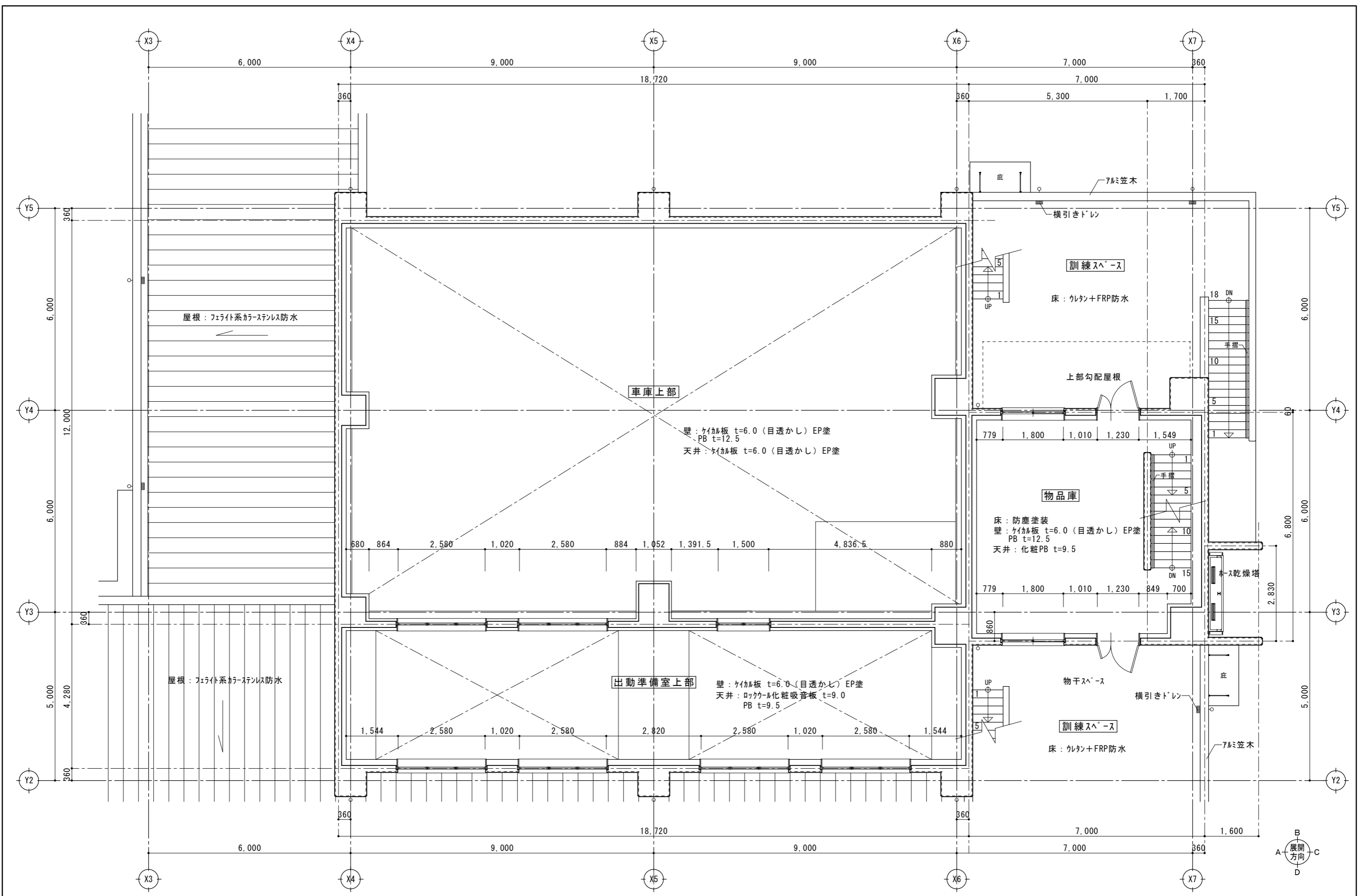




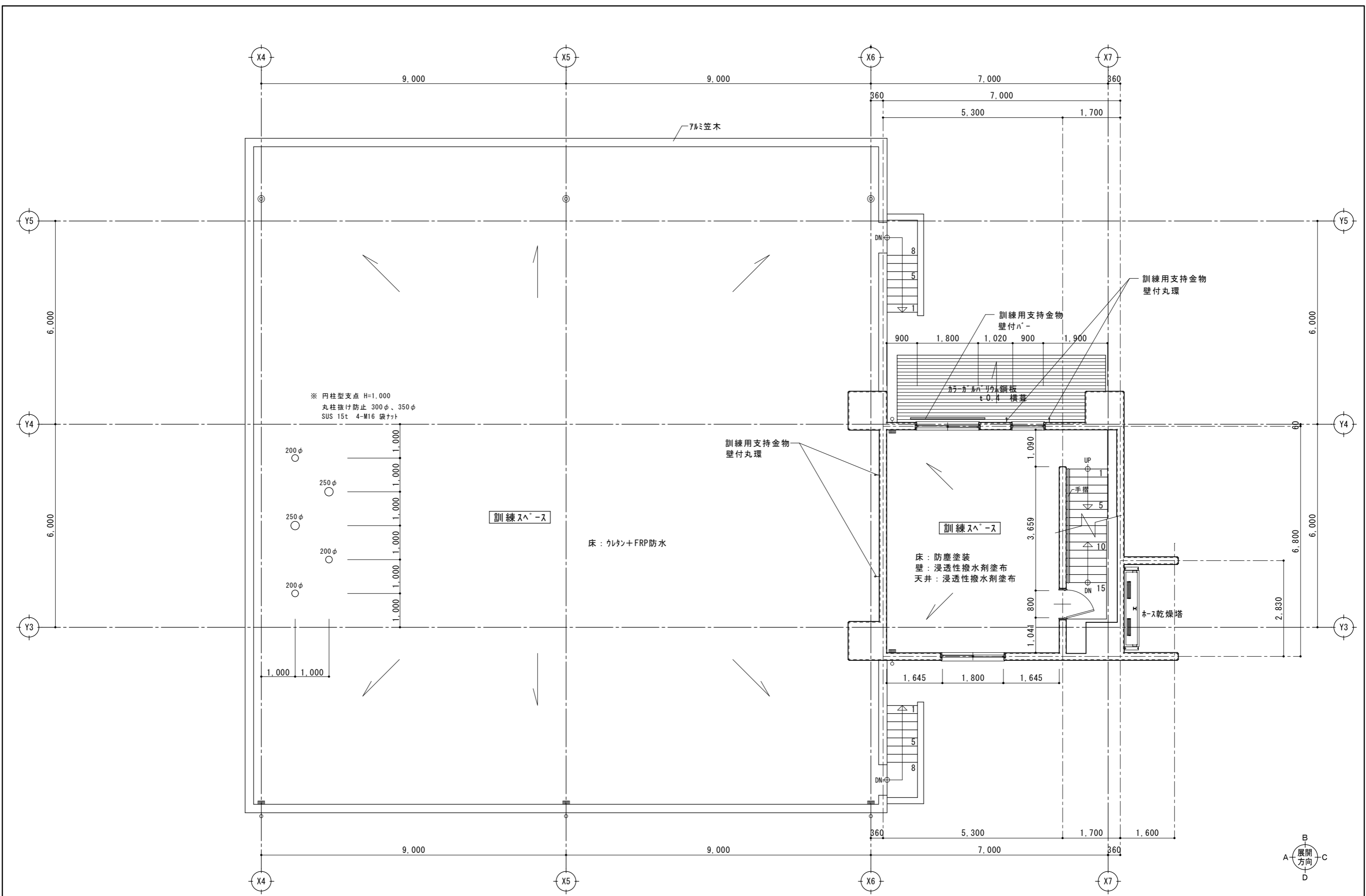
平野建築事務所 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(2703)504号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日 R 08・02	検図	製図	図面名称	縮尺	工事名称 北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事	図面番号 A-28
				1階 平面詳細図 No.2	A1-1:50 A3-1:100		



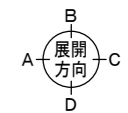
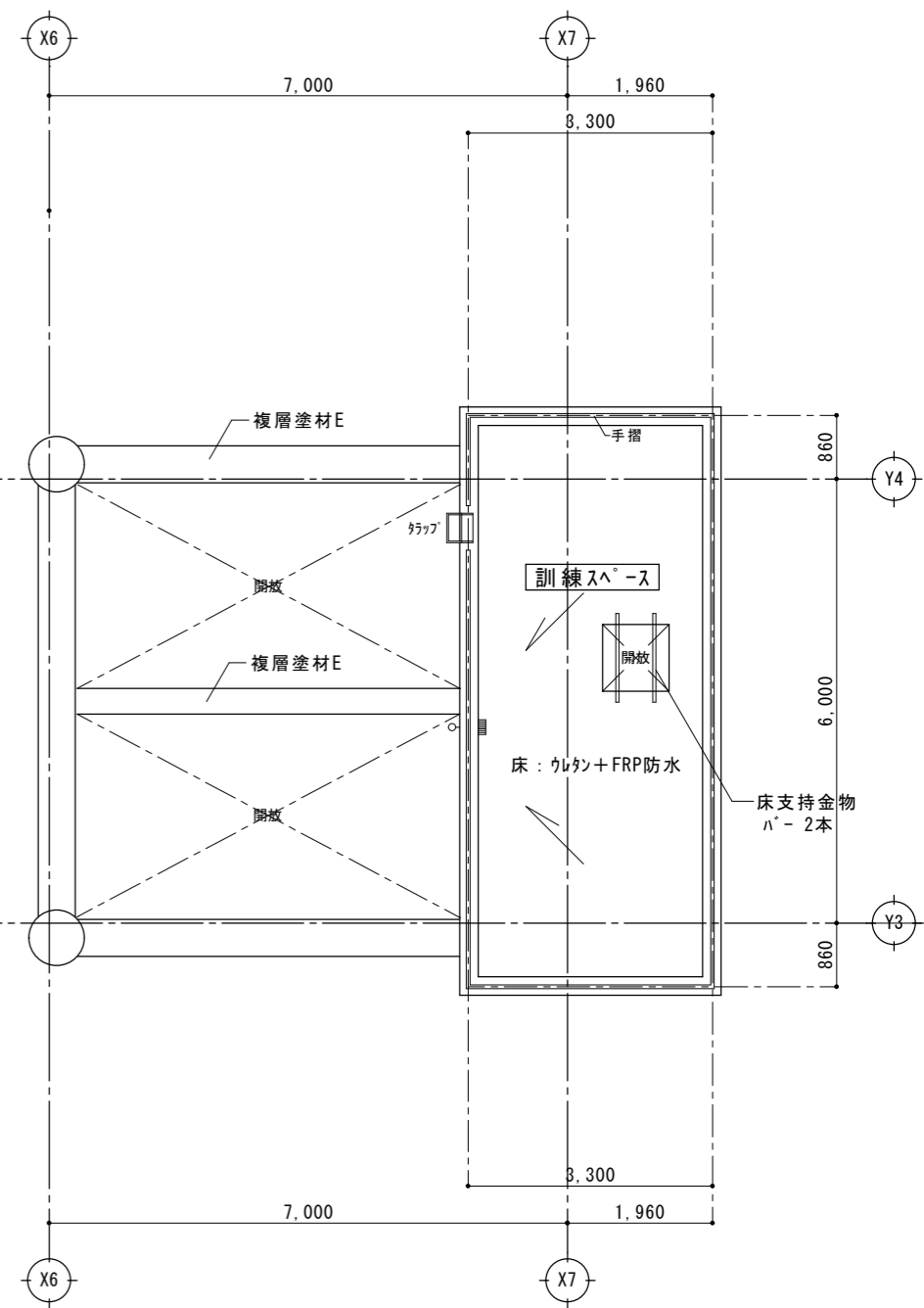
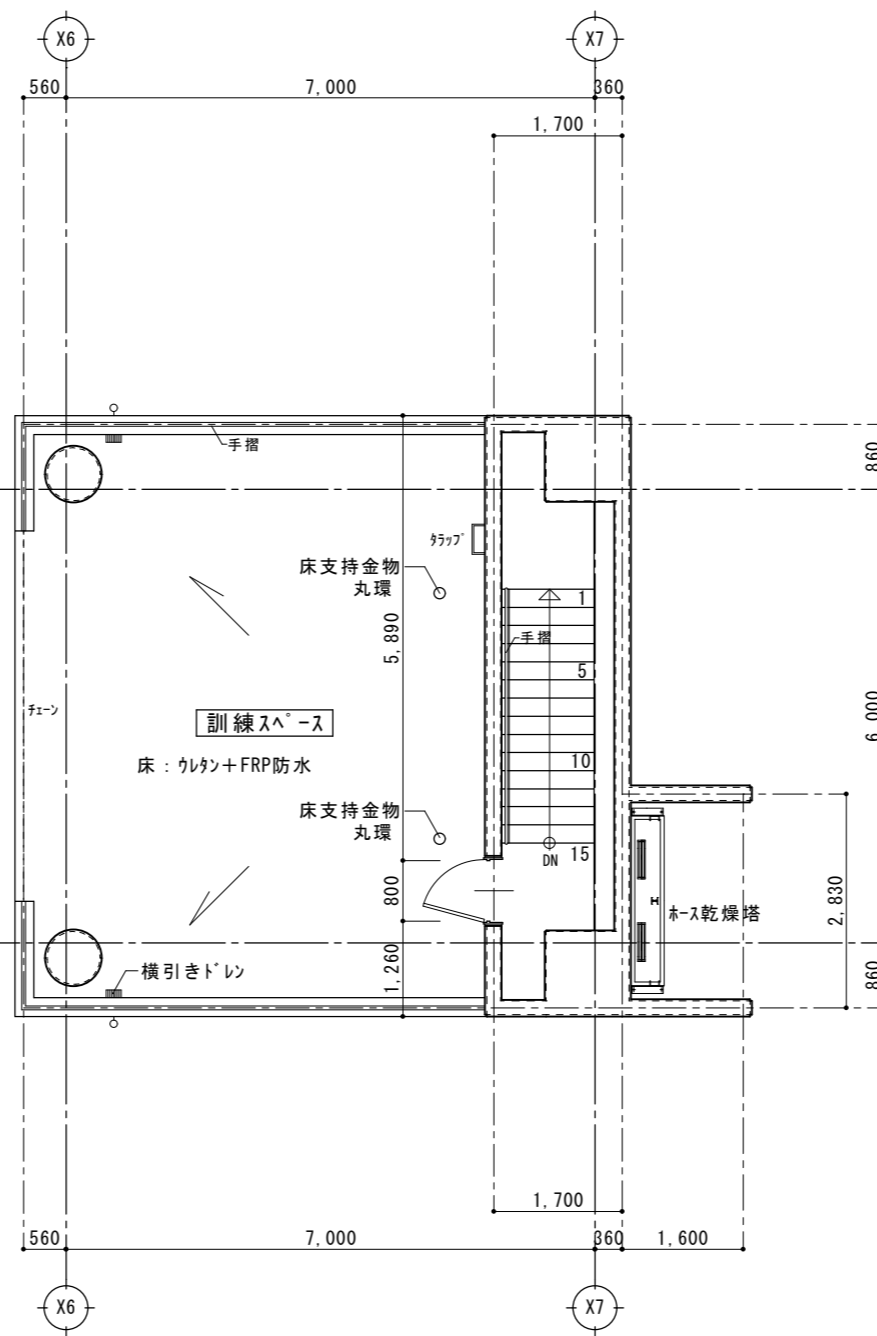
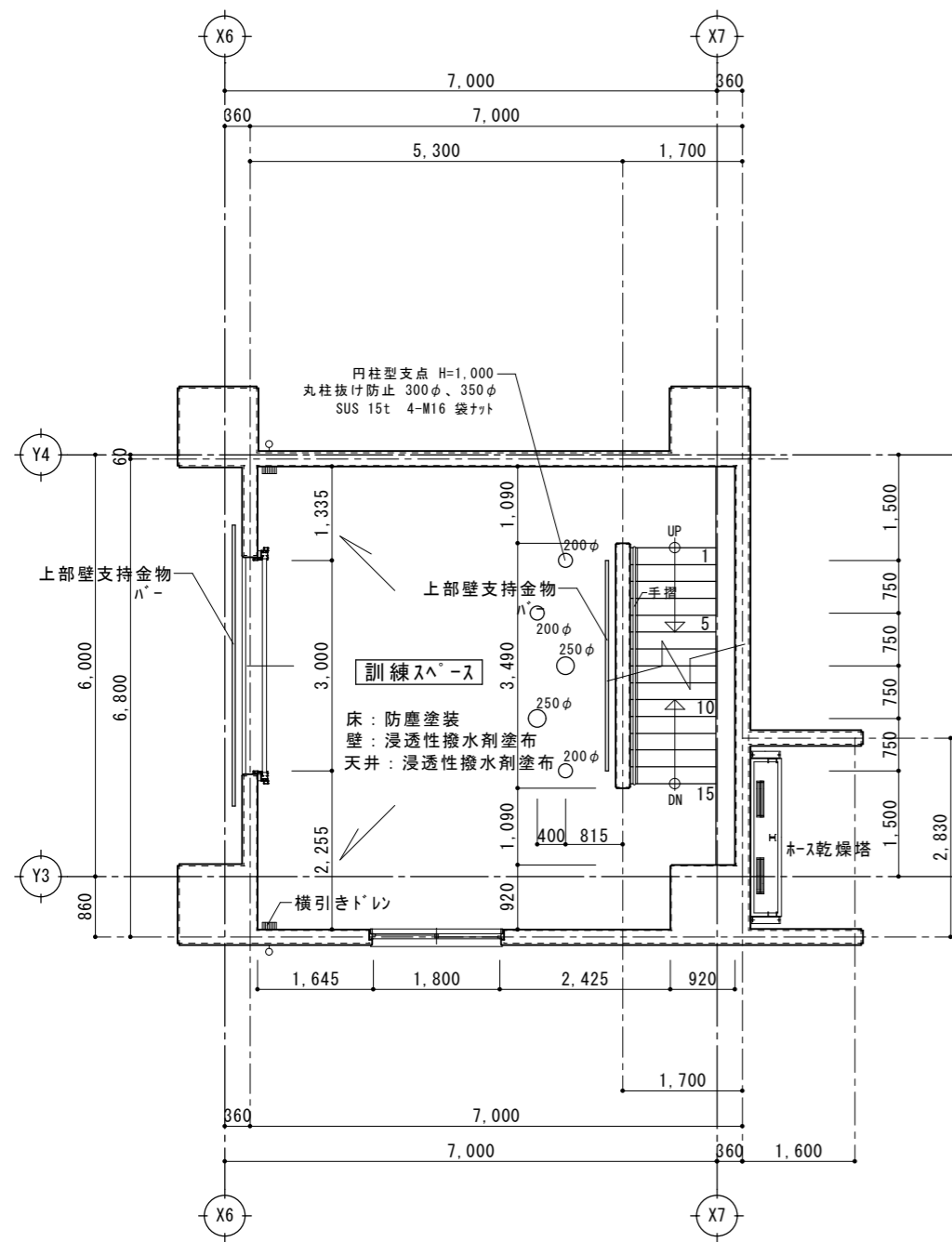
平野建築事務所 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(2703)504号 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日 R 08・02	検図	製図	図面名称 1階 平面詳細図 No.3	縮尺 A1-1:50 A3-1:100	工事名称 北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事	図面番号 A-29
		図面No.	製図				

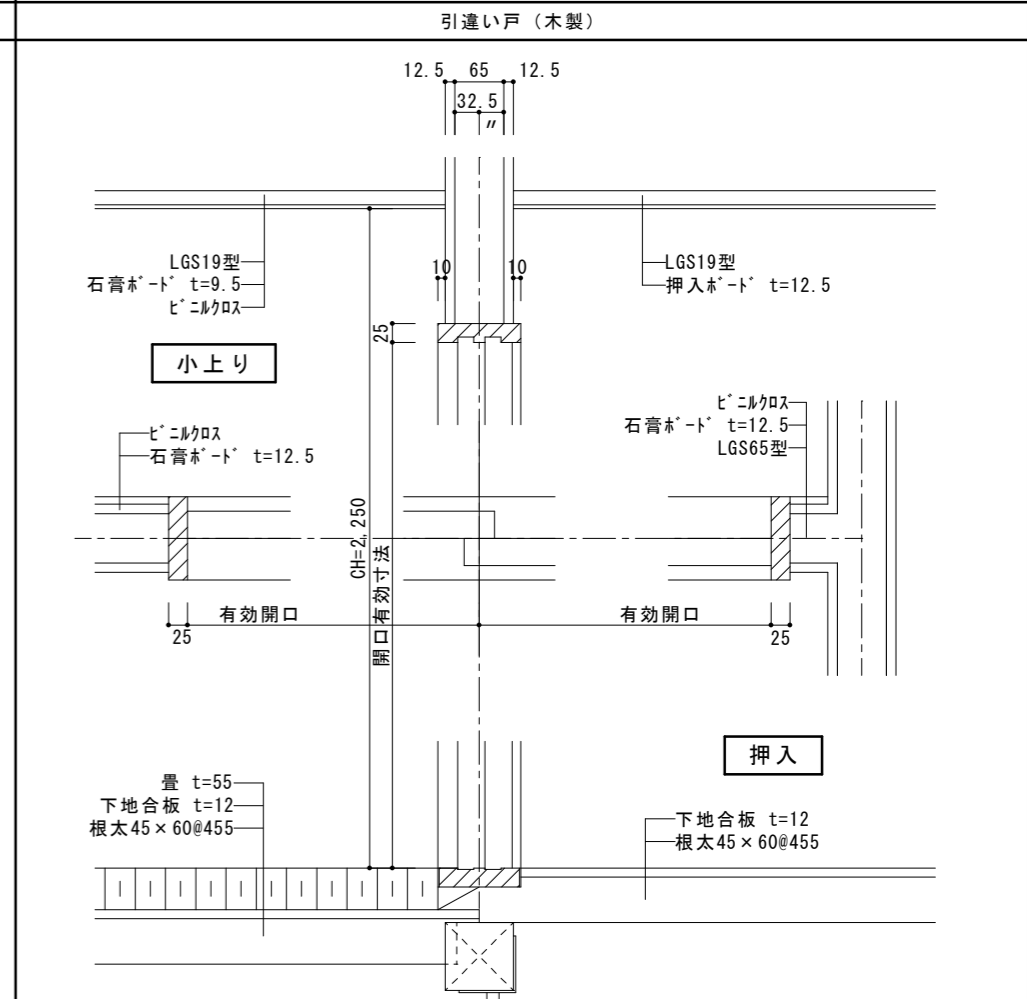
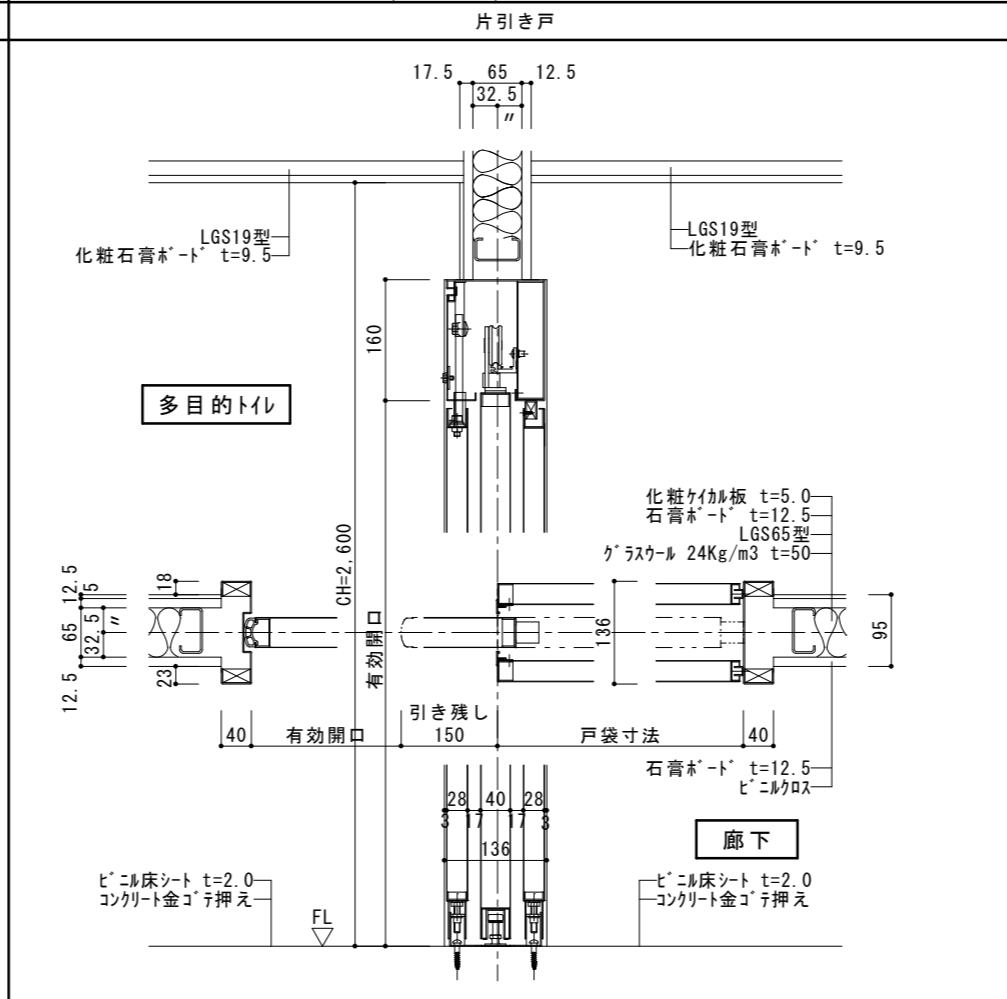
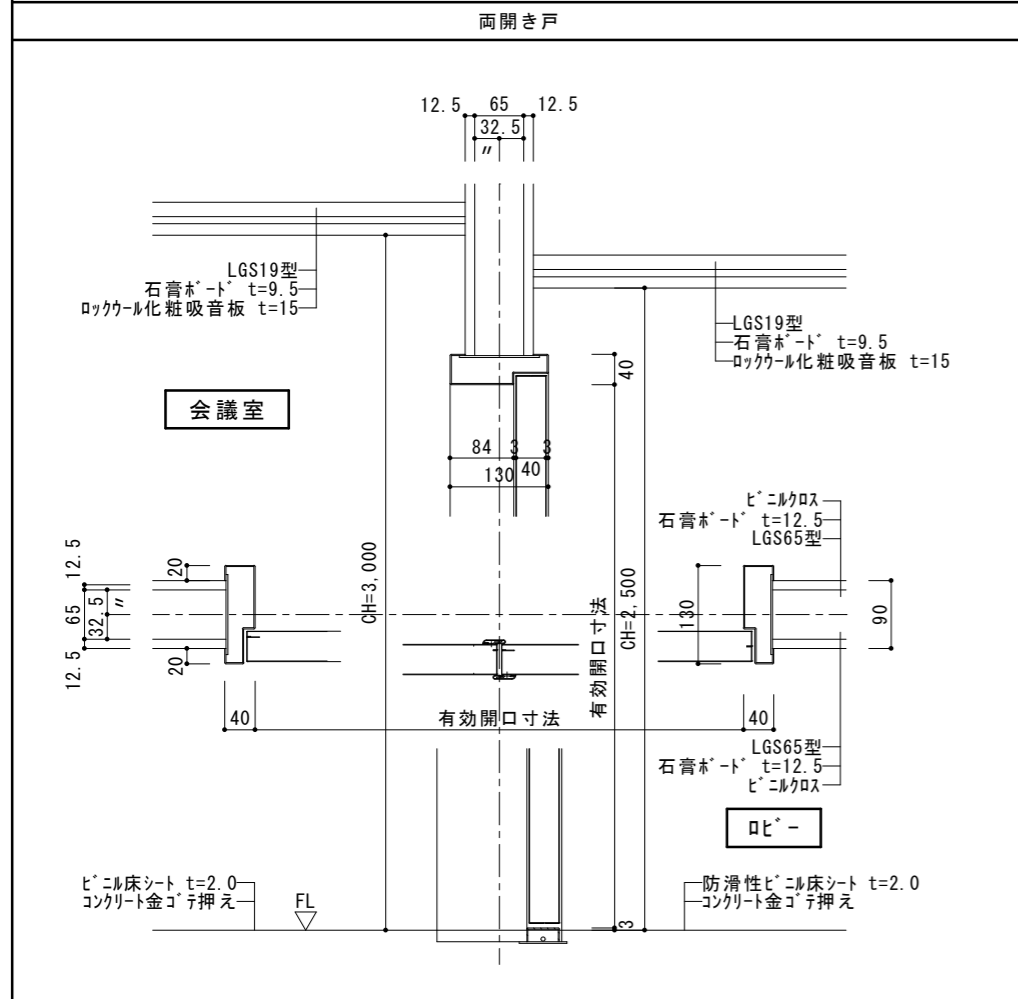
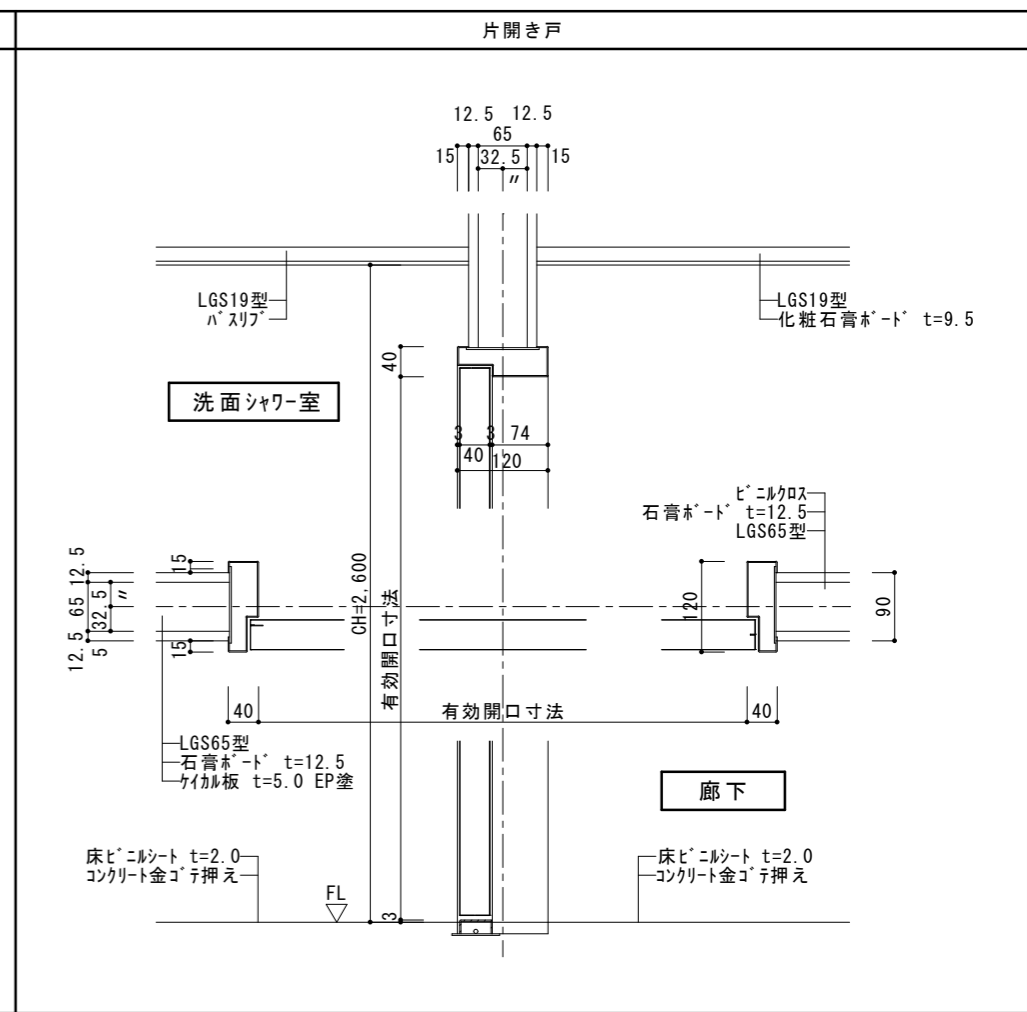
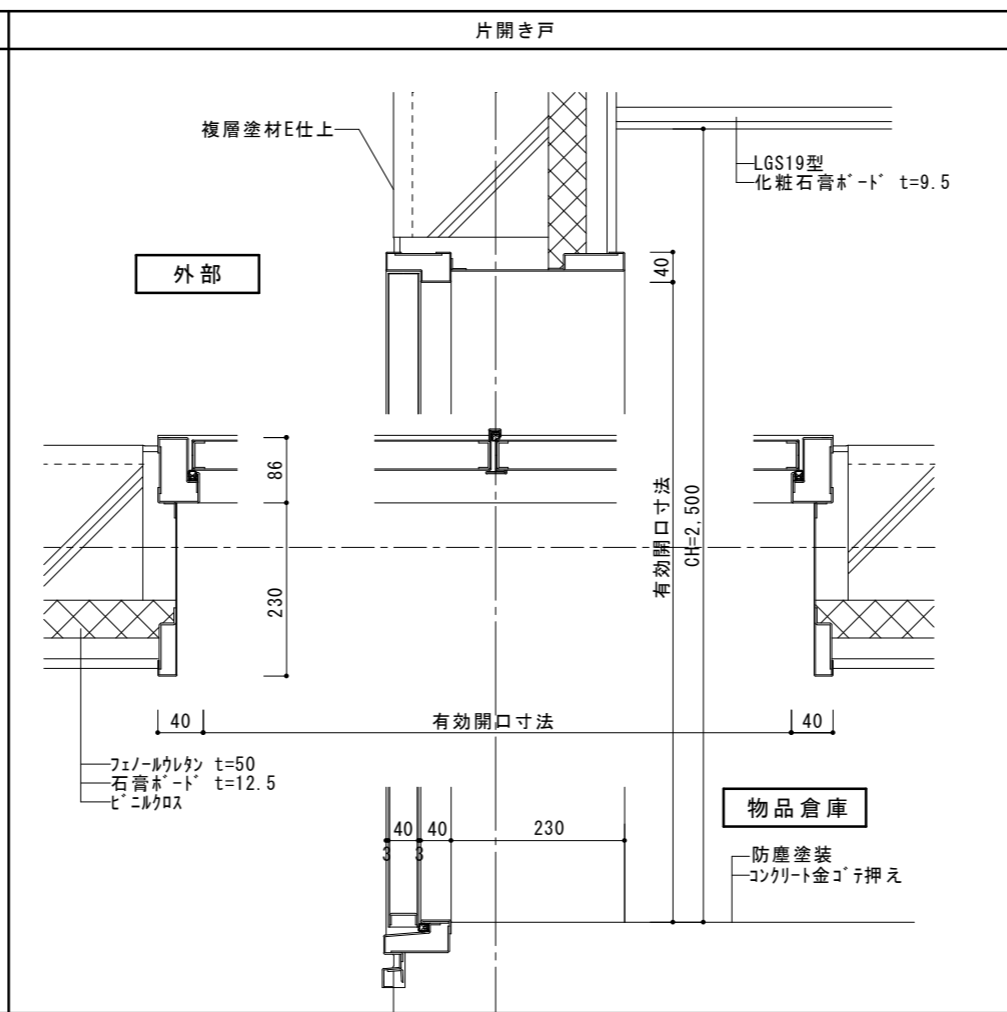
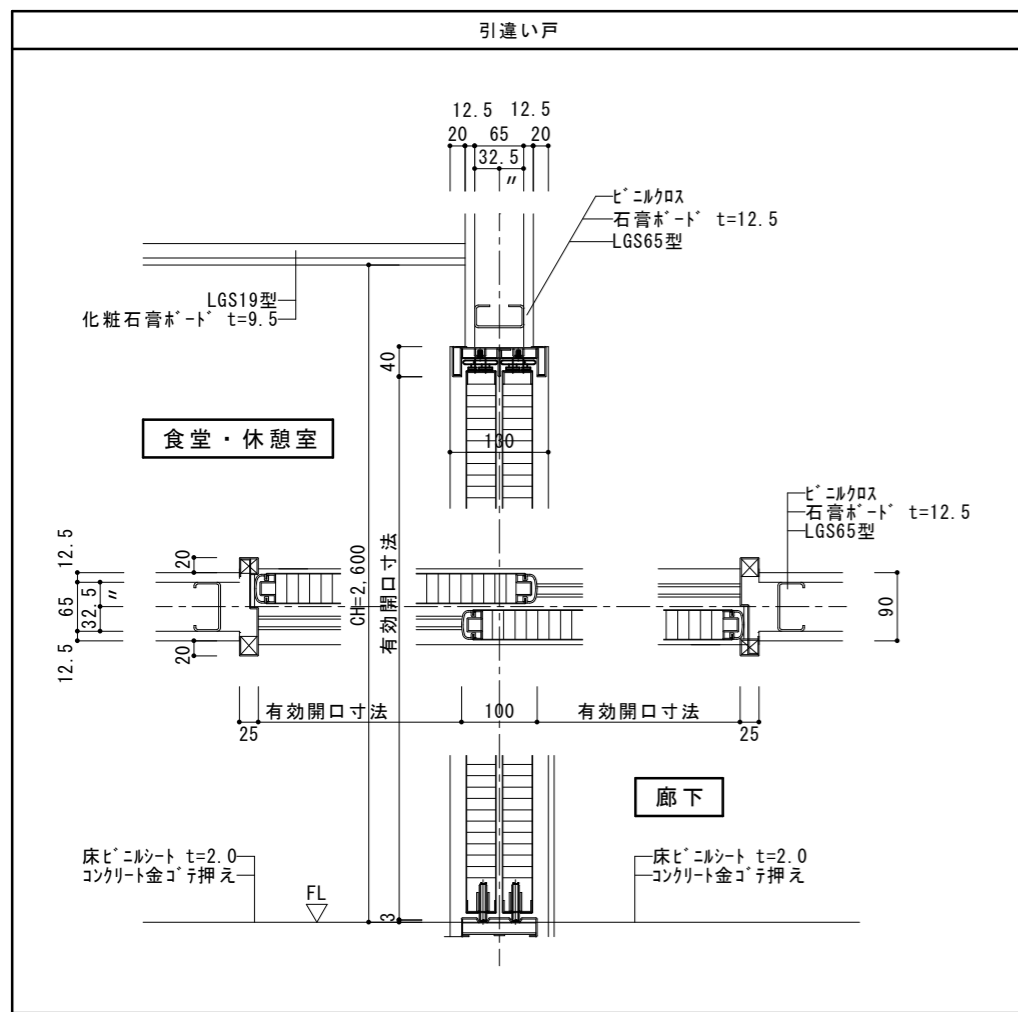


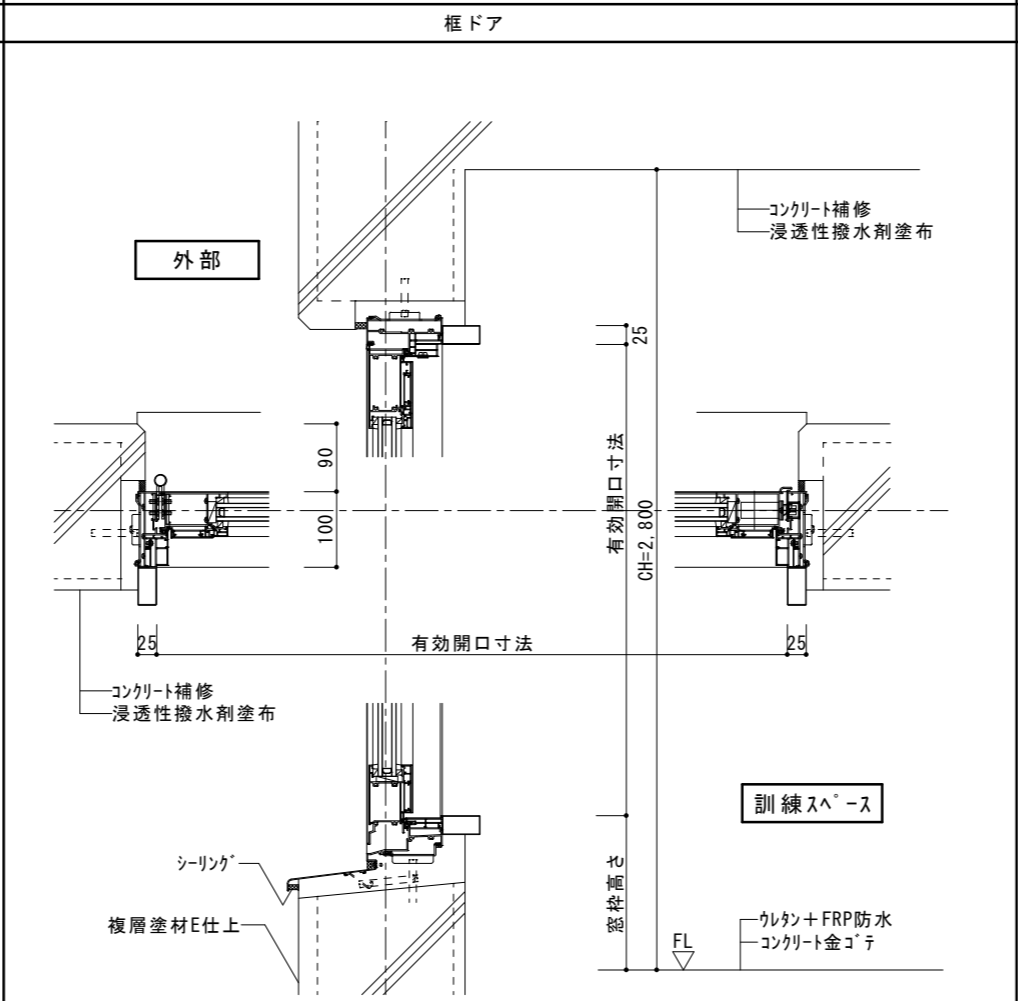
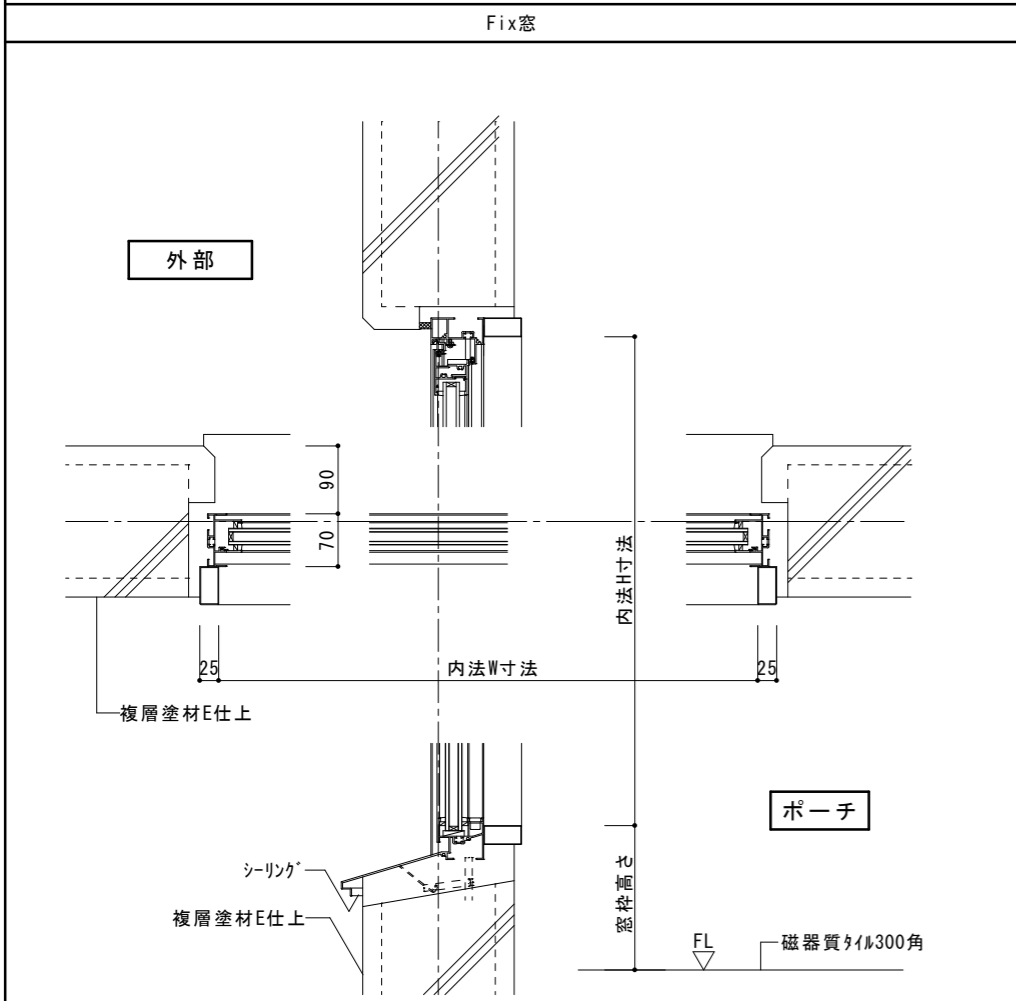
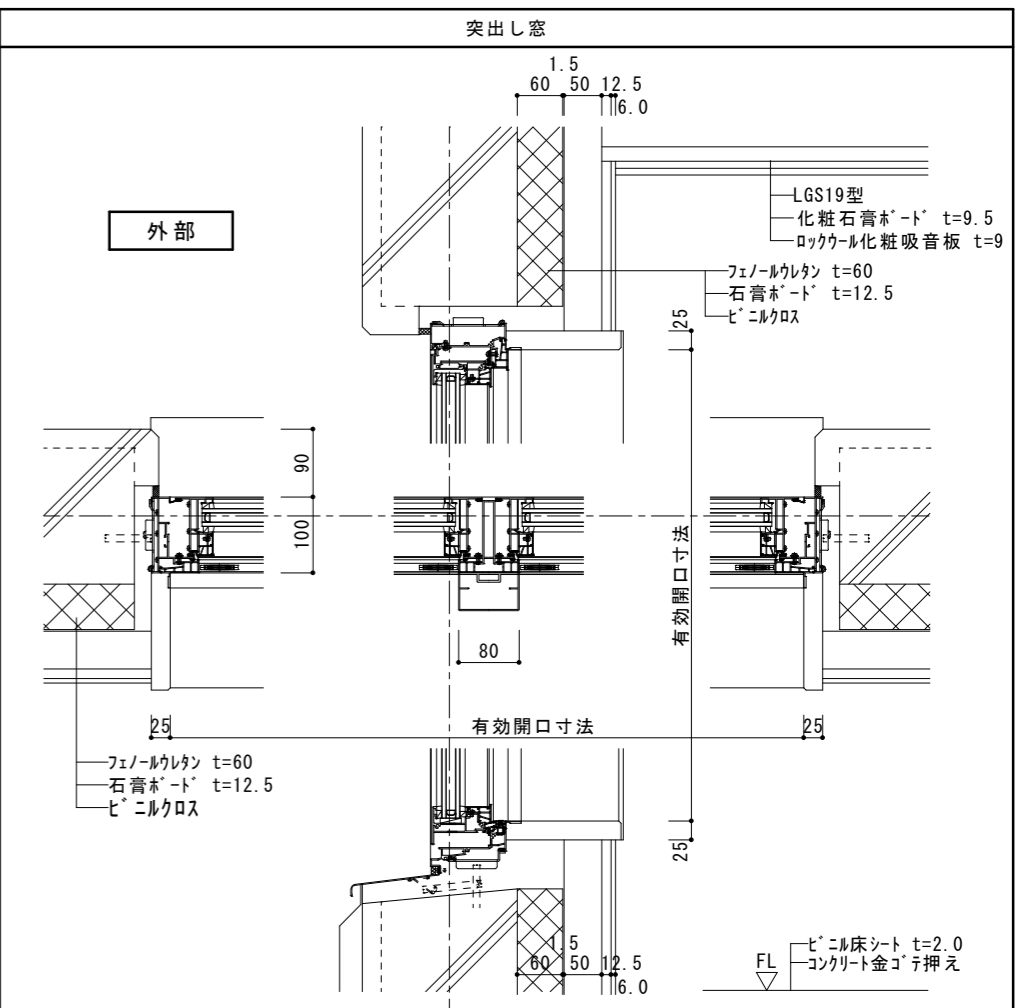
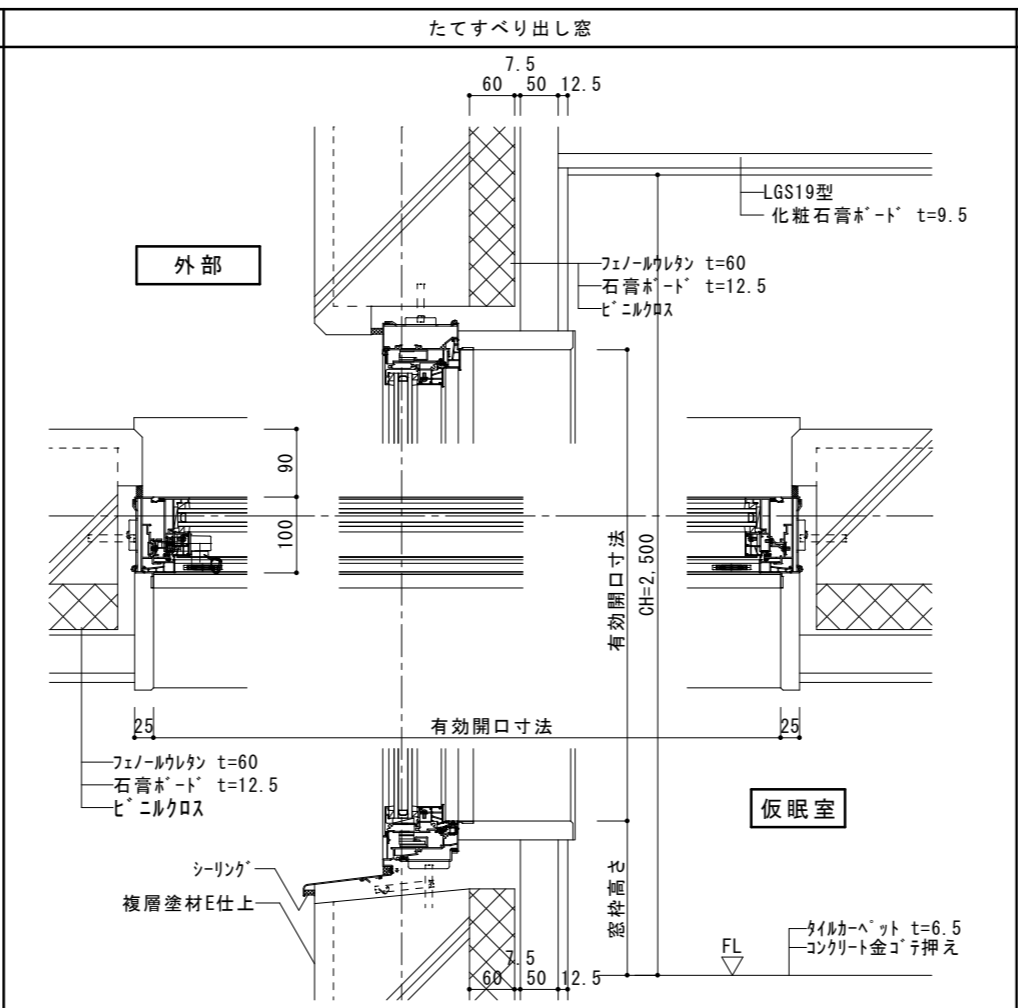
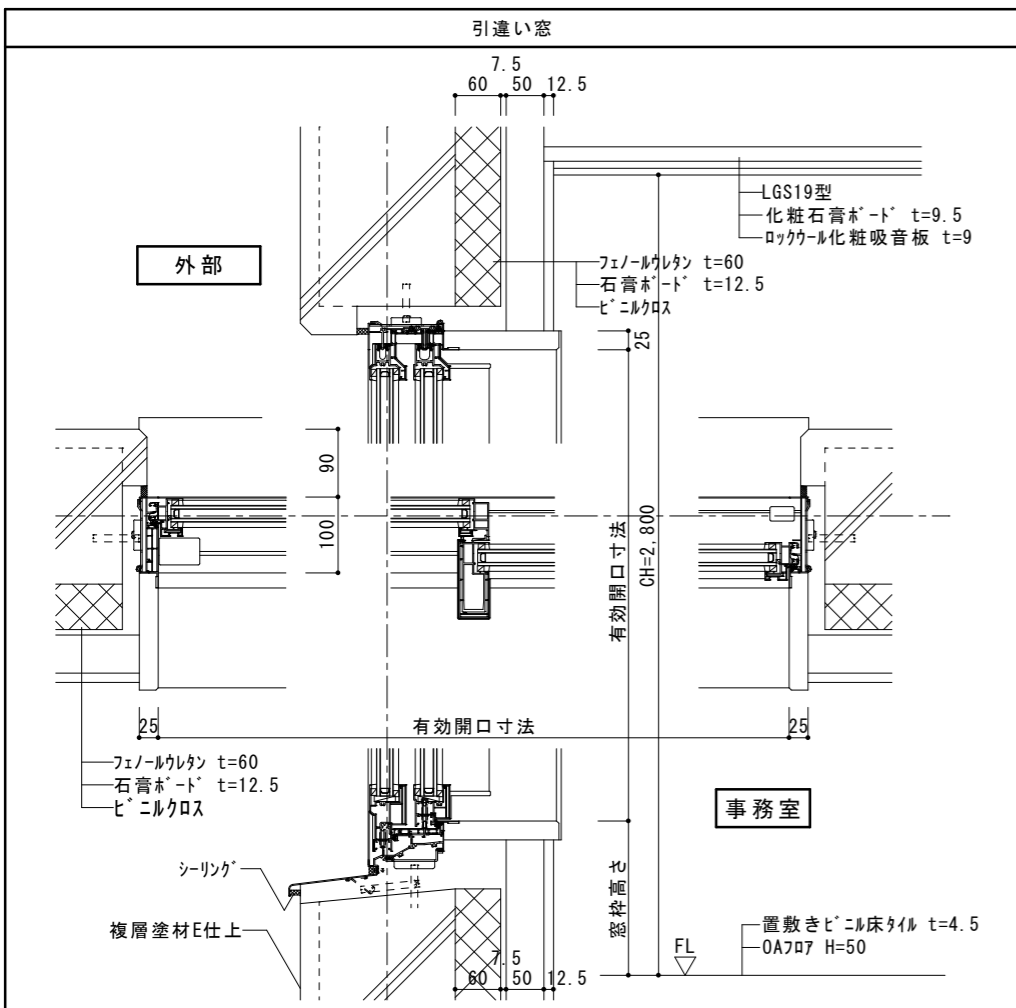
平野建築事務所 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第く(2703)504号 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日	検図	製図	図面名称	縮尺	工事名称 北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事	図面番号 A-30
	R 08・02			2階 平面詳細図	A1-1:50 A3-1:100		



平野建築事務所 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(2703)504号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日	検図	製図	図面名称	縮尺	工事名称 北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事	図面番号 A-31
	R 08・02			3階 平面詳細図	A1-1:50 A3-1:100		

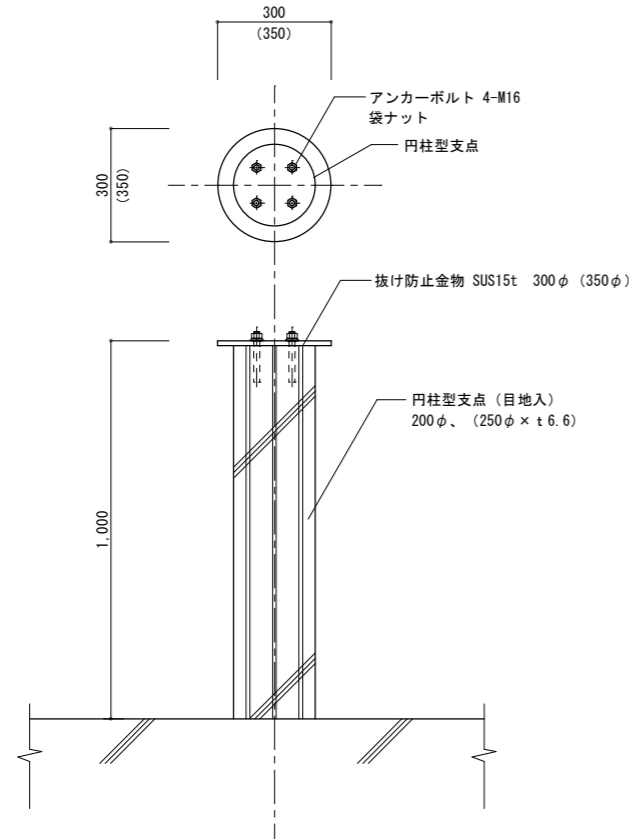






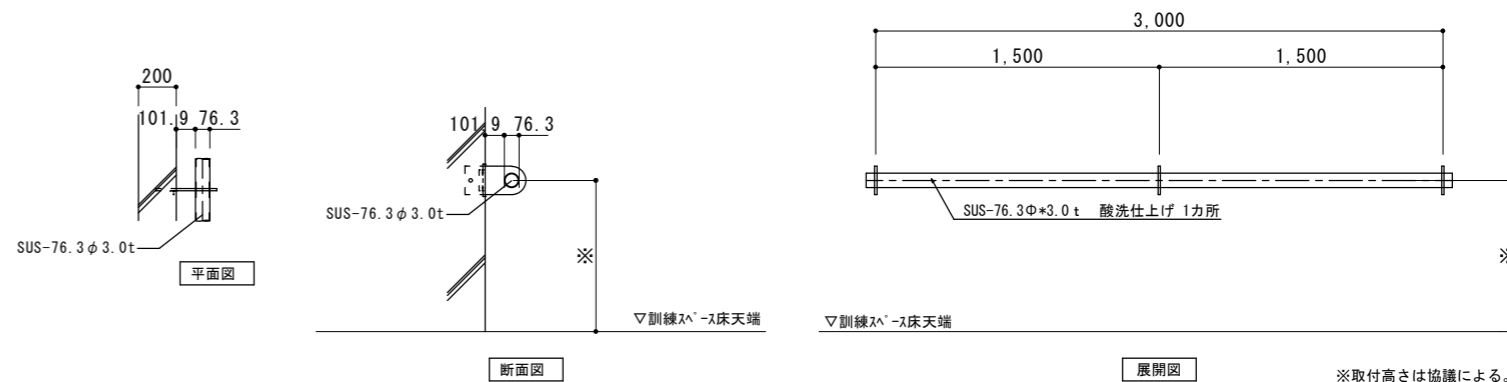
訓練用丸柱抜け防止金物

A1 : 1/10 A3 : 1/20



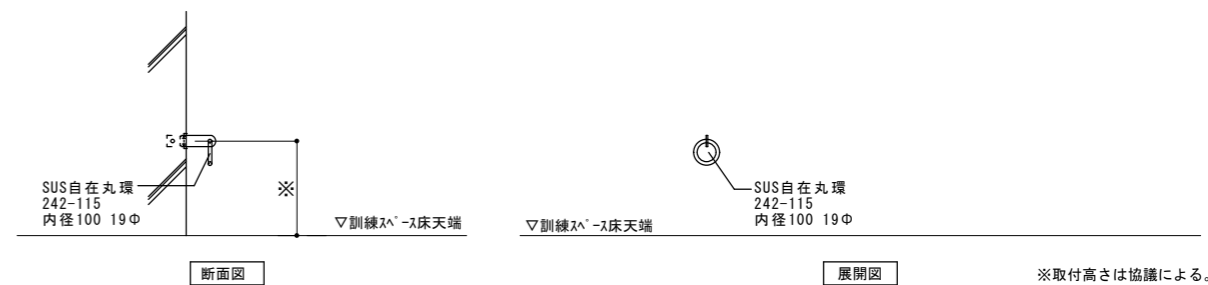
訓練用支持金物 (壁付バー)

A1 : 1/20 A3 : 1/40



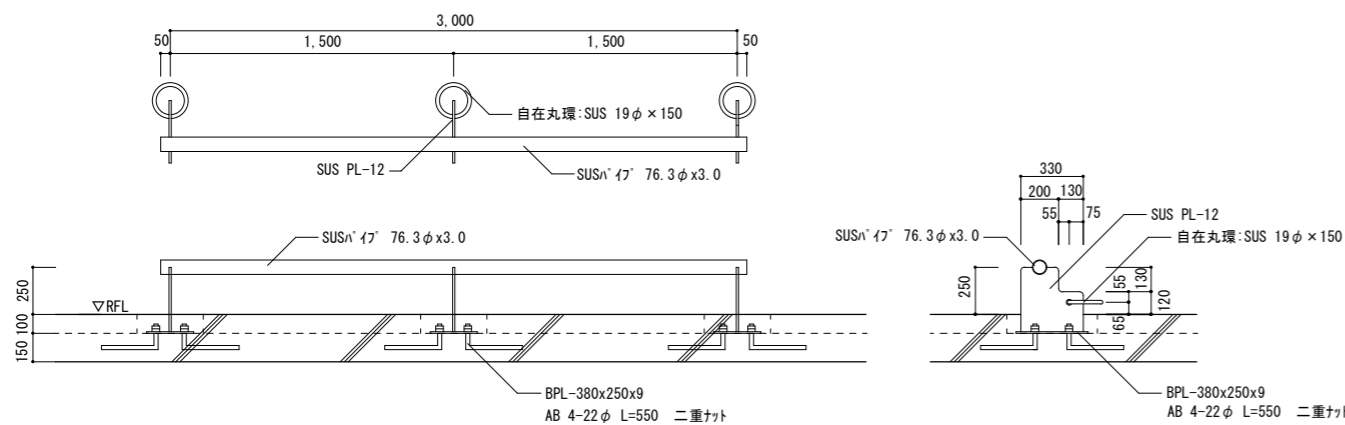
訓練用支持金物 (壁付丸環)

A1 : 1/20 A3 : 1/40



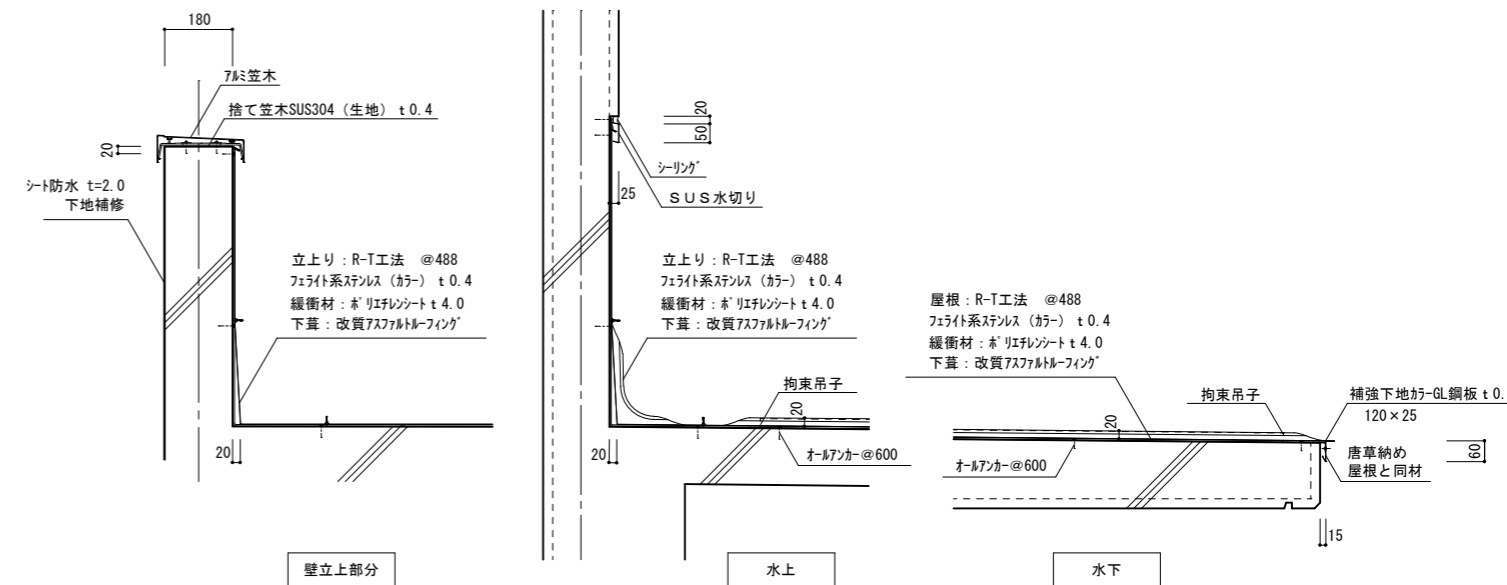
訓練用支持金物 (床付バー・丸環)

A1 : 1/20 A3 : 1/40



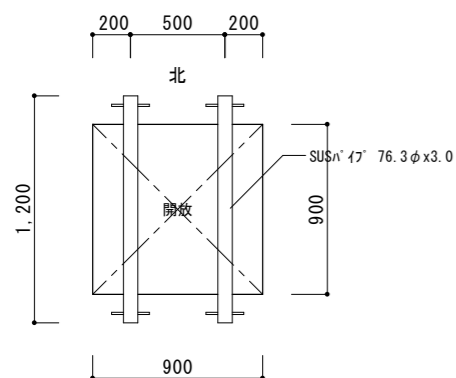
ステンレス防水

A1 : 1/10 A3 : 1/20



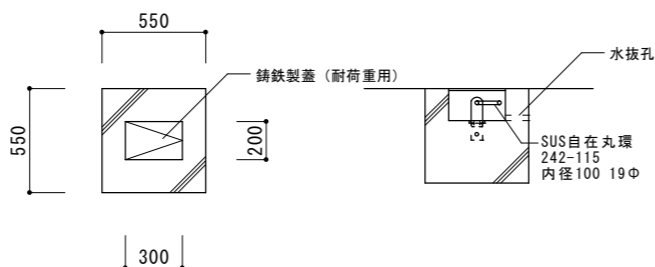
訓練用支持金物 (床付バー)

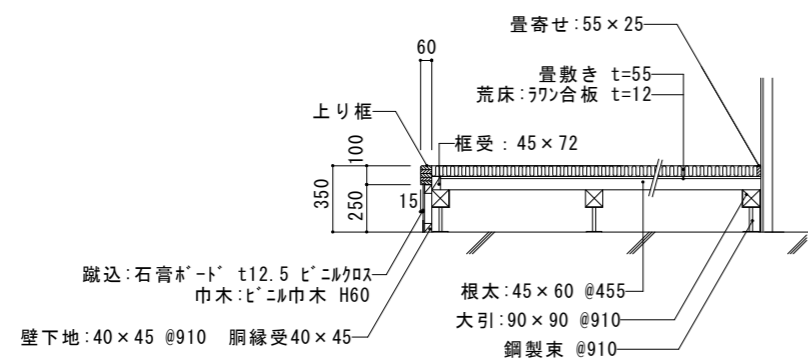
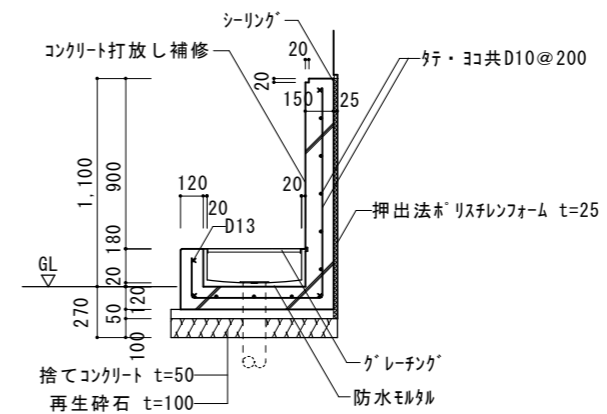
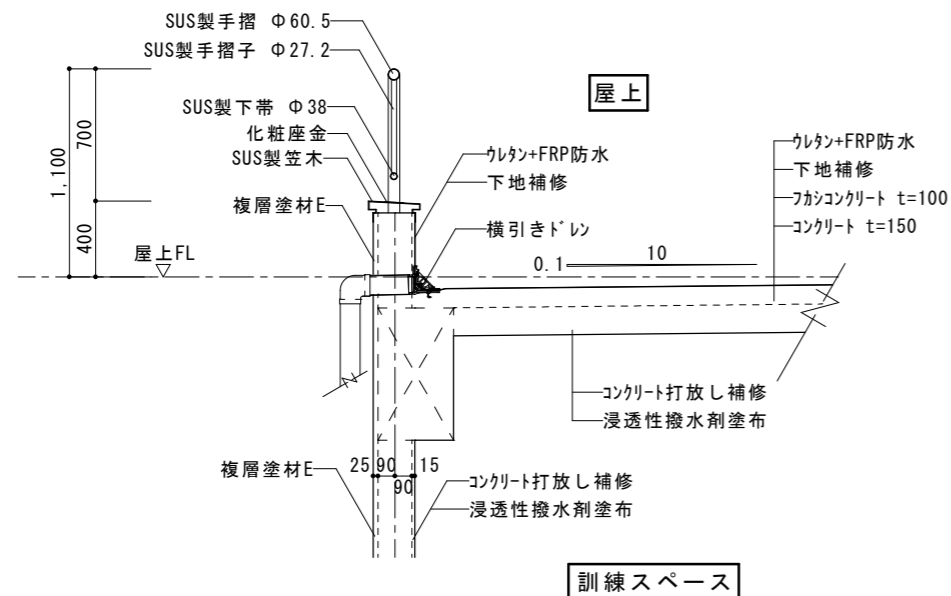
A1 : 1/20 A3 : 1/40



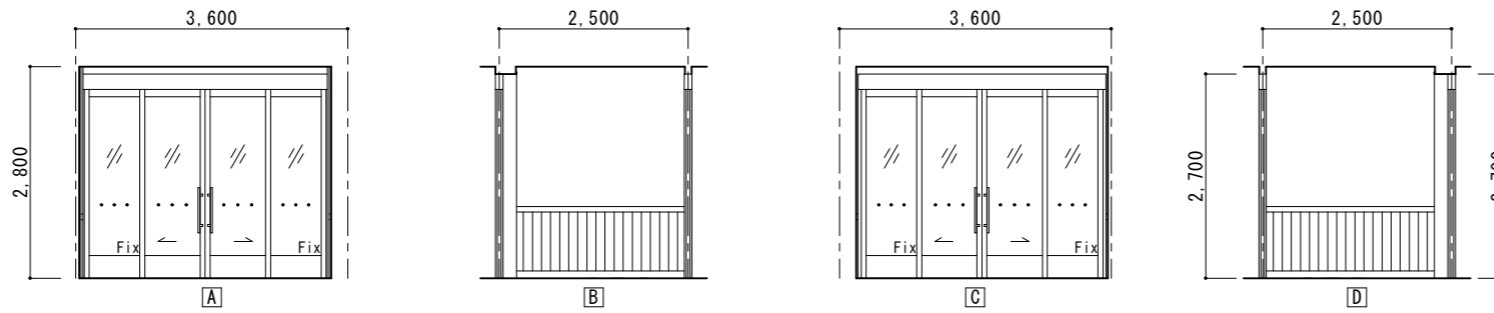
訓練用支持金物 (床付丸環)

A1 : 1/20 A3 : 1/40

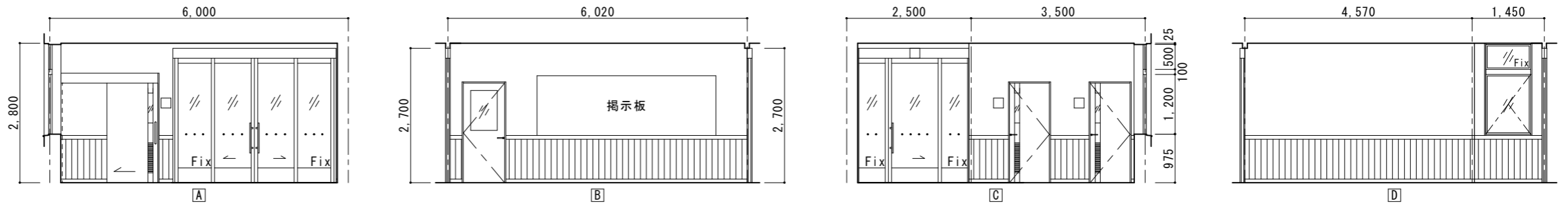




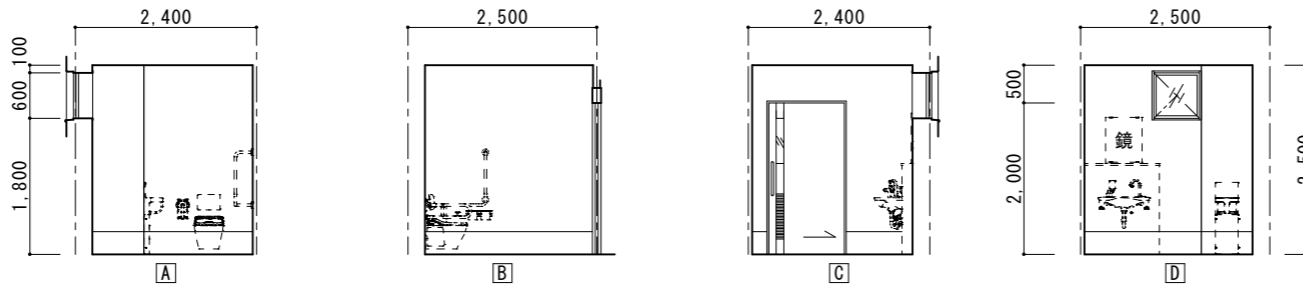
室名	風除室
床	磁器質タイル150角(外部用)
巾木	タイル H100
壁	PB t 12.5下地 腰:杉羽目板t12+UC塗 壁:ビニルクロス
天井	PB t 9.5下地 ロックウール化粧吸音板t9
廻り縁	塩ビ製
備考	



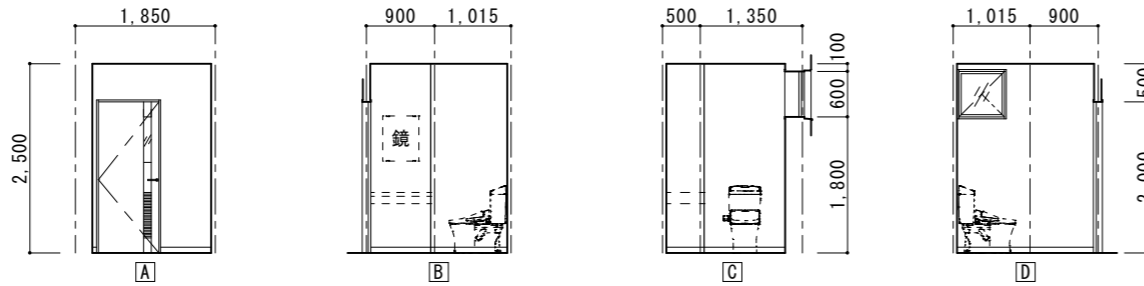
室名	廊下
床	防滑性複層ビニル床シート2.5
巾木	木 H75
壁	PB t 12.5下地 ビニルクロス
天井	PB t 9.5下地 ロックウール化粧吸音板t9
廻り縁	塩ビ製
備考	



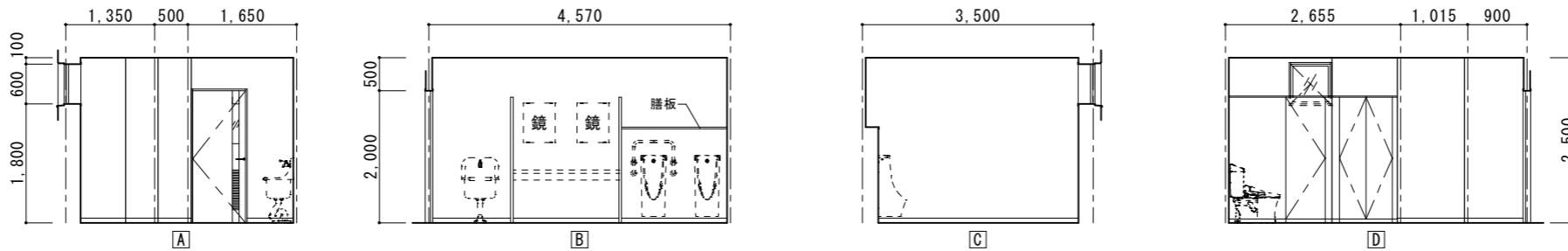
室名	多目的トイレ
床	長尺ビニル床シート2.0
巾木	ビニル巾木 H300
壁	石膏ボード t 12.5下地 化粧ケガキ板t6.0 (目地シリング)
天井	化粧PB t 9.5
廻り縁	塩ビ製
備考	



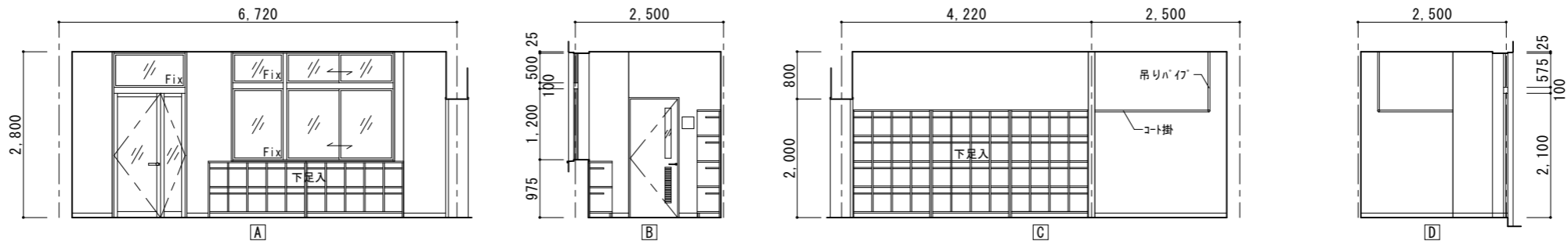
室名	女子トイレ
床	長尺ビニル床シート2.0
巾木	ビニル巾木 H75
壁	石膏ボード t 12.5下地 化粧ケガキ板t6.0 (目地シリング)
天井	化粧PB t 9.5
廻り縁	塩ビ製
備考	



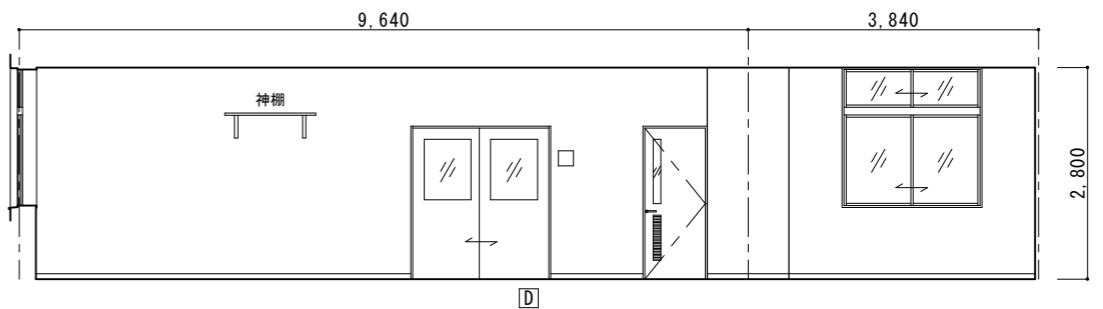
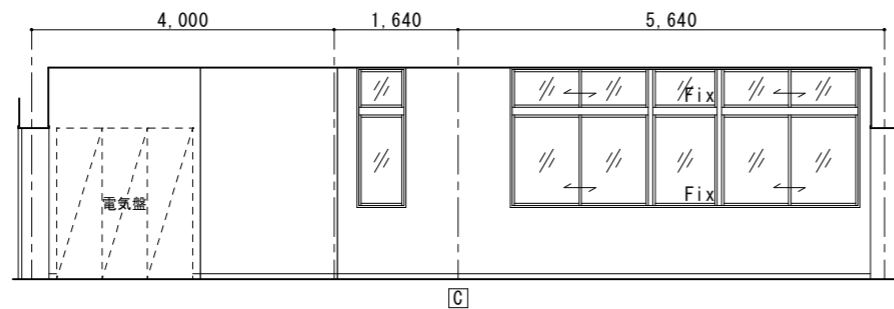
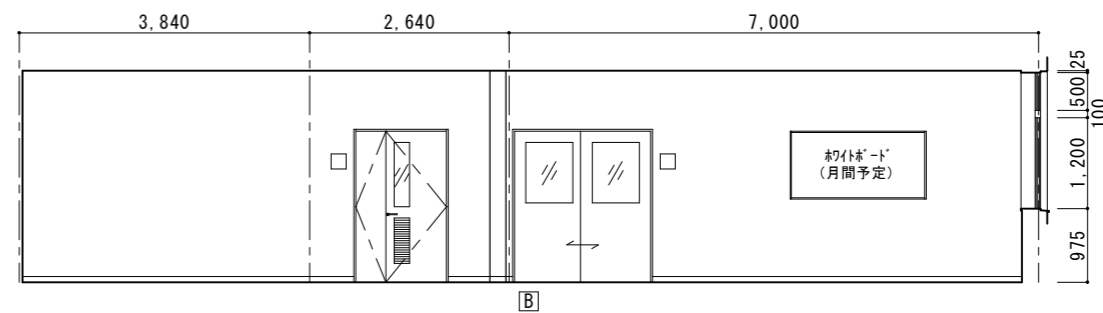
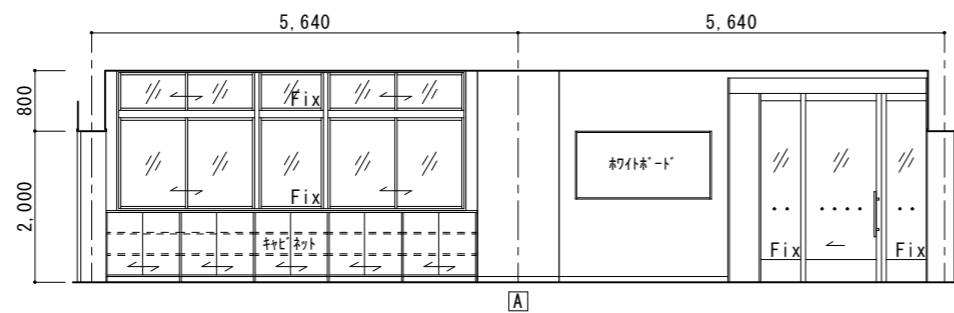
室名	男子トイレ
床	長尺ビニル床シート2.0
巾木	ビニル巾木 H75
壁	石膏ボード t 12.5下地 化粧ケガキ板t6.0 (目地シリング)
天井	化粧PB t 9.5
廻り縁	塩ビ製
備考	膳板



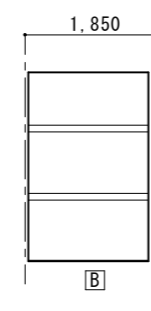
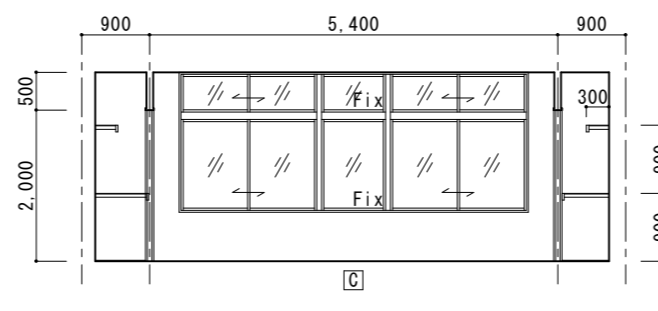
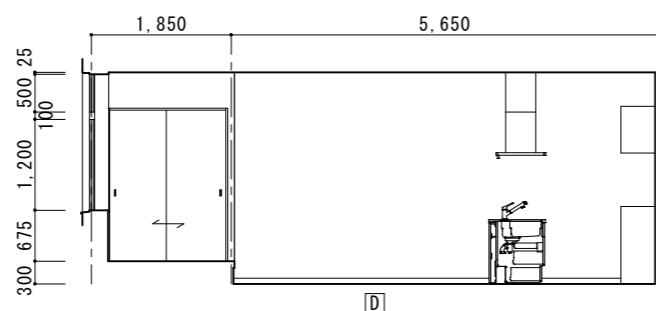
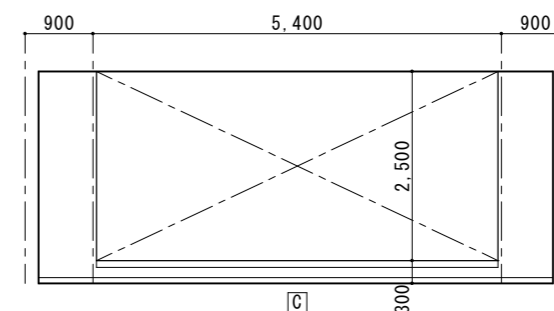
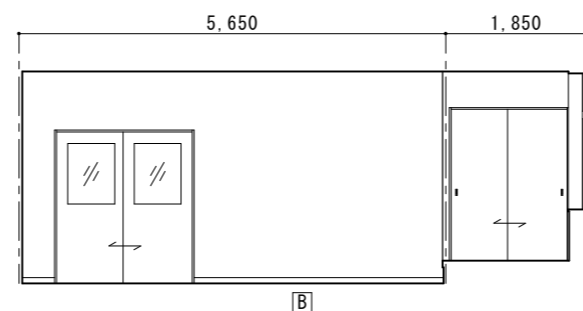
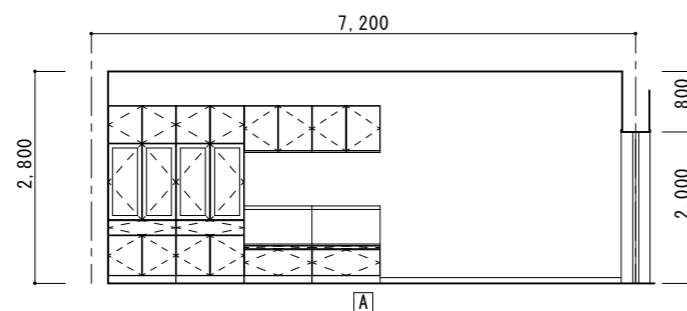
室名	職員玄関
床	防滑性複層ビニル床シート2.5 長尺ビニル床シート2.0
巾木	ビニル巾木 H75
壁	石膏ボード t 12.5下地 ビニルクロス
天井	ロックウール化粧吸音板t9.0
廻り縁	塩ビ製
備考	コート掛、下足入



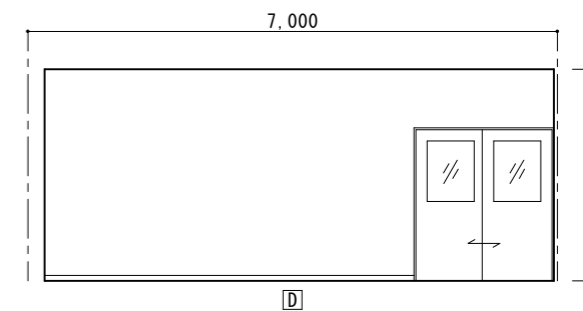
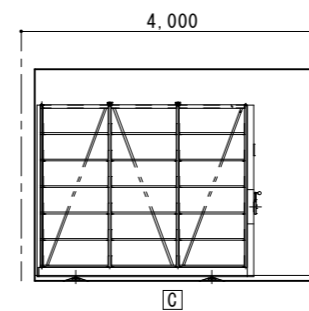
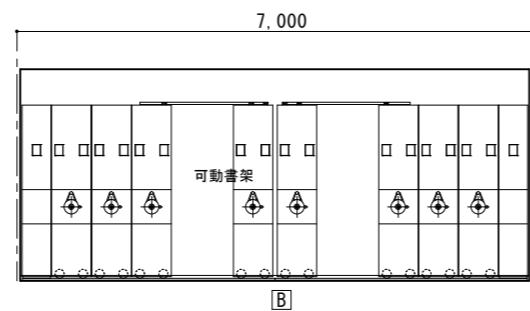
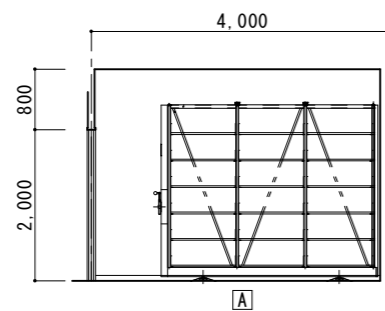
室名	事務室
床	OA707H50下地 置敷きビニル床タイルt4.5
巾木	ビニル巾木 H75
壁	PBt12.5下地 ビニルクロス
天井	PBt9.5下地 ロック-ル化粧吸音板t9.0
廻り縁	塩ビ製
備考	キャビネット、神棚



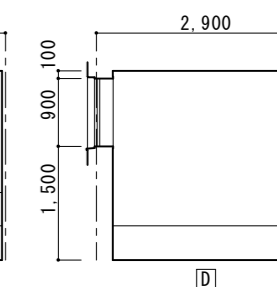
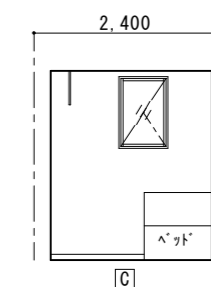
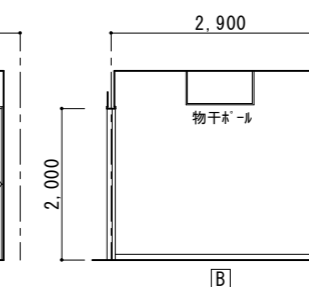
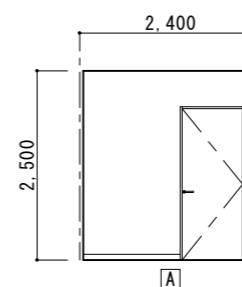
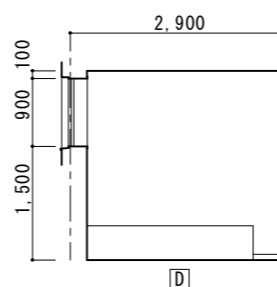
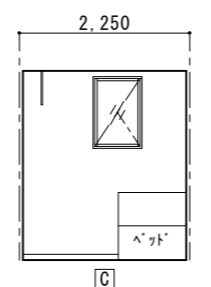
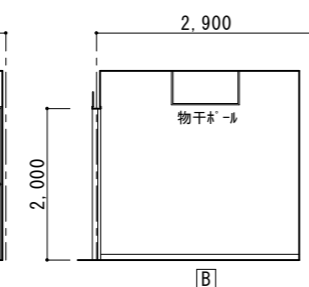
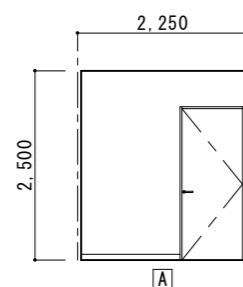
室名	食堂・休憩室
床	長尺ビニル床シート2.0 畳敷き (D種KT-III) t55 570合板t12
巾木	ビニル巾木 H75、畳寄せ、雑巾摺
壁	PBt12.5下地 ビニルクロス、押入什入t12.5
天井	PBt9.5下地 ビニルクロス、押入什入t9.5
廻り縁	塩ビ製
備考	流し台、カッパ什入



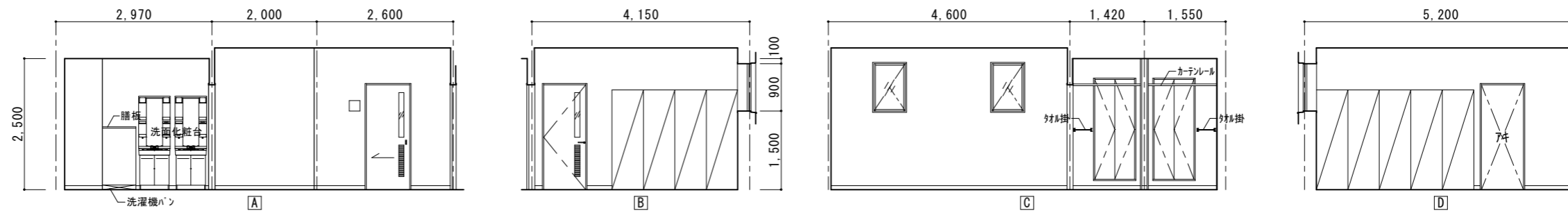
室名	書庫
床	長尺ビニル床シート2.0
巾木	ビニル巾木 H75
壁	PBt12.5下地 ビニルクロス
天井	化粧PBt9.5
廻り縁	塩ビ製
備考	可動書架



室名	仮眠室1~7、仮眠室8
床	タイル-ベットt6.5
巾木	ビニル巾木 H75
壁	PBt12.5下地 ビニルクロス
天井	化粧PBt9.5
廻り縁	塩ビ製
備考	ベット、ロッカー



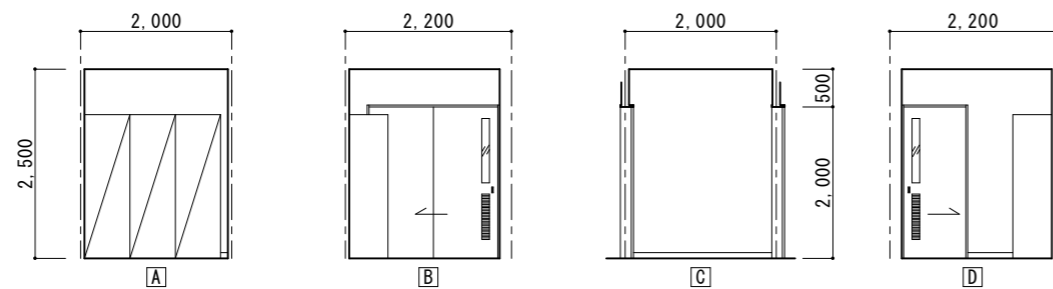
室名	男子更衣室、男子洗面所
床	長尺ビニル床シート2.0
巾木	ビニル巾木 H75
壁	PBt12.5下地 ビニルクロス 化粧珪藻板t6.0 (目地シーリング)
天井	化粧PBt9.5 珪藻板t6.0 (目透かし)+EP塗
廻り縁	塩ビ製
備考	洗面化粧台、洗濯機ハン、膳板、カーテンレール



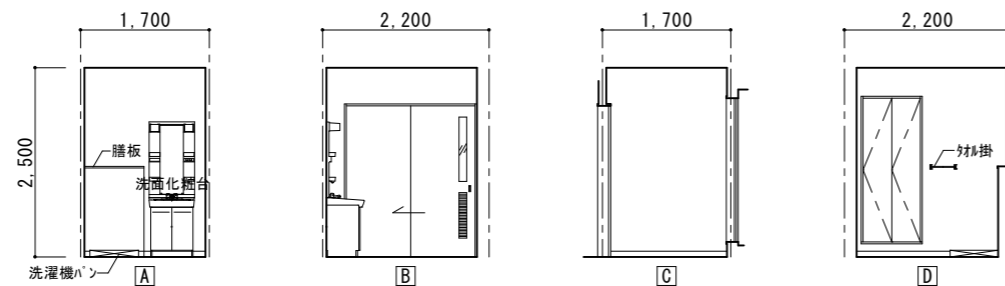
室名	男子更衣室トイレ
床	長尺ビニル床シート2.0
巾木	ビニル巾木 H75
壁	PBt12.5下地 ビニルクロス
天井	化粧PBt9.5
廻り縁	塩ビ製
備考	



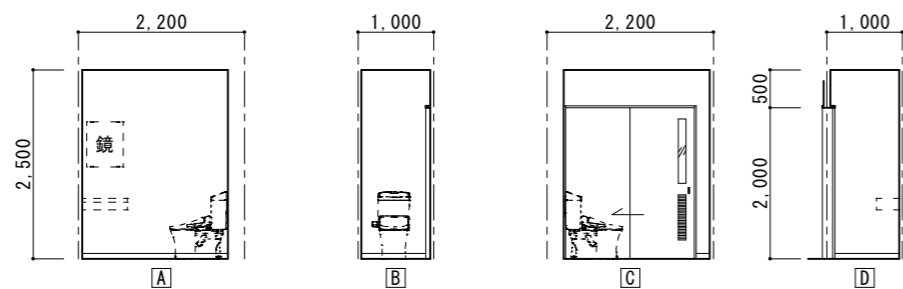
室名	女子更衣室
床	長尺ビニル床シート2.0
巾木	ビニル巾木 H75
壁	PBt12.5下地 ビニルクロス
天井	化粧PBt9.5
廻り縁	塩ビ製
備考	ロッカー



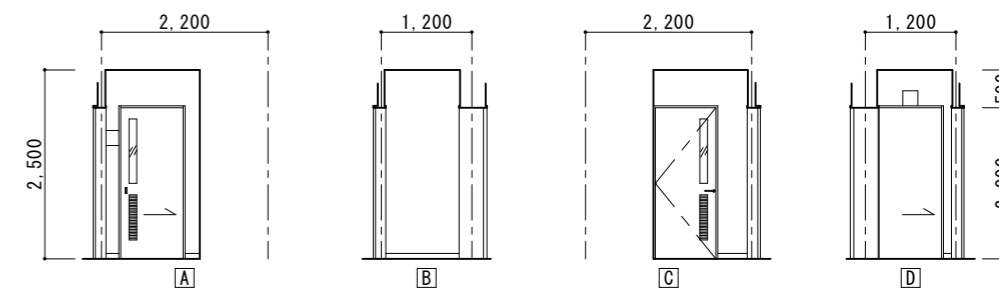
室名	女子洗面所
床	長尺ビニル床シート2.0
巾木	ビニル巾木 H75
壁	PBt12.5下地 化粧珪藻板t6.0 (目地シーリング)
天井	珪藻板t6.0 (目透かし)+EP塗
廻り縁	塩ビ製
備考	洗面化粧台、洗濯機ハン、膳板



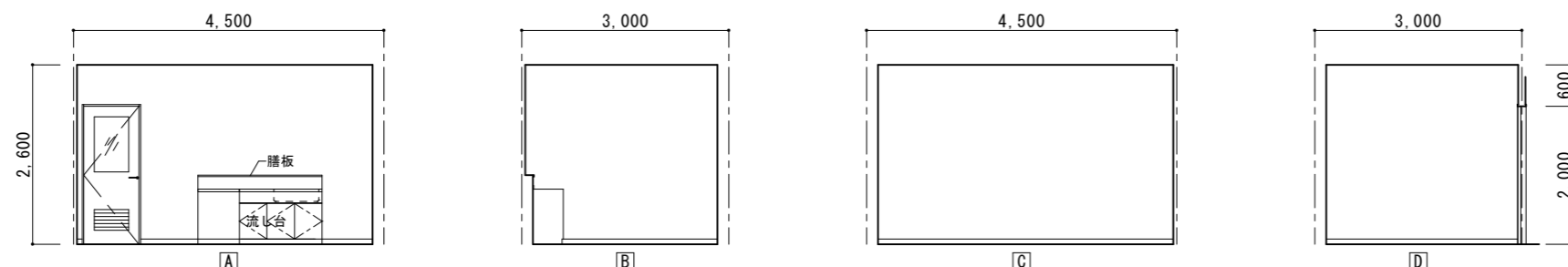
室名	女子更衣室トイレ
床	長尺ビニル床シート2.0
巾木	ビニル巾木 H75
壁	PBt12.5下地 ビニルクロス
天井	化粧PBt9.5
廻り縁	塩ビ製
備考	



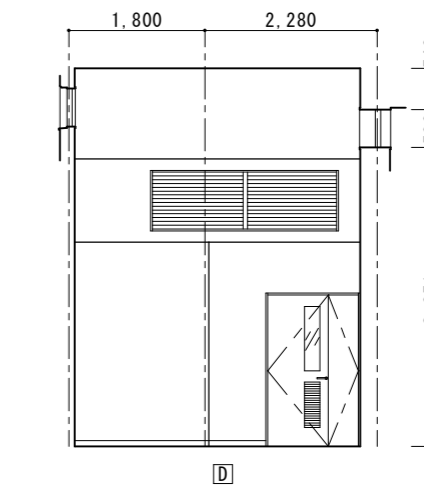
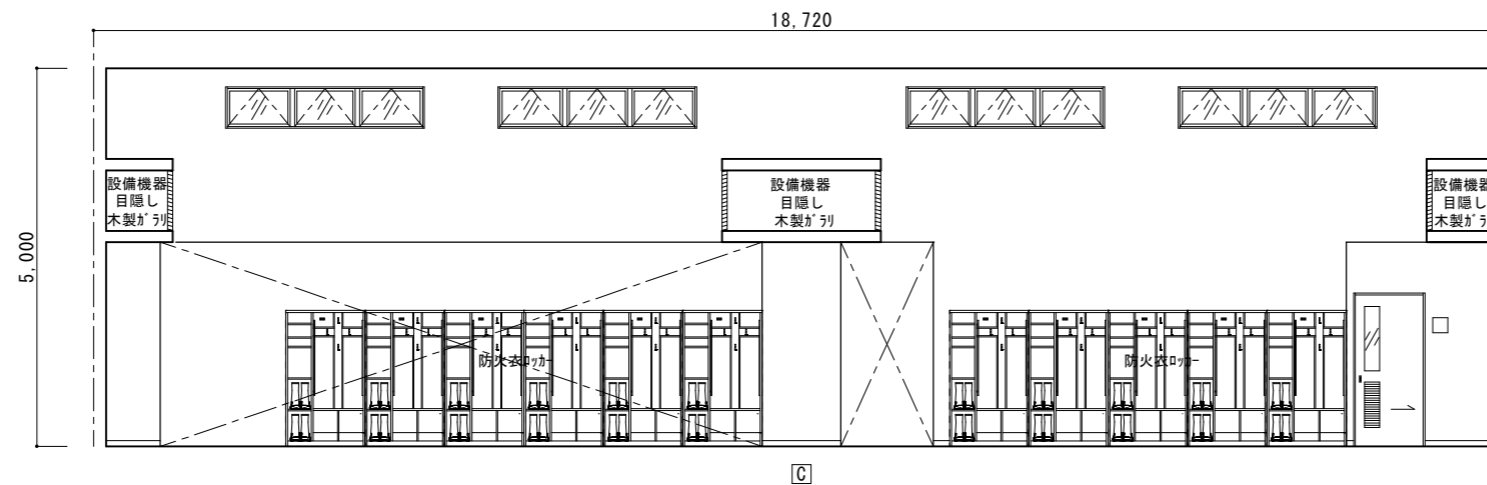
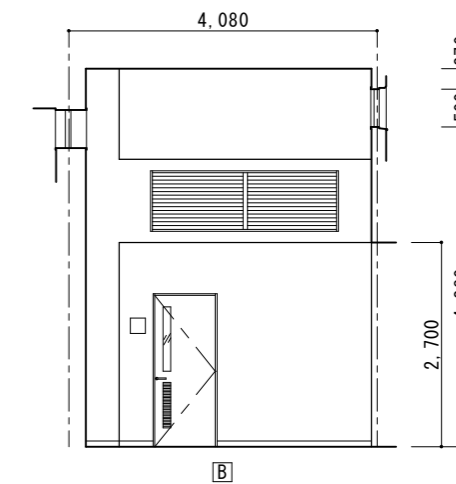
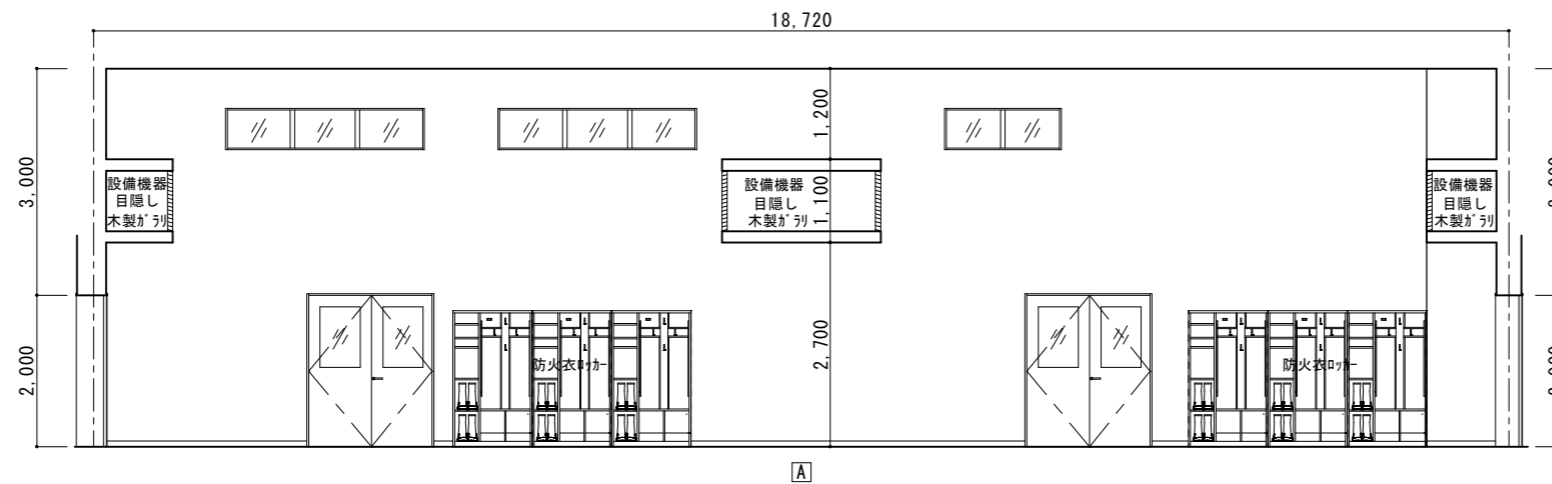
室名	女子更衣室踏込
床	長尺ビニル床シート2.0
巾木	ビニル巾木 H75
壁	PBt12.5下地 ビニルクロス
天井	化粧PBt9.5
廻り縁	塩ビ製
備考	



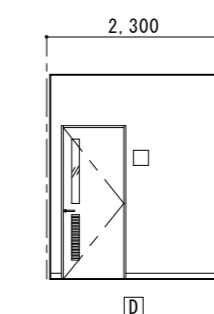
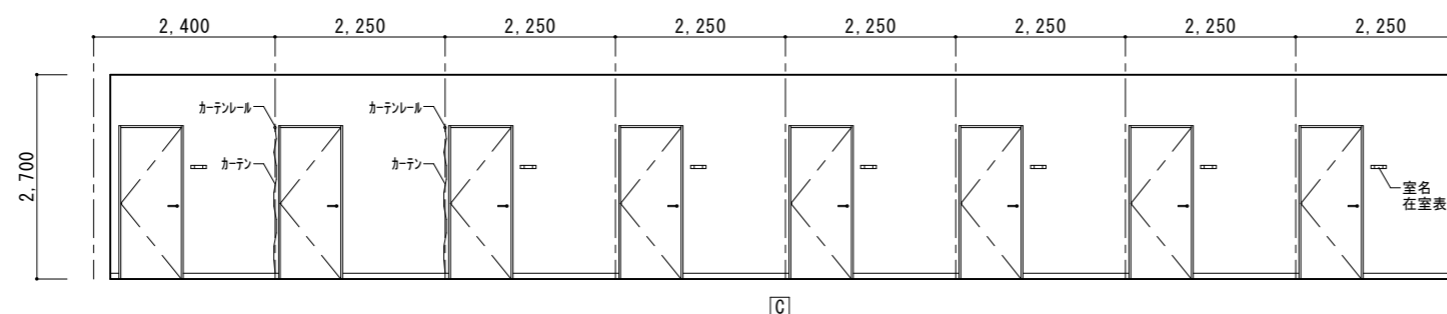
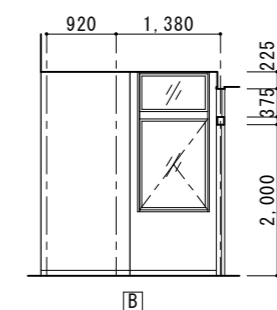
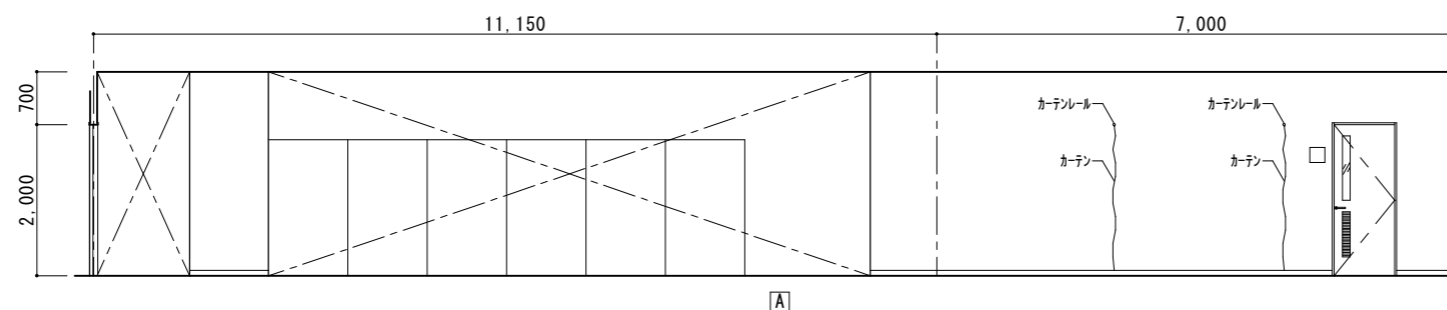
室名	救急倉庫
床	防塵塗装
巾木	撥水剤 H150
壁	PBt12.5下地 珪藻板t6.0(目透かし)+EP塗
天井	化粧PBt9.5
廻り縁	塩ビ製
備考	流し台、膳板



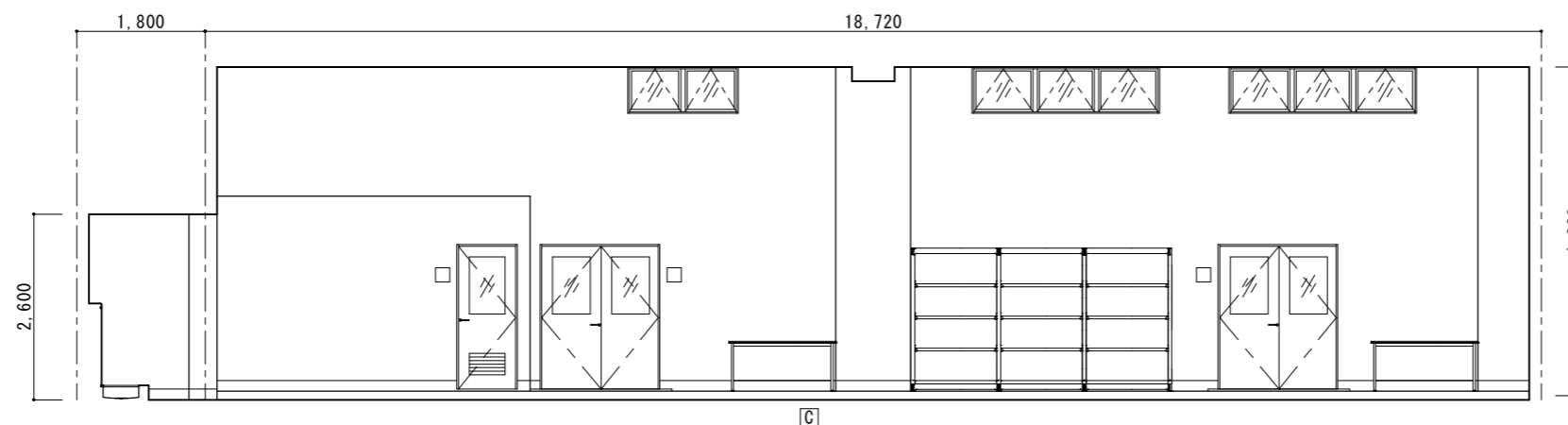
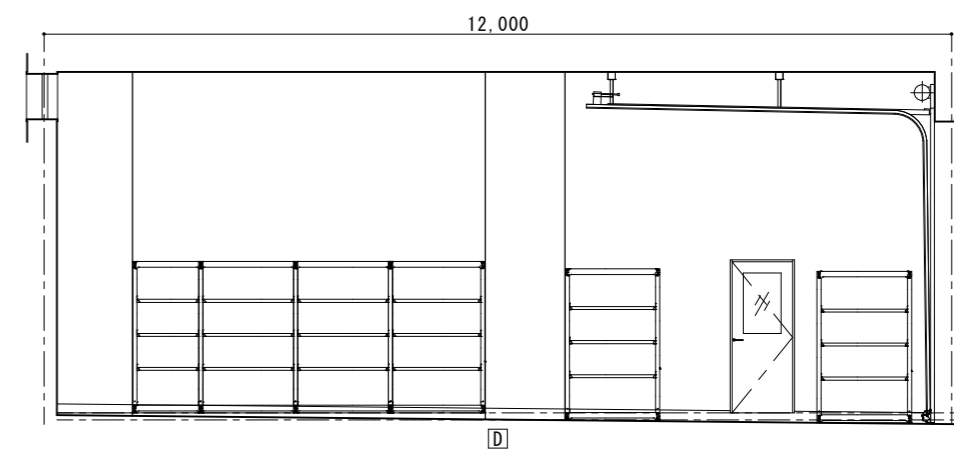
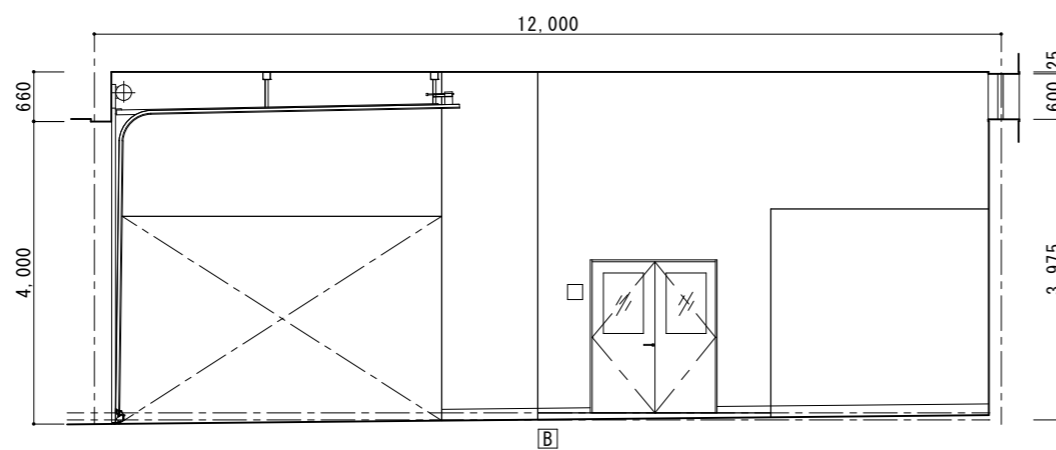
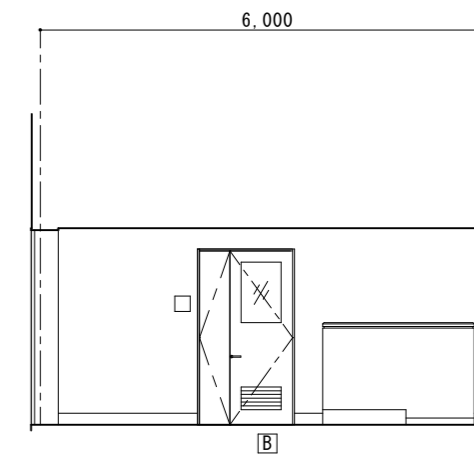
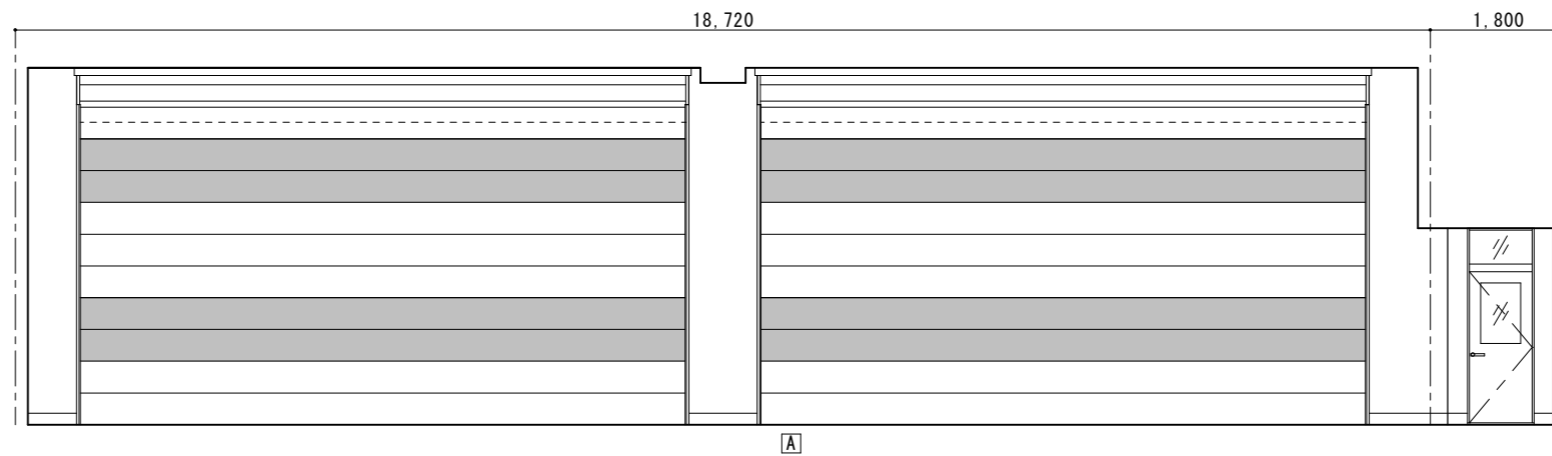
室名	出動準備室
床	長尺ビニル床シート2.0
巾木	ビニル巾木 H75
壁	PBt12.5下地 ケイ酸板t6.0(目透かし)+EP塗
天井	PBt9.5下地 ロックウール化粧吸音板t9.0
廻り縁	塩ビ製
備考	防火衣ロッカー



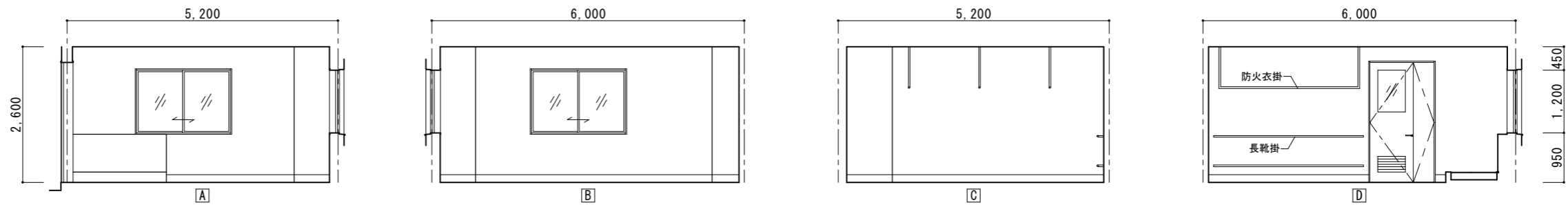
室名	廊下
床	長尺ビニル床シート2.0
巾木	ビニル巾木 H75
壁	PBt12.5下地 ビニルクロス
天井	PBt9.5下地 ロックウール化粧吸音板t9.0
廻り縁	塩ビ製
備考	カーテンレール、カーテン



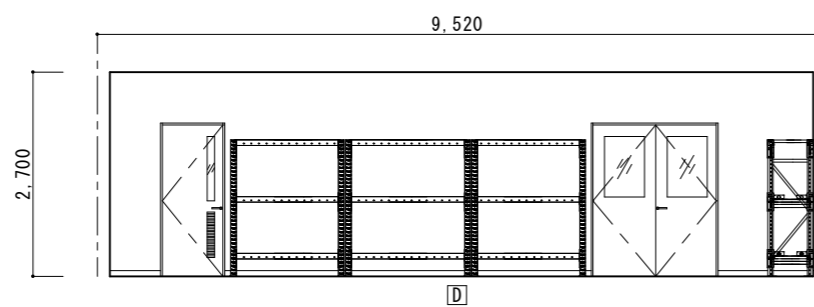
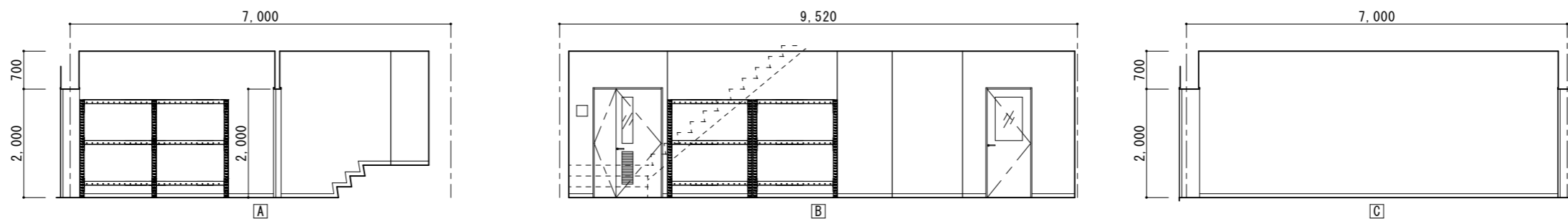
室名	車庫
床	無機質系耐久床材（防滑）
巾木	撥水剤 H150
壁	PBt12.5下地 珪藻板t6.0（目透かし）+EP塗
天井	珪藻板t6.0（目透かし）+EP塗
廻り縁	塩ビ製
備考	洗い場、洗濯機パン、ホス収納、ラック、作業台



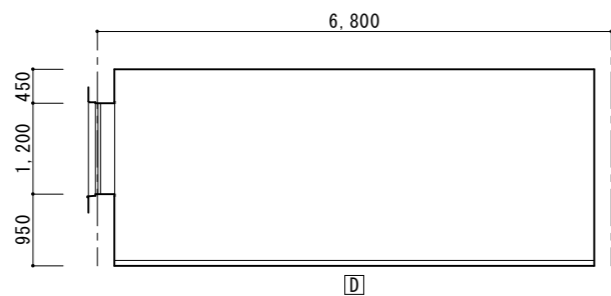
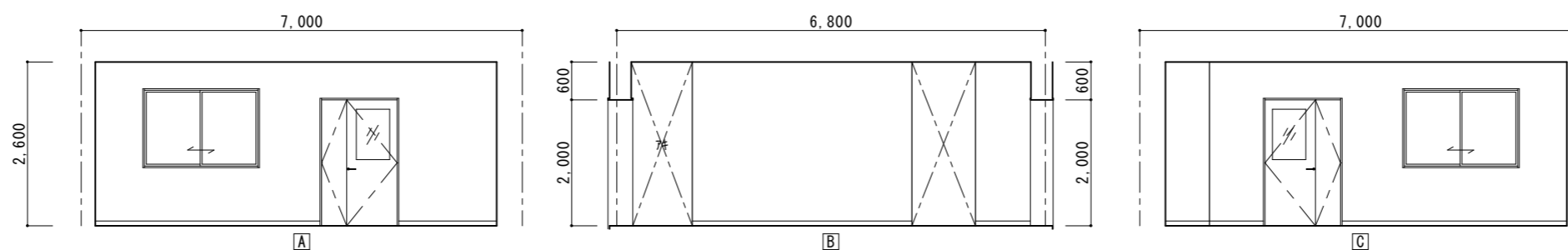
室名	除染・乾燥室
床	防塵塗装
巾木	撥水剤 H150
壁	PBt12.5下地 ケイ酸板t6.0 (目透かし) +EP塗
天井	ケイ酸板t6.0 (目透かし) +EP塗
廻り縁	塩ビ製
備考	洗い場、洗濯機パン、防火衣掛、長靴掛



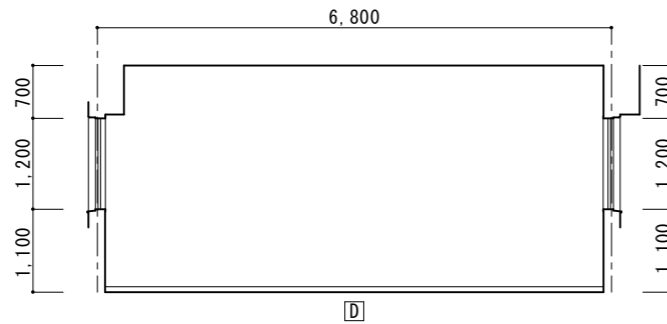
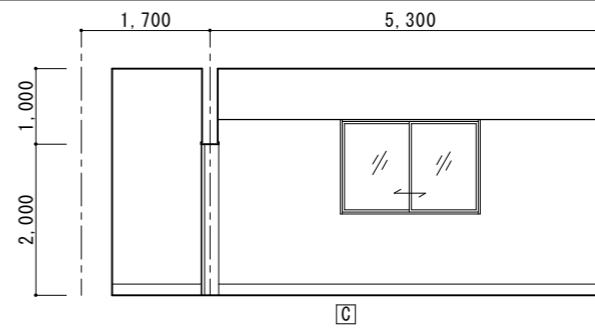
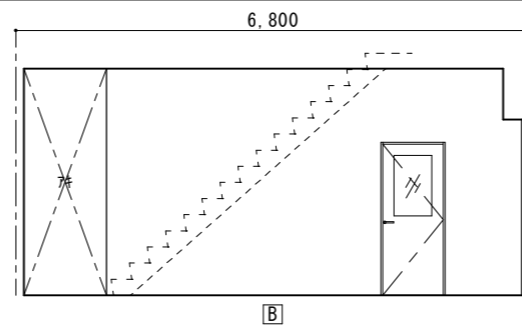
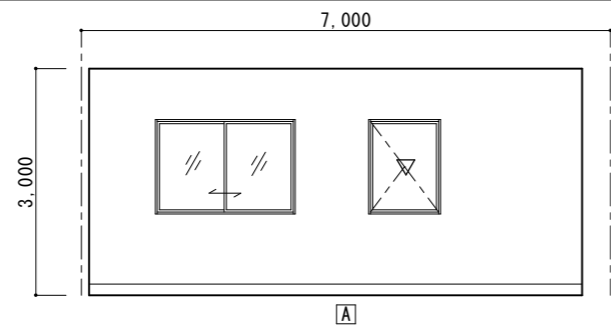
室名	1階物品庫
床	防塵塗装
巾木	ビニル H75
壁	PBt12.5下地 ケイ酸板t6.0 (目透かし) +EP塗
天井	化粧PBt9.5
廻り縁	塩ビ製
備考	タイヤラック、資器材ラック



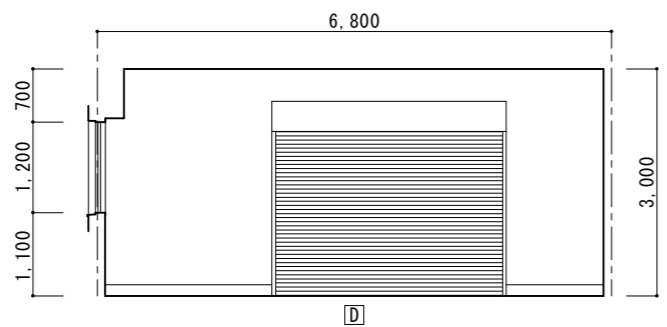
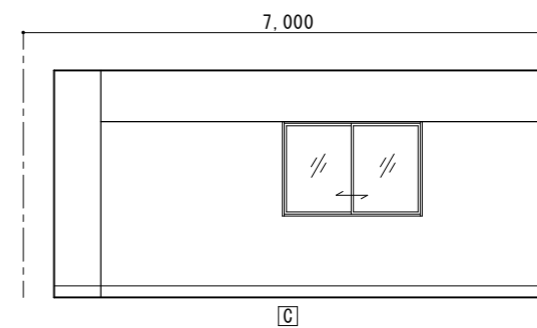
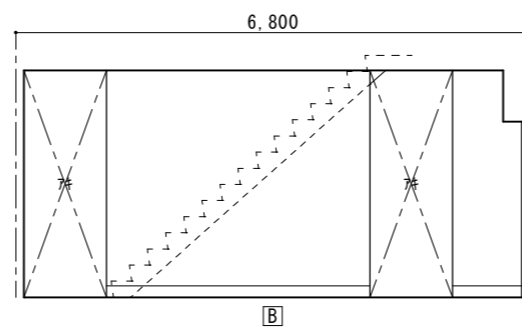
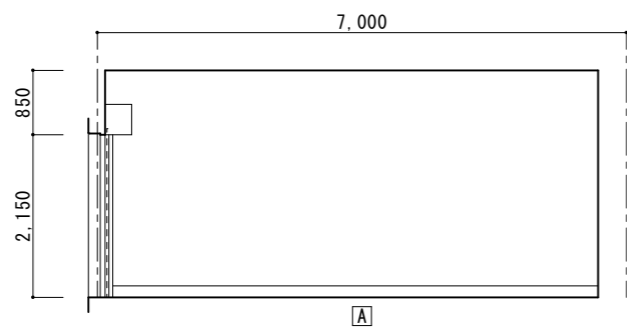
室名	2階物品庫
床	防塵塗装
巾木	ビニル H75
壁	PBt12.5下地 ケイ酸板t6.0 (目透かし) +EP塗
天井	化粧PBt9.5
廻り縁	塩ビ製
備考	タイヤラック、資器材ラック



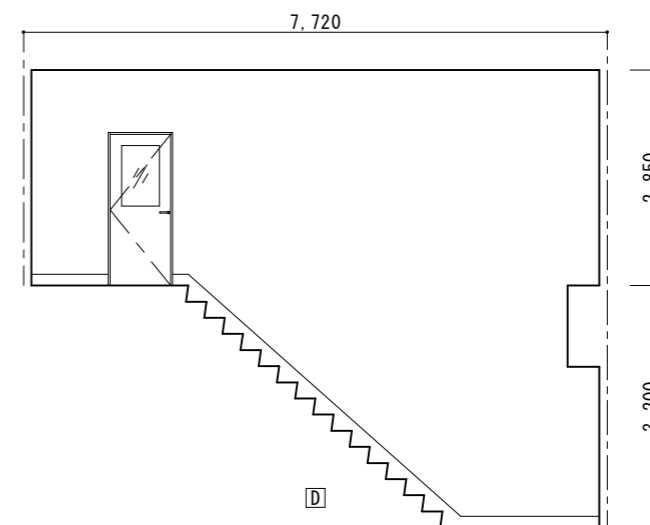
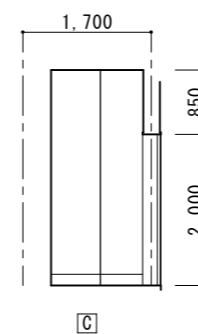
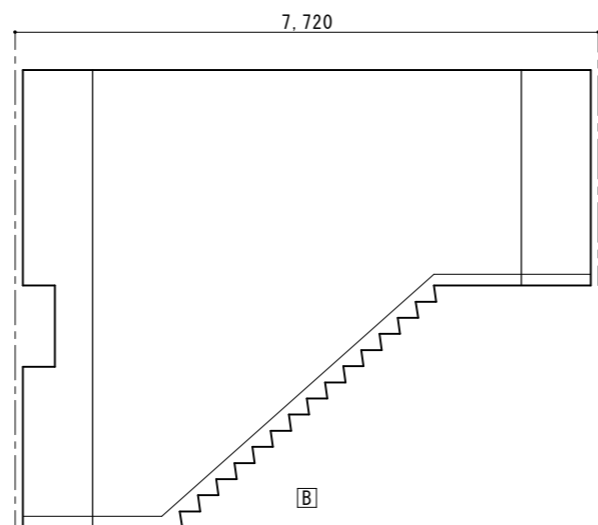
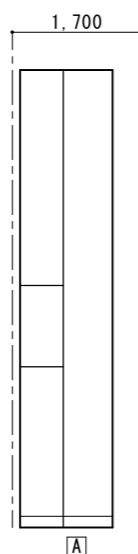
室名	3階訓練スペース
床	ウレタン+FRP防水 無機質調仕上
巾木	撥水剤 H150
壁	コンクリート補修 浸透性撥水剤塗布
天井	コンクリート補修 浸透性撥水剤塗布
廻り縁	
備考	訓練用支点

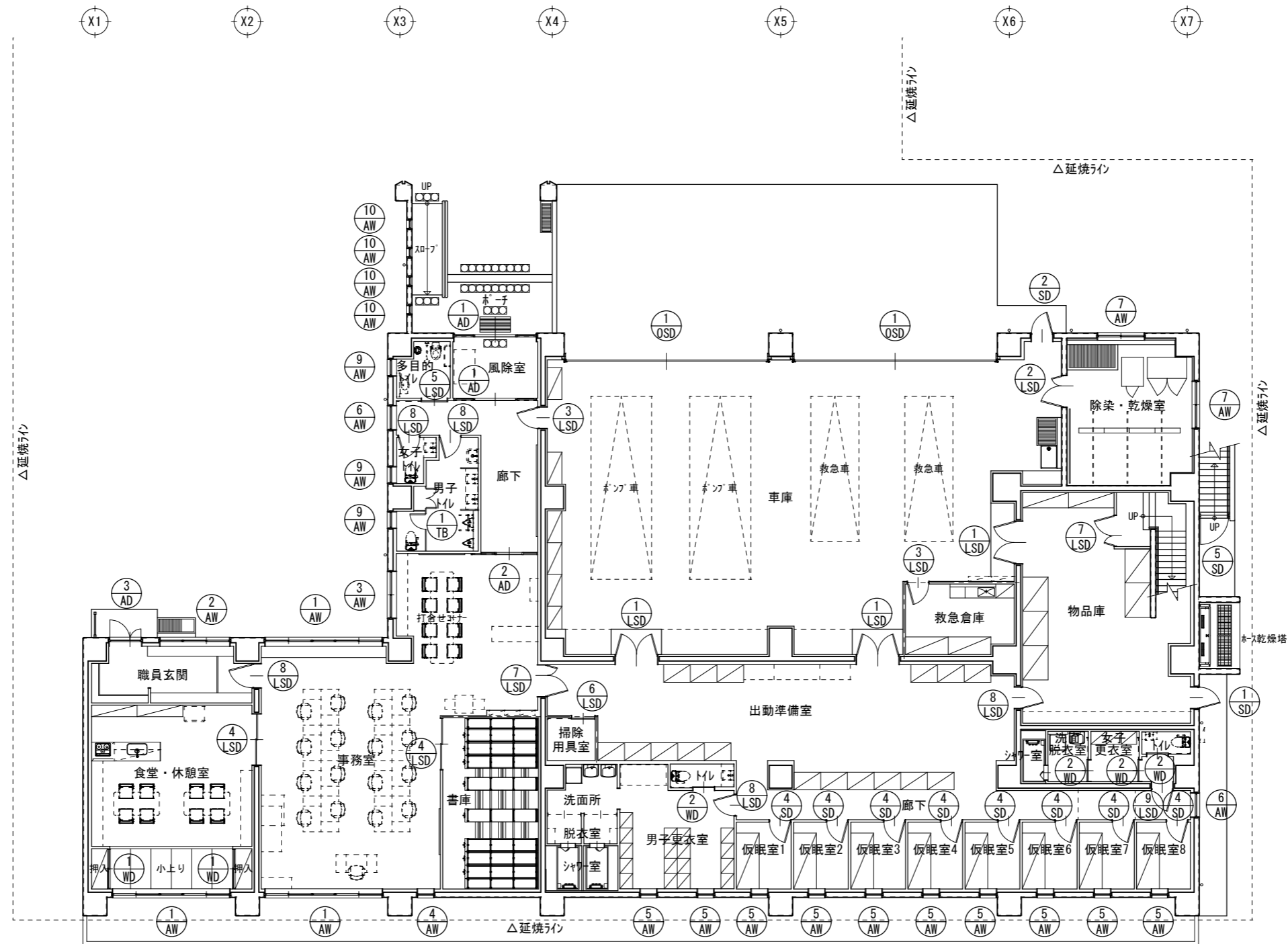


室名	4階訓練スペース
床	ウレタン+FRP防水 無機質調仕上
巾木	撥水剤 H150
壁	コンクリート補修 浸透性撥水剤塗布
天井	コンクリート補修 浸透性撥水剤塗布
廻り縁	
備考	訓練用支点



室名	塔屋
床	モルタル金ゴテ
巾木	撥水剤 H150
壁	コンクリート補修 浸透性撥水剤塗布
天井	化粧PBt9.5
廻り縁	塩ビ
備考	手摺

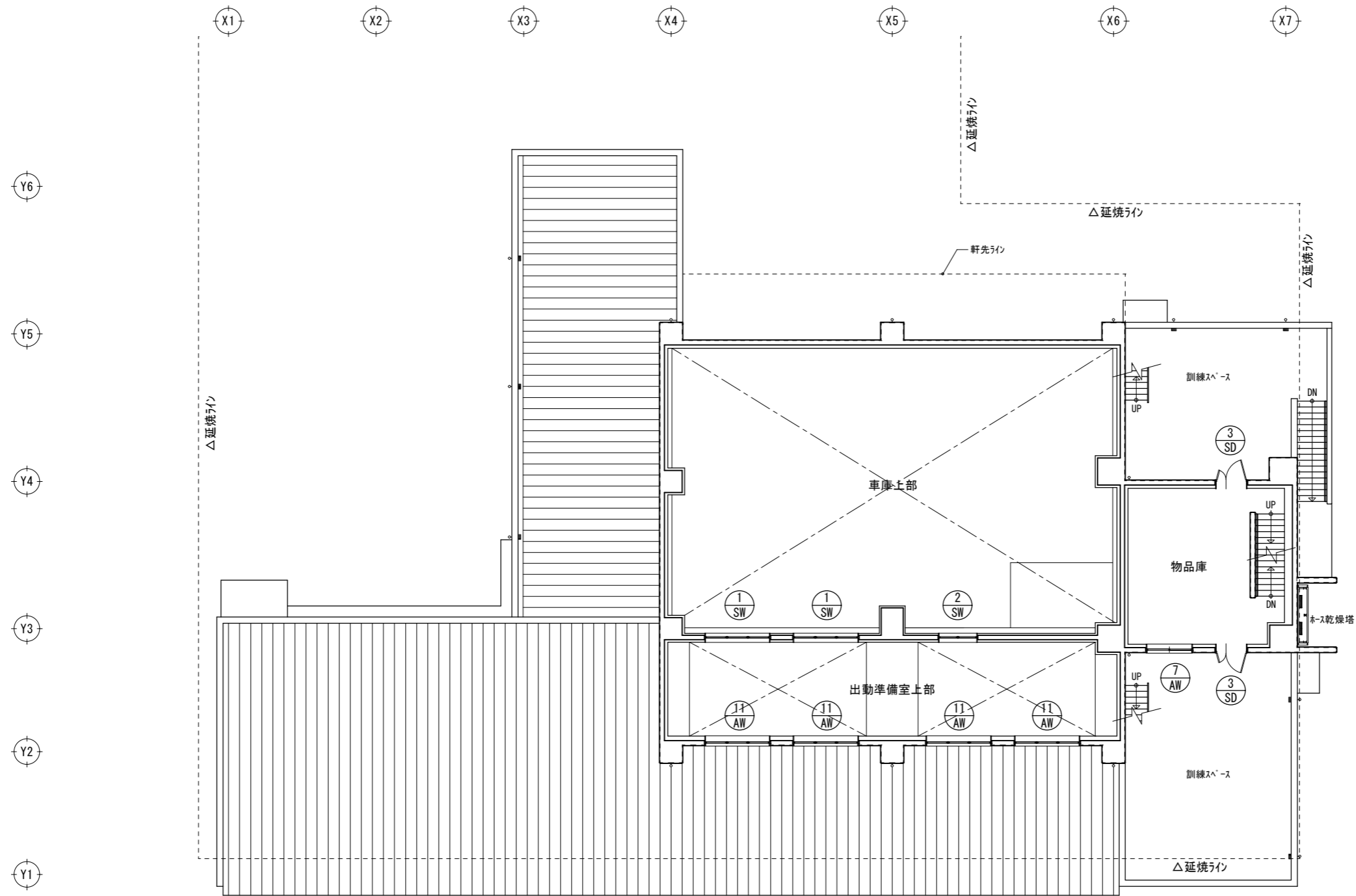




1階建具配置図 S=1:200



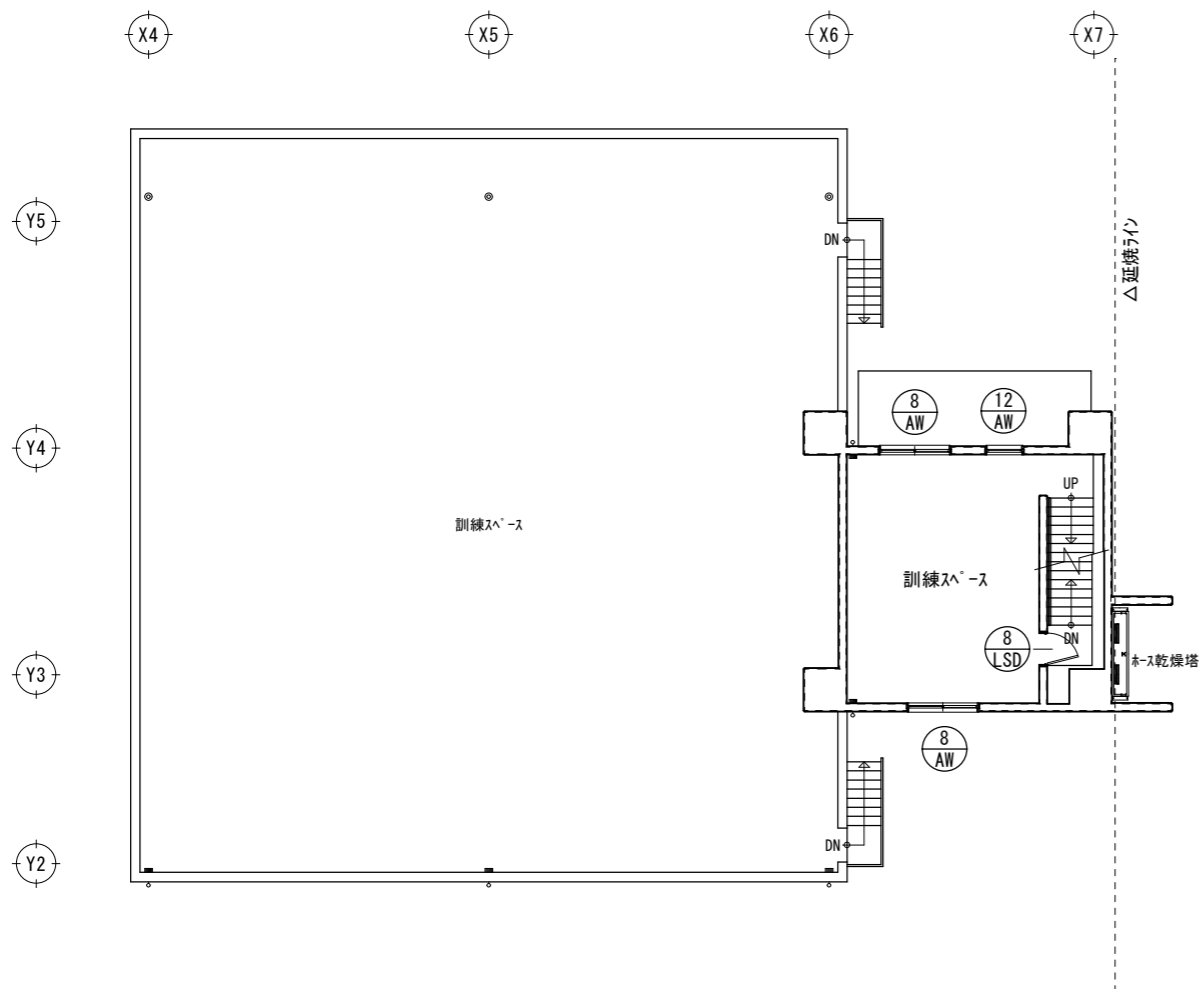
平野建築事務所 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(2703)504号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日	検図	製図	図面名称	縮尺	工事名称	図面番号
	R 08・02			1階建具配置図	A1-1:100 A3-1:200	北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事 設計図	A-44



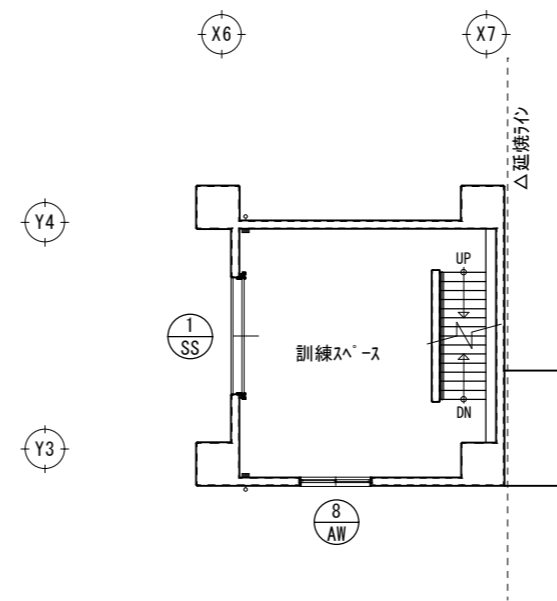
2階建具配置図 S=1:200



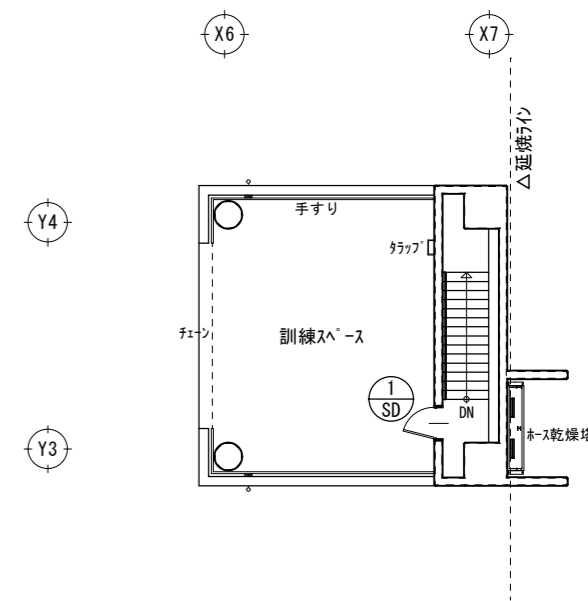
平野建築事務所 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(2703)504号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日	検図	製図	図面名称	縮尺	工事名称	図面番号
	R 08・02			2階建具配置図	A1-1:100 A3-1:200	北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事 設計図	A-45



3階建具配置図 S=1:200



4階建具配置図 S=1:200



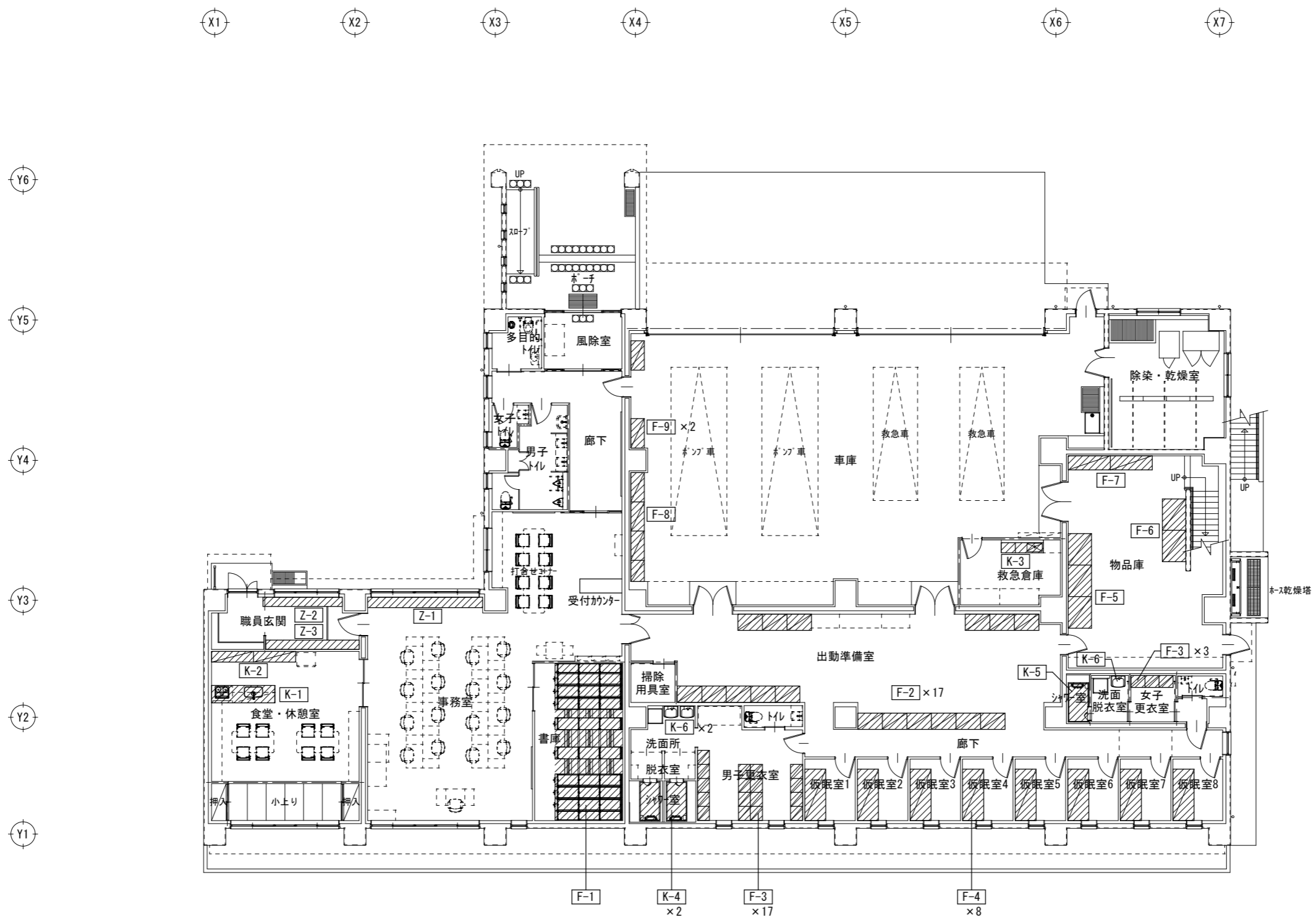
塔屋建具配置図 S=1:200



符号	数量	AW-1	3	AW-2	1	AW-3	1	AW-4	1	AW-5	10
位置	事務室、食堂・休憩室			職員玄関		打合せコーナー		事務室		男子更衣室、仮眠室	
形式	引違いラン付引違い+Fixラン付Fix連窓			見込：100		引違いラン付引違い+Fixラン付Fix連窓		見込：100		引違いラン付引違い+Fixラン付Fix連窓	
材種	7mm樹脂複合			7mm樹脂複合		7mm樹脂複合		7mm樹脂複合		7mm樹脂複合	
仕上											
硝子	FL5+A16+LowE5 (日射取得型)			FL5+A16+LowE5 (日射取得型)		FL5+A16+LowE5 (日射取得型)		FL5+A16+LowE5 (日射取得型)		FL5+A16+LowE5 (日射取得型)	
錠	クレセント			クレセント		クレセント		ハンドル		ハンドル	
その他	引手、ステンレス網戸 内部額縁：集成材+UC塗			引手、ステンレス網戸 内部額縁：集成材+UC塗		引手、ステンレス網戸 内部額縁：集成材+UC塗		ロール網戸 内部額縁：集成材+UC塗		ロール網戸 内部額縁：集成材+UC塗	
備考											
符号	数量	AW-6	2	AW-7	3	AW-8	3	AW-9	3	AW-10	4
位置	廊下、仮眠室前廊下			除染・乾燥室、2階物品庫		3階訓練スペース、4階訓練スペース		男子トイレ、女子トイレ、多目的トイレ		ホーチ	
形式	FIXラン付FIX窓			見込：100		引違い窓		見込：70		横すべり出し窓	
材種	7mm樹脂複合			7mm樹脂複合		7mm		7mm樹脂複合		7mm	
仕上											
硝子	FL5+A16+LowE5 (日射取得型)			FL5+A16+LowE5 (日射取得型) 物品庫：断熱7mmハル		FL3		F4+A16+LowE5 (日射取得型)		FL3	
錠	ハンドル			クレセント		クレセント		ハンドル			
その他	ロール網戸 内部額縁：集成材+UC塗			引手、ステンレス網戸 内部額縁：集成材+UC塗		引手、ステンレス網戸 内部額縁：7mm		ロール網戸 内部額縁：集成材+UC塗		ホーチ側額縁：7mm	
備考											
符号	数量	AW-11	4	AW-12	1						
位置	出勤準備室上部			3階訓練スペース							
形式	突き出し連窓			見込：100		片開き框ト7		見込：100			
材種	7mm樹脂複合			7mm							
仕上											
硝子	FL5+A16+LowE5 (日射取得型)			FL3							
錠											
その他	インペイ式サッシ 内部額縁：集成材+UC塗			内部額縁：7mm							
備考											

符号	数量	SD-1	2	SD-2	1	SD-3	2	SD-4	8	SD-5	1
位置	1階物品庫、塔屋			車庫		2階物品庫		仮眠室		屋外階段	
形式	片開きドア			FIXラマ付片開きドア		両開き親子ドア		ラマ付片開きドア		片開き格子ドア	
材種	スチール (t1.6 両面フラッシュ)			スチール (t1.6 両面フラッシュ)		スチール (t1.6 両面フラッシュ)		スチール (t1.6 両面フラッシュ) グラスフル充填		スチール	
仕上	2-FUE			2-FUE		2-FUE		化粧鋼板		2-FUE	
硝子	FL5+A16+LowE5 (日射取得型) 塔屋: FL5			FL4+A12+FL3 ラマ: FL3+A12+FL3		FL4+A12+FL3					
錠	外: シリナー錠 内: サムターン 物品庫: テンキ、電気錠			テンキ、電気錠		外: シリナー錠 内: サムターン		1~6 外: シリナー錠 内: サムターン 7.8 外: テンキ 内: サムターン		外: シリナー錠 内: サムターン	
その他	レバーハンドル、丁番、DC、戸当り 枠: 亜鉛めっき鋼板 2-FUE			レバーハンドル、丁番、DC、戸当り 枠: 亜鉛めっき鋼板 2-FUE		レバーハンドル、丁番、DC、戸当り 枠: 亜鉛めっき鋼板 2-FUE		レバーハンドル、丁番、ドアチェック、戸当り 枠: 亜鉛めっき鋼板 焼付け塗装		握り玉、丁番、戸当り	
備考											
符号	数量	LSD-1 (特防: 告示1369号、告示2563号)	3	LSD-2 (特防: 告示1369号、告示2563号)	1	LSD-3 (特防: 告示1369号、告示2563号)	2	LSD-4	2	LSD-5	1
位置	出勤準備室、1階物品庫			除染・乾燥室		救急倉庫、車庫		食堂、書庫		多目的トイレ	
形式	両開きドア			両開き親子ドア		片開きドア		引き違い戸		片引きハンガードア (自閉式)	
材種	スチール (t1.6 両面フラッシュ)			スチール (t1.6 両面フラッシュ)		スチール (t1.6 両面フラッシュ)		スチール (t1.6 両面フラッシュ)		スチール (t1.6 両面フラッシュ)	
仕上	化粧鋼板			化粧鋼板		化粧鋼板		化粧鋼板		化粧鋼板	
硝子	FR5			FR5		FR5		F4		灯り取り	
錠										外: 大型サムターン表示錠 内: サムターン	
その他	レバーハンドル、丁番、ドアチェック、戸当り 枠: 亜鉛めっき鋼板 焼付け塗装			レバーハンドル、丁番、ドアチェック、戸当り、ガリ (FD付) 枠: 亜鉛めっき鋼板 焼付け塗装		レバーハンドル、丁番、ドアチェック、戸当り、ガリ (FD付) 車庫: ガリ無 枠: 亜鉛めっき鋼板 焼付け塗装		引手、ステンレスフラットレール 枠: 亜鉛めっき鋼板 焼付け塗装		引手、ステンレスフラットレール 枠: 亜鉛めっき鋼板 焼付け塗装	
備考											
符号	数量	LSD-6	1	LSD-7	2	LSD-8	6	LSD-9	1		
位置	掃除用具入			事務室、1階物品庫		男子トイレ、女子トイレ、物品庫、男子更衣室、職員玄関、訓練スペース		女子更衣室			
形式	片開き戸			両開き親子ドア		片開きドア		片開きドア			
材種	スチール (t1.6 両面フラッシュ)			スチール (t1.6 両面フラッシュ)		スチール (t1.6 両面フラッシュ)		スチール (t1.6 両面フラッシュ)			
仕上	化粧鋼板			化粧鋼板		化粧鋼板		化粧鋼板			
硝子	F4			FL3		F4		F4			
錠						女子トイレ 外: サムターン表示錠 内: サムターン		外: テンキ 内: サムターン			
その他	引手、ステンレスフラットレール、ガリ 枠: 亜鉛めっき鋼板 焼付け塗装			レバーハンドル、丁番、ドアチェック、戸当り、ガリ 枠: 亜鉛めっき鋼板 焼付け塗装		レバーハンドル、丁番、ドアチェック、戸当り、ガリ 枠: 亜鉛めっき鋼板 焼付け塗装		レバーハンドル、丁番、ドアチェック、戸当り、ガリ 枠: 亜鉛めっき鋼板 焼付け塗装			
備考											

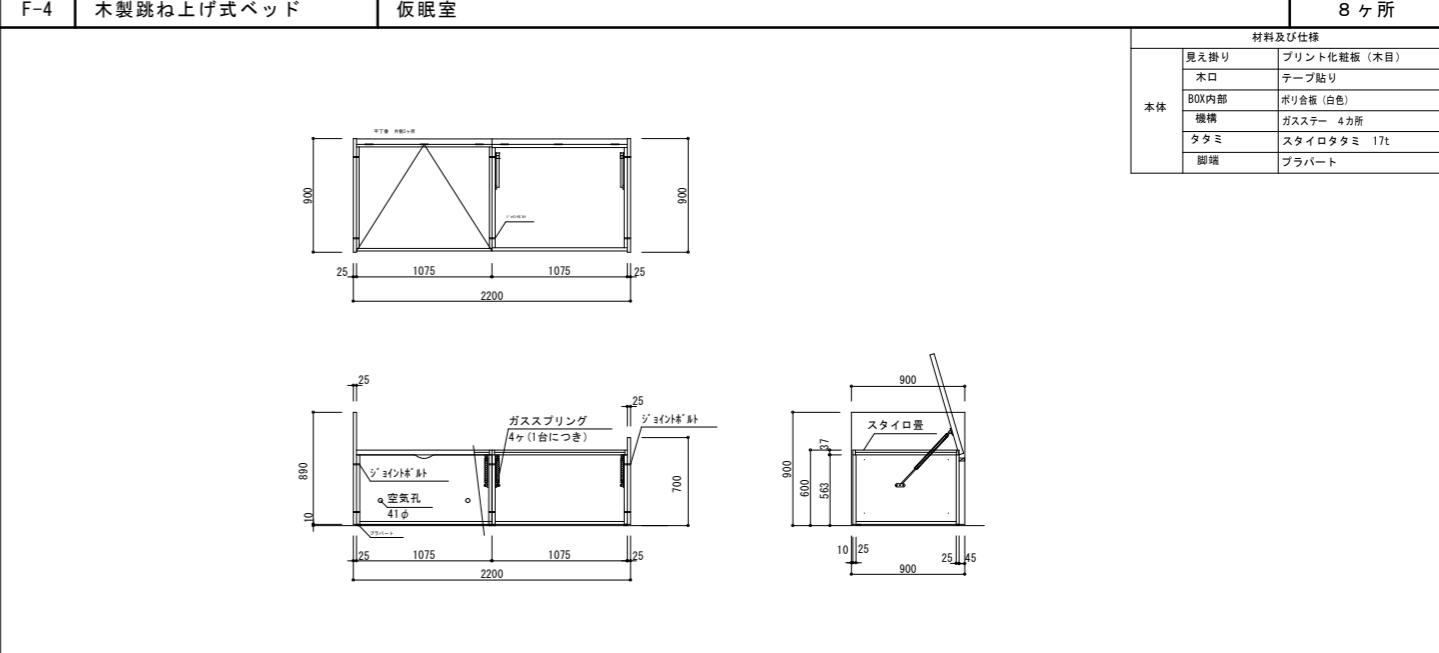
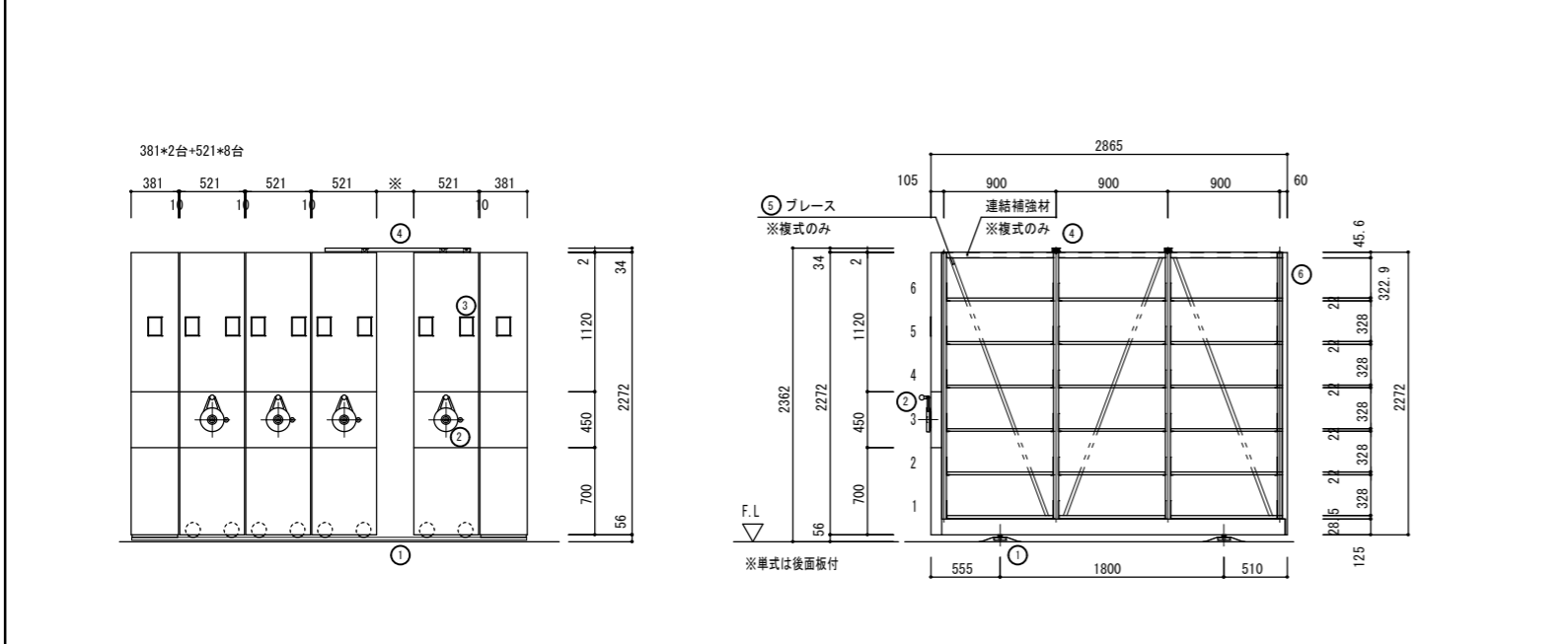
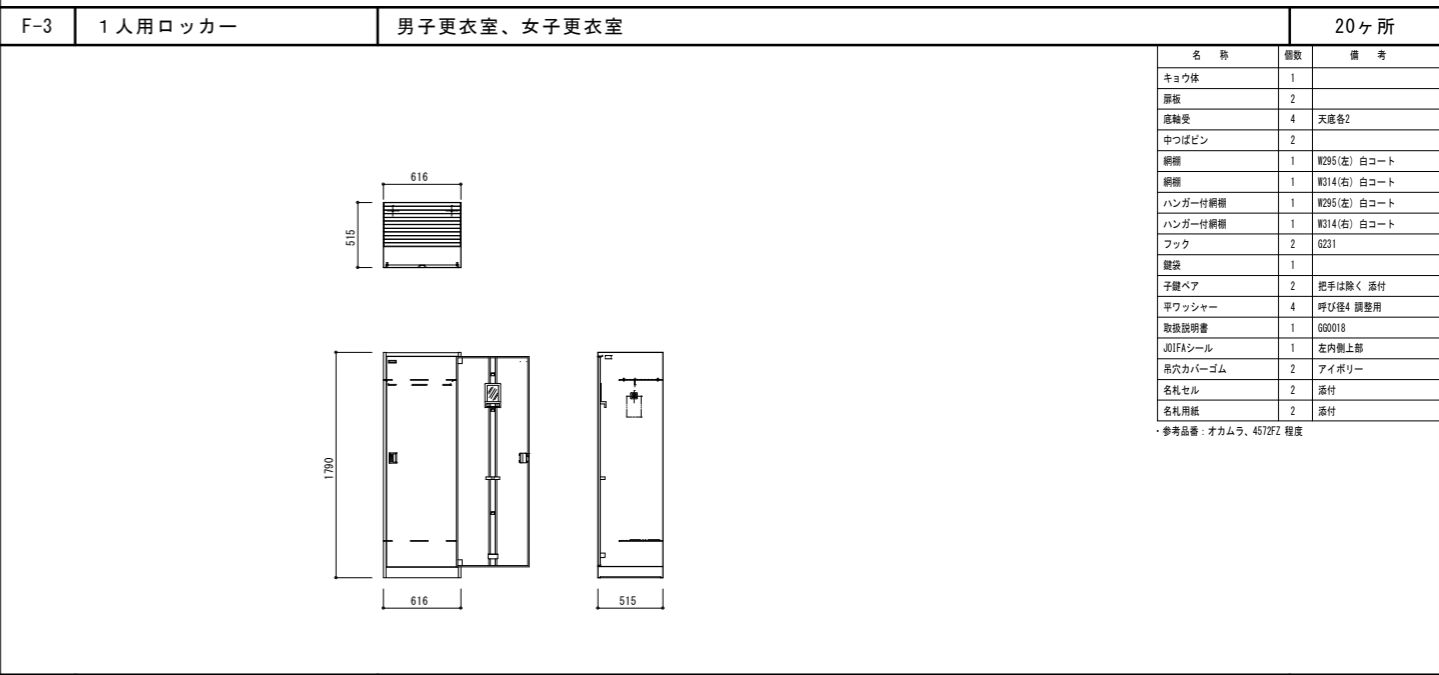
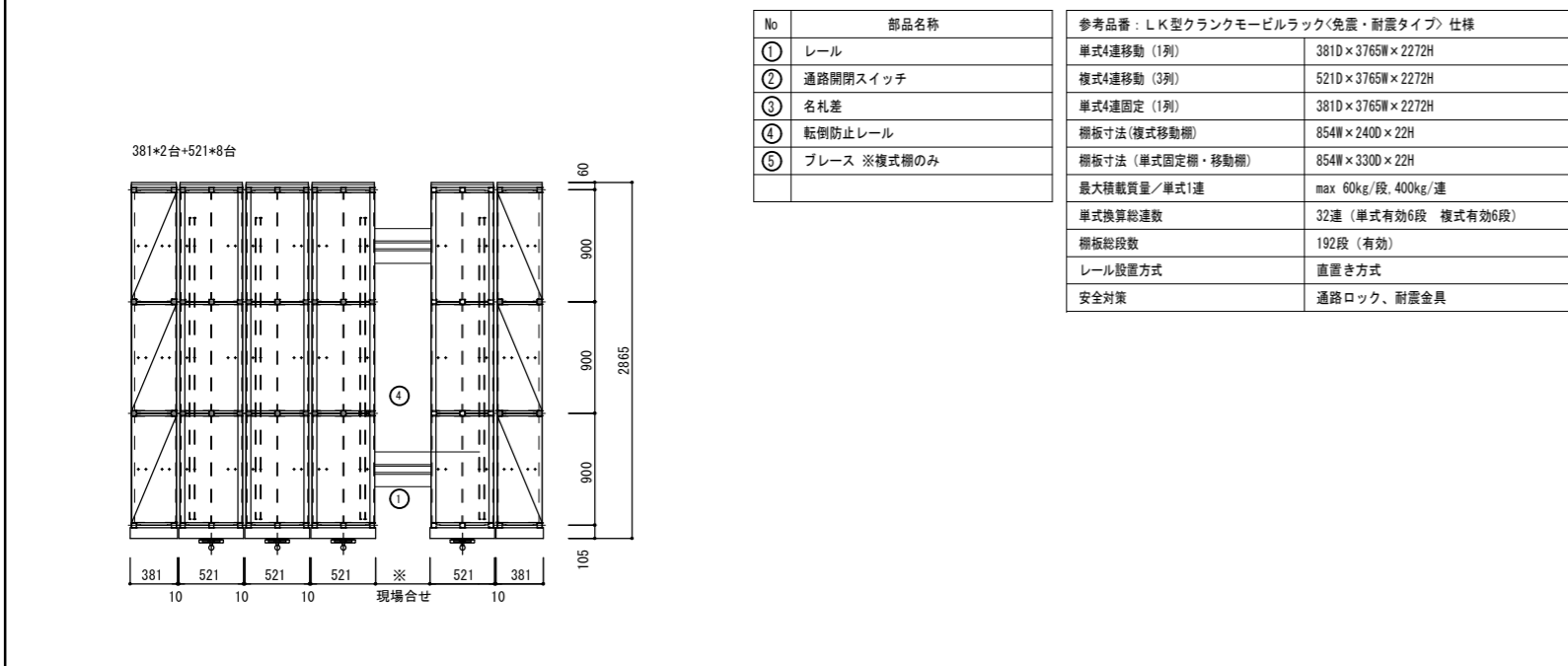
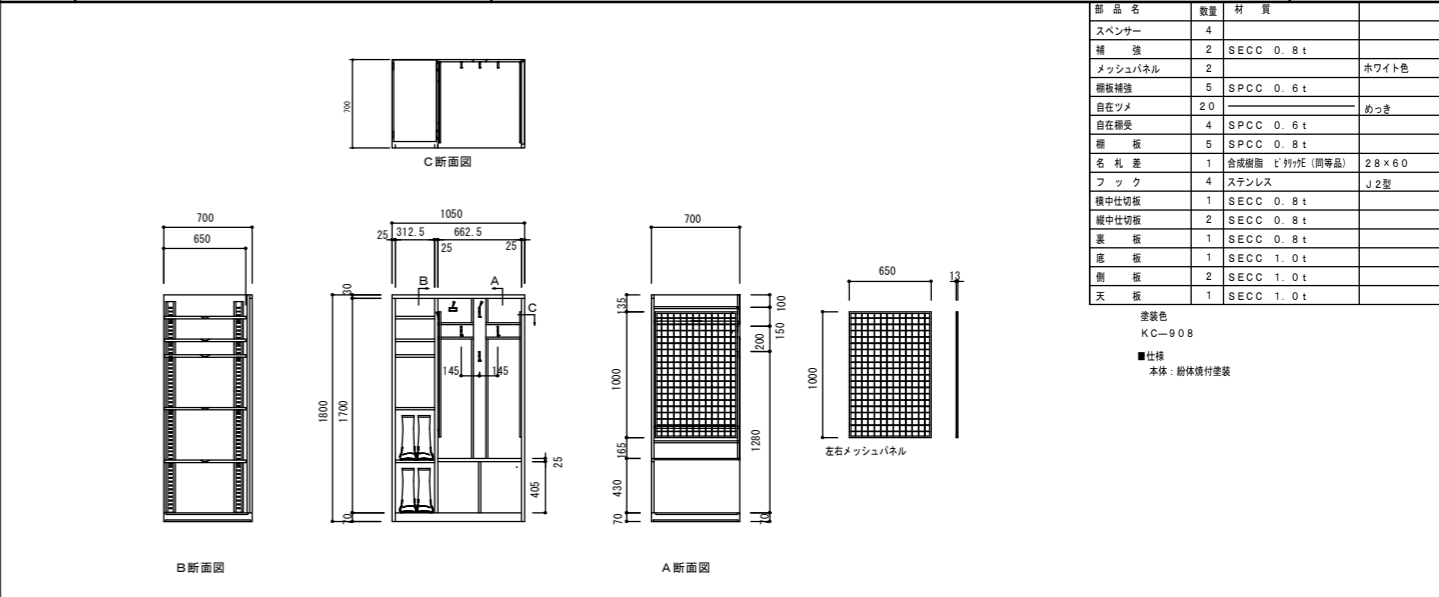
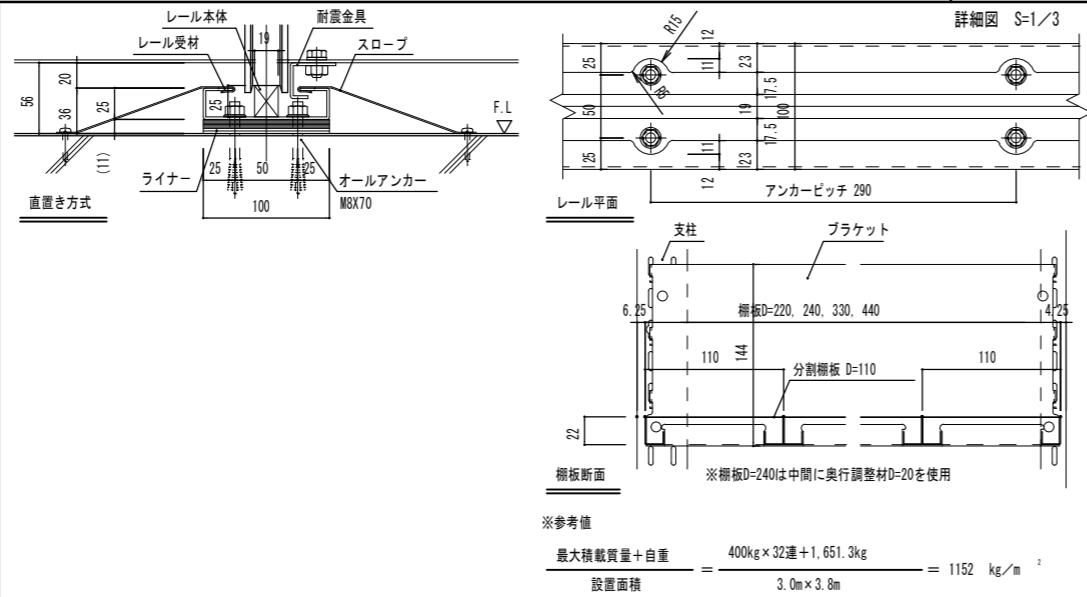
符号	数量	AD-1	2	AD-2	1	AD-3	1		
位置		風除室		事務室		職員玄関			
形式		引分けハガート7 (自閉式)	見込: 100	FIX袖付片引きハガート7 (自閉式)	見込: 100	FIXラマ付親子ト7	見込: 70		
材種		アルミ		アルミ		アルミ			
仕上									
硝子		ト7: TP8 両袖: TP5		ト7: TP8 両袖: TP5		FL5+A16+LowE5 (日射取得型)			
錠		引き戸用錠 内側: 電気錠		引き戸用錠		外: シリカ錠 内: サムターン 電気錠			
その他		ト7ハンドル: ステンレス600、ステンレスフラットレール 内部額縁: アルミ、追突防止表示		ト7ハンドル: ステンレス600、ステンレスフラットレール 内部額縁: アルミ、追突防止表示		ト7ハンドル、フラス落とし、DC、戸当たり 内部額縁: アルミ			
備考									
符号	数量	OSD-1	2	SS-1	1	SW-1 (特防: 告示1369号)	2	SW-2 (特防: 告示1369号)	1
位置		車庫		4階訓練スペース		車庫上部		車庫上部	
形式		オーバーサイズコンベクションタイプ [AF]		軽量シャッター		嵌め殺し連窓		嵌め殺し連窓	
材種		パネル: アルミ、ファイバークラス フレーム: アルミ				スチール		スチール	
仕上									
硝子						FR5		FR5	
錠		オーバーサイズ用錠		水圧開錠装置					
その他		スタンダード形 バランス式 外部3方枠: SUS HL仕上げ (D=270)				枠: 垂鉛めっき鋼板 焼付け塗装		枠: 垂鉛めっき鋼板 焼付け塗装	
備考									
符号	数量	WD-1	2	WD-2	4			TB-1	1
位置		押入		男子更衣室トイレ、女子更衣室トイレ、女子更衣室、女子脱衣室				男子トイレ	
形式		引違い戸 (枠共)	見込: 110	片開き戸 (枠共)	見込: 110			トイレ	見込: 40
材種		木製		木製				メラミン樹脂化粧板 ハードパネタイプ	
仕上		扉: 和紙化粧シート、枠: 木目調化粧シート		木目調化粧シート				アルミレジック (指はさみ対策)	
硝子									
錠				外: 表示錠 内: サムターン 女子更衣室: 鍵無し				表示錠	
その他				レバーハンドル、丁番、戸当たり				丁番型グレティヒンジ 付属金物一式 ステンレス巾木 ステンレス笠木 防止掛け戸当たり	
備考									



1階什器・家具配置図 S=1:200



平野建築事務所 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(2703)504号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日	検図	製図	図面名称	縮尺	工事名称	図面番号
	R 08・02			什器・家具配置図	A1-1:100 A3-1:200		



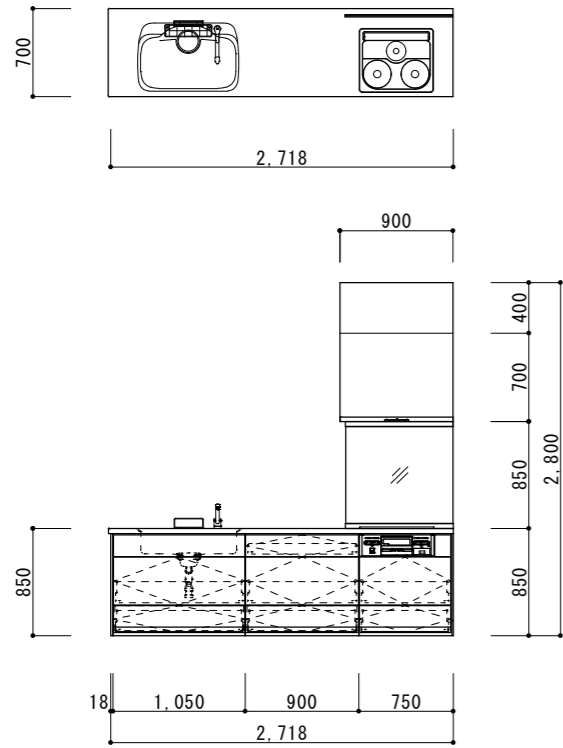
F-5	タイヤラック	1階 物品庫	1か所	F-6	タイヤラック	1階 物品庫	1か所							
				<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="width:10%;">仕様</td> <td>タイヤ収納</td> <td>2段</td> </tr> <tr> <td>棚板</td> <td>1段</td> </tr> <tr> <td>塗装</td> <td>粉体塗装</td> </tr> </table>				仕様	タイヤ収納	2段	棚板	1段	塗装	粉体塗装
									仕様	タイヤ収納	2段			
棚板	1段													
塗装	粉体塗装													
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="width:10%;">仕様</td> <td>タイヤ収納</td> <td>2段</td> </tr> <tr> <td>棚板</td> <td>1段</td> </tr> <tr> <td>塗装</td> <td>粉体塗装</td> </tr> </table>				仕様	タイヤ収納	2段	棚板	1段	塗装	粉体塗装				
仕様	タイヤ収納	2段												
	棚板	1段												
	塗装	粉体塗装												

F-7	タイヤラック	1階 物品庫	1か所	F-8	ホース収納棚	車庫	1か所									
				<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="width:10%;">仕様</td> <td>タイヤ収納</td> <td>2段</td> </tr> <tr> <td>棚板</td> <td>1段</td> </tr> <tr> <td>塗装</td> <td>粉体塗装</td> </tr> </table>				仕様	タイヤ収納	2段	棚板	1段	塗装	粉体塗装		
									仕様	タイヤ収納	2段					
棚板	1段															
塗装	粉体塗装															
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="5" style="width:10%;">仕様</td> <td>製品記号</td> <td>SKH-2012</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>段荷重</td> <td>300kg/段</td> </tr> <tr> <td>棚段数</td> <td>ホース棚4段(天地5段)</td> </tr> <tr> <td>固定</td> <td>壁・床M8アンカー固定</td> </tr> <tr> <td>塗装色</td> <td>標準色-粉体SG色(サングレー)</td> </tr> </table>				仕様	製品記号	SKH-2012	台数	1台	段荷重	300kg/段	棚段数	ホース棚4段(天地5段)	固定	壁・床M8アンカー固定	塗装色	標準色-粉体SG色(サングレー)
仕様	製品記号	SKH-2012														
	台数	1台														
	段荷重	300kg/段														
	棚段数	ホース棚4段(天地5段)														
	固定	壁・床M8アンカー固定														
塗装色	標準色-粉体SG色(サングレー)															

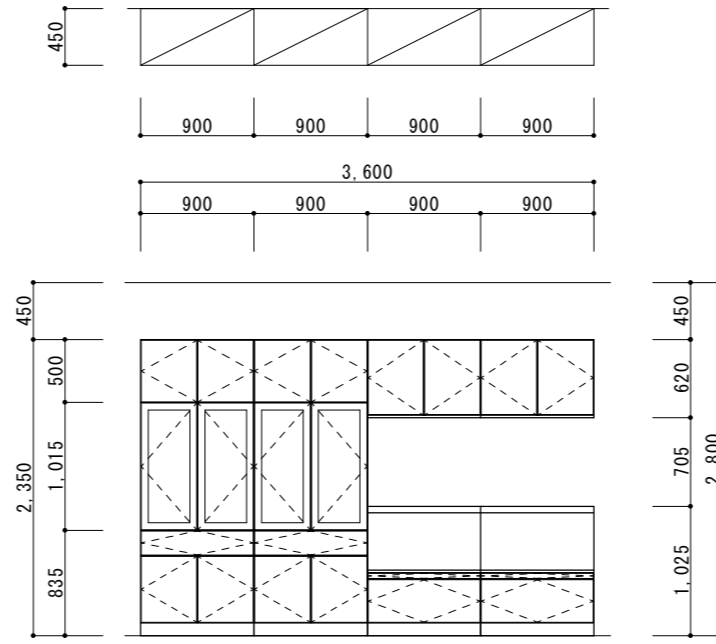
F-9	ホース収納棚	車庫	2か所				8ヶ所													
				<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="5" style="width:10%;">仕様</td> <td>製品記号</td> <td>SKH-2012</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>段荷重</td> <td>300kg/段</td> </tr> <tr> <td>棚段数</td> <td>ホース棚4段(天地5段)</td> </tr> <tr> <td>固定</td> <td>壁・床M8アンカー固定</td> </tr> <tr> <td>塗装色</td> <td>標準色-粉体SG色(サングレー)</td> </tr> </table>				仕様	製品記号	SKH-2012	台数	1台	段荷重	300kg/段	棚段数	ホース棚4段(天地5段)	固定	壁・床M8アンカー固定	塗装色	標準色-粉体SG色(サングレー)
									仕様	製品記号	SKH-2012									
台数	1台																			
段荷重	300kg/段																			
棚段数	ホース棚4段(天地5段)																			
固定	壁・床M8アンカー固定																			
塗装色	標準色-粉体SG色(サングレー)																			
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="5" style="width:10%;">仕様</td> <td>製品記号</td> <td>SKH-2012</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>段荷重</td> <td>300kg/段</td> </tr> <tr> <td>棚段数</td> <td>ホース棚4段(天地5段)</td> </tr> <tr> <td>固定</td> <td>壁・床M8アンカー固定</td> </tr> <tr> <td>塗装色</td> <td>標準色-粉体SG色(サングレー)</td> </tr> </table>				仕様	製品記号	SKH-2012	台数	1台	段荷重	300kg/段	棚段数	ホース棚4段(天地5段)	固定	壁・床M8アンカー固定	塗装色	標準色-粉体SG色(サングレー)				
仕様	製品記号	SKH-2012																		
	台数	1台																		
	段荷重	300kg/段																		
	棚段数	ホース棚4段(天地5段)																		
	固定	壁・床M8アンカー固定																		
塗装色	標準色-粉体SG色(サングレー)																			

K-1 流し台 食堂・休憩室 A1-1:30 A3-1:60 K-2 カップボード 食堂・休憩室 A1-1:30 A3-1:60 K-3 流し台 救急倉庫 A1-1:30 A3-1:60

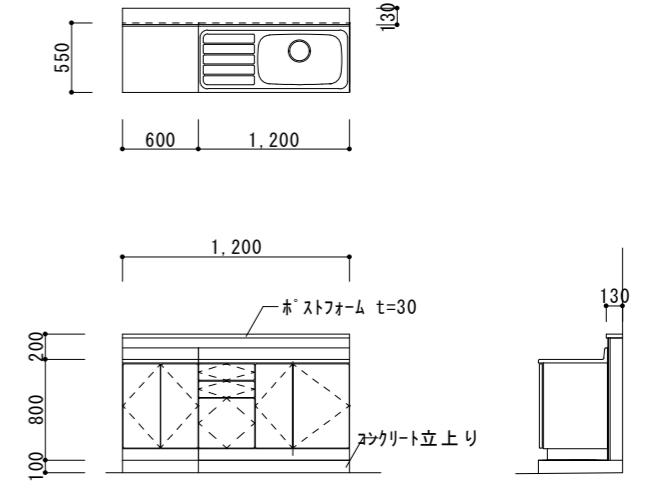
参考品番: LIXIL リンパSI (RP197L2735syoR)
Panasonic レンジ'フード' FY-9HZC4-S



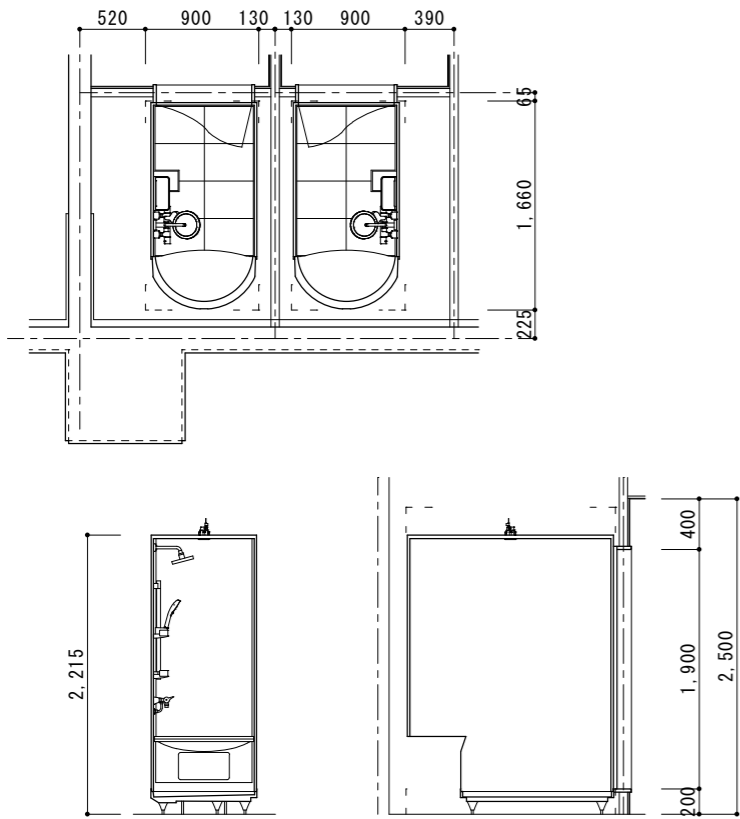
参考品番: トラス Bb カップボード



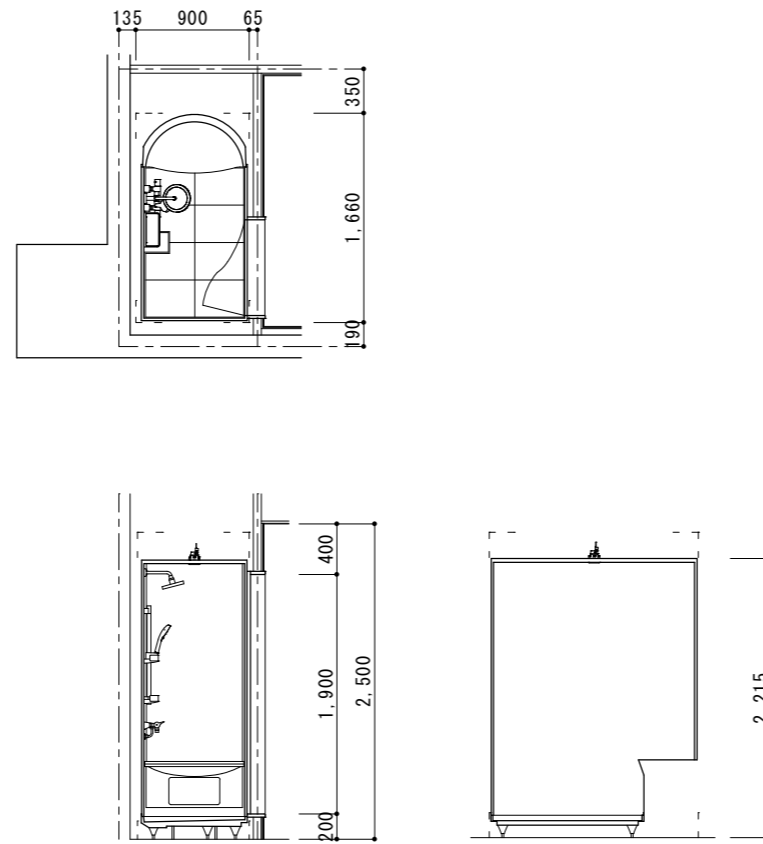
参考品番: LIXIL HR2 流し台 間口=1,200
参考品番: LIXIL HR2 調理台 間口=600



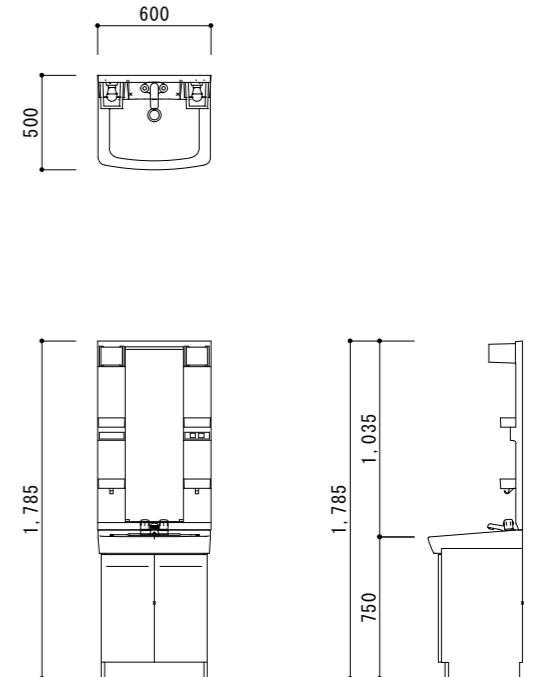
K-4 シャワーユニット 男子シャワー室 A1-1:30 A3-1:60



K-5 シャワーユニット 女子シャワー室 A1-1:30 A3-1:60

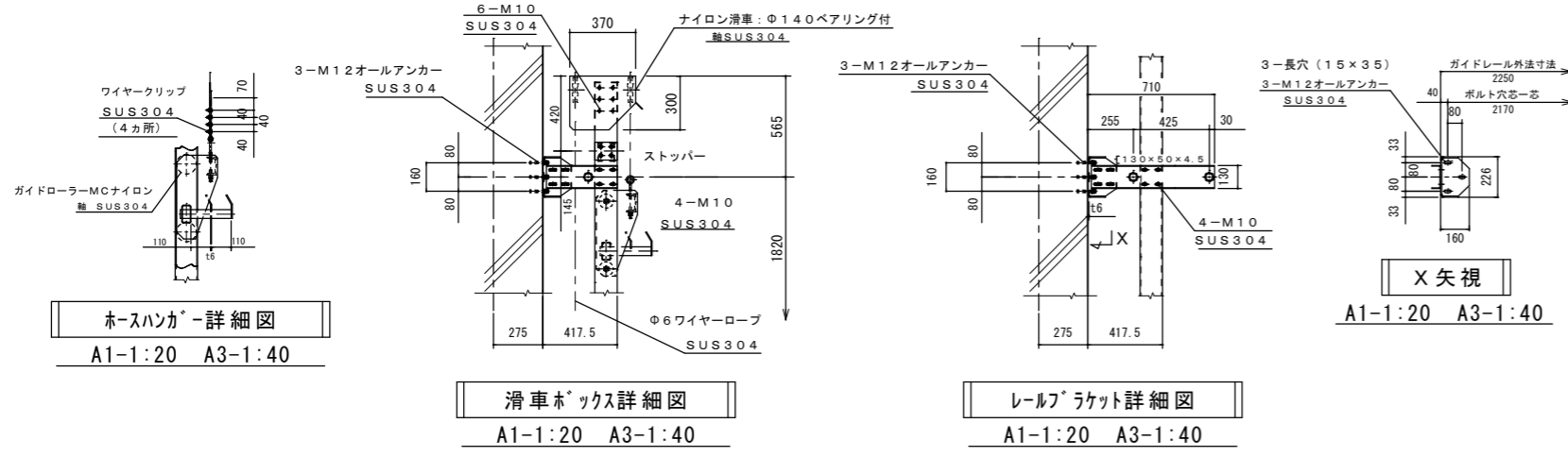


K-6 洗面化粧台 男子更衣室、女子更衣室 A1-1:20 A3-1:40



Z-1	収納棚	事務室	A1-1:30 A3-1:60	Z-2	下足入 (2台)	職員玄関	A1-1:30 A3-1:60	Z-3	下足入 (3台)	職員玄関	A1-1:30 A3-1:60																
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>各部仕様</td></tr> <tr><td>天板:ラシハ'-コ7合板下地</td></tr> <tr><td>マリン化粧板仕上 t=1.2</td></tr> <tr><td>小口マリン化粧板</td></tr> <tr><td>扉・棚板:木リファッシュ板</td></tr> <tr><td>ステンレス製棚受</td></tr> </table>				各部仕様	天板:ラシハ'-コ7合板下地	マリン化粧板仕上 t=1.2	小口マリン化粧板	扉・棚板:木リファッシュ板	ステンレス製棚受	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>各部仕様</td></tr> <tr><td>天板・側板:ラシハ'-コ7合板下地</td></tr> <tr><td>マリン化粧板仕上 t=1.2</td></tr> <tr><td>小口マリン化粧板</td></tr> <tr><td>棚板:木リファッシュ板</td></tr> </table>				各部仕様	天板・側板:ラシハ'-コ7合板下地	マリン化粧板仕上 t=1.2	小口マリン化粧板	棚板:木リファッシュ板	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>各部仕様</td></tr> <tr><td>天板・側板:ラシハ'-コ7合板下地</td></tr> <tr><td>マリン化粧板仕上 t=1.2</td></tr> <tr><td>小口マリン化粧板</td></tr> <tr><td>棚板:木リファッシュ板</td></tr> </table>				各部仕様	天板・側板:ラシハ'-コ7合板下地	マリン化粧板仕上 t=1.2	小口マリン化粧板	棚板:木リファッシュ板
各部仕様																											
天板:ラシハ'-コ7合板下地																											
マリン化粧板仕上 t=1.2																											
小口マリン化粧板																											
扉・棚板:木リファッシュ板																											
ステンレス製棚受																											
各部仕様																											
天板・側板:ラシハ'-コ7合板下地																											
マリン化粧板仕上 t=1.2																											
小口マリン化粧板																											
棚板:木リファッシュ板																											
各部仕様																											
天板・側板:ラシハ'-コ7合板下地																											
マリン化粧板仕上 t=1.2																											
小口マリン化粧板																											
棚板:木リファッシュ板																											

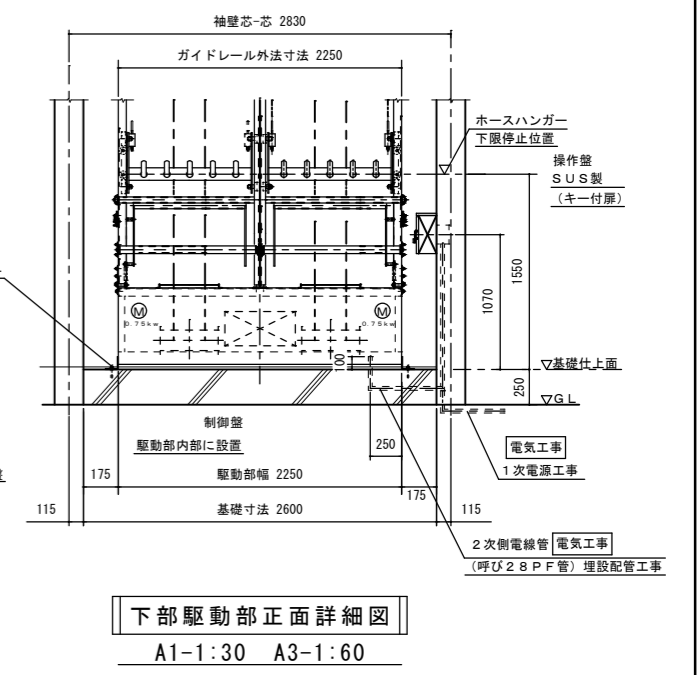
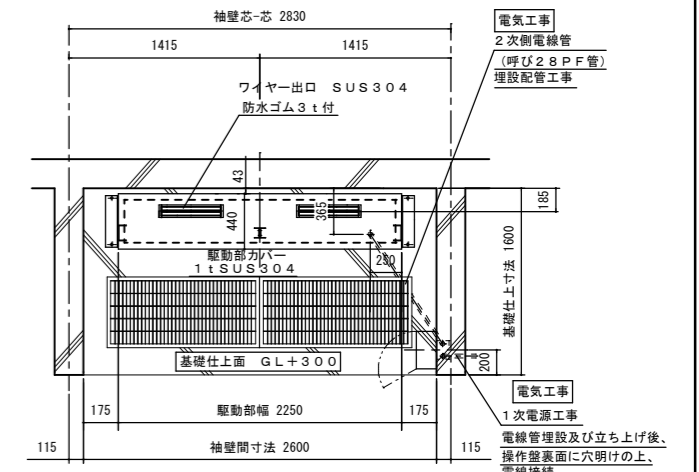
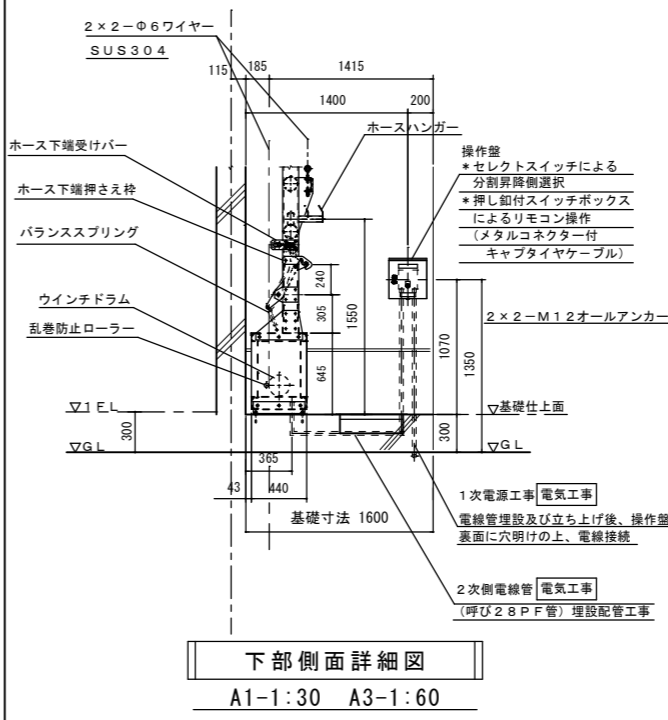
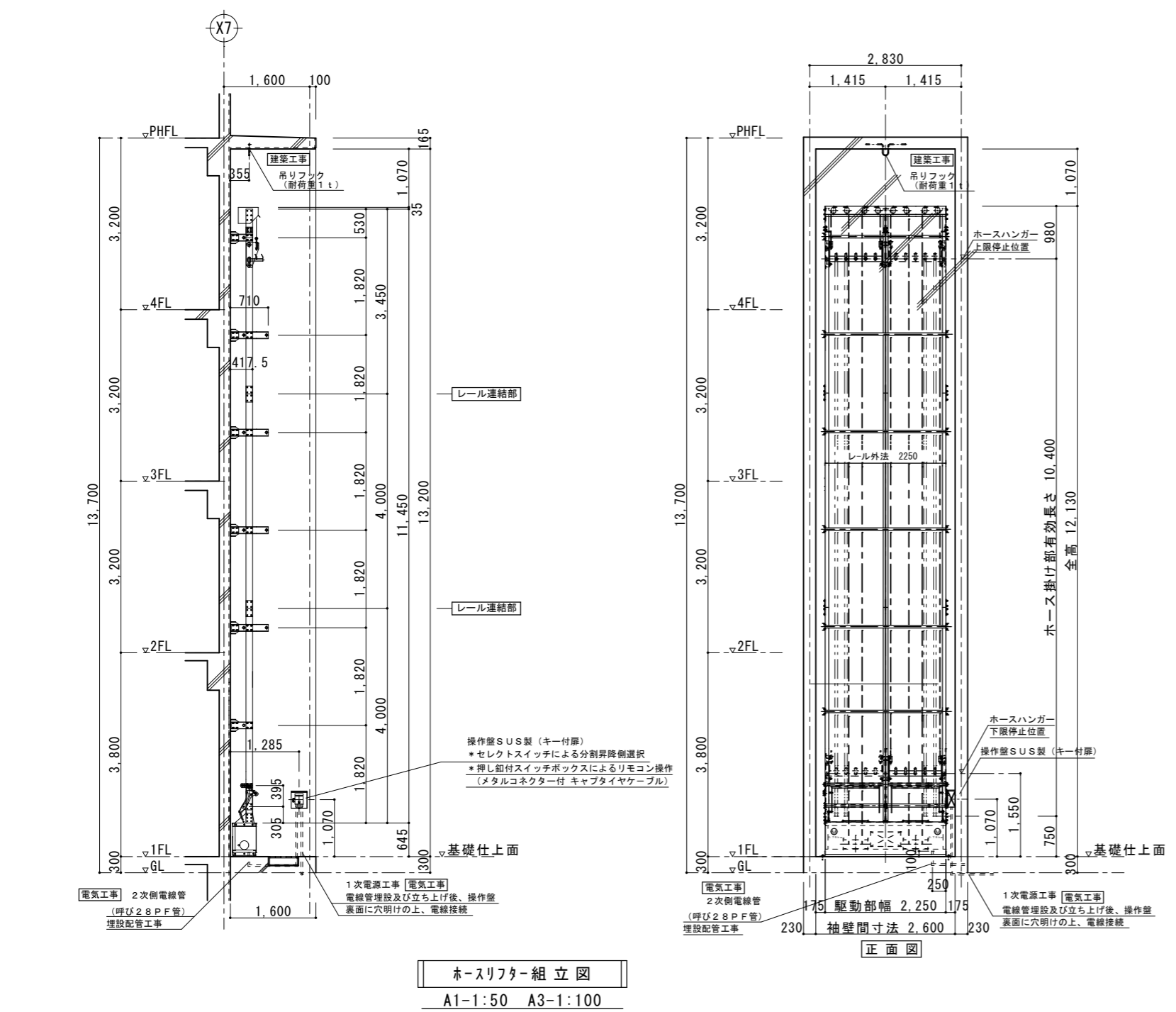
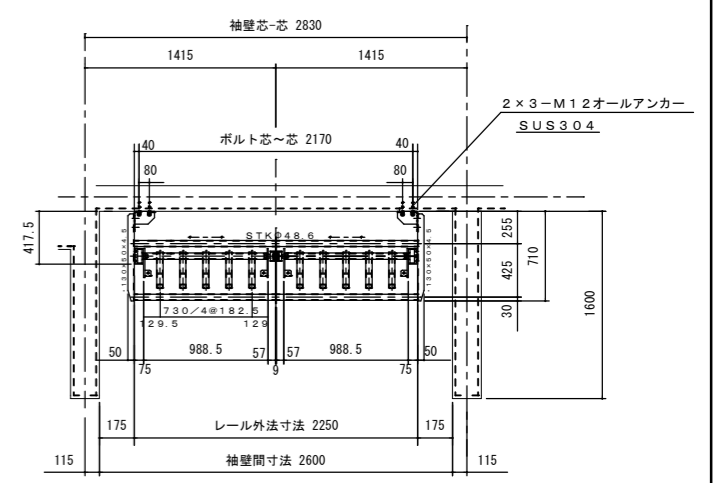
受付カウンター	事務室	A1-1:30 A3-1:60					
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>各部仕様</td></tr> <tr><td>天板:木フォームカウンター (同等品)</td></tr> <tr><td>造作棚:ラシハ'-コ7合板下地</td></tr> <tr><td>マリン化粧板仕上 t=1.2</td></tr> <tr><td>小口マリン化粧板</td></tr> </table>			各部仕様	天板:木フォームカウンター (同等品)	造作棚:ラシハ'-コ7合板下地	マリン化粧板仕上 t=1.2	小口マリン化粧板
各部仕様							
天板:木フォームカウンター (同等品)							
造作棚:ラシハ'-コ7合板下地							
マリン化粧板仕上 t=1.2							
小口マリン化粧板							



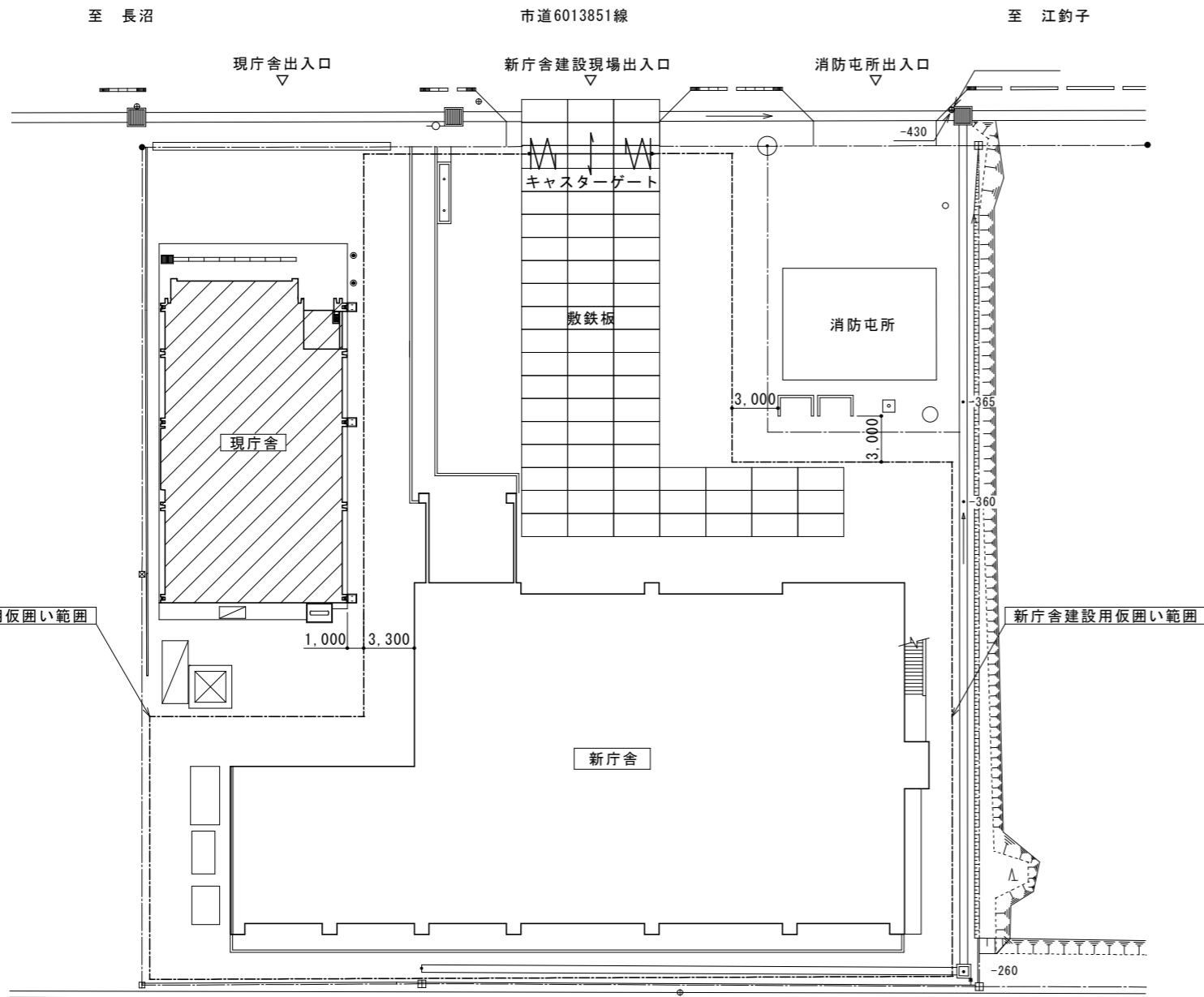
仕様概略

項目	仕様
型式	参考品番：FHD200 (分割昇降型)
台数	1基
外形寸法	2250W×12130H
ホース収容本数	5本×2×2列 計20本
巻上能力	20kg×10=200kg/列
作動	各列単独昇降
昇降速度	6.5m/min 50HZ
電動機	0.75KW ブレーキ付 2台
電源	200V 3相 50HZ
操作回路電源	AC 24V
各部材質及び防錆処理	
ガイドレール	耐蝕アルミ合金 A6063S-T5 ・125×65×6 (高側2本) ・80×40×4 (中間2本)
ガイドローラ	MCナイロン 軸SUS304
レールブラケット	SS材 溶融亜鉛メッキ
ホースハンガー	同上
ウインチボックス	骨格SS材溶融亜鉛メッキ、外板SUS
同上内部機器	生地のまま
吊りワイヤー	2×φ6-2列 ステンレスワイヤー
ボルト類	オリーブ鋼全てSUS304

- 建築工事**
- 1) 基礎工事
 - 2) 吊りフック工事
- 電気工事**
- 1) 1次電源工事
 - 2) 2次側埋設配管工事

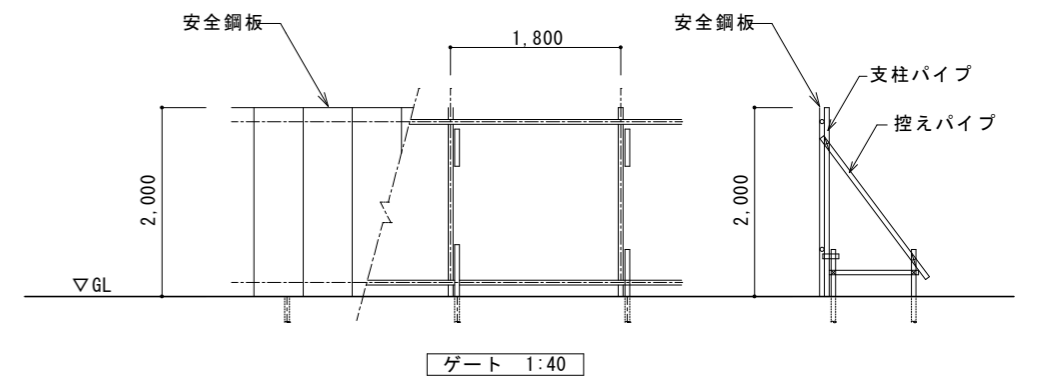
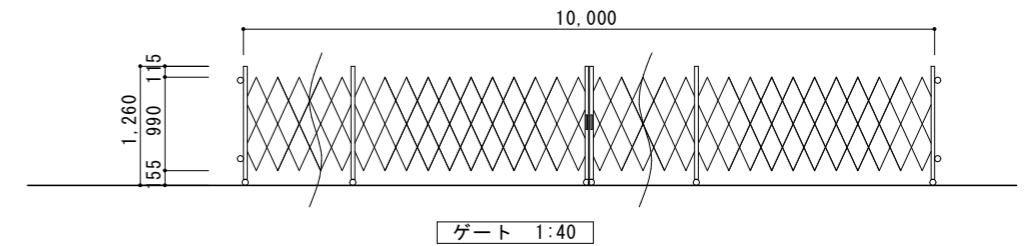


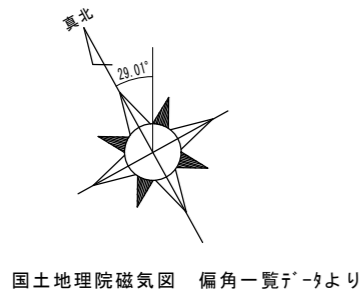
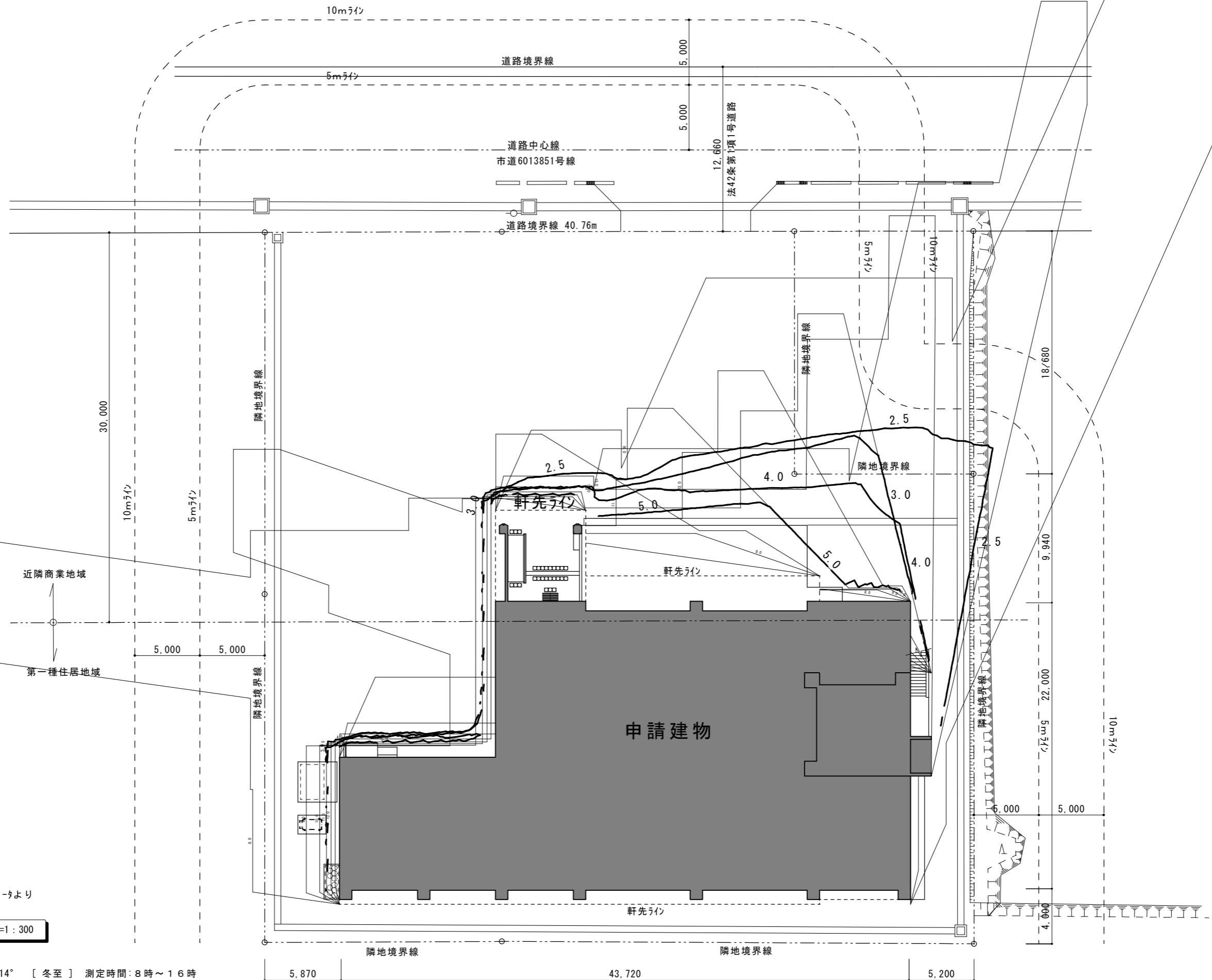
※工事用仮設用地（借地）
573.29㎡



※「現庁舎の職員用駐車スペースは発注者が近隣敷地に確保予定」

新庁舎仮設計画 平面図 S=1:400





日影図 S=1:300

測定面の高さ = 4(m) 緯度 = 39.3014° [冬至] 測定時間: 8時~16時

平野建築事務所 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第く(2703)504号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日	検図	製図	図面名称	縮尺	工事名称	図面番号
	R 08・02			日影図	A1-1:150 A3-1:300	北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事 設計図	A-57

構造関係特記仕様書

I. 建物概要等

Table with 2 columns: Item (e.g., 工事名称, 工事場所) and Value (e.g., 北上消防署和賀分署庁舎建設工事, 北上市和賀町藤根17地割地内).

Table with 2 columns: Item (e.g., 地震荷重, 計算方法) and Value (e.g., 建物一次固有周期 (T=0.120) 秒, X方向).

Table with 2 columns: Item (e.g., 基礎風速, 地表面粗度区分) and Value (e.g., (39) m/秒, I, II, III, IV).

Table with 2 columns: Item (e.g., 建設地の標高, 多雪区域の指定) and Value (e.g., (92) m, 有り).

Table with 2 columns: Item (e.g., 調査内容, 調査位置) and Value (e.g., 地盤調査, ポーリング柱状図).

II 建築工事仕様(構造関係)

- 1. 共通仕様
2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

4章 地業工事

- 1 試験及び報告書
2 既製コンクリート杭地業

杭基礎
支持地盤の位置及び土質(基礎ぐい先端位置含む)
試験杭の位置地 図示による

Table with 7 columns: 種類, コンクリート種別, 杭長(m)及び種類等, セット数, 継手数, 長期設計支持力(kN/m), 備考

試験杭
試験杭の位置、本数及び寸法
杭先端部形状
施工方法

杭の精度
杭の傾斜
杭の継手の方法

杭の処理
杭の中詰め材料
試験杭の寸法等

試験杭
試験杭の位置、本数及び寸法
杭先端部形状
施工方法

杭の精度
杭の傾斜
杭の継手の方法

杭の処理
杭の中詰め材料
試験杭の寸法等

試験杭
試験杭の位置、本数及び寸法
杭先端部形状
施工方法

4章 地業工事

- 3 鋼杭地業
4 場所打ちコンクリート杭地業

Table with 7 columns: 種類, 杭長(m)及び種類等, 継手数, 本数, 長期設計支持力(kN/m), 備考

試験杭
試験杭の位置、本数及び寸法
図示による

施工方法
特定埋込杭工法
H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でa=250を採用できる工法

杭の精度
水平方向の位置ずれ
杭の傾斜

杭の継手の方法
溶接材料
溶接部の確認方法

杭の処理
処理しない
処理する

杭の中詰め材料
基礎のコンクリートと同調のもの

寸法等
試験杭
本杭

孔壁の確認(超音波測定機による)
測定箇所
測定方法

杭の支持層への掘り長さ
杭の水平方向の位置ずれ精度

帯筋の加工及び組立
鉄筋の最小かぶり厚さ
鉄筋かごの補強

組み立てた鉄筋の節ごとの継手
主筋の基礎底面への定着長さ
セメントの種類

コンクリートの種類
コンクリートの設計基準強度
スランブ

4章 地業工事

- 5 砂利地業
6 砂地業
7 埋コンクリート地業

構造体強度補正値(S)
杭の精度
材料

厚さ及び適用範囲
適用箇所

材料
砂の厚さ
範囲

厚さ及び適用範囲
適用箇所

適用
設計基準強度及びスランブ

形状、支持地盤等等
支持地盤の長期設計支持力

5章 鉄筋工事

- 1 鉄筋の種類
2 溶接鋼
3 鉄筋の継手及び定着

Table with 4 columns: 規格の名称, 種類の記号, 呼び径(mm), 備考

Table with 4 columns: 種類, 種類の記号, 網目の形状、寸法、鉄線の径(mm), 使用部位

Table with 2 columns: 適用箇所, 継手の方法

形状等
種類
溶接鋼

鉄筋のかぶり厚さ及び間隔
各部配筋

ガス圧接完了後の試験
機械式継手

適用箇所
平成12年建設省告示第1463号に適合する性能

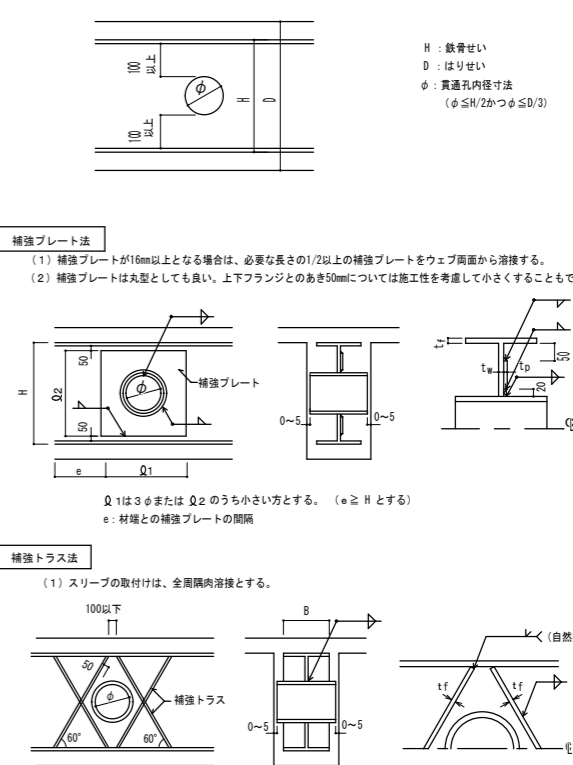
適用箇所
平成12年建設省告示第1463号に適合する性能

適用箇所
平成12年建設省告示第1463号に適合する性能

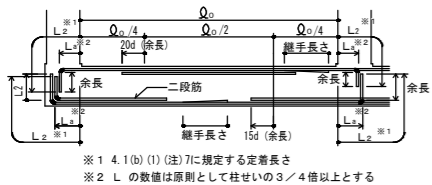
5章 鉄筋工事	9 梁貫通孔の補強	補強形式 ・ 配筋標準図(4)による ○ 大臣認定等による既製品(適用条件は全て認定内容による)
	10 構造(耐震)スリット	耐震スリットの設置箇所 ○ 図示による 方式 ○ 完全 ・ 部分 形状 ○ 図示による 耐火、遮音、防水処理への配慮 適用箇所 ・ 図示による 仕様 ・ 図示による 耐震スリット部詳細 ○ 図示による
6章 コンクリート工事	1 コンクリートの類別等	コンクリートの種類 ※ 1 類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・ 2 類 (JIS A 5308に適合したコンクリート) ・ 普通コンクリート 設計基準強度 Fc (N/mm ²) 気乾単位容積質量 (t/m ³) スラブ厚 (cm) 適用箇所 ○ 24 ・ ※ 2.3 程度 ○ 5 ○ 8 基礎、基礎梁、躯体 ○ 21 ・ ※ 2.3 程度 ○ 5 ・ 設備基礎 構造体強度補正值 ※ 標準仕様書表 6.3.2による
	2 セメント	種類 セメントの種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種、又はフライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 [G] ・ フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所 セメントの種類 適用箇所 ※ 建物躯体(下記以外) 再生骨材Hの使用(・使用する ・ 使用しない) 湿潤養生期間() 日以上 型枠の最小存置期間()
7章 鉄骨工事	3 骨材	使用骨材のアルカリシリカ反応による区分 ※ A ・ B フェロニッケルスラグ骨材、軽スラグ骨材及び電気炉用スラグ骨材 ・ 使用する 適用箇所()
	4 混和材料	特設仕様書 6.3.2(イ) (フ) の①～③以外の混和材料 ○ 説明(A) 説明()
	5 ひび割れ誘発目地、打継目地	目地寸法 ○ 幅 9.7.3(1)による ○ 図示による ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法 ○ 図示による
	6 コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上 種別 適用箇所 ・ A 種 ・ 図示 ・ B 種 ・ 図示 ・ C 種 ・ 図示 コンクリート仕上りの平坦さの種類 種別 適用箇所 ○ a 種 ・ 図示 ・ b 種 ・ 図示 ・ c 種 ・ 図示
	7 打増し厚さ	打直し部分の打増し厚さ ○ 外部に面する部分 ○ 20mm ・ 内部に面する部分 (・ 10mm ・ 20mm)
	8 型枠	せき板の材料 ※ 標準仕様書 6.8.2(1)(ア)、(イ)による ・ 合板(厚さ ※ 12mm) ・ 断熱材を用いた型枠の適用箇所等 ○ 図示による 建築技術評価「断熱材兼用型枠工法の開発」において評価を取得したもの、又は同等以上とする。 加工・組立は製造所の仕様による ・ MCR工法用シートの適用箇所等 ○ 図示による スリーブの材質、規格等 ○ 図示による
	9 軽量コンクリート	軽量コンクリートの適用 ・ 適用する ・ 適用しない 適用箇所 ○ 図示による 種類 ・ 1種 ・ 2種 気乾単位容積質量 () t/m ³ スラブ厚 ※ 21cm
	10 中重コンクリート	適用期間 ○ 図示による 構造体強度補正值(S) ・ 標準仕様書 6.11.2(3)(ア)による ・ 積算温度を基に定める()
	11 中重コンクリート	構造体強度補正值(S) ※ 6N/mm ²
	12 マスコンクリート	適用箇所 ○ 図示による セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 [G] ・ 中熱ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種 [G] ・ 低熱ポルトランドセメント ・ シリカセメント スラブ厚 ※ 15cm
	13 無筋コンクリート	コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート 設計基準強度 Fc (N/mm ²) ※ 18 スラブ厚 ※ 15cm又は18cm 適用箇所 ※ 標準仕様書 6.14.1(4)による ○ 図示による ・ 標準仕様書表 6.2.1以外のコンクリートを用いる場合()
	14 流動化コンクリート	適用箇所 ○ 図示による

15	コンクリートの品質管理	コンクリートの単位水量の測定 ○ 行う ・ 行わない 実施要領 (1) 単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた場合に実施する。 (2) 単位水量の上限値は、「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」6.3.2(イ)(c)による。 (3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして施工する。 1. 測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2. 測定した単位水量が、設計値±15kg/m ³ を越え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに、生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打放す。その後、設計値±15kg/m ³ 以内に安定するまで、運搬車の3台ごとに1回、単位水量の測定を行う。 3. 測定した単位水量が設計値±20kg/m ³ を越える場合は、その運搬車の生コンは打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い、設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。さらに、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台ごとに1回、単位水量の測定を行う。 4. 前項3.の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4) 単位水量の管理についての記録を書面(計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コールド温度等)と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ又は静電容量測定法)、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は当該コンクリート製造所以外の機関とする。
17	1 鉄骨の製作工場	製作工場の加工能力 ○ 国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 (R) グレード以上 ○ 監督職員の承諾する工場 ※ 適用する ・ 適用しない
	2 施工管理技術者	鋼材の材質 種類等の記号 適用箇所(主要な部分) 規格等 鋼板・形鋼 ○ S S 4 0 0 ○ JISによる 角形鋼管 ・ B C R 2 9 5 ・ JISによる ・ 認定品 鋼管 ・ S T K 4 0 0 ○ JISによる 軽量形鋼 ○ S S C 4 0 0 ○ JISによる 露出固定柱脚 ・ 仕様は構造図による ・ JISによる ・ 認定品
4	高力ボルト	高力ボルトの種類 ※ トルシア形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト ・ 建築基準法に基づき認定を受けた高力ボルト 高力ボルトの寸法 ねじの呼び ※ 構造図による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※ 鉄骨標準図による 摩擦面のすべり係数試験 ・ 適用しない ・ 適用する(・ すべり係数試験 ・ すべり耐力試験) JIS形高力ボルトの締め付け(本締め) ナット回転の場合で、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量 ・ 図示による
	5 普通ボルト	ボルトの寸法 ねじの呼び ※ 構造図による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※ 鉄骨標準図による
6	アンカーボルト	種類 ・ 構造用アンカーボルト ・ ABR400 ・ ABR490 ○ 建方用アンカーボルト ・ SS400 アンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※ 図示による
7	溶接材料	溶接材料 ※ 標準仕様書 7.2.5(1)、(2)による ・ 図示による
8	ターンバックル	種類 建築用ターンバックルボルト ※ 羽子板ボルト 建築用ターンバックル鋼 ※ 新特式 ねじの呼び等 ・ 図示による
9	床構造用デッキプレート	材質、形状及び寸法 適用箇所 材質・形状・寸法 備考 ・ デッキプレート単独の構法 ・ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法
10	スタッド	鉄骨部材への溶接方法 ※ ・ 図示による 種類等 呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所 ・ 16 ・ 19 ・ 22
11	柱底均しモルタル	○ 無収縮モルタル ※ 標準仕様書 7.2.9(2)による ・ 標準仕様書 7.2.9(1)によるモルタル
12	鉄骨の仮組	○ 行わない ・ 行う(行う範囲 ○ 図示による)
13	溶接作業を行う技術資格者	技量付加試験 ○ 行わない ・ 行う(試験の要領 ○ 図示による)
14	溶接接合	開先の形状 ○ 鉄骨標準図による 鋼製エンドタブを切断する部分 ※ 見え掛り部となる部分 ・ 全て切除する ・ 切除しない ・ 構造図による部分 切断範囲 ・ エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 切断面の仕上げ ※ 標準仕様書 7.6.7(1)(カ)(b)②による スカラップの形状 ※ 鉄骨標準図による 低応力高サイクル疲労を受けやすい部位 ○ 図示による

15	溶接部の試験	溶接部の外観検査 平成12年建設省告示第1464号第二号に関する試験 試験の方法 ・ 『溶接手先の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル(鉄骨製作管理技術者登録機構)』 3.5.2受け入れ検査による ※ 抜き取り検査② ・ 抜き取り検査① JASS 6 付則6の付表3「溶接」に関する試験 試験の方法 ・ Jass 6 10.4「受入検査」e 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り率は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。 ・ 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※ 行う ・ 行わない ・ 工場溶接の場合 AOL (%) ※ 4.0 ・ 2.5 ・ 第三者 3.0 % 検査水準 ※ 第6水準 ・ 工事現場溶接の場合 ※ 全ての溶接部
16	錆止め塗装	塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ○ 図示による() 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ○ 図示による(鉄骨全て) JIS K5674 1回塗り 下記以外の塗料の種類は、標準仕様書 15章による ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ・ A種 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 ※ A種 ・ B種 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類
17	耐火検証	種類、材料、工法等 種類 材料・工法 耐火性能(試験) 適用箇所(部位・部分) ・ 乾式吹付け ・ ロックワール ・ 耐火材吹付け ・ ロックワール ・ 湿式ロックワール ・ 耐火板張り ・ 繊維入り石膏 ・ カルシウム板 ・ 耐火材巻付け ・ ロックワール ・ ラス張り ・ モルタル塗り ・ 耐火塗料
18	工事現場施工	アンカーボルトの設置等 構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ○ 図示による 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ○ 図示による 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種別 ○ A種 ・ B種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種類 工法 厚さ(mm) 適用箇所 材料 ※ A種 ・ 無収縮モルタル ・ B種 ・ 標準仕様書 7.2.9(1)のモルタル
19	軽量型鋼	ボルトの接合方法 ※ 構造図による 種別等 造船めっきの種類 材料 適用箇所 A種 (M235) 最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板 B種 (M245) 最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板 C種 (M235) 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 2.3mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板 ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルトの摩擦面の処理方法 ※ 標準仕様書 7.12.5(1)(ア)、(イ)による
20	溶融亜鉛めっき工法(構造耐力上主要な部分)	溶接方法 ・ 補強プレート法 ・ 補強トラス法 梁貫通孔径及び補強部材詳細 ※ 構造図による
21	梁貫通孔の補強	補強方法 ・ 補強プレート法 ・ 補強トラス法 梁貫通孔径及び補強部材詳細 ※ 構造図による

あらかじめ検討	1 軽微な変更への対応(あらかじめ検討)	施工の關係上やむを得ず発生する可能性の高い変更事項への対応方法について、あらかじめの検討を行っている部分 本検討は、計画通知の変更を要しない範囲及び対応方法を定めるものであり、品質管理上の施工誤差を許容するものではない。 ・ くいの影響を考慮した検討 許容誤差() ・ 小ばり位置の変更を見込んだ大ばりの検討 位置の変動寸法() 検討範囲 ※ 図示による ・ 大きな変更を見込んだスラブの検討 許容される大きさ、荷重条件() 検討範囲 ※ 図示による ・ はり貫通孔の大きさや位置の変更を見込んだ検討 大きさの変動寸法() 検討範囲 ※ 図示による
	梁貫通孔補強要領図	梁貫通孔の位置の単位 (単位: mm) (a) 鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の鉄骨梁ウェブ部材に貫通孔を設ける場合に貫通孔部分を補強する場合に適用する。 (b) 貫通孔の内径寸法は、鉄骨せいりの1/2以下かつ鉄筋コンクリートせいりの1/3以下とする。 (c) 貫通孔間隔は、両側の貫通孔径の平均値の、鉄骨造で2倍以上、鉄骨鉄筋コンクリート造で3倍以上確保する。  補強プレート法 (1) 補強プレートが16mm以上となる場合は、必要な長さの1/2以上の補強プレートをウェブ両面から溶接する。 (2) 補強プレートは丸型としても良い。上下フランジとのあき50mmについては施工性を考慮して小さくすることもできる。 補強トラス法 (1) スリーブの取付けは、全周隅肉溶接とする。 その他 令第129条の2の3第二号の規定に基づき、建築設備にあつては、国土交通省告示第1447号により、構造耐力上安全な構造方法とする。 令第129条の2の3第二号の規定に基づき、屋上から突出する水櫃、煙突その他これに類するものにあつては、国土交通省告示第184号により、風圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して構造上安全なものとする。

(d) 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長は、図8.4による。



※1 4.1(b)(1)(注)7に規定する定着長さ
※2 L の数値は原則として柱せいりの3/4倍以上とする

- (注) 1. 図示しない事項は、8.11による。
2. 印は、継手及び余長を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
4. 梁主筋のみ込み長さ (柱せいりの3/4倍以上)

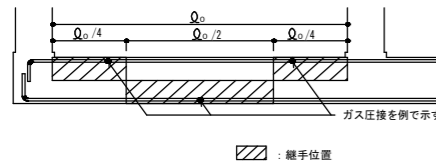


図6.4 主筋の継手、定着及び余長 (その3)

6.2 基礎梁のあばら筋等

(a) 一般事項

- (1) あばら筋の径および間隔は、構造図による。
(2) あばら筋の形及びフックの位置は、8.2(b)による。ただし、梁の上下端にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図6.5によることができる。

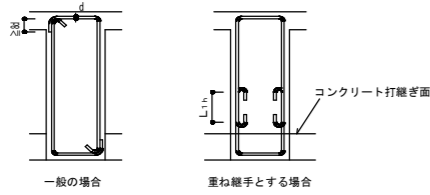


図6.5 あばら筋の形及びフックの位置

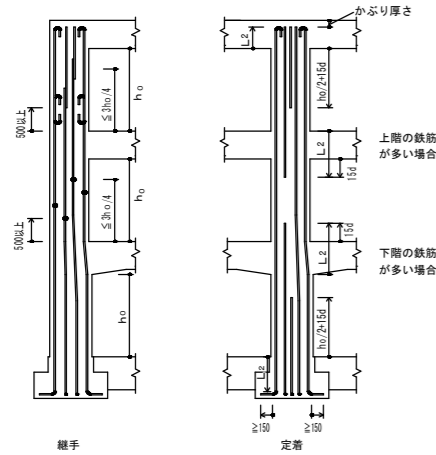
(b) 腹筋及び幅止め筋は、8.2による。ただし、梁せいが1.5m以上の場合は構造図による。

(c) あばら筋の割付けは、8.2(c)による。

7.1 柱

(a) 一般事項

- (1) 継手中心位置は、梁上端から500mm以上、かつ、3h₀/4 (h₀は柱の内法高さ) 以下とする。
(2) 継手、定着及び余長は、図7.1による。ただし、柱頭定着長さL₂が確保できない場合は、構造図による。



- (注) 1. 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上層の柱頭にある場合は、フックを付ける。
2. 隣り合う継手の位置は、表4.2 [隣り合う継手の位置] による。
3. 継手及び定着は、すべての層に適用できる。

図7.1 柱主筋の継手、定着及び余長

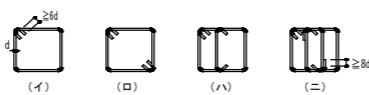
7.2 帯筋

(a) 帯筋の種類及び間隔は、構造図による。

(b) 帯筋組立の形は図7.2により、適用は構造図による。

- (1) H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-1形とする。
(2) 溶接する場合の溶接長さLは、両面フラッシュ溶接の場合は5d以上、片面フラッシュ溶接の場合は1.0d以上とする。
(3) SP形において、柱頭及び柱脚の端部は1.5巻以上の添巻きを行う。

① H形



② W-1形



(注) 溶接は、鉄筋の組立前に行う。

③ SP形 (スパイラル筋)

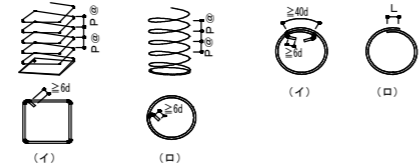
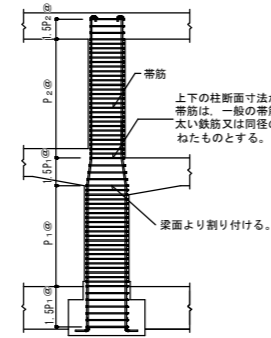


図7.2 帯筋組立の形

(c) フック及び継手の位置は交互とする。

(d) 帯筋の割付けは図7.3とし、それ以外の場合は構造図による。

一般の場合



上下の柱断面寸法が異なる場合、帯筋は、一般の帯筋より1サイズ大きい鉄筋又は同径のものを2本重ねたものとする。

梁面より割り付ける。

- (注) 1. 図示しない事項については、一般の場合と同じ。
2. 柱に取り付く梁に段差がある場合、帯筋の間隔を1.5P ※または1.5P ※とする。範囲は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。
なお、P ※、P ※は、特記された帯筋の間隔を示す。

図7.3 帯筋の割付け

8.1 大梁

(a) 一般事項

- (1) 梁の上がり下がりには、FLを基準とした寸法線とする。
(2) 地中梁下の砂利地層厚及び捨てコンクリート地層厚は構造図による。
(3) 打増し部分にスラブ、壁、梁金等が付く場合は、スラブ、壁、梁筋等の定着長さには、打増し部分含まない。

(b) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項

- (1) 継手中心位置は、次による。
上端筋：中央 Q₀/2以内
下端筋：柱面より梁せい (D) 以上離し、Q₀/4を加えた範囲以内
(2) 継手中央部の位置、定着長さ及び余長は図8.3及び図8.4による。
(3) 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図8.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。

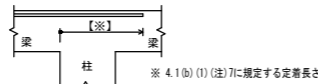
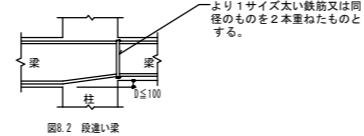


図8.1 梁主筋の梁内定着

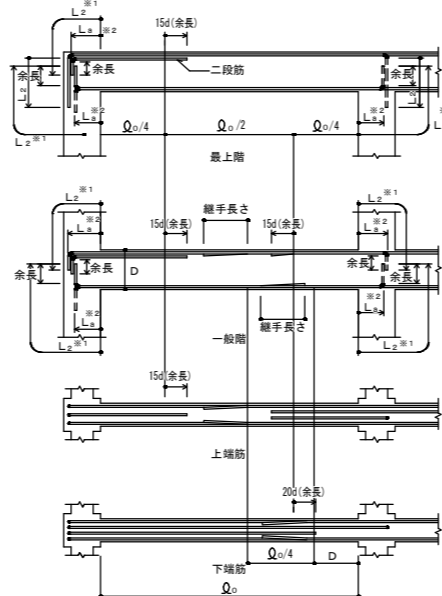
(4) 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。
なお、定着の方法は標準仕様書5.3.4(5)(イ)による。

- 上端筋：曲げ降ろす
下端筋 (一般)：原則、曲げ上げる。
下端筋 (ハンチ付き)：曲げ上げる。
(5) 梁にハンチをつける場合、その傾斜は構造図による。

(6) 段違い梁は、図8.2による。



(c) ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長は、図8.3による。

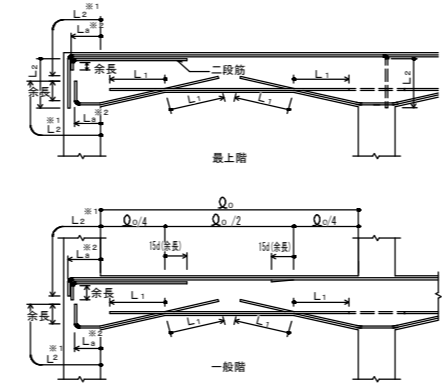


※1 4.1(b)(1)(注)7に規定する定着長さ
※2 L_aの数値は原則として柱せいりの3/4倍以上とする

- (注) 1. 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合 (基礎梁を除く) には、フックを付ける。
2. 印は、継手及び余長を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
4. 梁主筋のみ込み長さ (柱せいりの3/4倍以上)

図8.3 大梁の重ね継手、定着及び余長

(d) ハンチのある場合の定着及び余長は、図8.4による。



※1 4.1(b)(1)(注)7に規定する定着長さ
※2 L_aの数値は原則として柱せいりの3/4倍以上とする

- (注) 1. 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合 (基礎梁を除く) には、フックを付ける。
2. 印は、継手及び余長を示す。
3. 梁内定着の端部下端筋が接近するときは、印のように引き通すことができる。
4. 破線は、柱内定着を示す。
5. 梁主筋のみ込み長さ (柱せいりの3/4倍以上)

図8.4 ハンチのある大梁の定着及び余長

8.2 あばら筋等

(a) あばら筋、腹筋及び幅止め筋の一般事項

- (1) あばら筋の種類、径及び間隔は、構造図による。
(2) 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とし、定着長さは図8.6による。ただし、腹筋を計算上考慮している場合の継手長さ、定着長さは構造図による。
(3) 幅止め筋及び受け幅止め筋は、D10-1.000mm程度とする。

(b) あばら筋組立の形及びフックの位置

- (1) 継手形は、図8.5 (イ) とする。
ただし、L形梁の場合は、(ロ) または (ハ)、T形梁の場合は (ロ) ~ (ニ) とすることができる。

(2) フックの位置

- i. (イ) の場合は交互とする。
ii. (ロ) の場合 L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。
iii. (ハ) の場合は床版の付く側を90°折曲げとする。

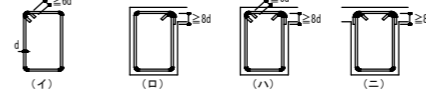
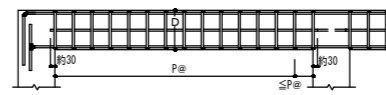


図8.5 あばら筋組立の形

(c) あばら筋の割付け

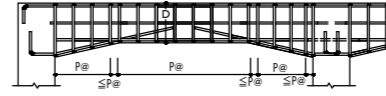
(1) 間隔が一律でハンチのない場合は、図8.6による。



- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2. 図中のP ※は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

図8.6 あばら筋の割付け (その1)

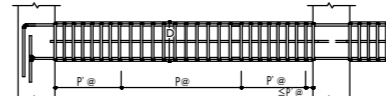
(2) 間隔が一律でハンチのある場合は、図8.7による。



- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2. 図中のP ※は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

図8.7 あばら筋の割付け (その2)

(3) 梁の端部で間隔の異なる場合は、図8.8による。



- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2. 図中のP ※、P ※は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

図8.8 あばら筋の割付け (その3)

(d) 腹筋及び幅止め筋

(1) 一般の梁は、図8.9による。

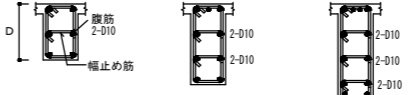


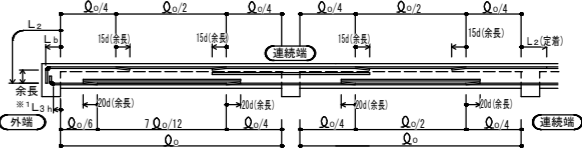
図8.9 腹筋および幅止め筋

- (注) 1. 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合 (基礎梁を除く) には、フックを付ける。
2. 印は、継手及び余長を示す。
3. 梁内定着の端部下端筋が接近するときは、印のように引き通すことができる。
4. 破線は、柱内定着を示す。
5. 梁主筋のみ込み長さ (柱せいりの3/4倍以上)

8.3 小梁

(a) 小梁主筋の継手、定着及び余長

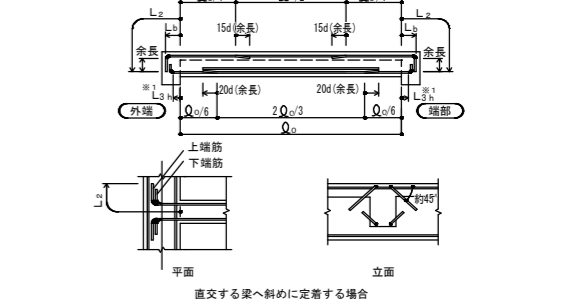
(1) 連続小梁の場合は、図8.10による。



- ※1 L₂を確保出来ない場合は、標準仕様書5.3.4(5)(イ)によることができる。
(注) 1. 図示しない事項は、6.1及び8.11に準ずる。
2. 印は、余長を示す。

図8.10 小梁主筋の継手、定着及び余長 (その1)

(b) 単独小梁の場合は、図8.11による。



- ※1 L₂を確保出来ない場合は、標準仕様書5.3.4(5)(イ)によることができる。
(注) 1. 図示しない事項は、6.1及び8.11に準ずる。
2. 印は、余長を示す。

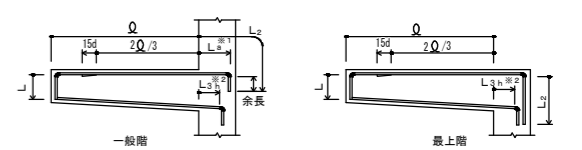
図8.11 小梁主筋の継手、定着及び余長 (その2)

(c) あばら筋は、8.2による。

8.4 片持梁

(a) 片持梁主筋の定着及び余長

(1) 先端に小梁のない場合は、図8.12による。

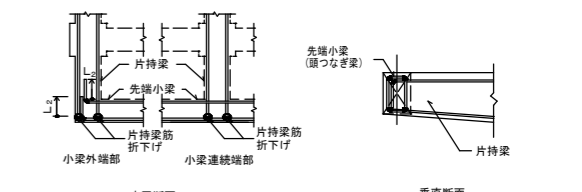


- ※1 L_aの数値は原則として柱せいりの3/4倍以上とする。
※2 L₂を確保出来ない場合は、標準仕様書5.3.4(5)(イ)によることができる。

- (注) 1. 図示しない事項は、8.11による。
2. 印は、余長を示す。
3. 先端の折曲げの長さL₂は、梁せいからかり厚さを除いた長さとする。

図8.12 片持梁主筋の定着及び余長

(2) 先端に小梁がある場合は、図8.13による。



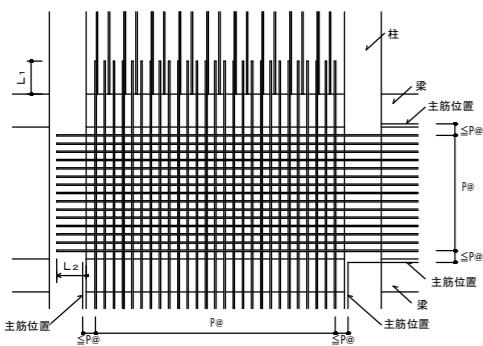
- (注) 1. 図示しない場合は、(1)による。
2. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
3. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

図8.13 片持梁主筋の定着

(b) あばら筋は、8.2による。

9.1 壁

- (a) 一般事項
 - (1) 壁配筋の重ね継手及び定着の長さは、重ね継手長さを L_1 、定着長さを L_2 とする。鉄筋の継手位置は、柱、梁部以外とする。
 - (2) 端部の鉄筋は、縦横ともD10-1,000@程度とする。
 - (3) 打増し部分に壁及びび3等が取付く場合は、鉄筋の定着長さに打増し部分を含まない。



(注) 図中のP#は、特記された鉄筋の間隔を示す。

図9.1 壁の配筋

- (b) 壁の基準配筋は表9.1により、種別は構造図による。

表9.1 壁の基準配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)
W12	D10-200@シングル	120
W15A	D10-150@シングル	150
W15B	D10-100@シングル	
W18A	D10-200@ダブル	180
W18B	D10-150@ダブル	
W20A	D10-200@ダブル	200
W20B	D10-150@ダブル	

(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

- (c) 片持スラブ形階段を受ける壁の基準配筋は表9.2により、種別は構造図による。

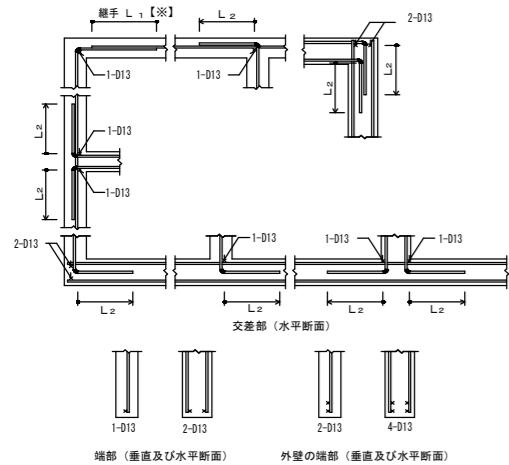
表9.2 片持スラブ形階段を受ける壁の基準配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)	階段の配筋種別(表11.1)
KW1	縦筋 D13-200@ダブル	180	KA1 KA3
	横筋 D10-200@ダブル		
KW2	縦筋 D13-150@ダブル	200	KA2 KA4
	横筋 D10-200@ダブル		

(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

- (d) 土圧を受ける壁の配筋は、構造図による。

- (e) 壁の交差部及び端部の配筋は、図9.2による。



※ 耐震壁の重ね継手長さは、4.1(a)(2)(注)3に規定する継手長さ

図9.2 壁の交差部及び端部の配筋

9.2 壁の補強

- (a) 壁開口部の補強
 - (1) 耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形は表9.3、B形は表9.4とし、適用は13.3(b)(1)による。なお、耐震壁の補強筋は、構造図による。

表9.3 壁開口部補強筋 (A形)

壁の種類	縦横	補強筋
W12, W15	1-D13	斜め
W18, W20	2-D13	2-D13

表9.4 壁開口部補強筋 (B形)

壁の種類	縦横	補強筋
W12, W15	2-D13	1-D13
W18, W20	4-D13	2-D13

- (2) 壁開口部補強の定着長さは、図9.3による。

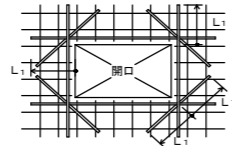


図9.3 壁開口部補強筋の定着長さ

- (b) コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、13.3(b)(3)による。

10.1 スラブ

- (1) スラブ及び土間コンクリートの上がり下がり、FLを基準とした寸法値とする。
- (2) 土間スラブ下の砂利地床厚及び捨てコンクリート厚は13.1(1)による。
- (3) 土間コンクリート補強筋(S0)の配筋及びコンクリート厚さは13.4(a)(1)による。
- (4) スラブの基準配筋(S形基準配筋)は表10.1及び図10.1により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。

表10.1 S形基準配筋

配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域		長辺方向 (配力筋) 全域	
	配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域	配筋種別	長辺方向 (配力筋) 全域
S 1	D13-100@	D13-100@	S 8	D10, D13-150@
S 2	同上	D13-150@	S 9	同上
S 3	同上	D10, D13-150@	S10	D10, D13-200@
S 4	D13-150@	D13-150@	S11	同上
S 5	同上	D10, D13-150@	S12	同上
S 6	同上	D10-150@	S13	D10-200@
S 7	D10, D13-150@	D10, D13-150@	S14	同上

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。

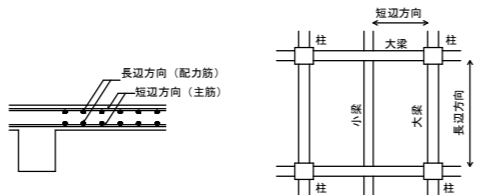


図10.1 スラブの配筋

- (5) 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
- (6) 鉄筋の重ね継手長さは、 L_1 とする。
- (7) 定着長さ及び受け筋は、図10.2による。ただし、引き通すことができない場合は、図10.3により梁内に定着する。

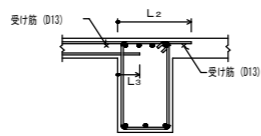


図10.2 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その1)

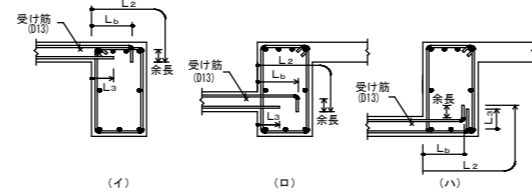


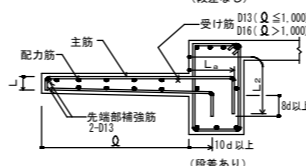
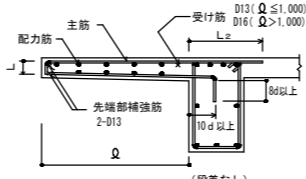
図10.3 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その2)

10.2 片持スラブ

- 片持スラブの配筋は、次による。
- (1) 片持スラブの基準配筋 (CS形基準配筋) は、表10.2並びに図10.4及び図10.5により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。

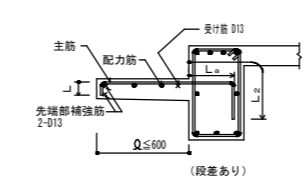
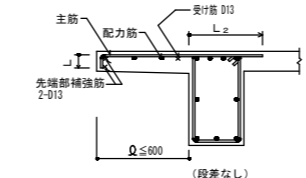
表10.2 CS形基準配筋

配筋種別	主筋		配筋種別	主筋	
	上	下		上	下
CS1	D13-100@	D13-200@	CS5	D10-200@	D10-200@
	D13-200@	D10-400@			
CS2	D13-150@	D13-300@	CS6	D10, D13-200@	—
	D10, D13-150@	—			
CS3	D10, D13-300@	—	CS7	D10-200@	—
	D10, D13-200@	—			
CS4	D10-200@	—			
	D10-200@	—			



- (注) 1. 先端の折り曲げ長さは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

図10.4 片持スラブの配筋 (CS1からCS5)



- (注) 1. 先端の折り曲げ長さは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

図10.5 片持スラブの配筋 (CS6及びCS7)

- (2) 先端に壁が付く場合の配筋は、図10.6による。

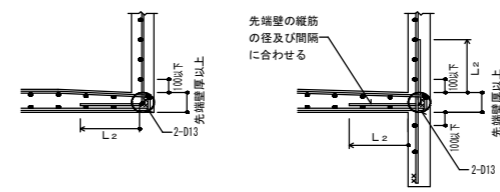


図10.6 先端に壁が付く場合の配筋

- (3) 出隅部
 - (i) 補強の配筋は構造図により、配筋方法は、図10.7による。
 - (ii) 出隅受け部分 (図10.7の斜線部分) の補強筋は構造図による。

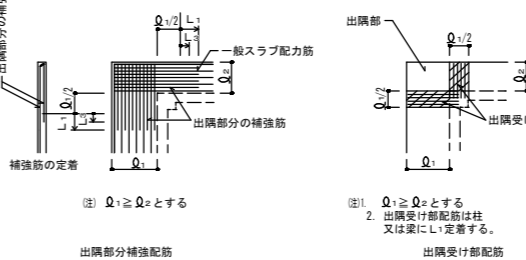


図10.7 片持ちスラブ出隅部の補強配筋

10.3 スラブ等の補強

- (a) スラブ開口部の補強
 - スラブ開口部の補強は、特記による。
 - (i) スラブ開口の最大径が700mm以下の場合は、図10.8により開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 ($Q = 2L_1$) シングルを上下筋の内側に配筋する。

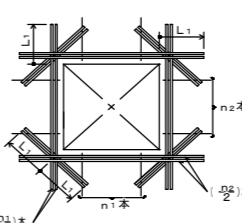


図10.8 スラブ開口部の補強配筋

- (ii) スラブ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

- (b) 屋根スラブの補強
 - 屋根スラブの出隅及び入隅部分には、図10.9により、補強筋を上端筋の下側に配置する。

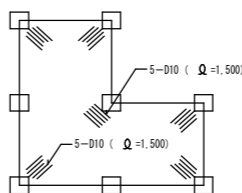


図10.9 出隅及び入隅部の補強配筋

- (c) 土間スラブの打継ぎ補強
 - 基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打継ぎを設ける場合の補強は図10.10による。ただし、土間スラブとは、土に接するスラブでS形の配筋によるものをいう。
 - $a > 300$ の場合は特記による。

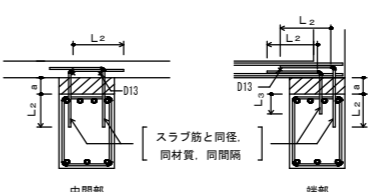


図10.10 打継ぎ補強配筋

- (d) 土間コンクリートの補強
 - 土間コンクリートの補強筋は、構造図による。なお、基礎梁との接合部は、図10.11による。
 - $a > 300$ の場合は特記による。

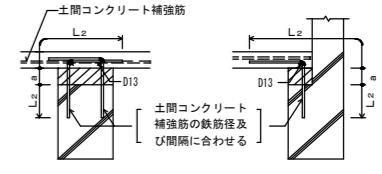


図10.11 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

11.1 片持スラブ形階段

- 片持スラブ形階段の基準配筋は、表11.1及び図11.1により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

表11.1 片持スラブ形階段の基準配筋

配筋種別	KA1	KA2
配筋図		
配筋種別	KA3	KA4
配筋図		

- (注) 1. 壁筋は、9.1(c)による。
- 2. 階段主筋は、壁の中心線を超えてから縦に下ろす。
- 3. スラブ配筋の継手及び定着の長さは、表4.3 [鉄筋の定着の長さ]の L_2 とする。

図11.1 片持スラブ形階段の定着

11.2 二辺固定スラブ形階段

二辺固定スラブ形階段の基準配筋は表11.2並びに図11.2及び図11.3により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

表11.2 二辺固定スラブ形階段

配筋種別	上端筋、下端筋とも（全域）
KB1	D13-200#
KB2	D13-150#
KB3	D13-100#
KB4	D13、D16-150#
KB5	D16-150#
KB6	D16-125#
KB7	D16-100#

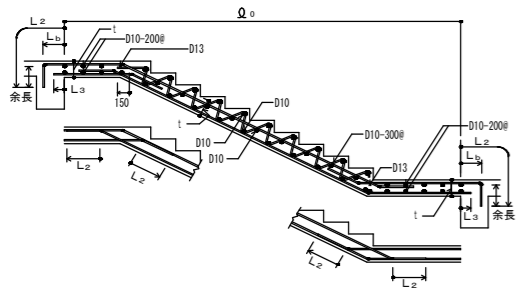
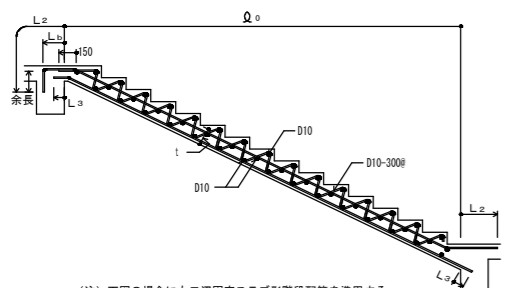


図11.2 二辺固定スラブ形階段配筋（その1）



(注) 下図の場合にも二辺固定スラブ形階段配筋を準用する。

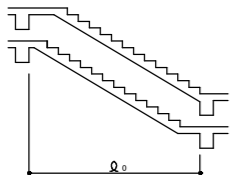


図11.3 二辺固定スラブ形階段配筋（その2）

12.1 梁貫通孔

- (a) 梁貫通孔は、次による。
- 梁貫通孔補強筋の名称等は、図12.1による。
 - 孔の径は、梁せい $\frac{1}{3}$ 以下とする。孔が円形でない場合はこれの外接円とする。
 - 孔の上下方向の位置は図12.2による。
 - 孔は、柱面から原則として、 $1.5D$ (D は梁せい) 以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除くが、その場合の範囲は特記による。
 - 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
 - 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
 - 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、図12.3による。
 - 孔の径が梁せい $\frac{1}{10}$ 以下、かつ、 150mm 未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
 - 溶接金網の余長は1倍子以上とし、突出しは 10mm 以上とする。
 - 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋 $1-13\phi$ のリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
 - 溶接金網の割付け地点は、横筋ではあばら筋の上側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。
 - 貫通孔の位置は図12.4のように開孔をせよとす ± 4.5 度の領域（ハッチ部）には他の開孔を設けないこととする。

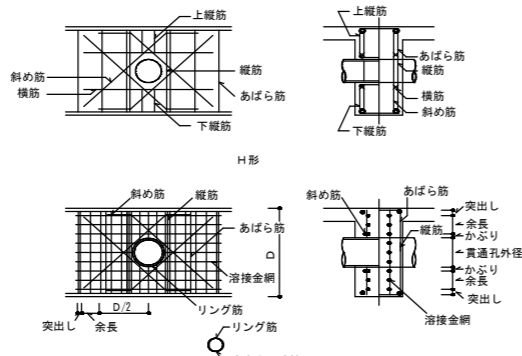
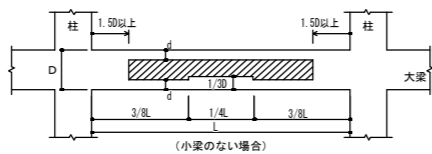
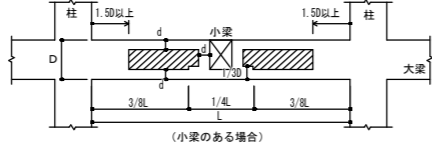


図12.1 梁貫通孔補強筋の名称等



(小梁のない場合)



(小梁のある場合)

- : 梁貫通孔を設置出来る範囲
- (注) 1. 梁貫通孔のへりあき寸法 d は下記による
- | | |
|--------------------|--------------|
| $500 \leq D < 700$ | $d \geq 175$ |
| $700 \leq D < 900$ | $d \geq 200$ |
| $900 \leq D$ | $d \geq 250$ |

図12.2 梁貫通孔の設置範囲

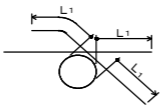


図12.3 補強筋の定着長さ

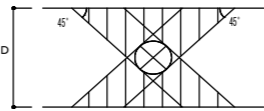


図12.4 他の開孔を設けない範囲

(b) 梁貫通孔の補強形式は表12.1~表12.3により、配筋種別は構造図による。

表12.1 H形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1	2-2-D13	なし	なし	なし	
H2	2-2-D13	なし	なし	なし	
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H5	4-2-D16	なし	なし	なし	
H6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H7	4-2-D22	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	

(注) - - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

表12.2 M形配筋

配筋種別	縦筋	溶接金網	配筋図
M1	2-2-D13	なし	
M2	4-2-D13	なし	
M3	4-2-D13	2-6 ϕ -100#	
M4	6-2-D13		

(注) - - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

表12.3 M形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH1	2-2-D13	なし	なし	
MH2	2-2-D13	2-2-D13	なし	
MH3	2-2-D13	2-2-D13	2-6 ϕ -100#	
MH4	4-2-D13	2-2-D13	2-6 ϕ -100#	
MH5	4-2-D16	4-2-D13	2-6 ϕ -100#	
MH6	4-2-D16	4-2-D13	2-6 ϕ -100#	
MH7	4-2-D19	4-2-D13	2-6 ϕ -100#	

(注) - - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

12.2 コンクリートブロック帳壁との取合い

- (a) 控壁は、次による。
- 控壁の配置は、構造図による。
 - 配筋は、図12.5による。

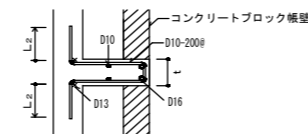


図12.5 控壁の配筋（水平、垂直とも）

- (b) 帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、図12.6による。

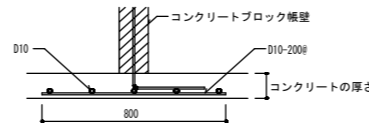


図12.6 壁付き土間コンクリートの補強配筋

12.3 バラベット

バラベットの先端補強筋は、図12.7による。尚、コンクリート厚さ及びバラベット配筋は構造図による。

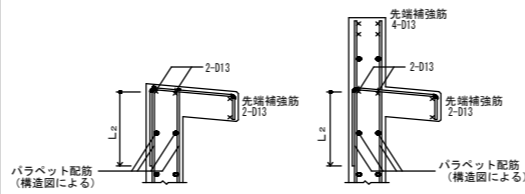


図12.7 バラベットの配筋

1. 一般事項

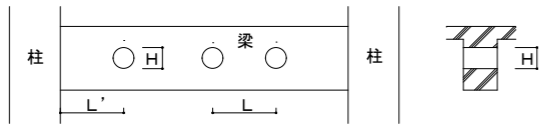
- (1) 本仕様書は、ダイヤレンの標準仕様を定めるものであり、各設計における特記仕様は、本仕様書に優先して適用する。
- (2) 本標準図に定めなき事項は、日本建築学会「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」及び「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 鉄筋コンクリート工事」による。

2. 使用材料の適用範囲

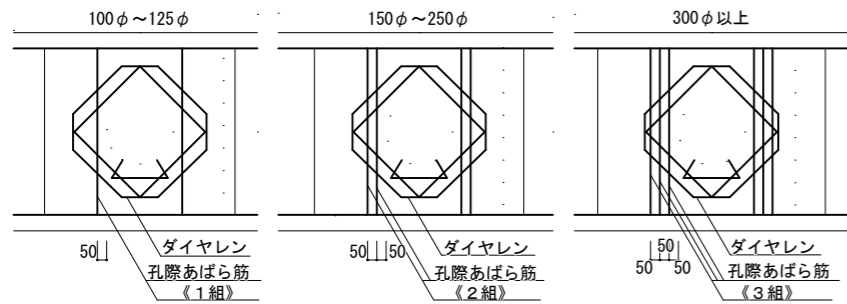
- (1) コンクリート
 $F_c = 180 \sim 360 \text{ kgf/cm}^2$
- (2) 鉄筋
 - ・主筋 : SD295A, SD295B, SD345, SD390
 - ・あばら筋 : SD295A, SD295B, SD345, SD390
 - ・ダイヤレン : SD295A, SD295B, SD345

3. 貫通孔適用範囲

- (1) 形状は円形または円に内接する矩形とし、矩形開口の場合その外接円を開口として設計する。
- (2) 開口径 (H) は梁せいの1/3以下とする。
- (3) 開口中心間距離 (L) は開口径の3倍以上とする。また、隣り合う開口径が異なる場合、大きい径の3倍以上とする。
- (4) 上下方向の開口位置は、梁せいの中心付近とする。
- (5) 横方向の開口位置は、柱際から開口中心までの距離 (L') を梁せい以上とする。



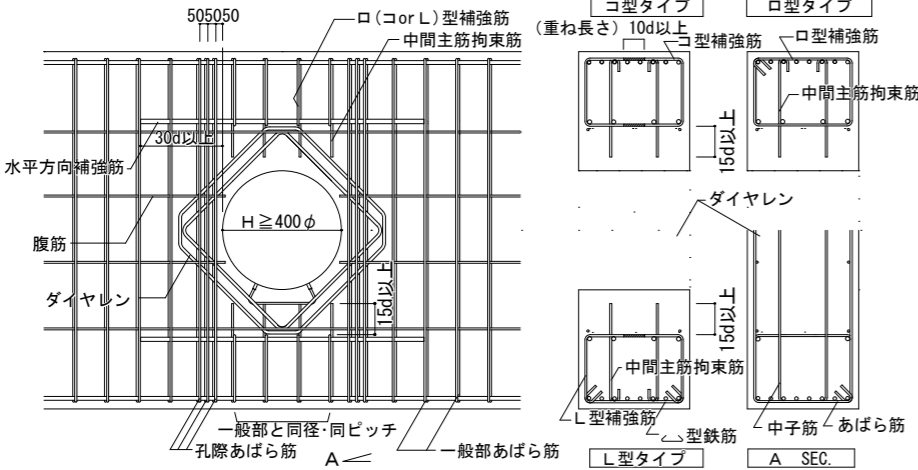
4. ダイヤレン標準配筋図 (孔際あばら筋の配筋要領)



※開口を有する区間 (補強有効範囲) のあばら筋の配置に当たっては次の点を守る事を原則とする。

- (1) 孔際あばら筋の組数は孔径に応じて上図のように配筋する。
- (2) 補強有効範囲内のあばら筋組数は一般部あばら筋ピッチによる組数以上とする。

5. 大孔径の場合の補強方法 (400φ以上の場合)



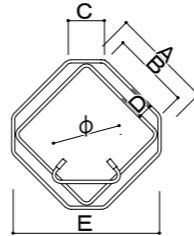
- ・水平方向補強筋の鉄筋径は一般部あばら筋の径より1段上の鉄筋径以上とする。
- ・水平方向補強筋の上下位置はダイヤレン外リングの上下筋に近接した位置とする。
- ・中間主筋拘束筋は、一般部あばら筋が中子タイプの場合のみ必要となる。
- ・水平方向補強筋の本数は一般部あばら筋と同本数をそれぞれ上下に配筋する。

6. ダイヤレン標準加工寸法表

(単位: mm (芯寸法))

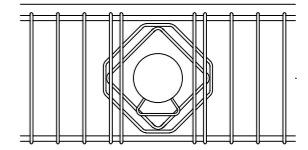
スリーブ径	タイプ	各寸法					へりあき H ₁	シール色
		A	B	C	D	E		
100φ	D10	196	116	113	40	282	186	青
	D13	200	100	136	50	291	192	赤
	D16	235	115	163	60	340	218	黄
	D19	250	122	169	60	354	227	緑
	D22	250	122	169	60	354	228	橙
	D25	335	173	212	75	474	290	白
125φ	D10	222	142	113	40	318	204	青
	D13	225	125	136	50	326	210	赤
	D16	250	130	163	60	362	229	黄
	D19	270	142	169	60	382	241	緑
	D22	270	142	169	60	382	242	橙
	D25	335	173	212	75	474	290	白
150φ	D10	250	170	113	40	358	224	青
	D13	251	151	141	50	362	228	赤
	D16	290	170	163	60	418	257	黄
	D19	290	162	169	60	418	259	緑
	D22	290	162	169	60	418	260	橙
	D25	335	173	212	75	474	290	白
175φ	D10	275	195	113	40	394	242	青
	D13	276	176	141	50	397	245	赤
	D16	310	190	163	60	446	271	黄
	D19	310	182	169	60	446	273	緑
	D22	310	182	169	60	446	274	橙
	D25	335	173	212	75	474	290	白
200φ	D10	300	220	107	40	432	261	青
	D13	303	203	141	50	435	264	赤
	D16	330	210	163	60	475	286	黄
	D19	335	207	169	60	474	287	緑
	D22	335	207	169	60	474	288	橙
	D25	335	173	212	75	474	290	白
250φ	D13	350	250	136	50	503	298	赤
	D16	370	220	205	75	531	314	黄
	D19	370	212	212	75	531	315	緑
	D22	370	212	212	75	531	317	橙
	D25	420	208	283	100	594	350	白
	D13	400	300	136	50	574	334	赤
300φ	D16	420	270	205	75	602	349	黄
	D19	420	262	212	75	602	351	緑
	D22	420	262	212	75	594	348	橙
	D25	420	208	283	100	594	350	白
	D13	450	350	136	50	644	369	赤
	350φ	D16	470	320	205	75	673	385
D19		470	312	212	75	673	386	緑
D22		470	312	212	75	673	388	橙
D25		520	308	283	100	735	420	白
D16		520	370	205	75	743	420	黄
400φ		D19	520	362	212	75	743	421
	D22	520	362	212	75	743	423	橙
	D25	520	308	283	100	735	420	白
	D16	570	420	205	75	814	455	黄
	D19	570	412	212	75	814	457	緑
	D22	570	412	212	75	814	458	橙
450φ	D25	650	438	283	100	919	512	白
	D16	650	500	205	75	927	512	黄
	D19	650	492	212	75	927	513	緑
	D22	650	492	212	75	927	515	橙
	D25	650	438	283	100	919	512	白
	500φ	D19	700	542	212	75	998	549
D22		700	542	212	75	998	550	橙
D25		700	492	283	100	998	552	白
D19		750	592	212	75	1069	584	緑
D22		750	592	212	75	1069	586	橙
D25		750	542	283	100	1069	587	白
550φ	D19	800	642	212	75	1139	619	緑
	D22	800	642	212	75	1139	621	橙
	D25	800	600	283	100	1139	622	白
	D19	850	692	212	75	1210	655	緑
	D22	850	692	212	75	1210	656	橙
	D25	850	642	283	100	1210	658	白
600φ	D19	900	742	212	75	1283	691	緑
	D22	900	742	212	75	1283	693	橙
	D25	900	692	283	100	1283	694	白

A, B, C, D, E の各値は鉄筋芯の寸法を示す。



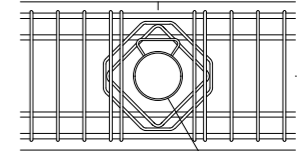
7. 施工要領

- ・RC造有孔梁の場合
 - (1) 型枠上にスリーブの心出しを行い、スリーブ両脇の孔際あばら筋を孔際より50mm程度離して配置する。
 - (2) ダイヤレンはあばら筋の内側に挿入し、孔際あばら筋等に結束する。



(RC造の場合)

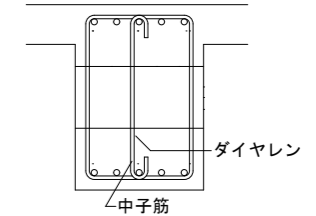
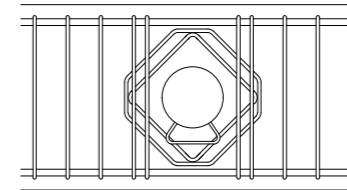
- ・SRC造有孔梁の場合
 - (1) あばら筋の配筋前に、鉄骨スリーブ管にダイヤレンをセットし、配筋後孔際あばら筋等に結束する。



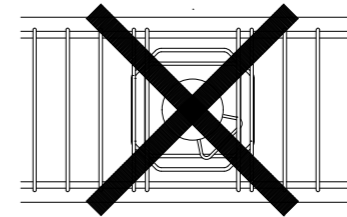
(SRC造の場合)

8. 施工における注意事項

- (1) 補強設計によってダイヤレンが3枚以上になった場合は下図のように中子筋等に結束する。



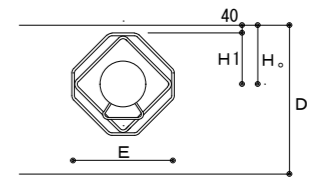
- (2) ダイヤレンはあばら筋に対して斜め45度の傾きをもって必要な耐力が期待できるため、下図のような取り付けは、絶対行わないこと。



施工不可

9. 開口芯のへりあき

- (1) 各ダイヤレンを使用した場合のコンクリート面より孔心までのへりあき寸法 (H₁) を左表に示す。
- (2) ダイヤレンの被り厚さを40mmとしてへりあき寸法を決めている。



$$H_1 = E / 2 + \text{鉄筋径} / 2$$

$$H_0 = 40 + H_1$$

浅層ブロック状混合処理工法特記仕様書 (NSM工法)

1. 工事概要

本地業は、セメントスラリーを用いた浅層ブロック状混合処理工法による地盤改良である。

この工法は、セメント系固化材を原地盤と混合攪拌し、地盤をブロック状に地盤改良する工法である。

2. 一般事項

本工法は、本特記仕様書によるほか、「改定版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」（平成21年11月 日本建築センター、以下指針という）による。

3. 特記事項

- 改良範囲(改良範囲、改良厚)、配合量は設計図書による。改良厚、セメントスラリーの配合について土質や地盤状況により変更したほうは良いと判断される場合は、監督員の承認の上変更することができる。
- 設計基準強度は、 $F_c = 1100\text{kN/m}^2$ とする。
- 設計の要求する性能を確認するため、適切な配合管理、施工管理および品質管理を実施する。
- 工法の選定は、一般財団法人日本建築センターにおける審査証明を有する工法とする。
- 品質および施工管理は、施エマニュアルに基づいて行うものとする。

4. 施工計画

工事に先立ち、施工計画書を監督員に提出する。施工計画書は次の事項を記載する。

- | | |
|--|----------------------|
| (1) 工事概要 | (6) 施工方法・施工管理 |
| (2) 施工内容(改良範囲・深度・施工機械・固化材・設計基準強度・地盤概要) | (7) 配合管理・品質管理の方法 |
| (3) 施工管理組織図 | (8) 安全管理および緊急連絡体制 |
| (4) 工程表 | (9) 労働者名簿 |
| (5) 配合管理(配合量・水固材比・固化材密度) | (10) 施工図(基礎伏図、仮設設置図) |

5. 施工機械

- 共回り防止機構(バケット後面にスリットを設け、攪拌羽根に付着した土が落とされ土を粉碎する)が付き、攪拌羽根を鉛直方向に回転可能な掘削攪拌バケットを装備する。
- 掘削攪拌機は、攪拌羽根を十分に回転させ、改良範囲・改良深度に対応できる能力を有すること。
- 所定の施工管理項目の計測および記録ができる管理装置を用いること。
- 管理項目をモニターに表示する管理装置と自動プラントを用いることにより混合処理範囲と改良状況を把握することができること。
- ミキシングプラントは所定吐出量を十分供給できる能力を有していること。

6. 配合管理

- セメントスラリーに使用する固化材は、セメント系固化材とする。
- 本工事に先立ち現場から試料土を採取して、所定の室内配合試験を実施し、所要の強度が得られるよう配合条件を決定する。
試料箇所数は 1 箇所、土質は砂混じりシルトとする。
- 配合強度は、設計基準強度と改良地盤の強度のバラツキを考慮し(1)式のように表す。
$$X_r = F_c / (1 - m \cdot V) = F_c / (1 - 1.3 \cdot 0.3) = 1.64 F_c \quad (1)$$
$$X_r: \text{配合強度} \quad F_c: \text{設計基準強度}$$
$$m: \text{一軸圧縮強度、一軸圧縮強度の変動係数、地盤の降伏応力度を関係つける定数}(m=1.3) \quad V: \text{変動係数}(V=0.3)$$
- 配合量と固化材水比は、室内配合試験強度の結果に基づいて、配合強度を満足するように決定する。
$$X_i = X_r / \alpha_{r,i} \quad (2)$$
$$X_i: \text{室内配合強度} \quad X_r: \text{配合強度} \quad \alpha_{r,i}: \text{現場/室内強度比}$$

暫定配合量 $C=300\text{kg/m}^3$ $W/C=80\%$ 【配合試験により決定する】

7. 品質管理

(1) 検査対象群、検査対象層および検査箇所

- 検査対象層は盛土・砂混じりシルト・玉石混じりシルト質砂礫であり設計対象層を砂混じりシルトとする。
- 検査手法は計量規準型一回抜取検査(JIS Z 9003)とし日本建築センター「改訂版建築物のための改良地盤の設計および品質管理指針」に準拠し、所定の品質であるかを確認するため改良体より無作為にサンプル採取したコア供試体の一軸圧縮強さを指標とする。
- 調査箇所数は、施工条件、施工規模、検査方法を考慮し適切に設定する。検査は原則としてハンドコアマシンで採取した改良体上面付近の3個以上の供試体で行なう。改良厚さが2m以上の場合は、検査対象群ごとに1箇所以上ボーリングコア試験を行い改良体の連続性を確認する。ボーリング試験では、1m当たり3個のコア採取を標準とする。検査対象群はほぼ同一の地盤条件であることを前提とする。地盤条件の等質性だけでなく施工機械、施工手順や施工方法が異なる場合には施工管理のデータを基に区画の分割を考慮する。原則として改良ブロック10箇所、改良面積100㎡のうち少ない施工箇所を1検査対象群とする。

頭部コア(ハンドコア)試験 2 箇所 ボーリングコア試験 2 箇所

(2) コア採取率による調査

ボーリングコア試験を行う場合、コア採取率を調査する。コア採取率が、全長に対して粘性土で90%、砂質土で95%、深さ1mごとに粘性土で85%、砂質土で90%であることを確認する。

(3) 合否の判定

- 設計対象層について抜き取り1箇所に対して3個の供試体を採取し、その平均をその箇所のコア強度とする。
- 一軸圧縮試験は、公的機関、第三者機関または検査員立会いのもとに行うものとする。

③合否の判定は、検査対象群ごとに行う。

$$X_N \geq X_L = F_c + k_a \cdot \sigma_a \quad (3)$$

X_N : N箇所の一軸圧縮強さの平均値(kN/m²) X_L : 合格判定地(kN/m²)

F_c : 設計基準強度(kN/m²) k_a : 合格判定係数 σ_a : 標準偏差(kN/m²)

抜き取り箇所数による合格判定係数

抜き取り箇所数N	1	2	3	4~6	7~8	9~
合格判定係数 k_a	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

(4) 六価クロム溶出試験

設計計画段階に、六価クロム溶出試験を実施し、試験結果(計量証明書)を提出する。なお、試験方法はセメント及びセメント系固化材を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領(環境庁第46号(土壌汚染に係る建京基準))による。

検査検体数、検査対象層、基準値は下記のものとする。

検査体: 1 検体

対象層: 設計対象層

基準値: 0.05mg/L以下

8. 工事報告

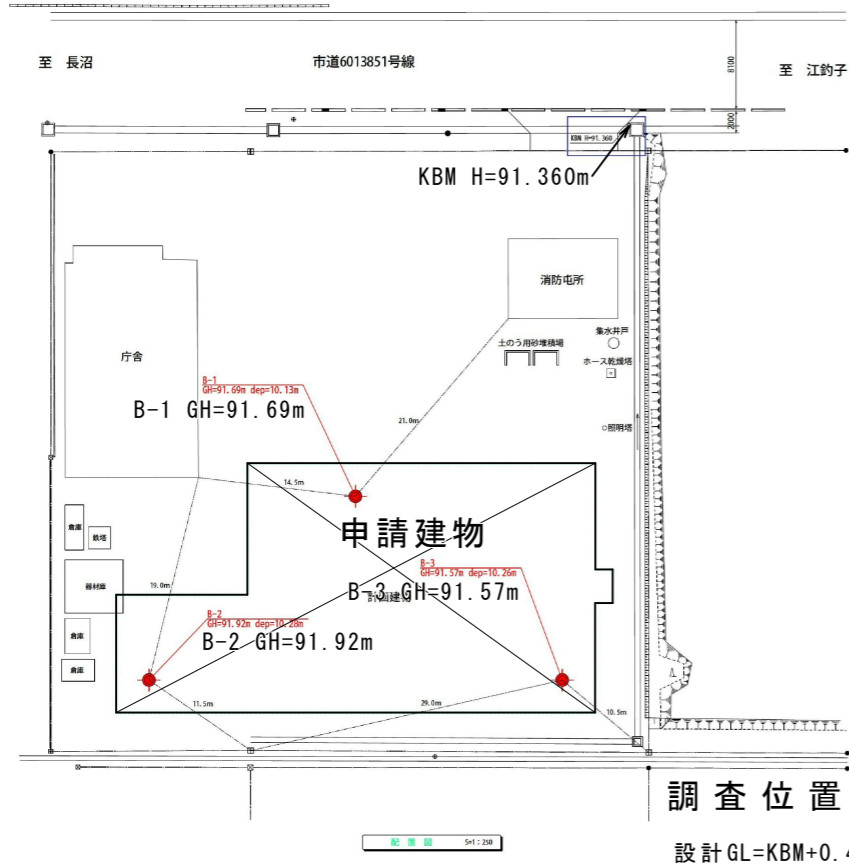
工完了後、次の事項について報告書にまとめ、監督員に提出する。

- 改良伏図
- 施工日
- 改良寸法および改良厚
- 掘削深度(床付け地盤と地盤状況)
- 固化材の配合と使用量
- コア圧縮強度試験結果
- 合格判定結果

構造設計 S A I T O 設計室 齊藤 武美

一級建築士第201248号 構造設計一級建築士第3241号

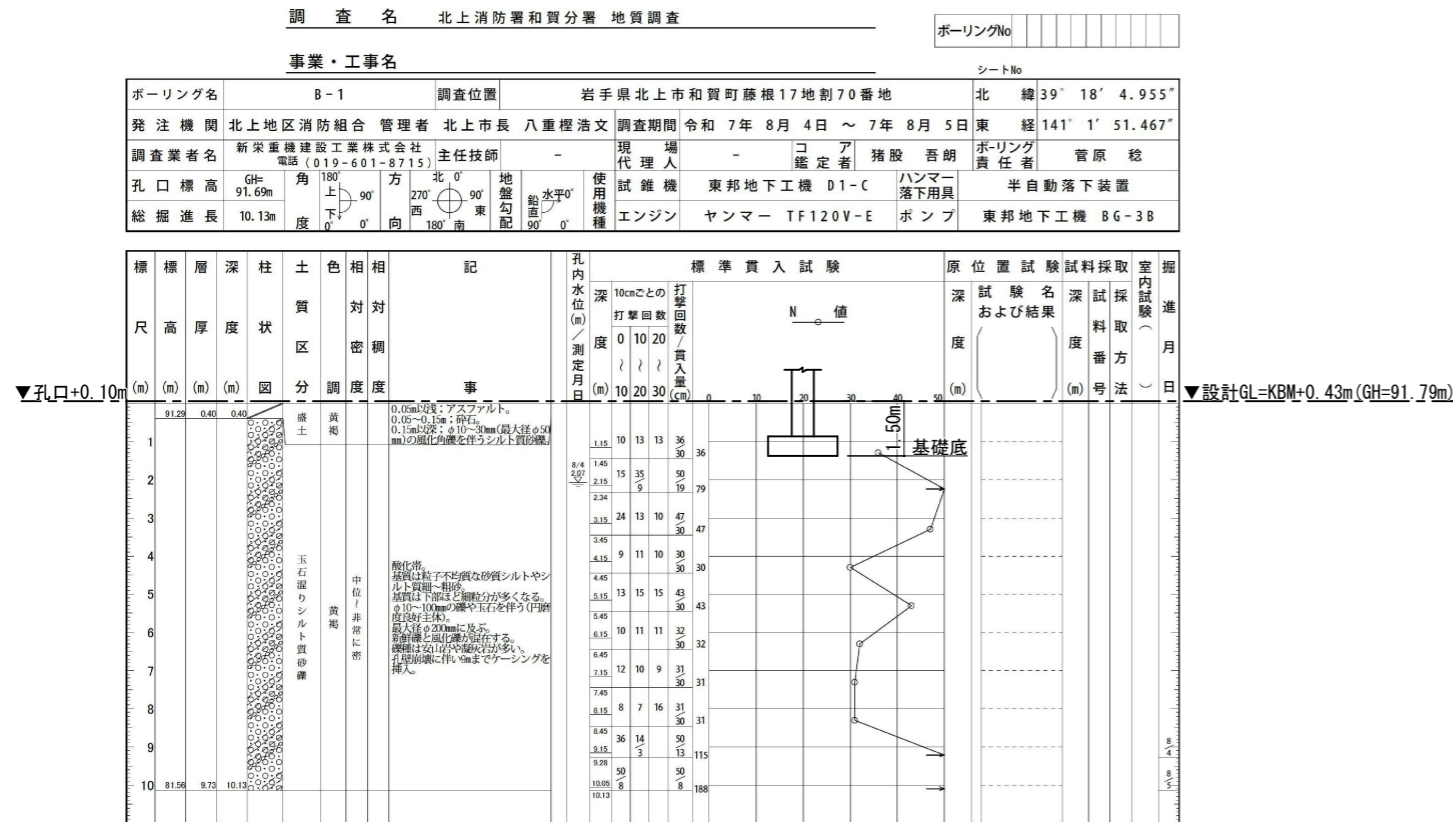
平野建築事務所 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 TEL 0197-64-0855	一級建築士事務所 岩手県知事登録 第く(2703)504号 大臣登録 第323316号 千田篤良	設計年月日	検図	製図	図面名称 ブロック状混合処理工法特記仕様書	縮尺 A1-I: - A3-I: -	工事名称 北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事	設計図	図面番号 S-09
		R 08 . 02							



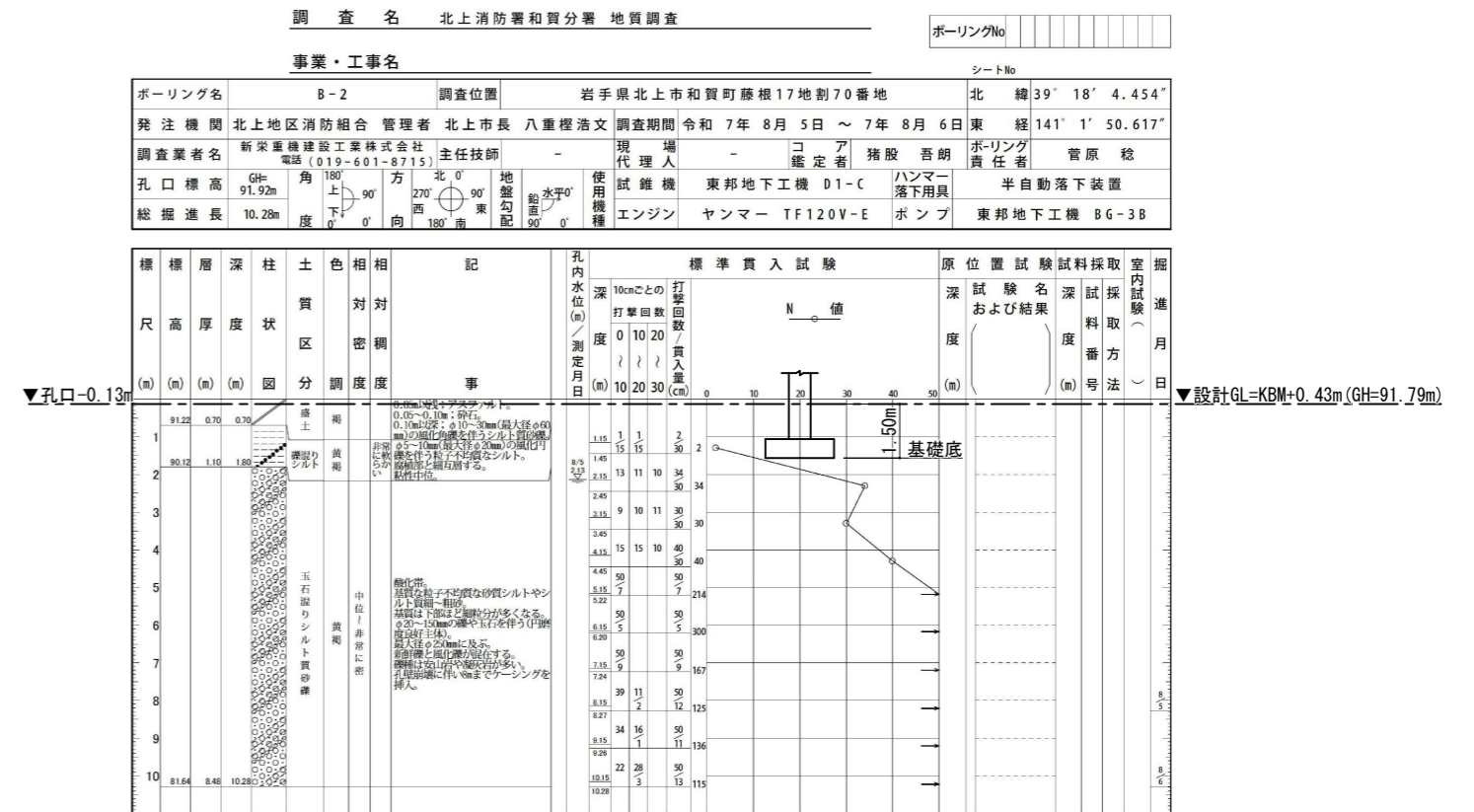
調査位置図

設計GL=KBM+0.43m

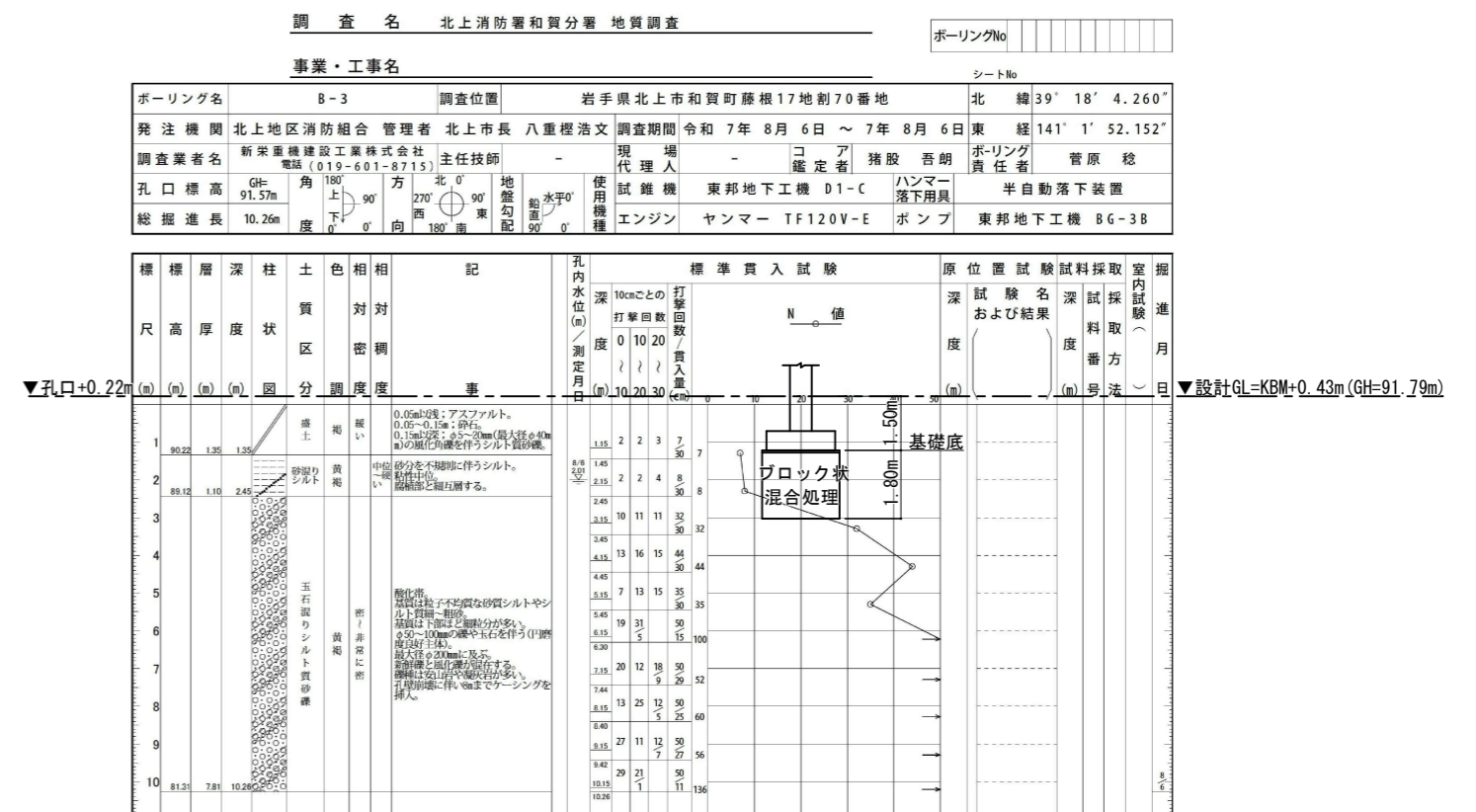
ボーリング柱状図



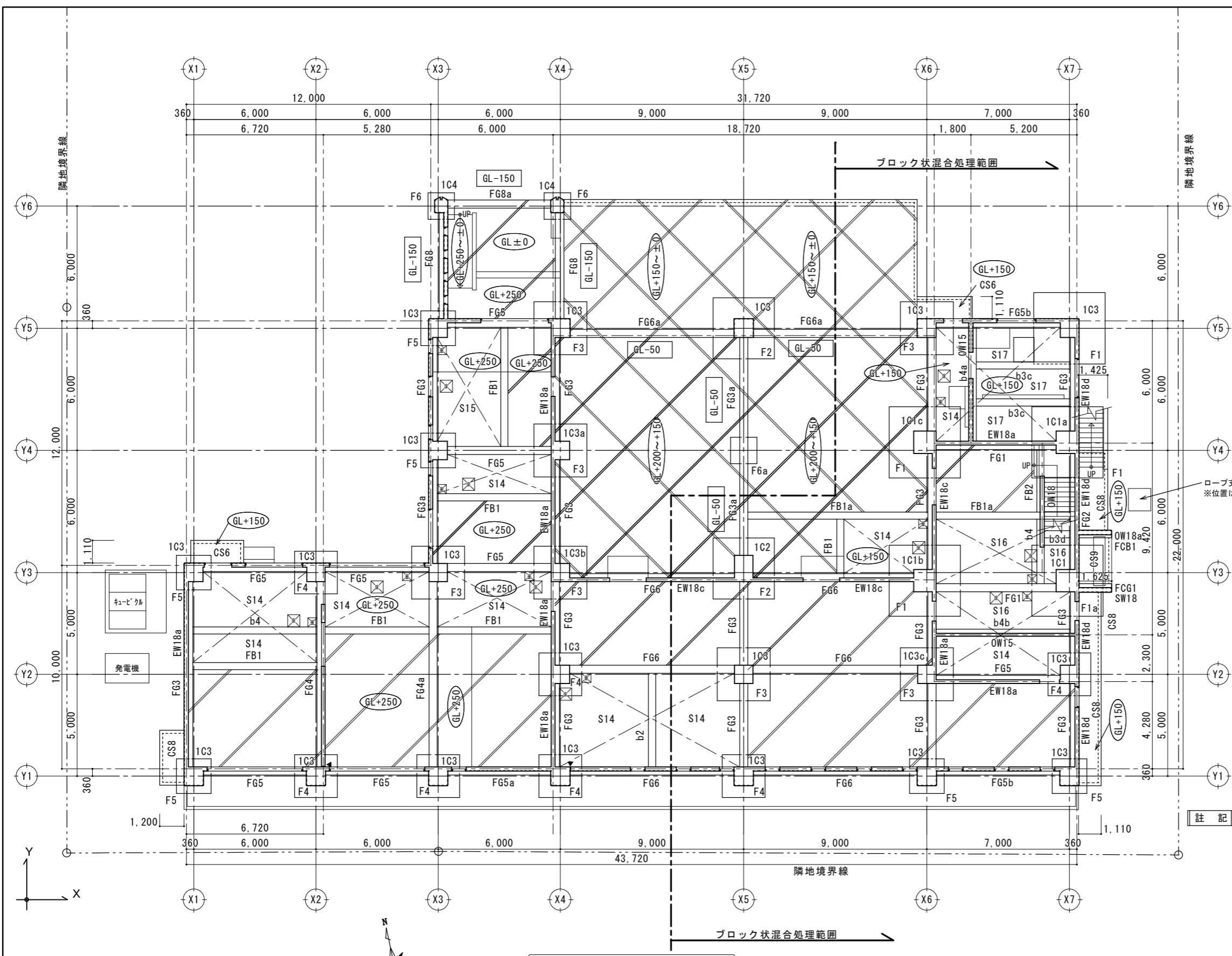
ボーリング柱状図



ボーリング柱状図



構造設計 SAITO設計室 齊藤 武美
一級建築士第201248号 構造設計一級建築士第3241号



特記事項

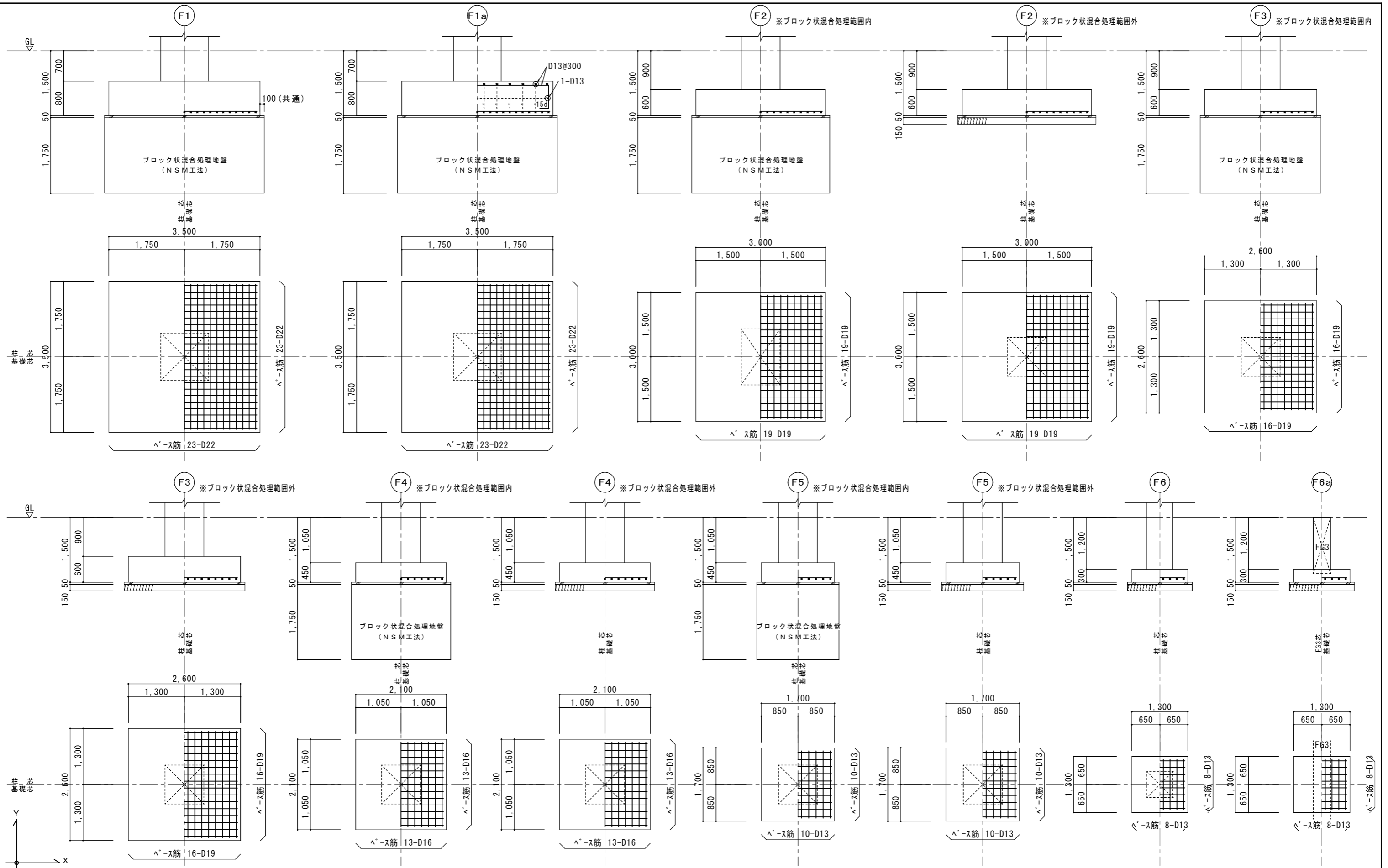
- 1). コンクリート
 - 捨てコンクリート : $F_c = 18 \text{ N/mm}^2$ $S=15\text{cm}$
 - 土間コンクリート : $F_c = 24 \text{ N/mm}^2$ $S=18\text{cm}$
 - 基礎・各階躯体 : $F_c = 24 \text{ N/mm}^2$ $S=18\text{cm}$
 - 構造耐力上主要な部分に用いられるコンクリート 1m^2 中に含まれる塩化物(塩素イオン換算)の含有量を 0.30kg 以下とする事。
- 2). 鉄筋
 - D10~D16 SD295A (重ね継手)
 - D19~D25 SD345 (圧接継手)
- 3). 長期地耐力
 - 基礎下 : $L_f = 300 \text{ kN/m}^2$
 - (一部浅層ブロック状混合処理改良地盤)
 - 土間下 : $L_f = 30 \text{ kN/m}^2$ (表層改良地盤)
 - 表層改良特記事項
 - ・設計基準強度 $F_c=90\text{kN/m}^2$
 - ・セメント系固化材配合量 60kg/m^3
 - (配合量は配合試験により決定すること)
 - ・施工後圧縮試験 4箇所

ロープ支持基礎
※位置は打合せによる

註記

- 1). 特記無き限り梁天端は、GL±0とする。
- 2). 特記無き限り土間(スラブ)天端は、GL+300とする。
- 3). 特記無き限り壁は、W18とする。
- 4). 内に梁レベルを示す。
- 5). 内に土間(スラブ)レベルを示す。
- 6). は耐震スリット位置を示す。
- 7). は、ピット部分を示す。(ピット底GL-1,100)
- 8). は、土間コンクリート(厚150mm)・30共D13@200Sを示す。
- 9). は、土間コンクリート(厚200mm)・30共D13@150Sを示す。
- 10). 土間下は全て、表層改良(土間下からGL-1.0mまで)とする。
- 11). は床点検口(600角)位置を示す。
 は釜場(450角)位置を示す。

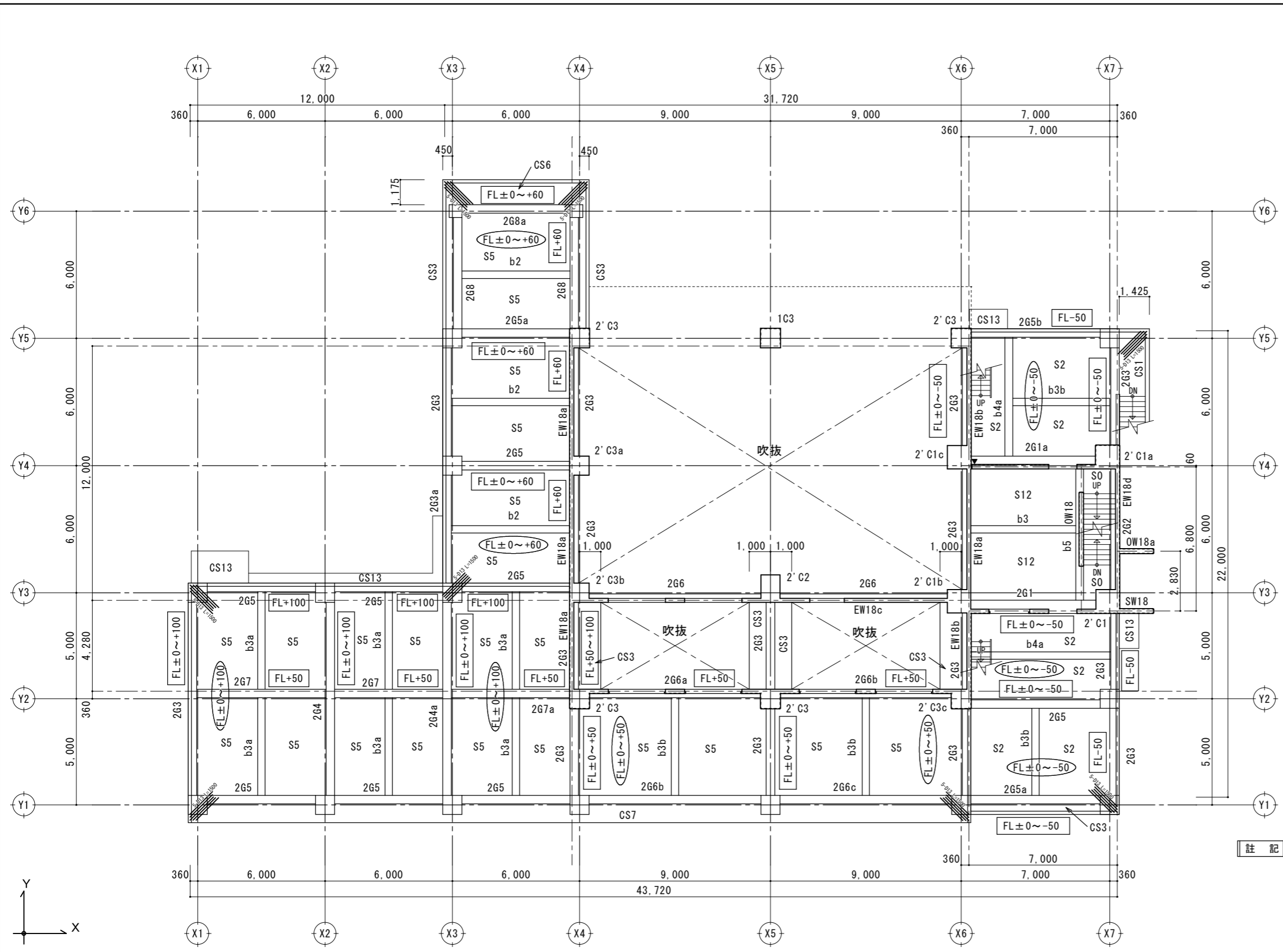
基礎(Z01層)伏図 A1-1:100 A3-1:200



基礎詳細図 A1-1:40 A3-1:80

※ベース筋はY方向がX方向の下となるように配筋のこと。

構造設計 SAITO設計室 齊藤 武美
 一級建築士第201248号 構造設計一級建築士第3241号



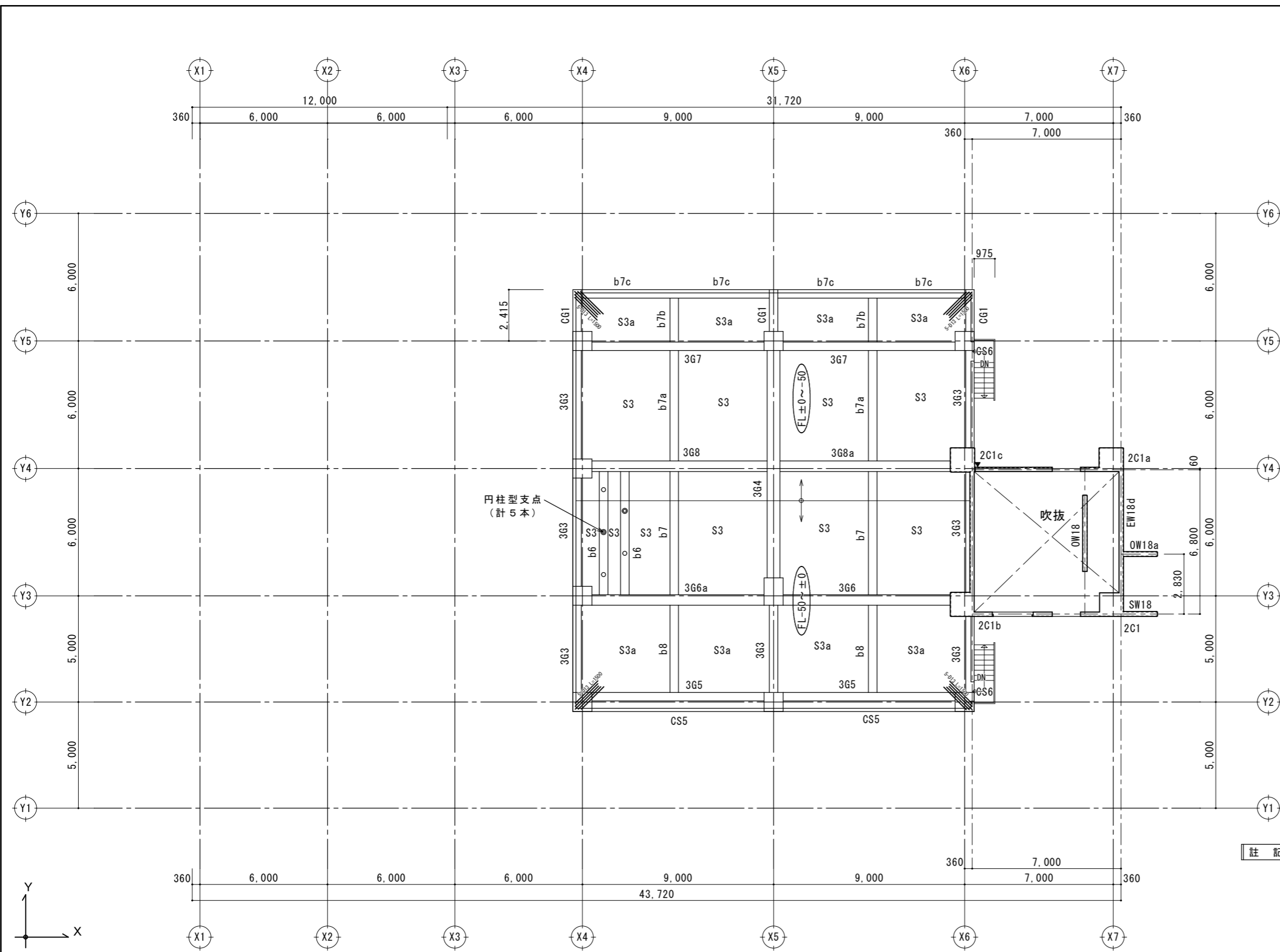
註記

- 1). 特記無き限り梁天端は、FL±0 とする。
- 2). 特記無き限りスラブ天端は、FL±0 とする。
- 3). 特記無き限り壁は、W18 とする。
- 4). 内に特殊な梁レベルを示す。
- 5). 内に特殊なスラブレベルを示す。
- 6). ▼ は耐震スリット位置を示す。

2 F (Z02層) 伏図 A1-1:100 A3-1:200

構造設計 SAITO設計室 齊藤 武美
 一級建築士第201248号 構造設計一級建築士第3241号

平野建築事務所 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(2703)504号 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日 R 08 ・ 02	検図 	製図 	図面名称 2 F (Z02層) 伏図	縮尺 A1-1:100 A3-1:200	工事名称 北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事	図面番号 S-13
--	--------------------	------------	------------	-----------------------	----------------------------	-----------------------------	--------------



円柱型支点
(計5本)

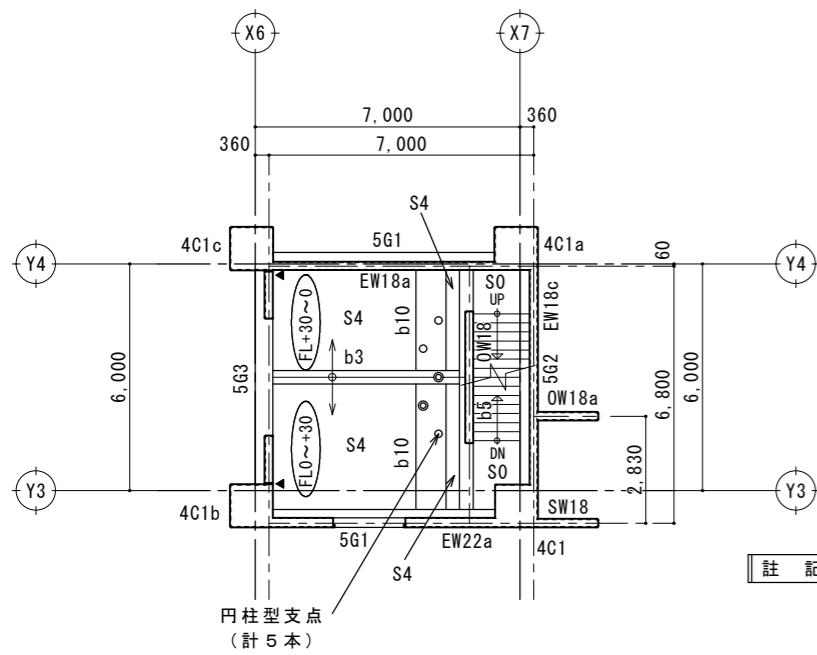
註記

- 1). 特記無き限り梁天端は、FL-100 とする。
- 2). 特記無き限りスラブ天端は、FL±0 とする。
- 3). 特記無き限り壁は、W18 とする。
- 4). 内に特殊な梁レベルを示す。
- 5). 内に特殊なスラブレベルを示す。
- 6). ▼ は耐震スリット位置を示す。
- 7). ● は円柱型支点 (250φ) を示す。
- 8). ○ は円柱型支点 (200φ) を示す。

2' F (Z03層) 伏図 A1-1:100 A3-1:200

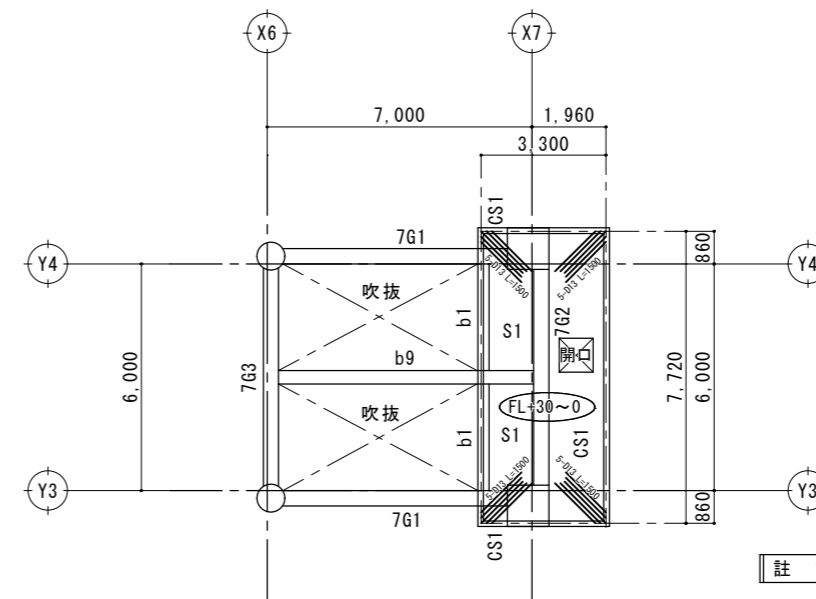
構造設計 SAITO設計室 齊藤 武美
一級建築士第201248号 構造設計一級建築士第3241号

平野建築事務所 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(2703)504号 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日	検図	製図	図面名称	縮尺	工事名称	図面番号
	R 08・02			2' F (Z03層) 伏図	A1-1:100 A3-1:200	北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事 設計図	S-14



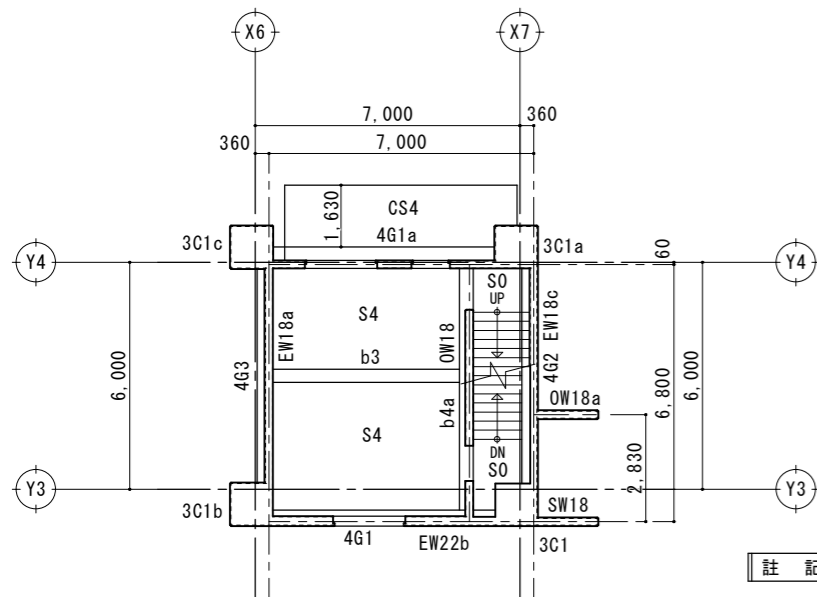
4 F (Z05層) 伏図 A1-1:100 A3-1:200

- 註記
1. 特記無き限り梁天端は、FL±0 とする。
 2. 特記無き限りスラブ天端は、FL±0 とする。
 3. 特記無き限り壁は、W18 とする。
 4. 内に特殊な梁レベルを示す。
 5. 内に特殊なスラブレベルを示す。
 6. ▼ は耐震スリット位置を示す。
 7. ● は円柱型支点 (250φ) を示す。
 8. ○ は円柱型支点 (200φ) を示す。



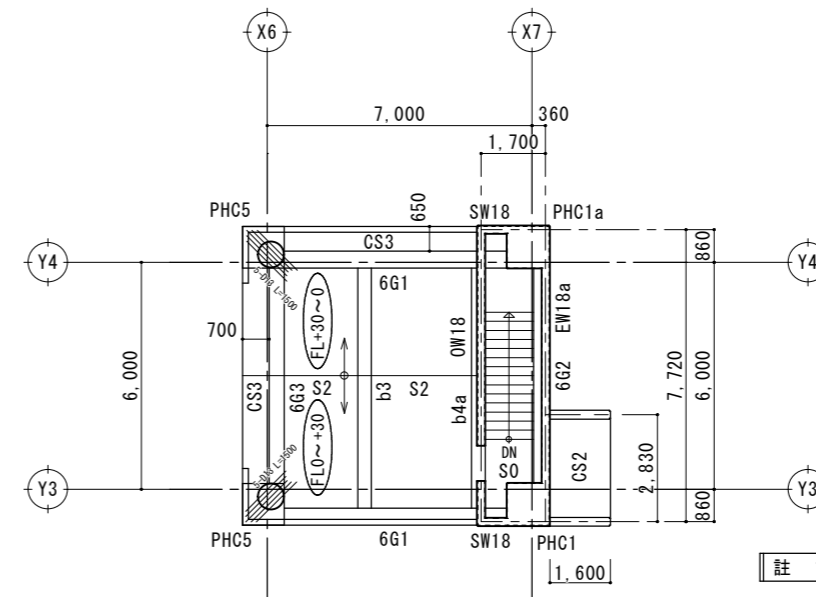
PHRF (Z07層) 伏図 A1-1:100 A3-1:200

- 註記
1. 特記無き限り梁天端は、FL±0 とする。
 2. 特記無き限りスラブ天端は、FL±0 とする。
 3. 特記無き限り壁は、W18 とする。
 4. 内に特殊な梁レベルを示す。
 5. 内に特殊なスラブレベルを示す。



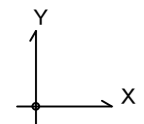
3 F (Z04層) 伏図 A1-1:100 A3-1:200

- 註記
1. 特記無き限り梁天端は、FL±0 とする。
 2. 特記無き限りスラブ天端は、FL±0 とする。
 3. 特記無き限り壁は、W18 とする。
 4. 内に特殊な梁レベルを示す。
 5. 内に特殊なスラブレベルを示す。
 6. ▼ は耐震スリット位置を示す。



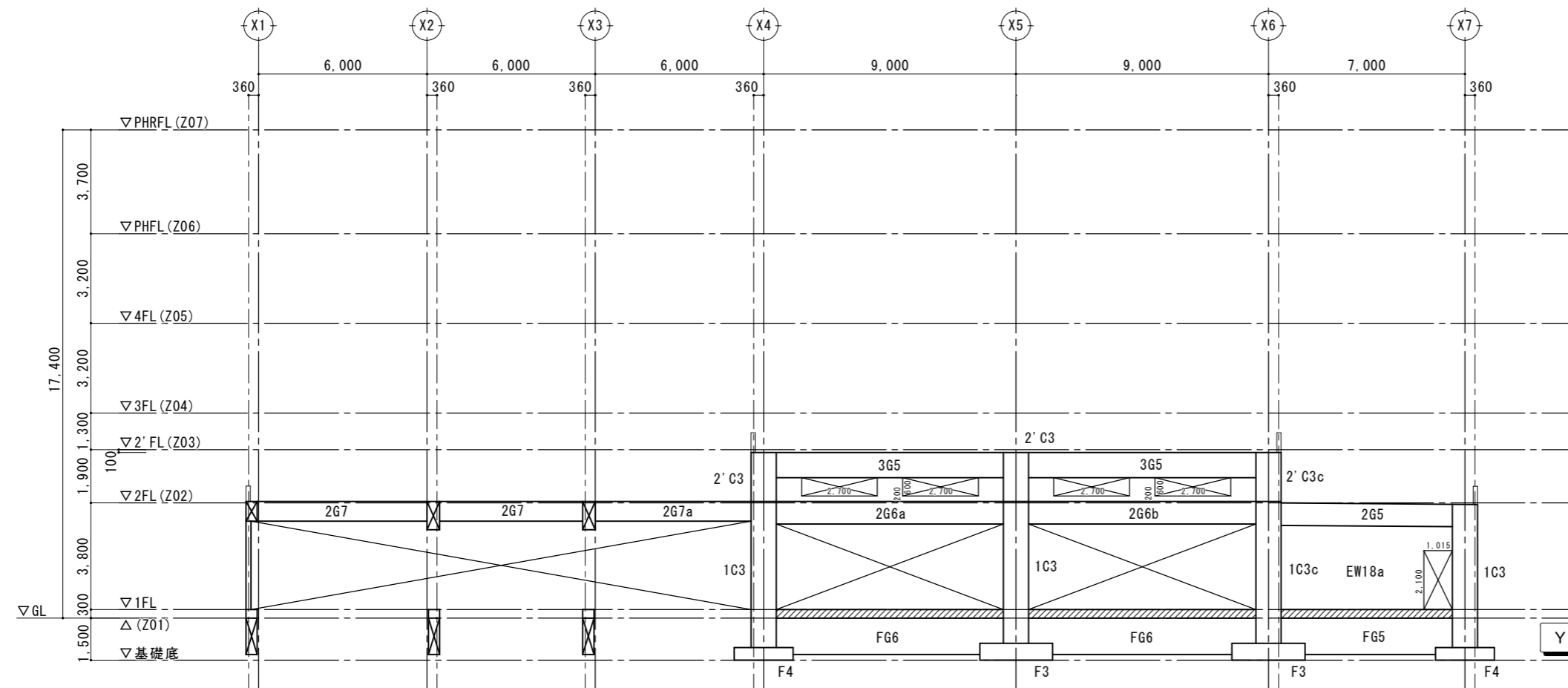
PHF (Z06層) 伏図 A1-1:100 A3-1:200


- 註記
1. 特記無き限り梁天端は、FL±0 とする。
 2. 特記無き限りスラブ天端は、FL±0 とする。
 3. 特記無き限り壁は、W18 とする。
 4. 内に特殊な梁レベルを示す。
 5. 内に特殊なスラブレベルを示す。



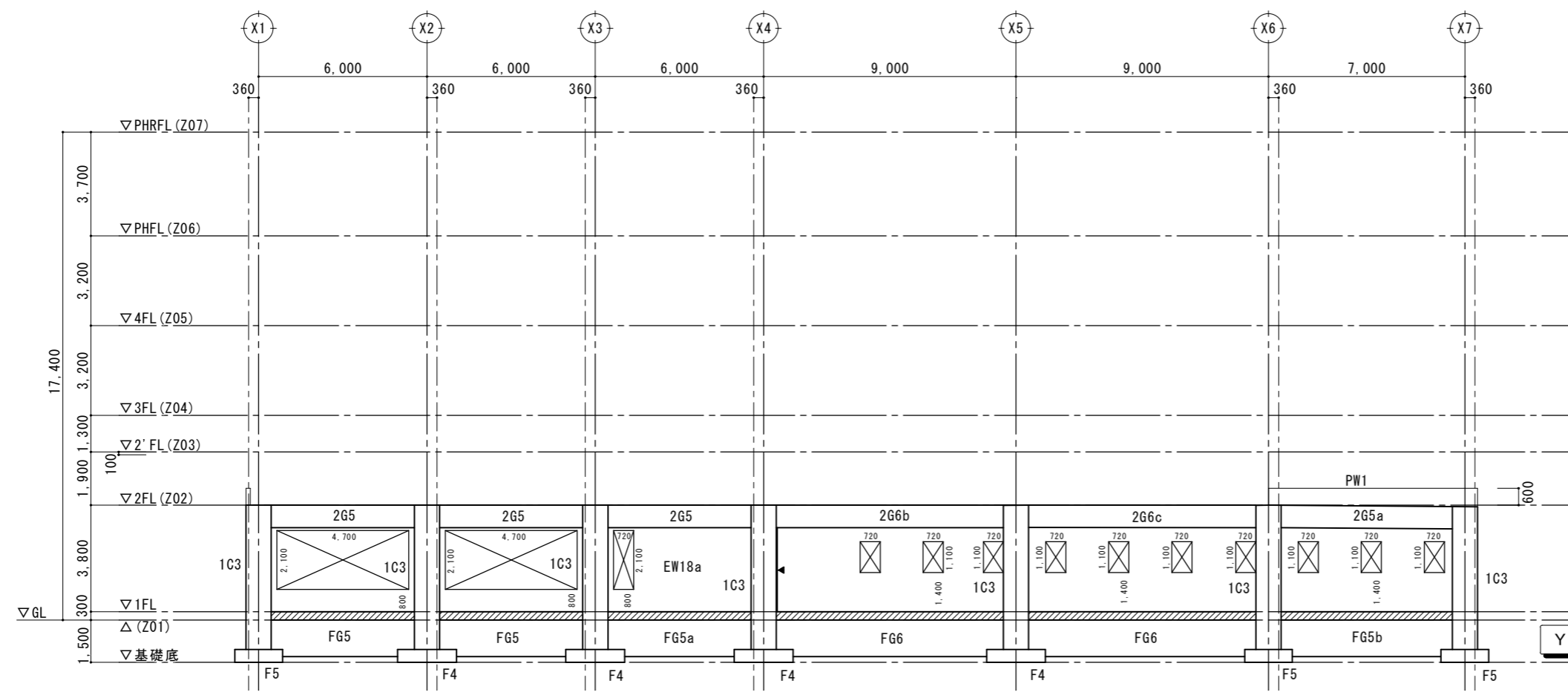
構造設計 SAI TO 設計室 齊藤 武美
一級建築士第201248号 構造設計一級建築士第3241号

平野建築事務所 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(2703)504号 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日	検図	製図	図面名称	縮尺	工事名称	図面番号
	R 08・02			3 F ~ PHRF (Z04~Z07層) 伏図	A1-1:100 A3-1:200	北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事 設計図	S-15



- 【註記】
- 1). 特記無き限り壁は、W18 とする。
 - 2). ▼ は耐震スリット位置を示す。
 - 3).  は梁増打ち部分を示す。

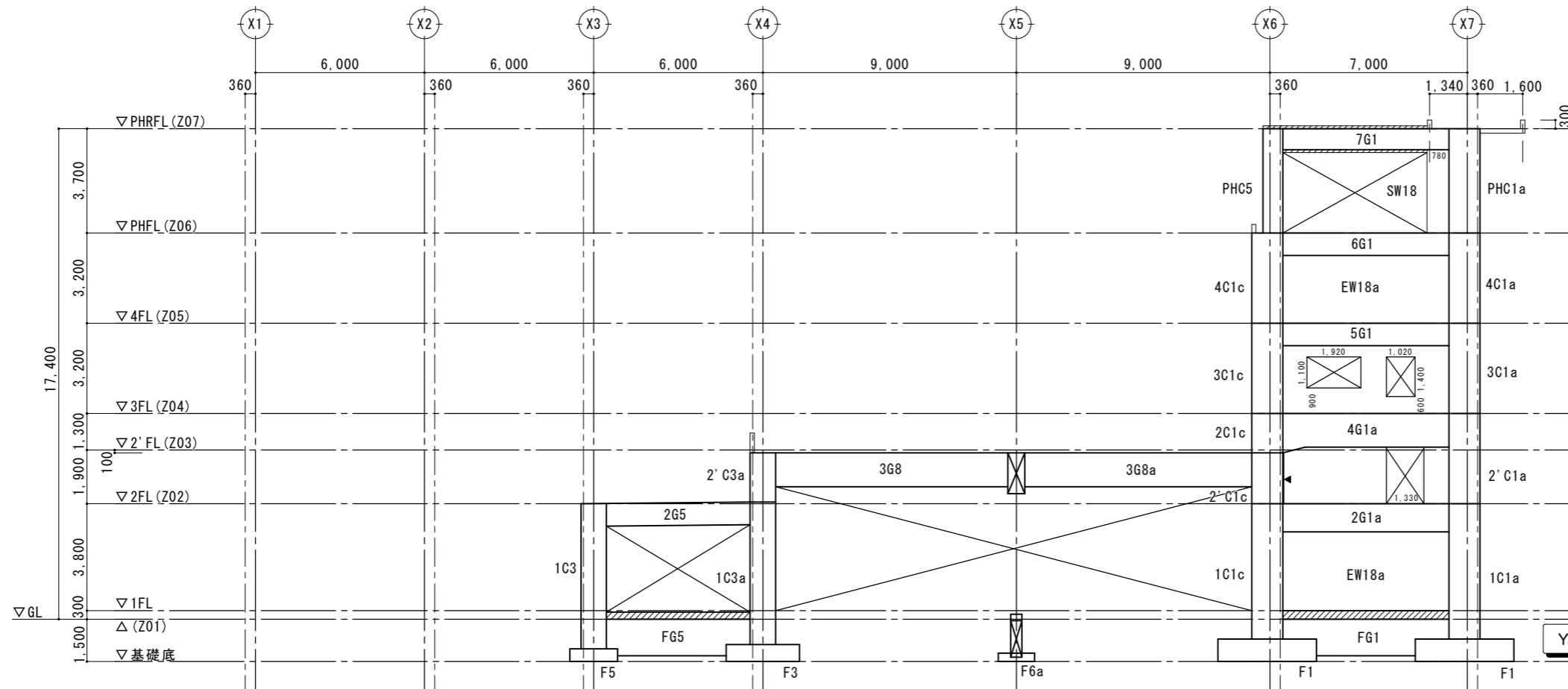
Y 2 通り軸組図 A1-1:100 A3-1:200




Y 1 通り軸組図 A1-1:100 A3-1:200

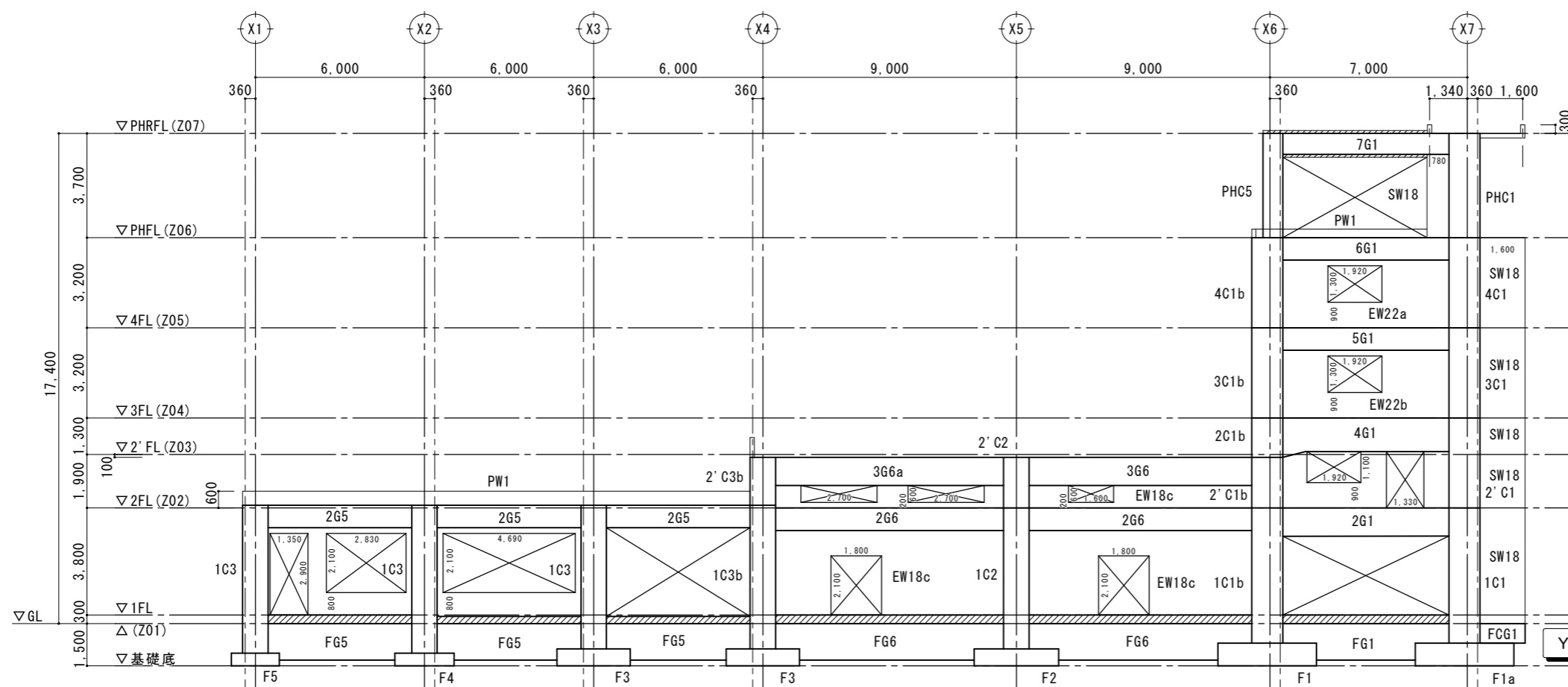
構造設計 SAITO設計室 齊藤 武美
一級建築士第201248号 構造設計一級建築士第3241号

平野建築事務所 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第<2703>504号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日	検図	製図	図面名称	縮尺	工事名称	図面番号
	R 08・02			軸組図(1)	A1-1:100 A3-1:200	北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事 設計図	S-16



- 註記
- 1). 特記無き限り壁は、W18 とする。
 - 2). ▼ は耐震スリット位置を示す。
 - 3).  は梁増打ち部分を示す。

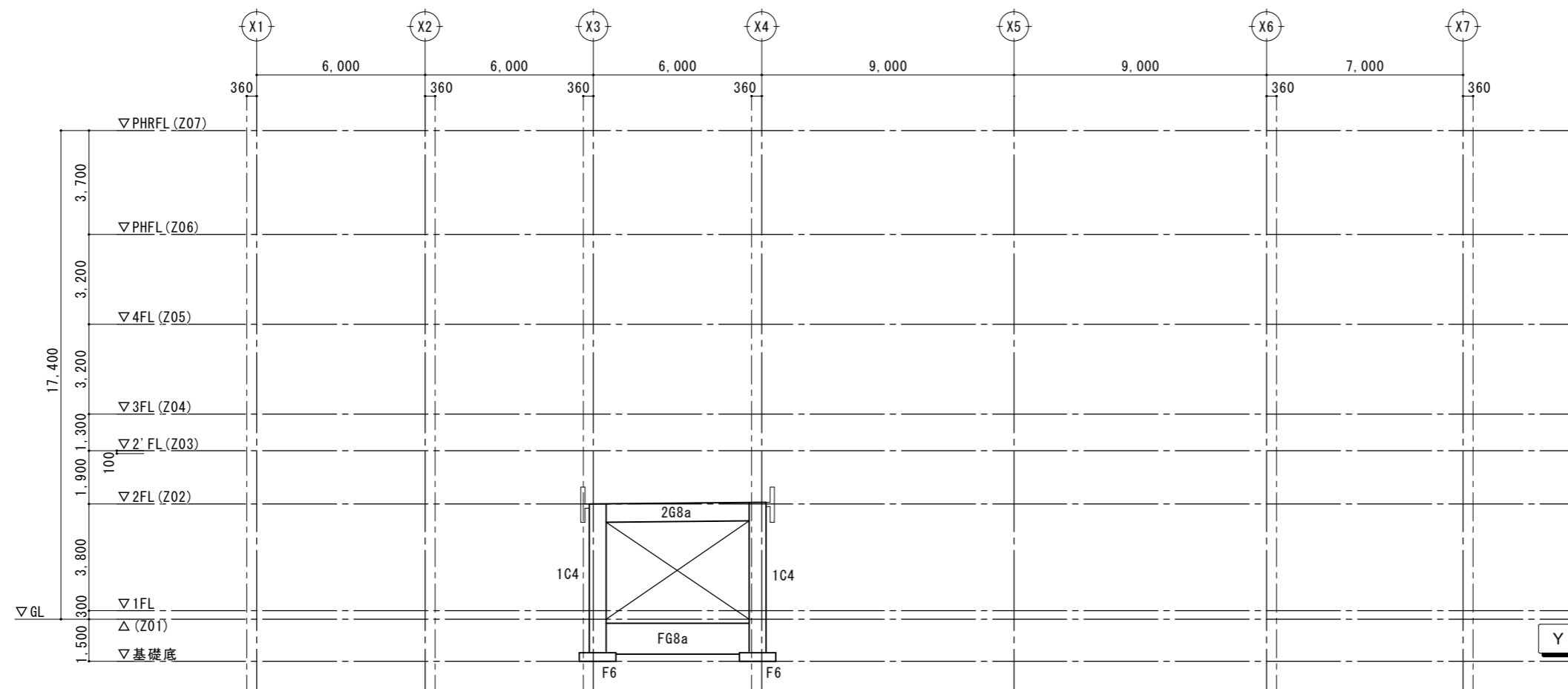
Y 4通り軸組図 A1-1:100 A3-1:200




Y 3通り軸組図 A1-1:100 A3-1:200

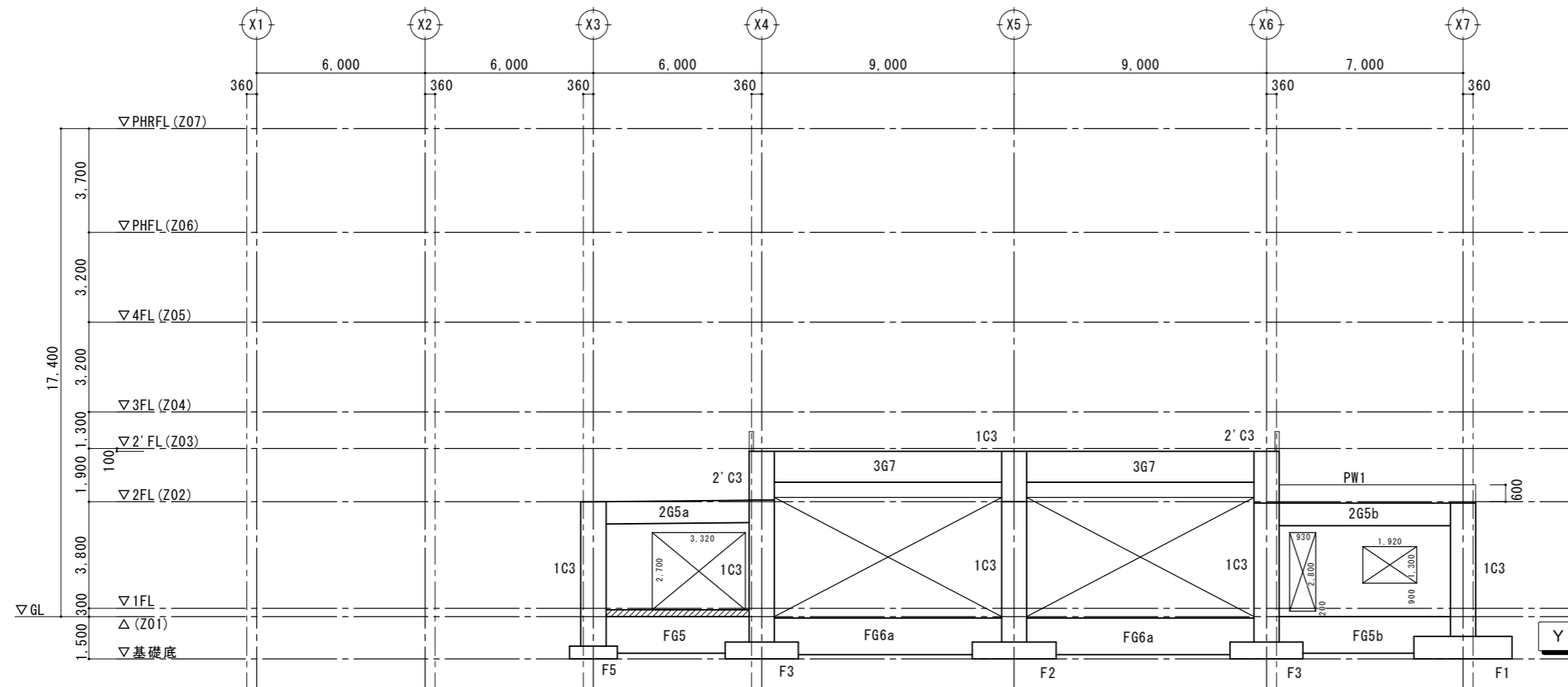
構造設計 SAITO設計室 齊藤 武美
 一級建築士第201248号 構造設計一級建築士第3241号

平野建築事務所 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(2703)504号 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目1番23号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日 R 08・02	検図	製図	図面名称 軸組図(2)	縮尺 A1-1:100 A3-1:200	工事名称 北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事	図面番号 S-17



- 【註記】
- 1). 特記無き限り壁は、W18 とする。
 - 2). ▼ は耐震スリット位置を示す。
 - 3).  は梁増打ち部分を示す。

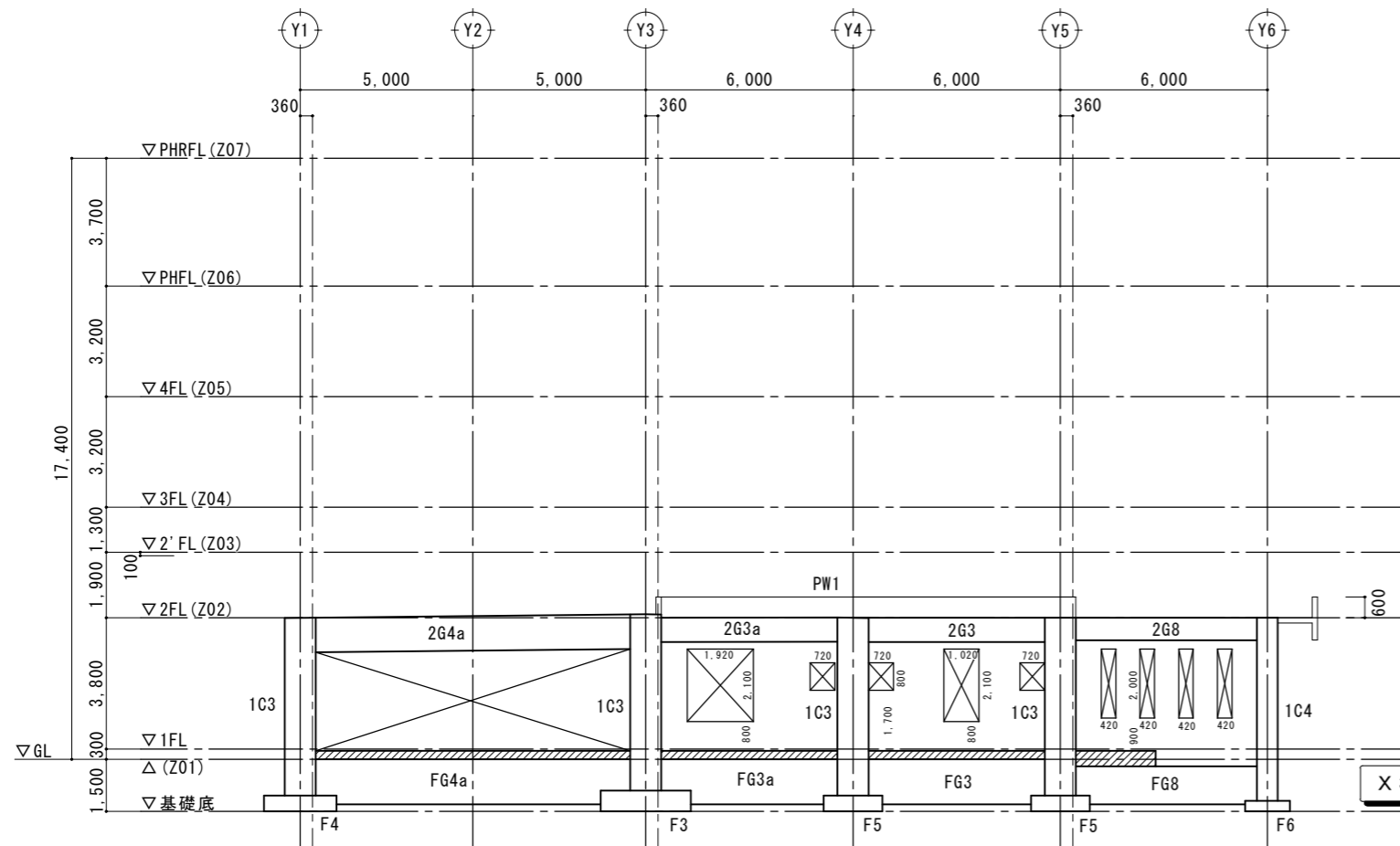
Y 6 通り軸組図 A1-1:100 A3-1:200



Y 5 通り軸組図 A1-1:100 A3-1:200

構造設計 SAITO設計室 齊藤 武美
 一級建築士第201248号 構造設計一級建築士第3241号

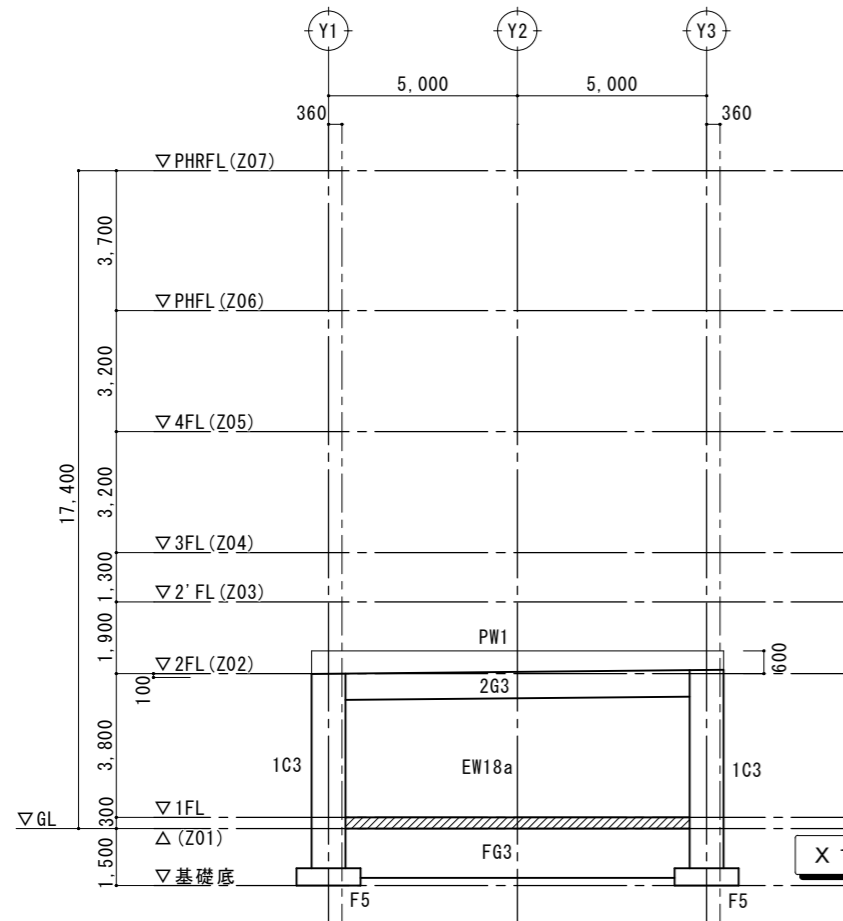
平野建築事務所 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(2703)504号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日 R 08・02	検図	製図	図面名称 軸組図(3)	縮尺 A1-1:100 A3-1:200	工事名称 北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事	図面番号 S-18



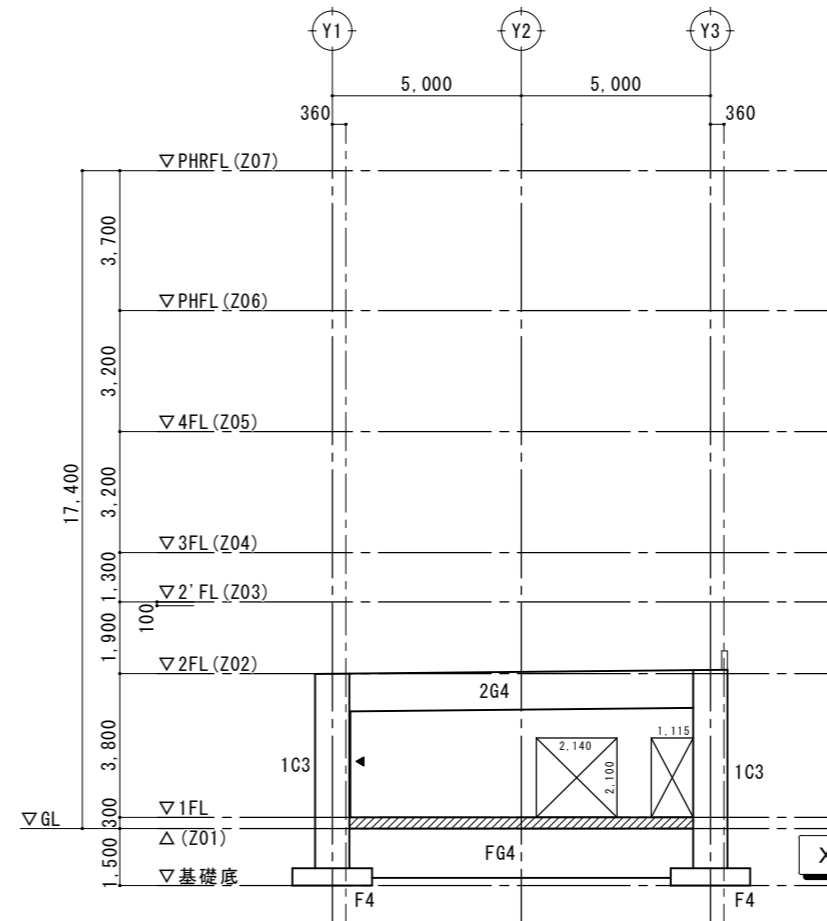
X 3 通り軸組図 A1-1:100 A3-1:200

註記

- 1). 特記無き限り壁は、W18 とする。
- 2). ▼ は耐震スリット位置を示す。
- 3). は梁増打ち部分を示す。



X 1 通り軸組図 A1-1:100 A3-1:200




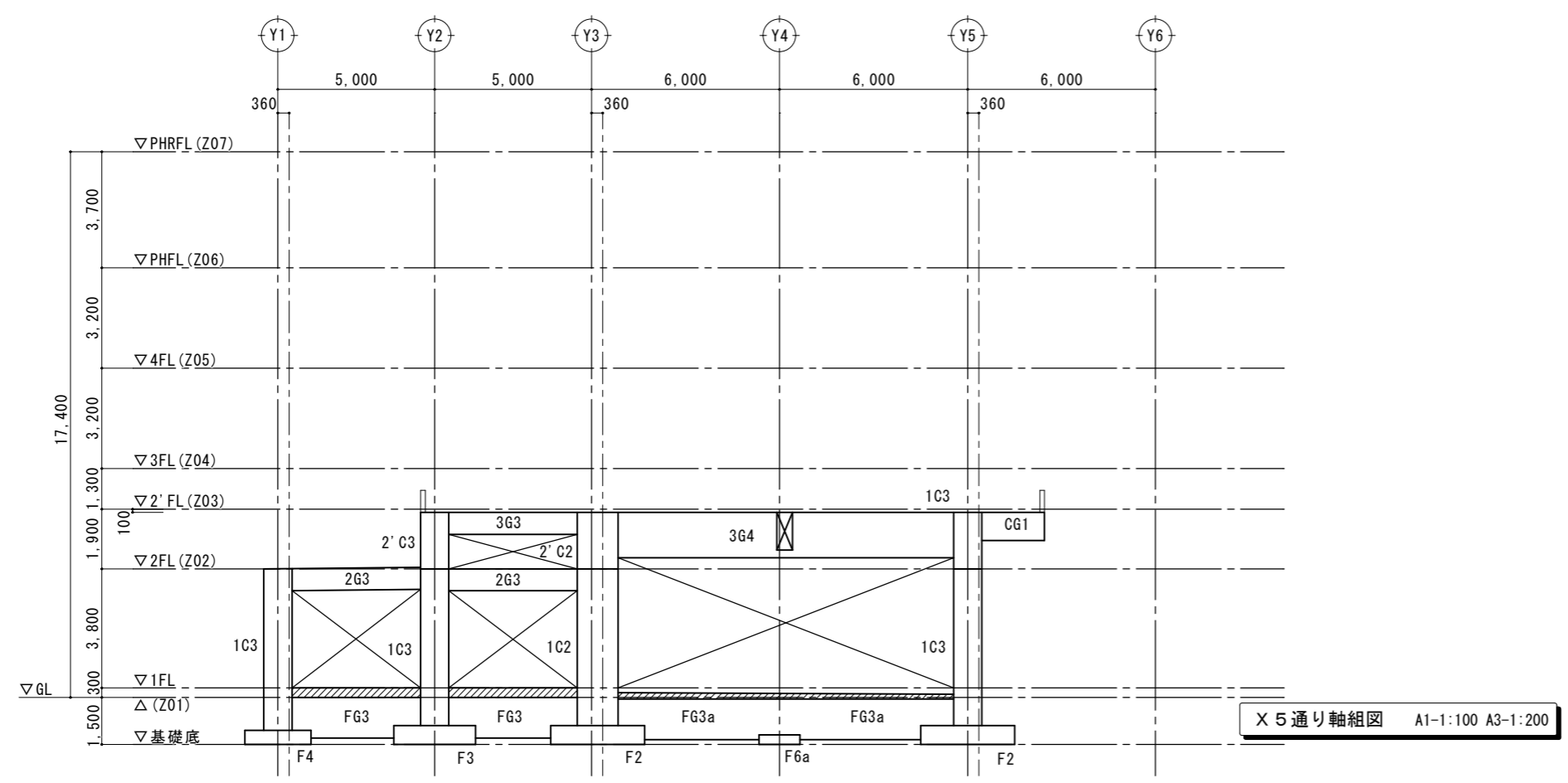
X 2 通り軸組図 A1-1:100 A3-1:200

構造設計 SAITO設計室 齊藤 武美
 一級建築士第201248号 構造設計一級建築士第3241号

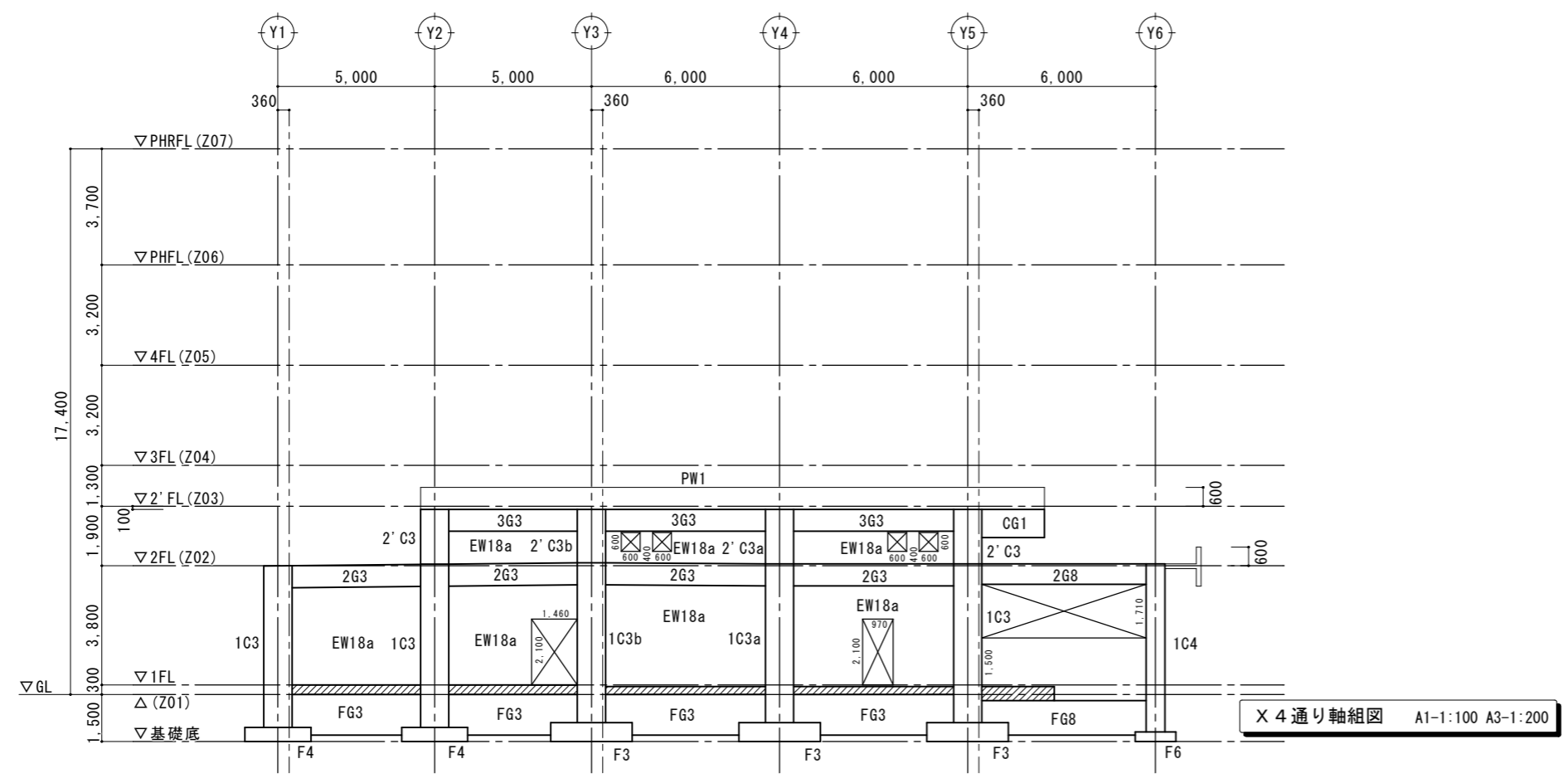
平野建築事務所 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目1番23号 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第<(2703)504号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日	検図	製図	図面名称	縮尺	工事名称	図面番号
	R 08・02			軸組図(4)	A1-1:100 A3-1:200	北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事 設計図	S-19

註記

- 1). 特記無き限り壁は、W18 とする。
- 2). ▼ は耐震スリット位置を示す。
- 3).  は梁増打ち部分を示す。



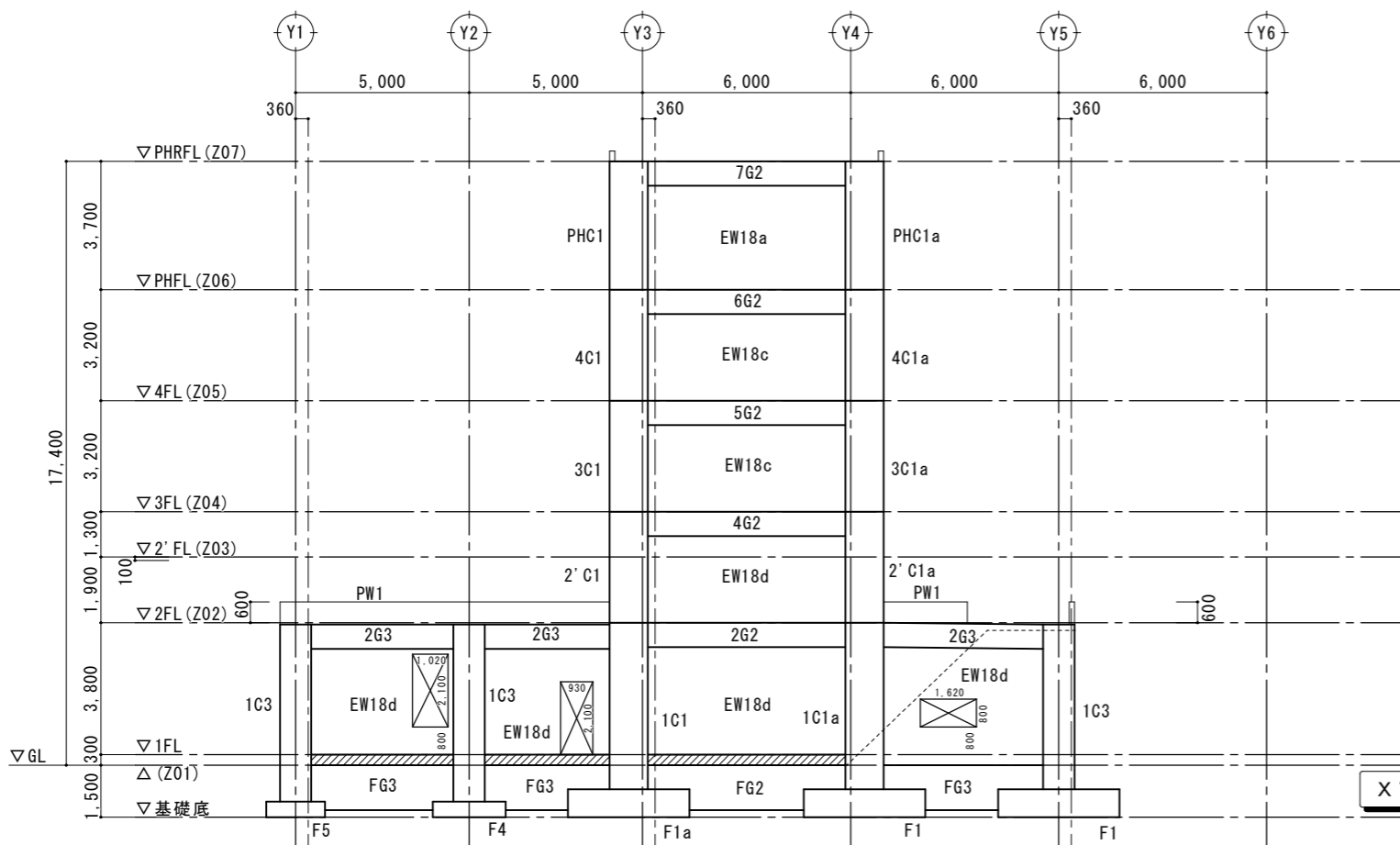
X 5 通り軸組図 A1-1:100 A3-1:200



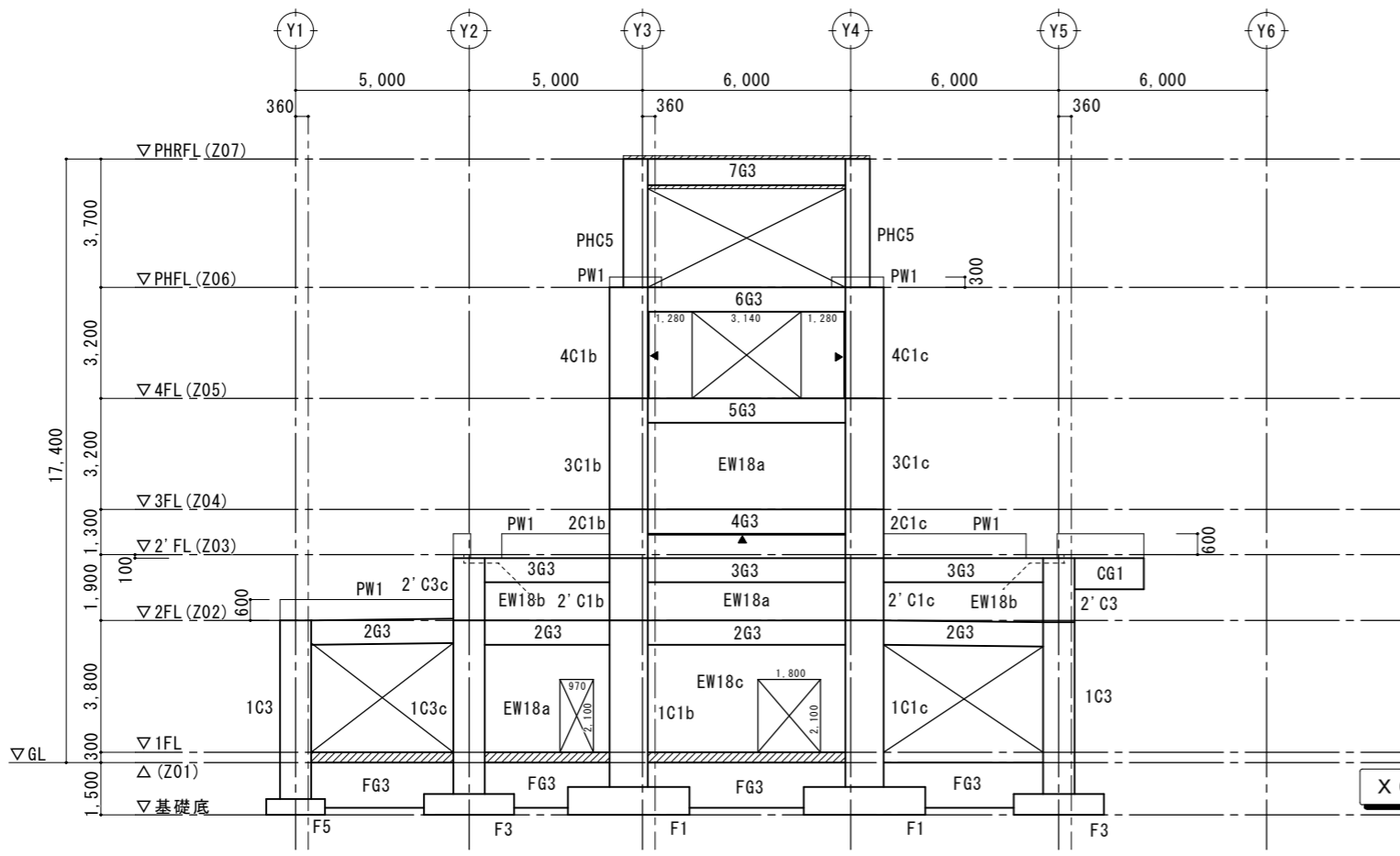
X 4 通り軸組図 A1-1:100 A3-1:200

構造設計 SAITO 設計室 齊藤 武美
 一級建築士第201248号 構造設計一級建築士第3241号

平野建築事務所 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第<(2703)504号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日 R 08・02	検図	製図	図面名称 軸組図(5)	縮尺 A1-1:100 A3-1:200	工事名称 北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事	図面番号 S-20
				設計図			



X 7 通り軸組図 A1-1:100 A3-1:200



X 6 通り軸組図 A1-1:100 A3-1:200

- 【註記】
- 1). 特記無き限り壁は、W18 とする。
 - 2). ▼ は耐震スリット位置を示す。
 - 3). は梁増打ち部分を示す。

構造設計 SAITO設計室 齊藤 武美
 一級建築士第201248号 構造設計一級建築士第3241号

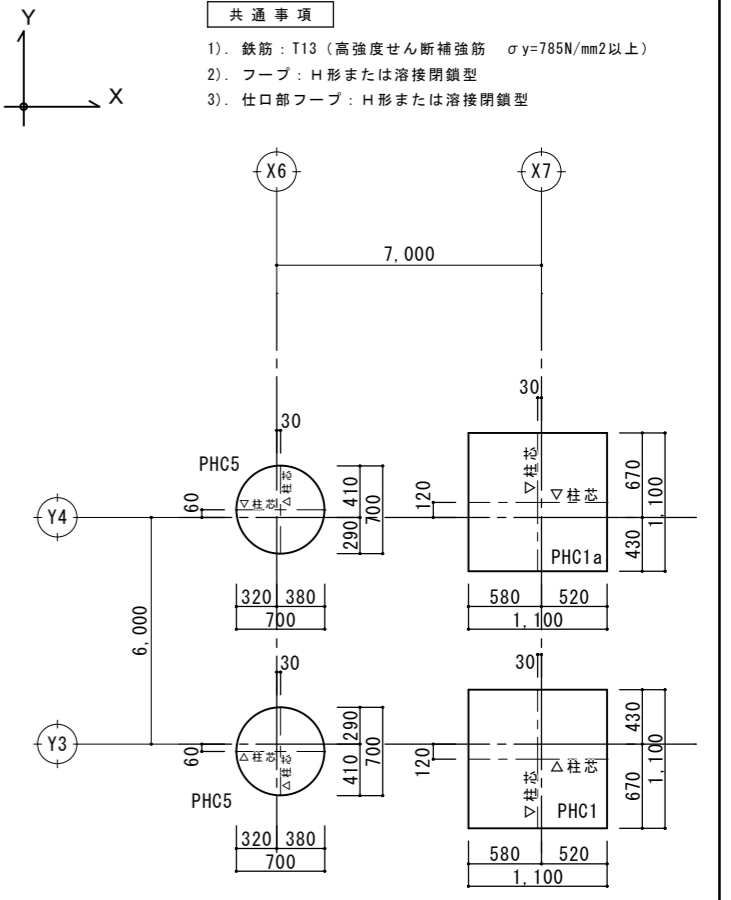
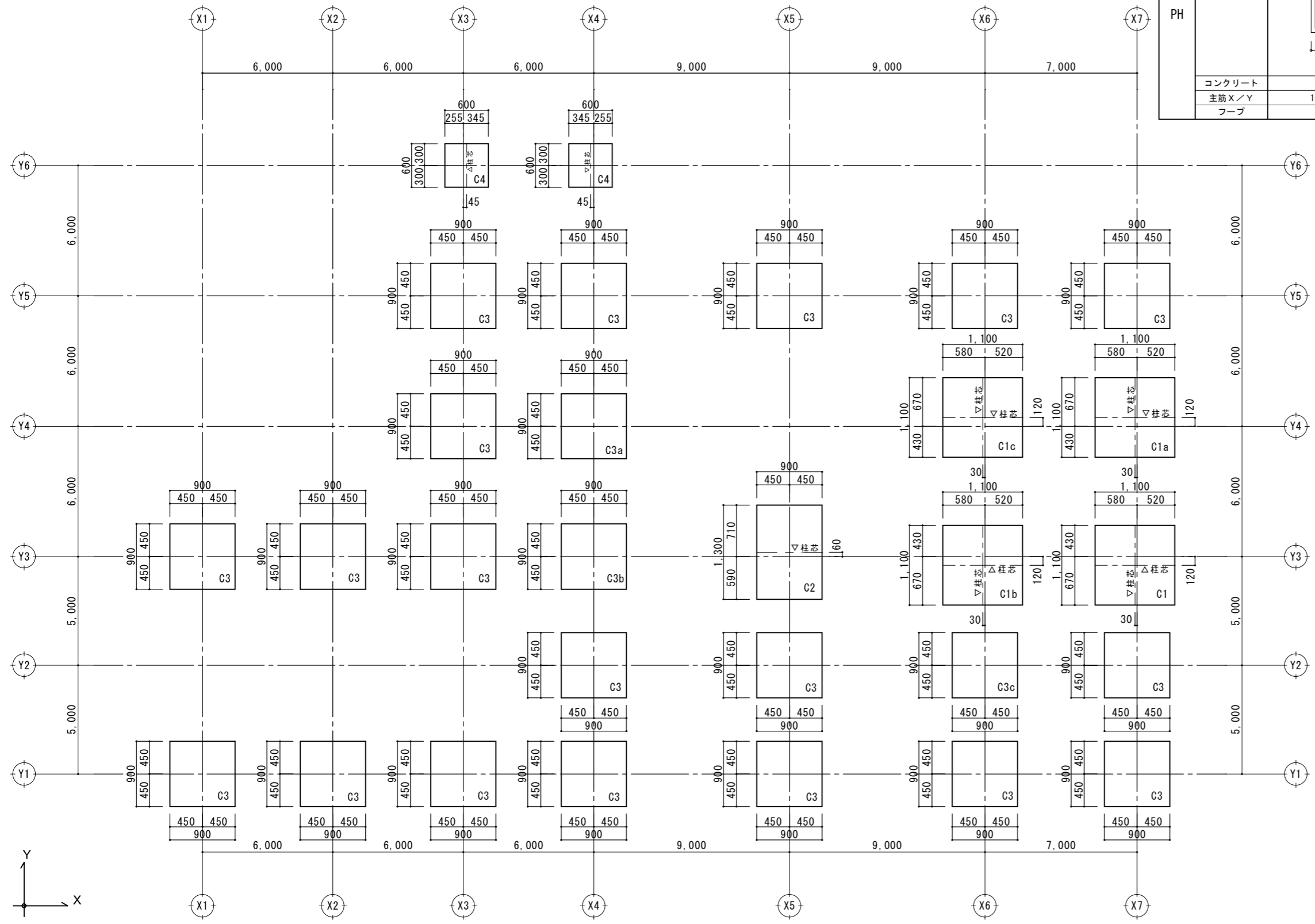
平野建築事務所 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第<(2703)504号 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日 R 08・02	検図	製図	図面名称 軸組図(6)	縮尺 A1-1:100 A3-1:200	工事名称 北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事	図面番号 S-21
					設計図		

柱リスト(1) S=1/30

階	符号	C1・C1a		C5	
		柱脚	柱頭	全断面	
Z07	仕口部フープ	田 - D13#100		○ - D13#100	
PH	断面				
		1100x1100			700x
		コンクリート	14 - D25/12 - D25		8 - D25
	フープ	田 - D13#100		○ - D13#100	

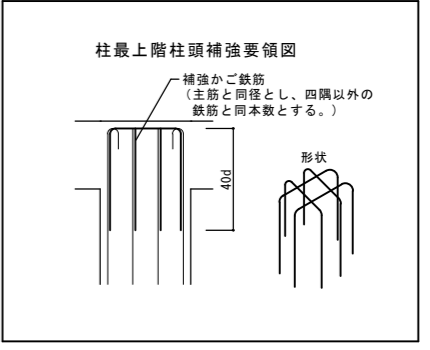
共通事項

- 鉄筋：T13（高強度せん断補強筋 $\sigma_y=785N/mm^2$ 以上）
- フープ：H形または溶接閉鎖型
- 仕口部フープ：H形または溶接閉鎖型



1 F 柱伏図 A1-1:100/30 A3-1:200/60

PH F 柱伏図 A1-1:100/30 A3-1:200/60

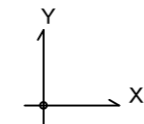


【註記】 1). 特記無き限り柱芯は、通り芯とする。

構造設計 SAITO設計室 齊藤 武美
一級建築士第201248号 構造設計一級建築士第3241号

平野建築事務所 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第く(2703)504号 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日 R 08・02	検図	製図	図面名称 柱伏図・柱リスト(1)	縮尺 A1-1:100/30 A3-1:200/60	工事名称 北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事	図面番号 S-22

階	符号	C1	C1a	C1b	C1c	C2	C3	C3a	C3b	C3c	C4
断面名	全断面										
Z06	仕口部フープ	田 - D13#100	田 - D13#100	田 - D13#100	田 - D13#100						
4	断面										
	コンクリート	1100x1100	1100x1100	1100x1100	1100x1100						
	主筋X/Y	12 - D25/12 - D25	12 - D25/12 - D25	12 - D25/12 - D25	12 - D25/12 - D25						
	フープ	田 - D13#100	田 - D13#100	田 - D13#100	田 - D13#100						
Z05	仕口部フープ	田 - T13#100	田 - T13#100	田 - T13#100	田 - T13#100						
3	断面										
	コンクリート	1100x1100	1100x1100	1100x1100	1100x1100						
	主筋X/Y	12 - D25/12 - D25	22 - D25/12 - D25	12 - D25/12 - D25	22 - D25/12 - D25						
	フープ	田 - T13#100	田 - T13#100	田 - T13#100	田 - T13#100						
Z04	仕口部フープ	田 - T13#100	田 - T13#100	田 - T13#100	田 - T13#100						
2	断面										
	コンクリート			1100x1100	1100x1100						
	主筋X/Y			12 - D25/12 - D25	22 - D25/12 - D25						
	フープ			田 - D13#100	田 - T13#100						
Z03	仕口部フープ	田 - T13#100	田 - T13#100	田 - D13#100	田 - T13#100	田 - D13#100	□ - D13#100	□ - D13#100	□ - D13#100	□ - T13#100	
2'	断面										
	コンクリート	1100x1100	1100x1100	1100x1100	1100x1100	900x1300	900x900	900x900	900x900	900x900	900x900
	主筋X/Y	22 - D25/12 - D25	22 - D25/12 - D25	12 - D25/12 - D25	22 - D25/12 - D25	14 - D25/18 - D25	12 - D25/12 - D25	16 - D25/12 - D25	12 - D25/12 - D25	14 - D25/12 - D25	14 - D25/12 - D25
	フープ	田 - D13#100	田 - D13#100	田 - D13#100	田 - T13#100	田 - D13#100	田 - D13#100	□ - D13#100	□ - D13#100	田 - D13#100	田 - T13#100
Z02	仕口部フープ	田 - D13#100	田 - D13#100	田 - D13#100	田 - T13#100	田 - D13#100	□ - D13#100	□ - D13#100	□ - D13#100	□ - T13#100	□ - D13#100
1	断面										
	コンクリート	1100x1100	1100x1100	1100x1100	1100x1100	900x1300	900x900	900x900	900x900	900x900	600x600
	主筋X/Y	22 - D25/12 - D25	12 - D25/12 - D25	12 - D25/12 - D25	12 - D25/12 - D25	14 - D25/18 - D25	12 - D25/12 - D25	12 - D25/12 - D25	12 - D25/12 - D25	12 - D25/12 - D25	6 - D25/6 - D25
	フープ	田 - D13#100	田 - D13#100	田 - D13#100	田 - D13#100	田 - D13#100	□ - D13#100	□ - D13#100	□ - D13#100	□ - D13#100	□ - D13#100
Z01	仕口部フープ	田 - D13#100	田 - D13#100	田 - D13#100	田 - D13#100	田 - D13#100	□ - D13#100	□ - D13#100	□ - D13#100	□ - D13#100	□ - D13#100



- 共通事項
- 鉄筋：T13（高強度せん断補強筋 $\sigma_y=785N/mm^2$ 以上）
 - フープ：H形または溶接閉鎖型
 - 仕口部フープ：H形または溶接閉鎖型

地中梁リスト S=1/30

符号	FG1	FG2	FG3	FG3a	FG4			FG4a			FG5	FG5a	FG5b
断面名	全断面	全断面	全断面	全断面	左端	中央	右端	左端	中央	右端	全断面	全断面	全断面
断面													
コンクリート	400x1300	400x1300	400x1300	400x1300	400x1300			400x1300			400x1300	400x1300	400x1300
上端筋	3-D25	4/1-D25	3-D25	4-D25	4-D25	4/2-D25	4/2-D25	4-D25	4/1-D25	4/1-D25	3-D25	4/1-D25	4-D25
下端筋	3-D25	4-D25	3-D25	3-D25	4-D25	4/1-D25	4-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	4-D25	3-D25
スターラップ	□ D13@200	□ D13@200	□ D13@200	□ D13@200	□ D13@200			□ D13@200			□ D13@200	□ D13@200	□ D13@200
腹筋	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10			6-D10			6-D10	6-D10	6-D10
符号	FG6	FG6a	FG8	FG8a									
断面名	全断面	全断面	全断面	全断面									
断面													
コンクリート	400x1300	400x1300	400x1100	400x1100									
上端筋	4-D25	4/1-D25	3-D25	3-D25									
下端筋	3-D25	4-D25	3-D25	3-D25									
スターラップ	□ D13@200	□ D13@200	□ D13@200	□ D13@200									
腹筋	6-D10	6-D10	4-D10	4-D10									
符号	FB1	FB1a			FB2	FCG1・FCB1							
断面名	全断面	左端	中央	右端	全断面	全断面							
断面													
コンクリート	350x1300	350x1300			350x700	350x700							
上端筋	3-D22	4/2-D22	4-D22	4/2-D22	3-D19	4-D19							
下端筋	3-D22	4-D22	4-D22	4-D22	3-D19	2-D19							
スターラップ	□ D13@200	□ D13@200			□ D10@200	□ D10@200							
腹筋	6-D10	6-D10			2-D10	2-D10							

共通事項

- 幅止筋は、D10@1,000 以下とする。
- 上端主筋位置は原則としてY方向の上端筋一段目がX方向の上となるように配筋すること。
- 下端主筋位置は原則としてY方向の下端筋一段目がX方向の下となるように配筋すること。

構造設計 SAITO設計室 齊藤 武美
一級建築士第201248号 構造設計一級建築士第3241号

平野建築事務所 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(2703)504号
〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855

設計年月日
R 08・02

検図

製図

図面名称
地中梁リスト

縮尺
A1-1:30
A3-1:60

工事名称
北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事 設計図

図面番号
S-24

階	符号 断面名	G1			G1a			G2	G3	G3a		G4			
		左端	中央	右端	左端	中央	右端	全断面	全断面	左端・中央	右端	左端	中央	右端	
Z05	断面				/					/		/			
	コンクリート	450x800						400x700	400x700						
	上端筋	3-D25						3-D25	3-D25						
	下端筋	3-D25						3-D25	3-D25						
	スターラップ	□ D13@200						□ D13@150	□ D13@200						
腹筋	2-D10			2-D10	2-D10										
Z04	断面									/		/			
	コンクリート	400x1400	400x1200	400x1200	550x1400	550x1200	550x1200	400x700	400x700						
	上端筋	3-D25			6/6-D25			3-D25	3-D25						
	下端筋	3-D25			6/3-D25			3-D25	3-D25						
	スターラップ	□ D13@200			□ D13@100			□ D13@150	□ D13@200						
腹筋	6-D10			6-D10			2-D10	2-D10							
Z03	断面	/			/					/					
	コンクリート							600x1450				400x700	400x700		
	上端筋							7/7-D25				7/7-D25	7/7-D25		
	下端筋							7-D25				7/3-D25	7-D25		
	スターラップ							□ D13@200				□ D13@200			
腹筋	6-D10			6-D10											
Z02	断面		/												
	コンクリート	600x1000				600x1000	600x1000	400x700	400x700	400x700		450x1000			
	上端筋	5-D25				5-D25	5-D25	3-D25	3-D25	3/2-D25		3-D25	5/2-D25	5/4-D25	5/4-D25
	下端筋	3-D25				3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25		3-D25	4-D25	5-D25	4-D25
	スターラップ	□ D13@200				□ D13@200			□ D13@150	□ D13@200	□ D13@200		□ D13@200		
腹筋	4-D10			4-D10			2-D10	2-D10	2-D10		4-D10				

共通事項

- 幅止筋は、D10@1,000 以下とする。
- Z02～Z03層の上端主筋位置は原則としてY方向の上端筋一段目がX方向の上となるように配筋すること。Z04～Z07層の上端主筋位置は原則としてX方向の上端筋一段目がY方向の上となるように配筋すること。
- Z02～Z03層の下端主筋位置は原則としてY方向の下端筋一段目がX方向の下となるように配筋すること。Z04～Z07層の下端主筋位置は原則としてX方向の下端筋一段目がY方向の下となるように配筋すること。

構造設計 SAITO設計室 齊藤 武美
一級建築士第201248号 構造設計一級建築士第3241号

平野建築事務所 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(2703)504号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日 R 08・02	検図	製図	図面名称 大梁リスト(1)	縮尺 A1-1:30 A3-1:60	工事名称 北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事	図面番号 S-25
		設計図				設計図	

大梁リスト(2) S=1/30

階	符号 断面名	G4a		G5		G5a	G5b	G6	G6a			G6b	G6c		
		端部	中央	外端	中央・内端	全断面	全断面	全断面	左端	中央	右端	全断面	左端	中央・右端	
Z05	断面	(Blank)													
	コンクリート														
	上端筋														
	下端筋														
	スターラップ 腹筋														
Z04	断面	(Blank)													
	コンクリート														
	上端筋														
	下端筋														
	スターラップ 腹筋														
Z03	断面														
	コンクリート	400x900		400x800		400x800		500x1000		500x1000		500x1000		400x800	
	上端筋	4/2-D25		4/3-D25		4/2-D25		4-D25		6/4-D25		6/4-D25		4/2-D25	
	下端筋	4-D25		4-D25		3-D25		4-D25		4-D25		6-D25		4-D25	
	スターラップ 腹筋	□ D13@200 4-D10		□ D13@200 4-D10		□ D13@150 2-D10		□ D13@150 2-D10		□ D13@200 4-D10		□ D13@200 4-D10		□ D13@200 2-D10	
Z02	断面														
	コンクリート	450x1000		400x800		400x800		400x800		400x800		400x800		400x800	
	上端筋	5/2-D25		3-D25		4/2-D25		4/3-D25		3-D25		4-D25		4/2-D25	
	下端筋	4-D25		3-D25		3-D25		3-D25		3-D25		3-D25		3-D25	
	スターラップ 腹筋	□ D13@200 4-D10		□ D13@200 2-D10		□ D13@150 2-D10		□ D13@150 2-D10		□ D13@200 2-D10		□ D13@200 2-D10		□ D13@200 2-D10	

共通事項

- 幅止筋は、D10@1,000以下とする。
- Z02～Z03層の上端主筋位置は原則としてY方向の上端筋一段目がX方向の上となるように配筋すること。Z04～Z07層の上端主筋位置は原則としてX方向の上端筋一段目がY方向の上となるように配筋すること。
- Z02～Z03層の下端主筋位置は原則としてY方向の下端筋一段目がX方向の下となるように配筋すること。Z04～Z07層の下端主筋位置は原則としてX方向の下端筋一段目がY方向の下となるように配筋すること。

構造設計 SAITO設計室 齊藤 武美
一級建築士第201248号 構造設計一級建築士第3241号

階	符号 断面名	G7		G7a			G8			G8a			
		端部	中央	左端	中央	右端	左端	中央	右端	左端	中央	右端	
Z05	断面	(Diagonal line indicating no data for Z05)											
	コンクリート												
	上端筋												
	下端筋												
	スターラップ 腹筋												
Z04	断面	(Diagonal line indicating no data for Z04)											
	コンクリート												
	上端筋												
	下端筋												
	スターラップ 腹筋												
Z03	断面			(Diagonal line indicating no data for Z03 G7a)									
	コンクリート	400x1100					500x1200			500x1200			
	上端筋	4/3-D25	4/1-D25				6/6-D25	6/6-D25	6-D25	6-D25	6/6-D25	6/6-D25	6/6-D25
	下端筋	4-D25	4/1-D25				5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25
	スターラップ 腹筋	□ D13@200 4-D10					□ D13@200 6-D10			□ D13@200 6-D10			
Z02	断面					(Diagonal line indicating no data for Z02 G8)							
	コンクリート	400x700		400x700					400x650		400x650		
	上端筋	3-D25	3-D25	3-D25	4-D25				4-D25	4-D25	3-D25	3-D25	
	下端筋	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25				3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	
	スターラップ 腹筋	□ D13@200 2-D10		□ D13@200 2-D10					□ D13@200 2-D10		□ D13@200 2-D10		

共通事項

- 幅止筋は、D10@1,000以下とする。
- Z02～Z03層の上端主筋位置は原則としてY方向の上端筋一段目がX方向の上となるように配筋すること。Z04～Z07層の上端主筋位置は原則としてX方向の上端筋一段目がY方向の上となるように配筋すること。
- Z02～Z03層の下端主筋位置は原則としてY方向の下端筋一段目がX方向の下となるように配筋すること。Z04～Z07層の下端主筋位置は原則としてX方向の下端筋一段目がY方向の下となるように配筋すること。

構造設計 SAITO設計室 齊藤 武美
一級建築士第201248号 構造設計一級建築士第3241号

大梁リスト(4) S=1/30

階	符号	G1			G2	G3
		左端	中央	右端	全断面	全断面
Z07	断面					
	コンクリート	400x750			400x700	400x750
	上端筋	3-D25	3/2-D25	3/2-D25	3-D25	3-D25
	下端筋	2-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25
	スターラップ	□ D13@200			□ D13@200	□ D13@200
	腹筋	2-D10			2-D10	2-D10
Z06	断面					
	コンクリート	450x800			400x700	400x700
	上端筋	3-D25			3-D25	4/1-D25
	下端筋	3-D25			3-D25	3-D25
	スターラップ	□ D13@200			□ D13@150	□ D13@200
	腹筋	2-D10			2-D10	2-D10

共通事項

- 幅止筋は、D10@1,000以下とする。
- Z02~Z03層の上端主筋位置は原則としてY方向の上端筋一段目がX方向の上となるように配筋すること。Z04~Z07層の上端主筋位置は原則としてX方向の上端筋一段目がY方向の上となるように配筋すること。
- Z02~Z03層の下端主筋位置は原則としてY方向の下端筋一段目がX方向の下となるように配筋すること。Z04~Z07層の下端主筋位置は原則としてX方向の下端筋一段目がY方向の下となるように配筋すること。
- は梁増打ち部分を示す。

構造設計 SAITO設計室 齊藤 武美
一級建築士第201248号 構造設計一級建築士第3241号

階	符号	b1	b2			b3			b3a			b3b	
	断面名	全断面	左端	中央	右端	左端	中央	右端	外端	中央	内端	端部	中央
共通	断面												
	コンクリート	300x550	350x600			350x650			350x650			350x650	
	上端筋	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	4-D19	4-D19	4-D19	3-D19	3-D19	3/2-D19	3-D19	3-D19
	下端筋	3-D19	3-D19	3/2-D19	3-D19	4-D19	4/2-D19	4-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3/2-D19
	スターラップ	□ D10@200	□ D10@200			□ D10@200			□ D10@200			□ D10@200	
腹筋	-	2-D10			2-D10			2-D10			2-D10		
階	符号	b3c	b3d	b4	b4a		b4b		b5		b6		
	断面名	全断面	全断面	全断面	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	
共通	断面												
	コンクリート	350x650	350x650	350x700	350x700		350x700		350x750		400x700		
	上端筋	3-D19	4-D19	3-D19	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	3-D22	3-D22	
	下端筋	3-D19	2-D19	3-D19	4-D22	4/4-D22	4-D22	4/4-D22	4-D22	4/4-D22	3-D22	3/2-D22	
	スターラップ	□ D10@200	□ D10@200	□ D10@200	□ D13@200		□ D13@150		□ D13@200		□ D13@200		
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10			
階	符号	b7			b7a			b7b			b7c	b8	
	断面名	端部	中央	左端	中央	右端	左端	中央	右端	全断面	左端	中央	右端
共通	断面												
	コンクリート	400x900			400x900			400x900			400x900	400x800	
	上端筋	5/2-D22	5-D22	5/2-D22	5/5-D22	5/5-D22	5/5-D22	5/5-D22	5-D22	5/2-D22	4-D22	5/2-D22	5/2-D22
	下端筋	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22
	スターラップ	□ D13@200			□ D13@200			□ D13@200			□ D13@200	□ D13@200	
腹筋	4-D10			4-D10			4-D10			4-D10	2-D10		
階	符号	b9		b10	CG1								
	断面名	端部	中央	全断面	全断面								
共通	断面												
	コンクリート	350x650		800x650	400x900								
	上端筋	3-D19	3-D19	5-D19	4/4-D25								
	下端筋	3-D19	3/2-D19	5-D19	3-D25								
	スターラップ	□ D10@200		□ D13@200	□ D13@200								
腹筋	2-D10		2-D10	4-D10									

共通事項

1). 幅止筋は、D10@1,000 以下とする。

構造設計 SAITO設計室 齊藤 武美
一級建築士第201248号 構造設計一級建築士第3241号

1). 片持スラブ階段を受ける壁の縦筋は、横筋の外側に配筋すること。

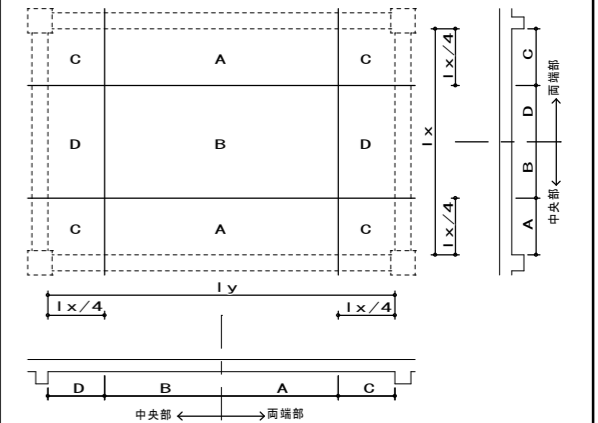
符号	OW15	W18	EW18a	EW18b・OW18	EW18c	EW18d	EW22a	EW22b	SW18・OW18a	開口補強要領
断面										
縦筋	D10@200 (ダブル)	D10@200 (ダブル)	D10@200 (ダブル)	D13@200 (ダブル)	D13@200 (ダブル)	D13@200 (ダブル)	D13@200 (ダブル)	D13@200 (ダブル)	D10@200 (ダブル)	・横筋は、縦筋の外側に配筋すること ・横筋の定着長を L2(30d) とすること ・端部補強筋 : 4-D13
横筋	D10@200 (ダブル)	D10@200 (ダブル)	D10@200 (ダブル)	D10@200 (ダブル)	D13@200 (ダブル)	D13@150 (ダブル)	D13@200 (ダブル)	D13@100 (ダブル)	D13@200 (ダブル)	
開口補強筋	縦	2-D13	2-D13	4-D13	4-D13	4-D13	4-D13	4-D16	端部補強筋 2-D13	a
	横	2-D13	2-D13	4-D13	4-D13	6-D16	4-D13	6-D25	—	b
	斜め	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	6-D13	—	c
幅止筋	D10@1.000	D10@1.000	D10@1.000	D10@1.000	D10@1.000	D10@1.000	D10@1.000	D10@1.000	D10@1.000	

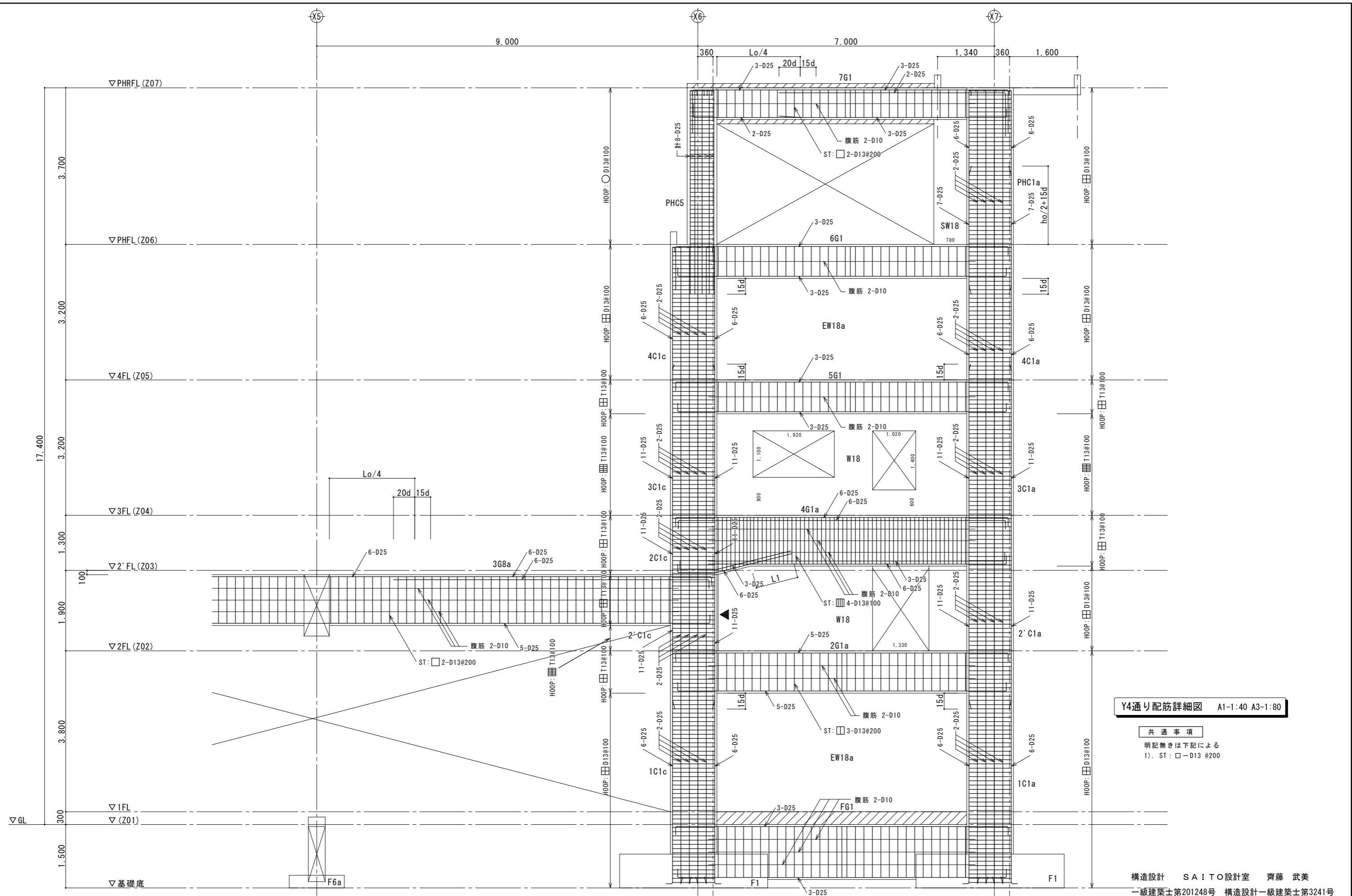
	コ型補強筋が外側の場合	コ型補強筋が内側の場合	壁筋にフックを設けた場合
耐力壁 (EW)			

- コ型補強筋は壁筋と同径・同ピッチとする。
- 壁筋にフックを設けた壁で、壁厚が250mm以下の場合、開口部小口補強筋は省略可とする。

符号	厚さ	位置	短辺方向配筋		長辺方向配筋		備考
			端部	中央	端部	中央	
S1	165	上	D13@125	←	D10@200	←	
		下	D10@125	←	D10@200	←	
S2・S4・S5・S12 S14・S15・S16・S17	150	上	D10-D13@200	←	D10-D13@200	←	
		下	D10@200	←	D10@200	←	
S3	160	上	D13@150	←	D13@200	←	スラブ上50~100mmフカシ フカシ筋:縦・横D10@200(S)
		下	D10-D13@150	←	D10-D13@200	←	
S3a	160	上	D13@200	←	D13@200	←	スラブ上50~100mmフカシ フカシ筋:縦・横D10@200(S)
		下	D10-D13@200	←	D10-D13@200	←	
S0	150	上	D10@200	←	D10@200	←	
		下	D10@200	←	D10@200	←	
ピット底版	200	上	D13@200	←	D13@200	←	ピット底盤
		下	D13@200	←	D13@200	←	

符号	厚さ	位置	短辺方向配筋		長辺方向配筋		備考
			端部	中央	端部	中央	
CS1	先: 165 基: 165	上	D13@125	←	D10@200	←	
		下	D10@125	←	D10@200	←	
CS1開口筋 (幅1.0m範囲)	先: 165 基: 165	上	D13@75	←	D10@200	←	
		下	D10@150	←	D10@200	←	
CS2	先: 165 基: 165	上	D13@200	←	D10@200	←	
		下	D10@200	←	D10@200	←	
CS3	先: 150 基: 150	上	D10-D13@200	←	D10@200	←	
		下	D10@200	←	D10@200	←	
CS4	先: 165 基: 165	上	D13@150	←	D10@200	←	
		下	D10@150	←	D10@200	←	
CS5	先: 160 基: 160	上	D13@200	←	D10@200	←	
		下	D10-D13@200	←	D10@200	←	
CS6	先: 150 基: 150	上	D13@200	←	D10@200	←	
		下	D10@200	←	D10@200	←	
CS7	先: 150 基: 150	上	D10@200	←	D10@200	←	
		下	D10@200	←	D10@200	←	
CS8	先: 150 基: 150	上	D13@150	←	D10@200	←	
		下	D10@150	←	D10@200	←	
CS9	先: 200 基: 200	上	D13@100	←	D10@200	←	
		下	D10@200	←	D10@200	←	
CS13							既製品底



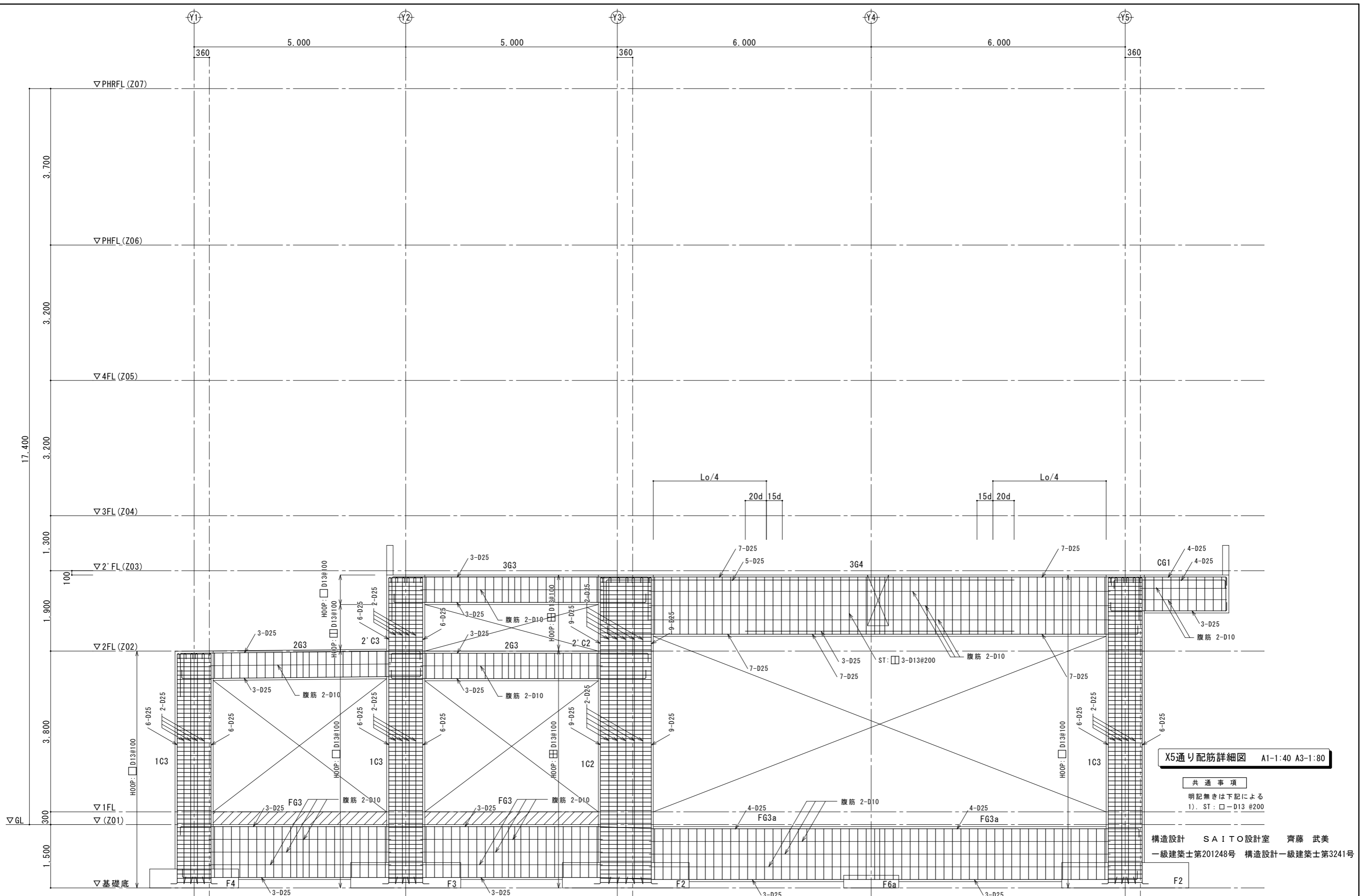


Y4通り配筋詳細図 A1-1:40 A3-1:80

共通事項
 明記無きは下記による
 1). ST: □-D13@200

構造設計 SAI TO設計室 齊藤 武美
 一級建築士第201248号 構造設計一級建築士第3241号

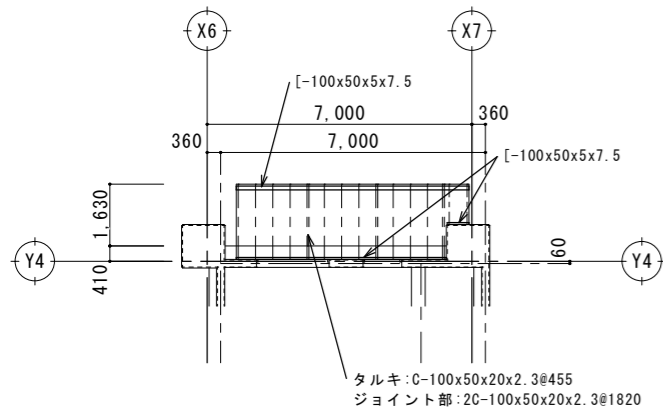
平野建築事務所 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第<(2703)504号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日 R 08・02	検図	製図	図面名称 配筋詳細図(1)	縮尺 A1-1:40 A3-1:80	工事名称 北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事 設計図	図面番号 S-31
---	------------------	----	----	------------------	--------------------------	---------------------------------	--------------



<p>平野建築事務所 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号</p>	<p>一級建築士事務所 岩手県知事登録 第ク(2703)504号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855</p>	<p>設計年月日 R 08・02</p>	<p>検図</p>	<p>製図</p>	<p>図面名称 配筋詳細図(2)</p>	<p>縮尺 A1-1:40 A3-1:80</p>	<p>工事名称 北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事 設計図</p>	<p>図面番号 S-32</p>
---	--	--------------------------	-----------	-----------	--------------------------	-----------------------------------	---	----------------------

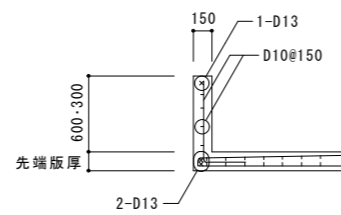
部分配筋図

3 F (Z04層) 鉄骨屋根 A1-1:100 A3-1:200

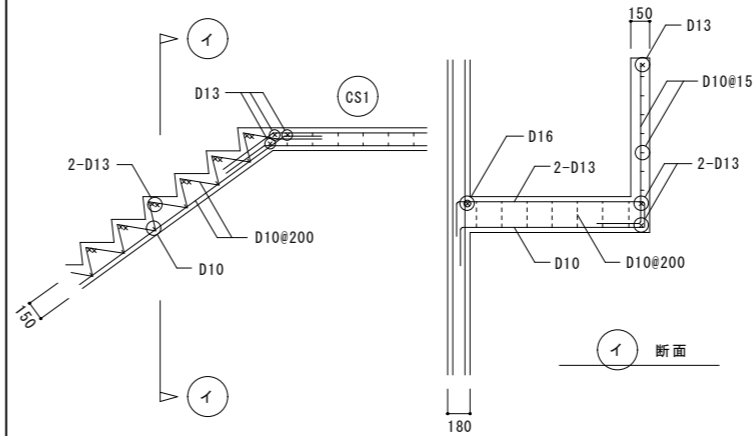


3 F (Z04層) 鉄骨伏図 A1-1:100 A3-1:200

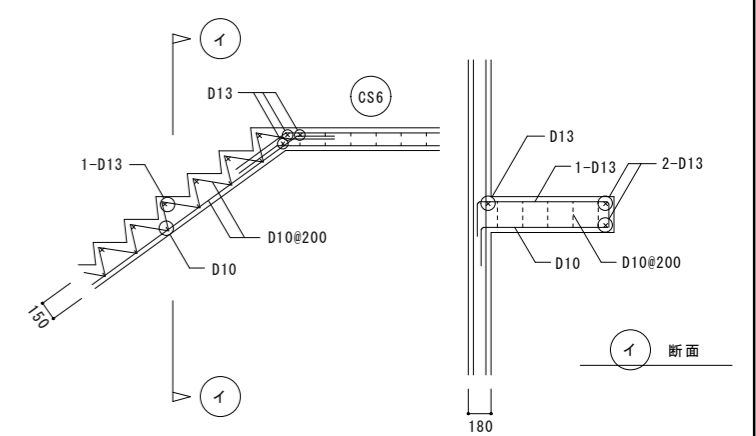
パラベット配筋図 A1-1:30 A3-1:60



外部階段 (Z01~Z02) 配筋図 A1-1:30 A3-1:60



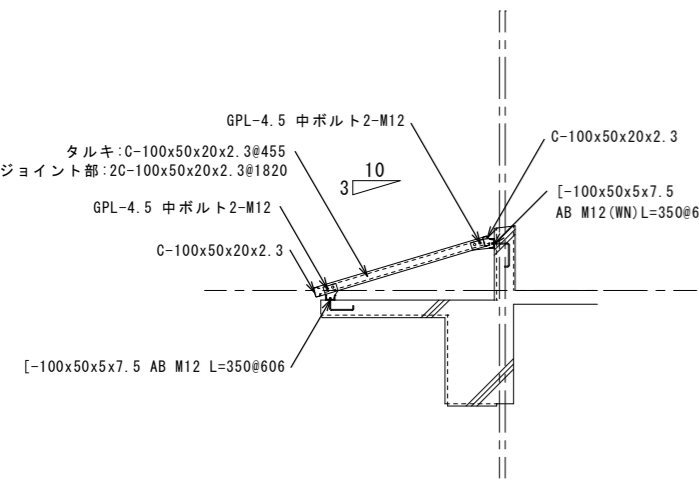
外部階段 (Z02~Z03) 配筋図 A1-1:30 A3-1:60



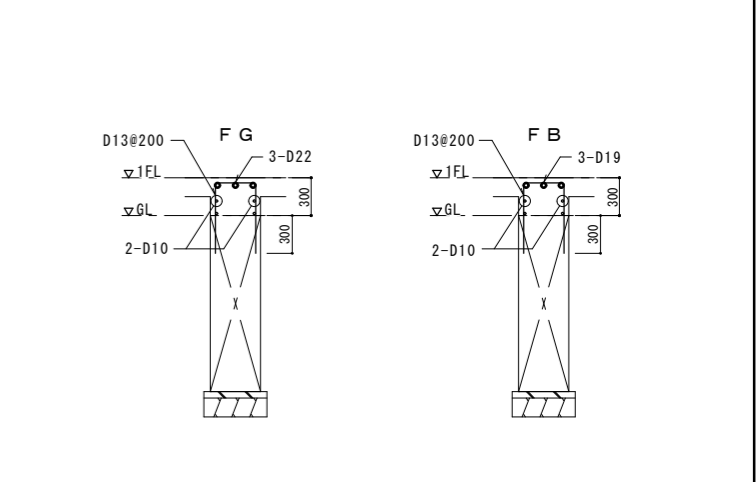
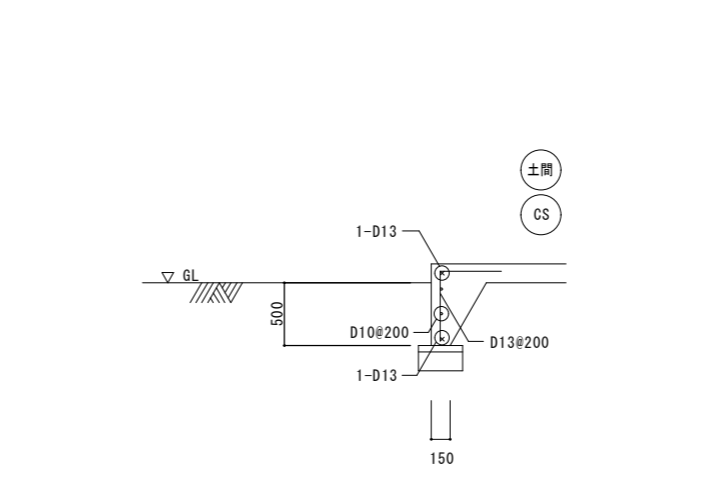
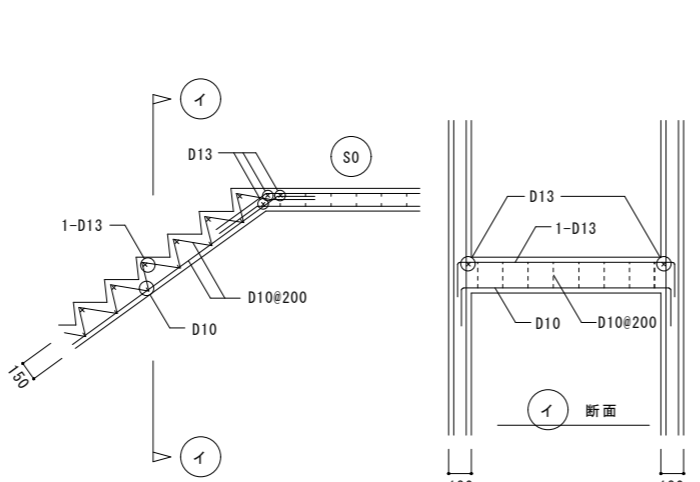
内部階段配筋図 A1-1:30 A3-1:60

外部立下り部配筋図 A1-1:30 A3-1:60

FG・FB増打ち配筋図 A1-1:30 A3-1:60

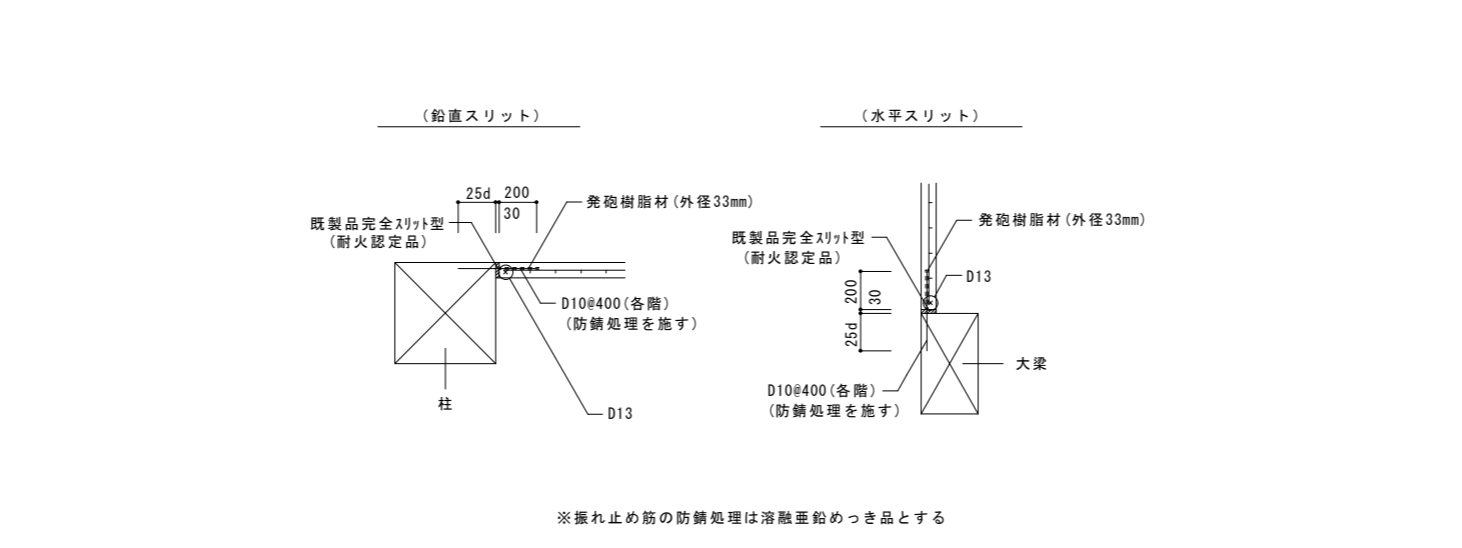
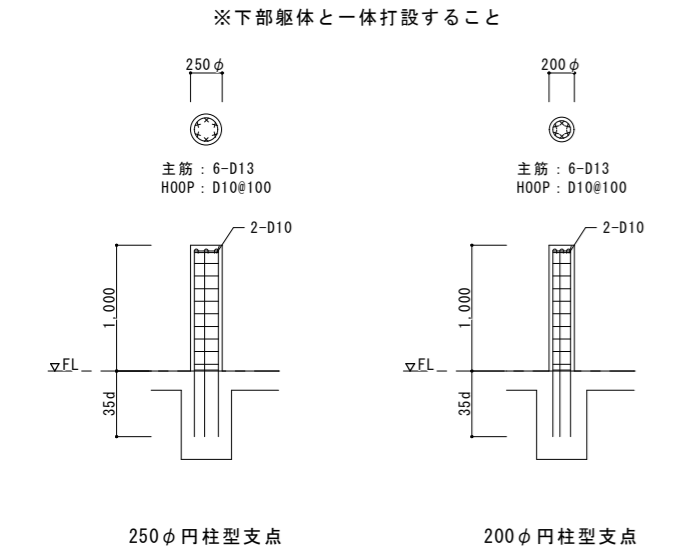


断面詳細図 A1-1:40 A3-1:80



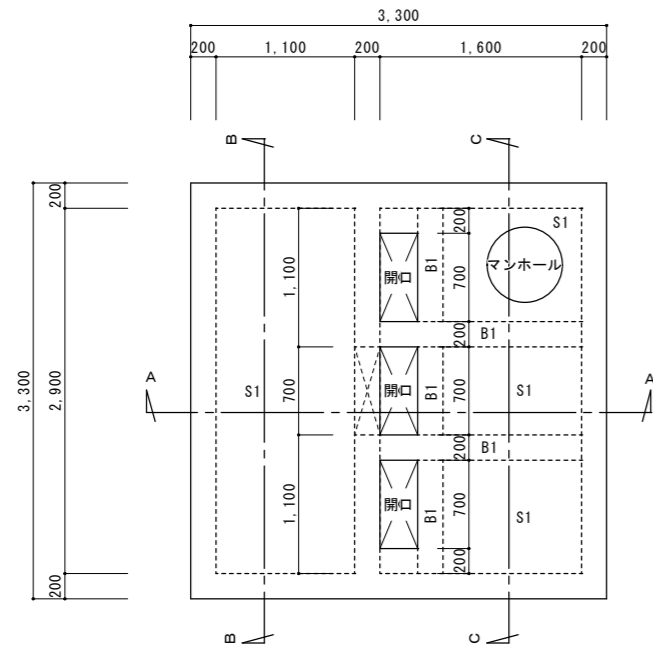
円柱型支点配筋図 A1-1:30 A3-1:60

耐震スリット詳細図 A1-1:30 A3-1:60

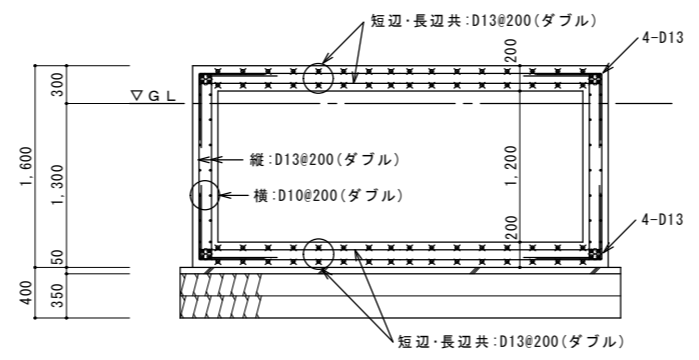


構造設計 SAITO設計室 齊藤 武美
一級建築士第201248号 構造設計一級建築士第3241号

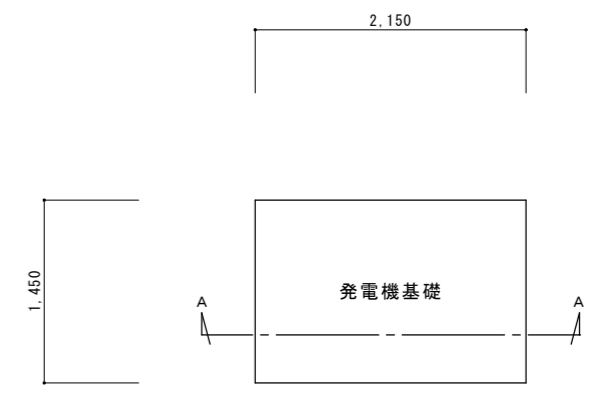
平野建築事務所 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(2703)504号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日 R 08・02	検図	製図	図面名称 部分配筋図	縮尺 A1-1:30-40 A3-1:60-80	工事名称 北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事	図面番号 S-33



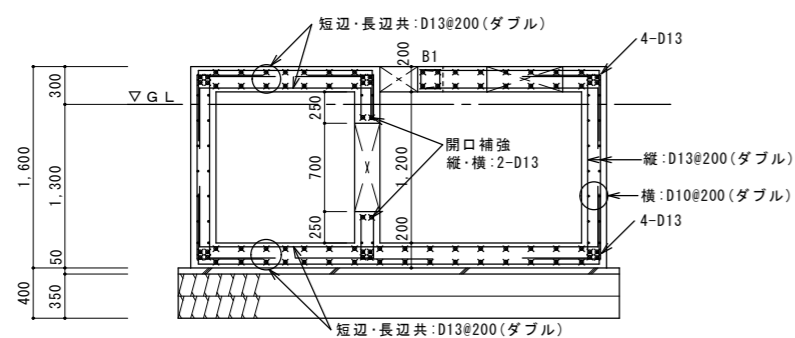
キュービクル基礎
平面図 S=1/30



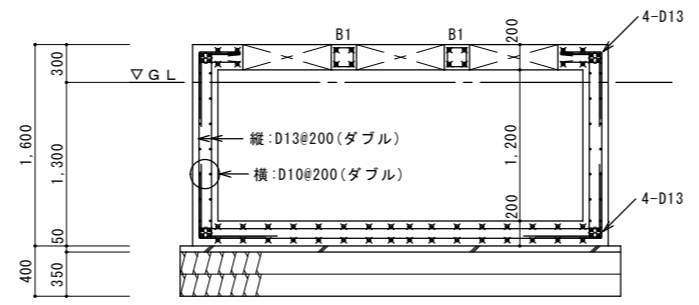
キュービクル基礎
B~B断面配筋詳細図 S=1/30



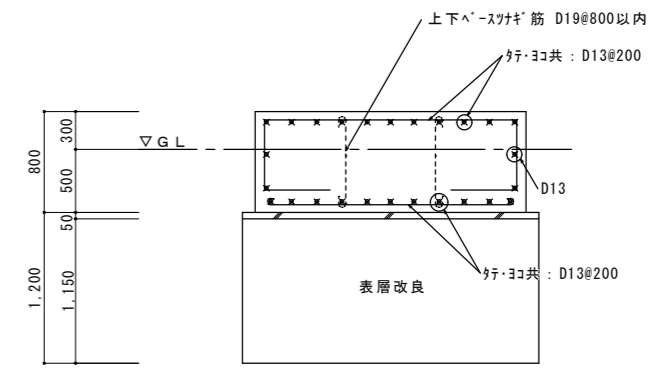
非常用発電機基礎
平面図 S=1/30



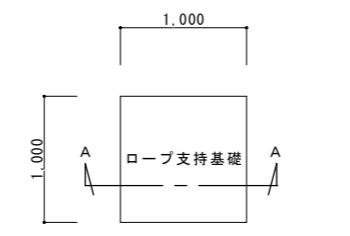
キュービクル基礎
A~A断面配筋詳細図 S=1/30
※スラブ筋はB1にL2定着とすること



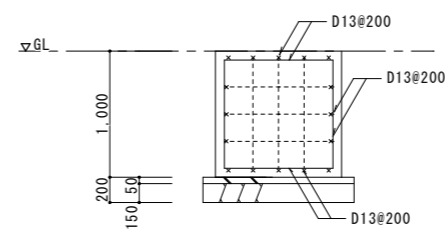
キュービクル基礎
C~C断面配筋詳細図 S=1/30
※スラブ筋はB1にL2定着とすること



発電機基礎
A~A断面配筋詳細図 S=1/30

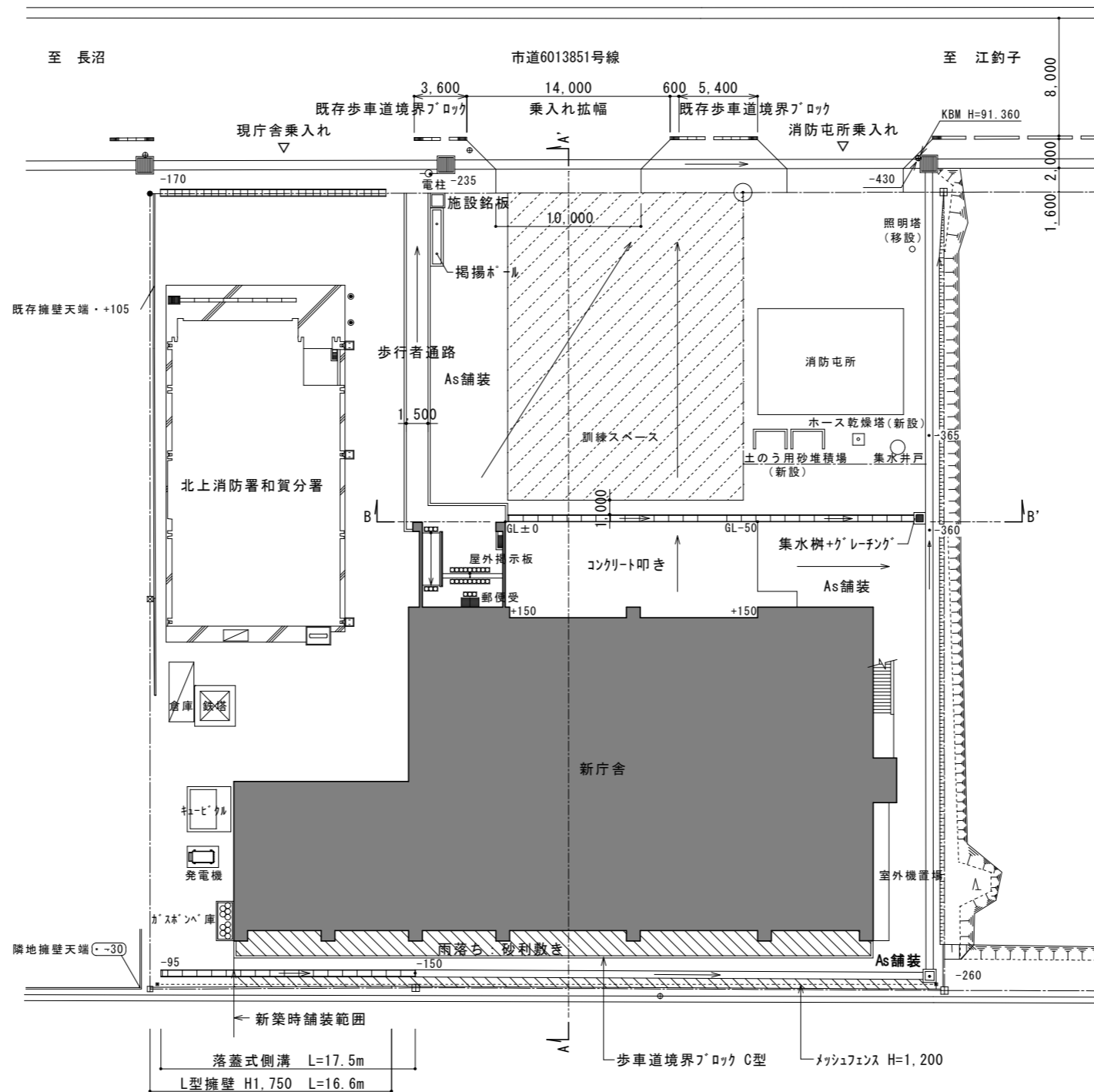


ロープ支持基礎
平面図 S=1/30





ロープ支持基礎
A~A断面配筋詳細図 S=1/30

特記事項	
1). コンクリート	捨てコン: $F_c = 18 \text{ N/mm}^2$ $S=15\text{cm}$ 基礎: $F_c = 21 \text{ N/mm}^2$ $S=18\text{cm}$ 構造耐力上主要な部分に用いられるコンクリート 1m^3 中に含まれる塩化物(塩素イオン換算)の含有量を 0.30kg 以下とする事。
2). 鉄筋	D10~D16 SD295A (重ね継手) D19~D25 SD345 (圧接継手)
3). 長期地耐力	$L_{fe} = 30 \text{ kN/m}^2$ (表層改良地盤) 表層改良はセメント系固化剤 (60kg/m^3) 添加のこと。

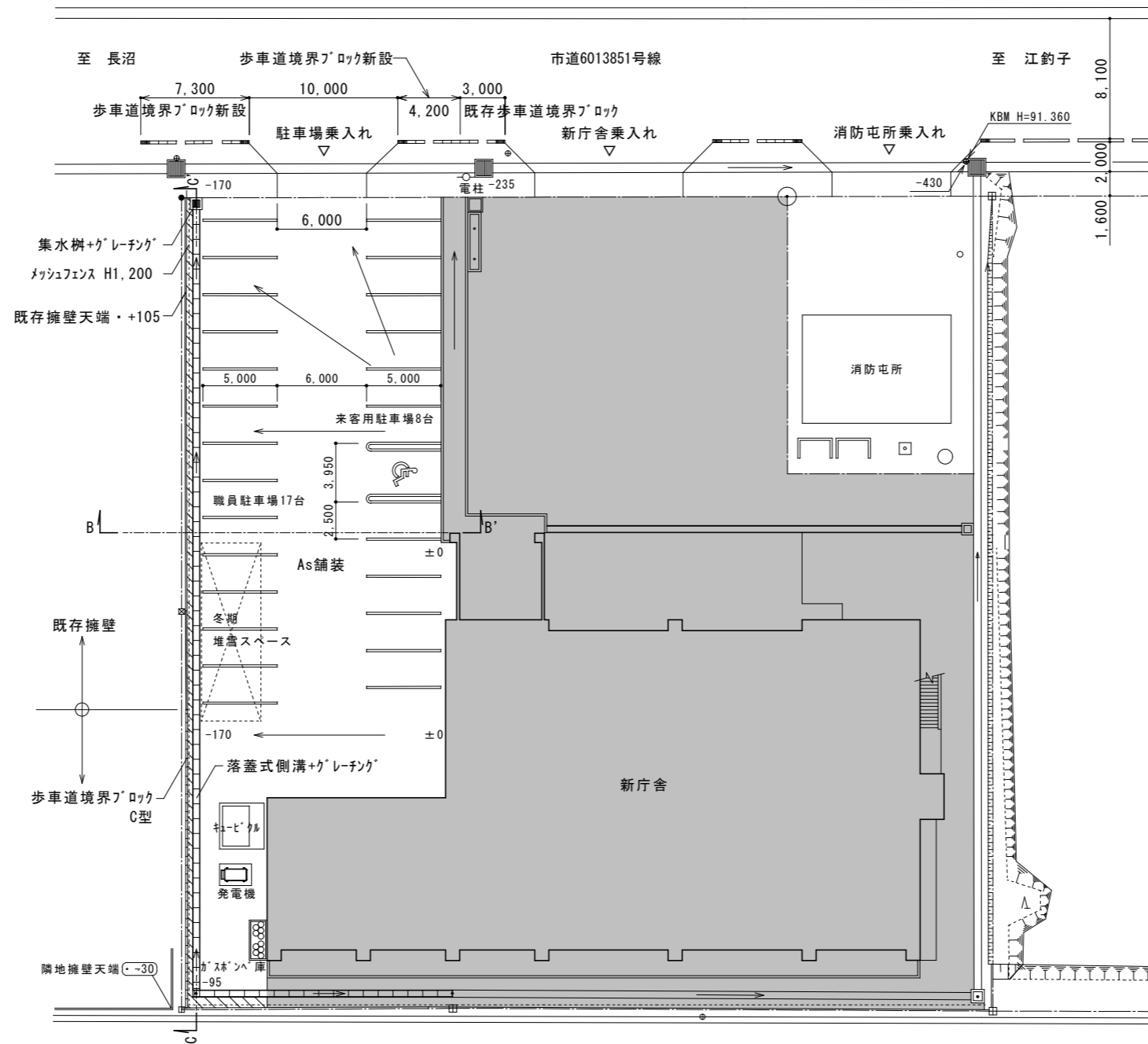


新庁舎外構平面図 S=1:400



- 凡例
-  既存アスファルト舗装
 -  砂利敷き：厚さ120m

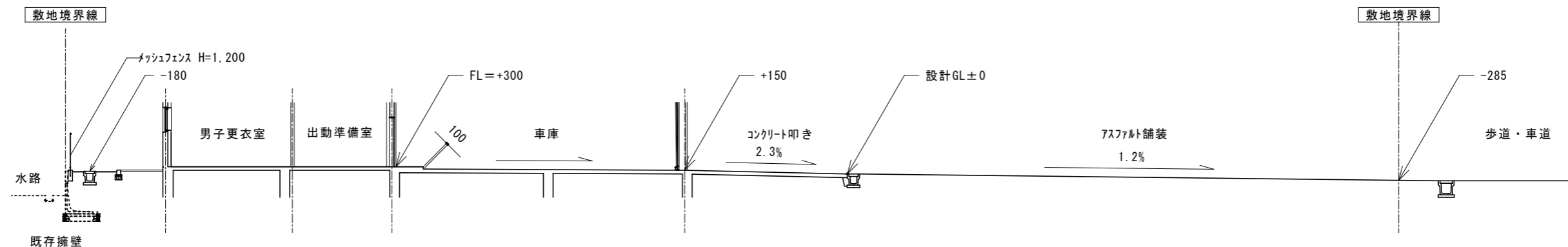
平野建築事務所 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第く(2703)504号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日	検図	製図	図面名称	縮尺	工事名称 北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事	図面番号 G-01
	R 08・02			新庁舎外構平面図	A1-1:200 A3-1:400		



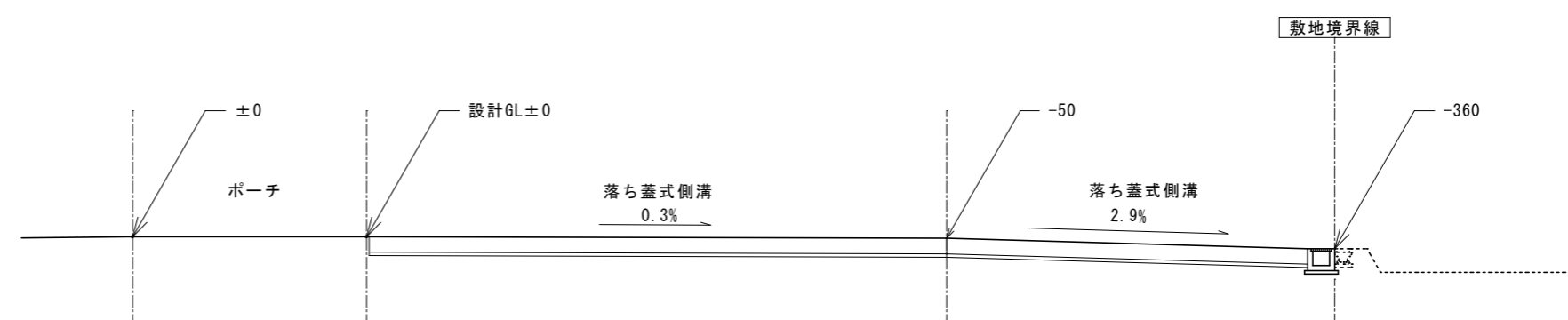
旧庁舎解体後外構平面図 S=1:400



- 凡例
- 新庁舎建設時 外構範囲を示す
 - 砂利敷き：厚さ120m

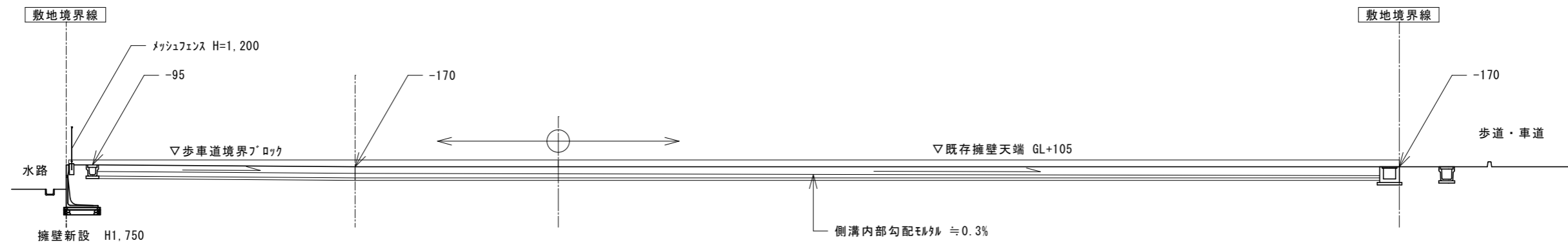


A-A' 断面図 1:200

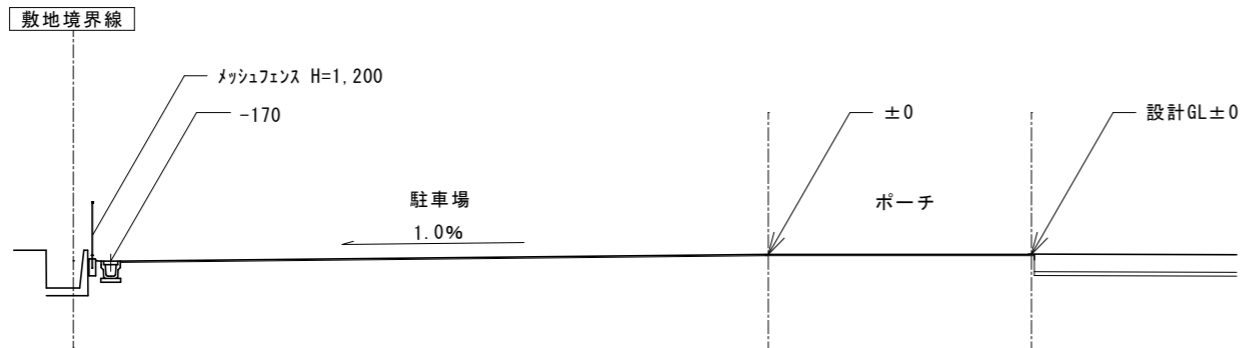


B-B' 断面図 1:200

平野建築事務所 〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 一級建築士事務所 岩手県知事登録 第<(2703)504号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855	設計年月日	検図	製図	図面名称	縮尺	工事名称 北上消防署和賀分署庁舎建設(建築)工事	図面番号
	R 08・02			新庁舎 外構断面図	A1-1:100 A3-1:200		

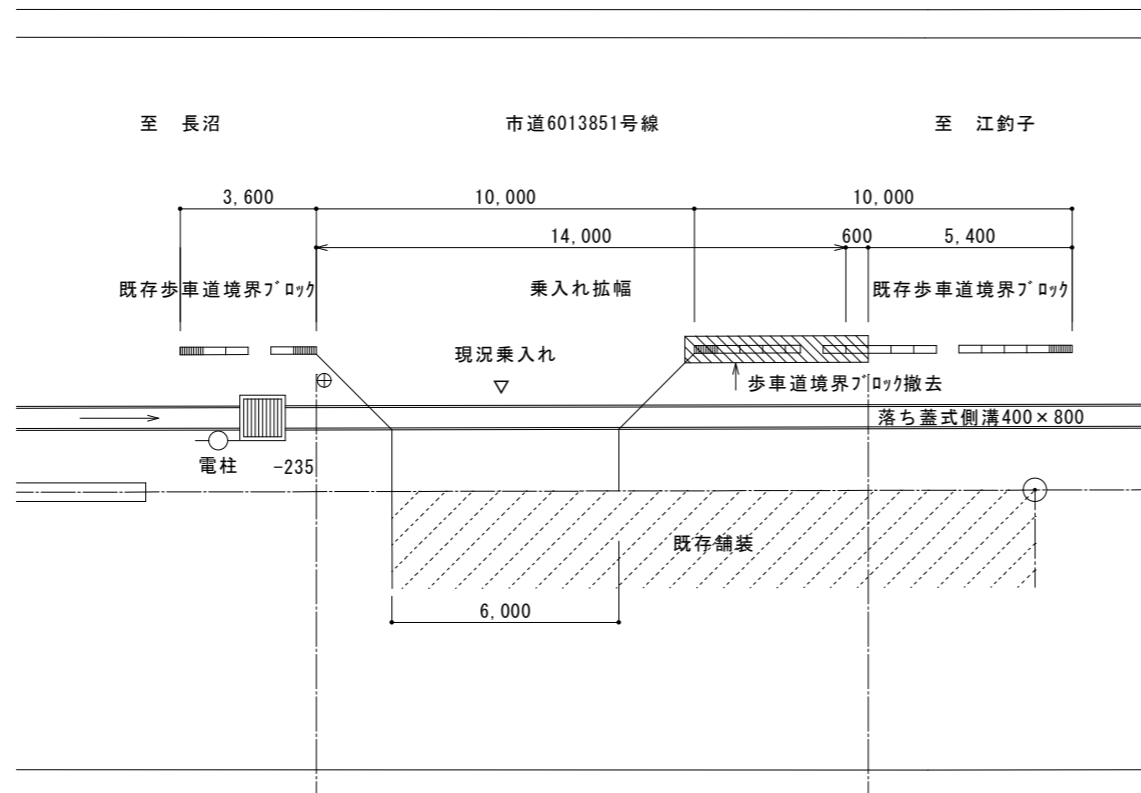


C-C' 断面図 1:200

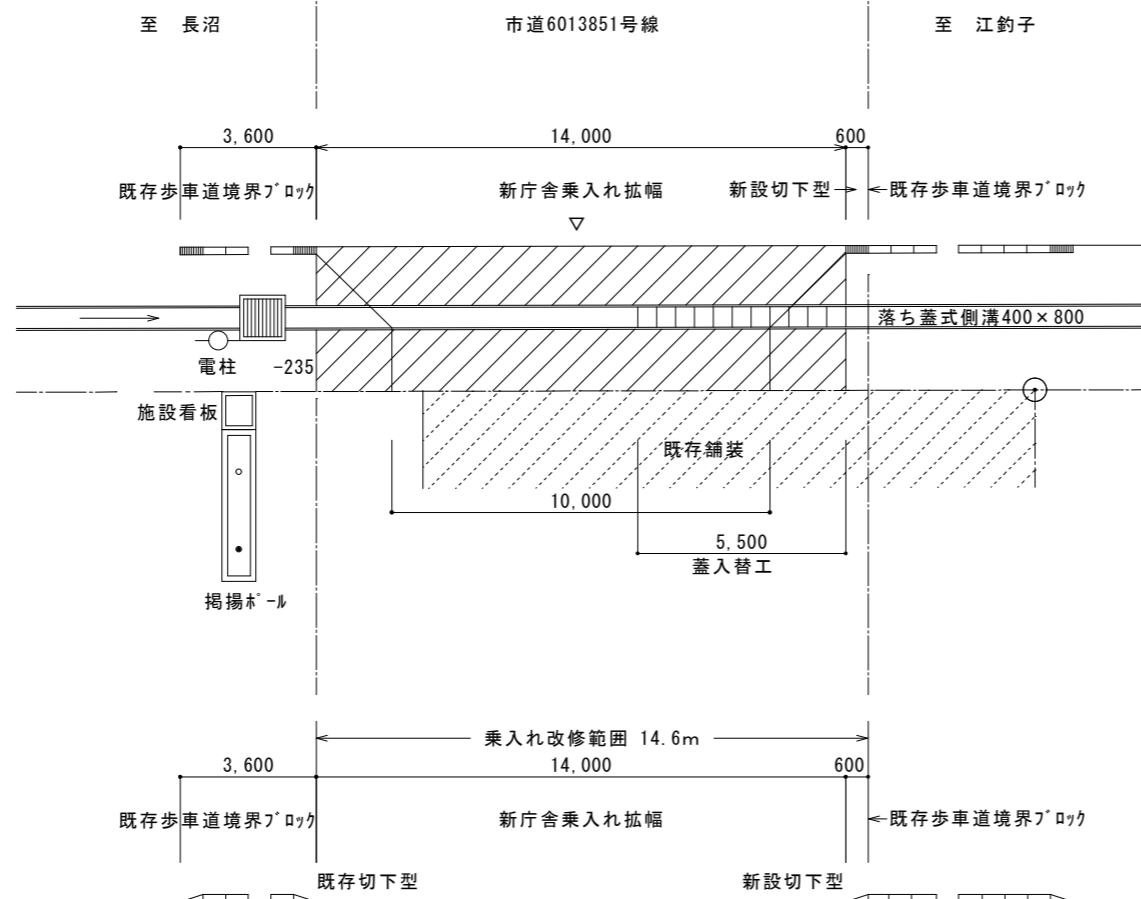


B-B' 断面図 1:200

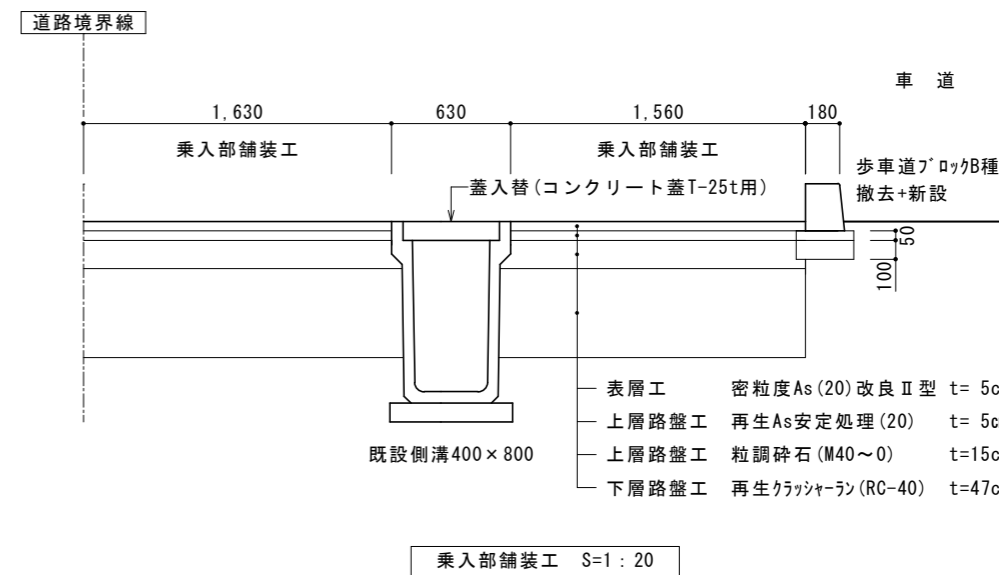
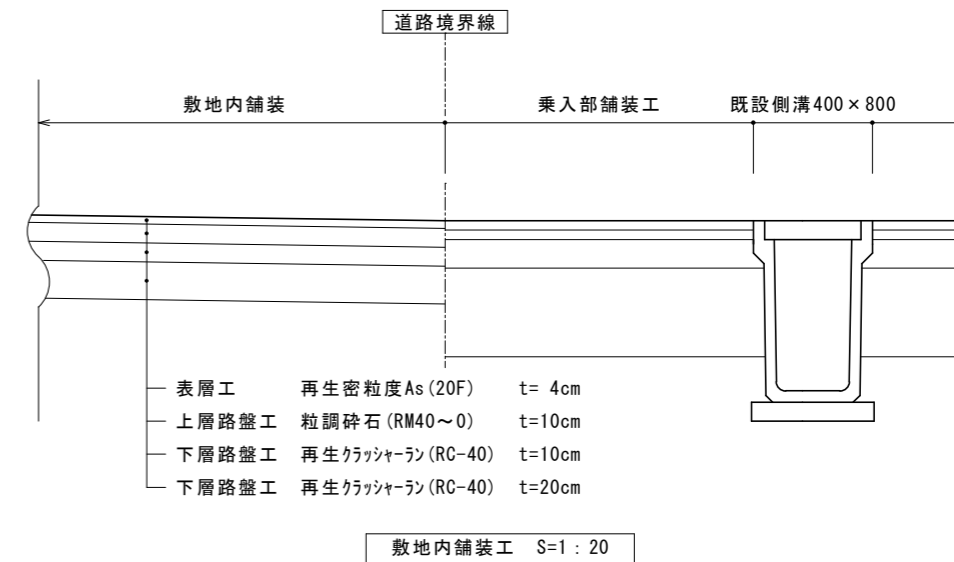
現況 平面図



改修 平面図

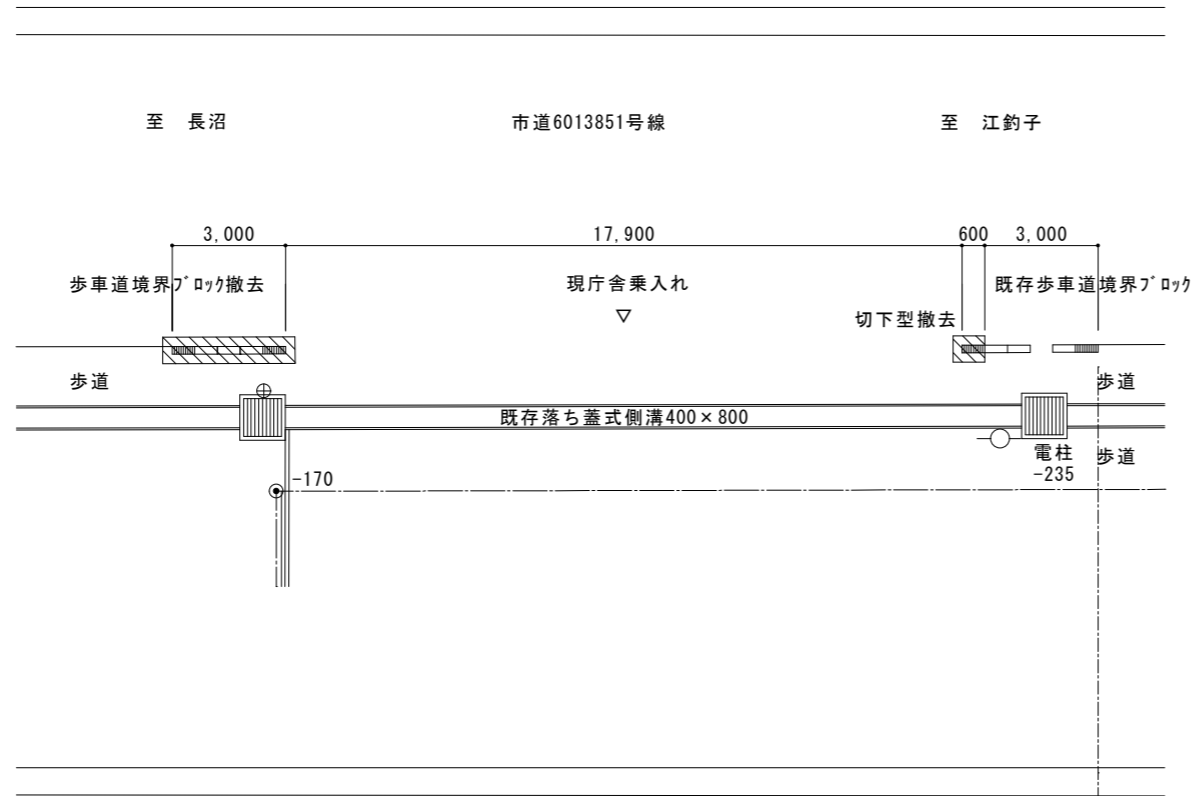


改修 断面図

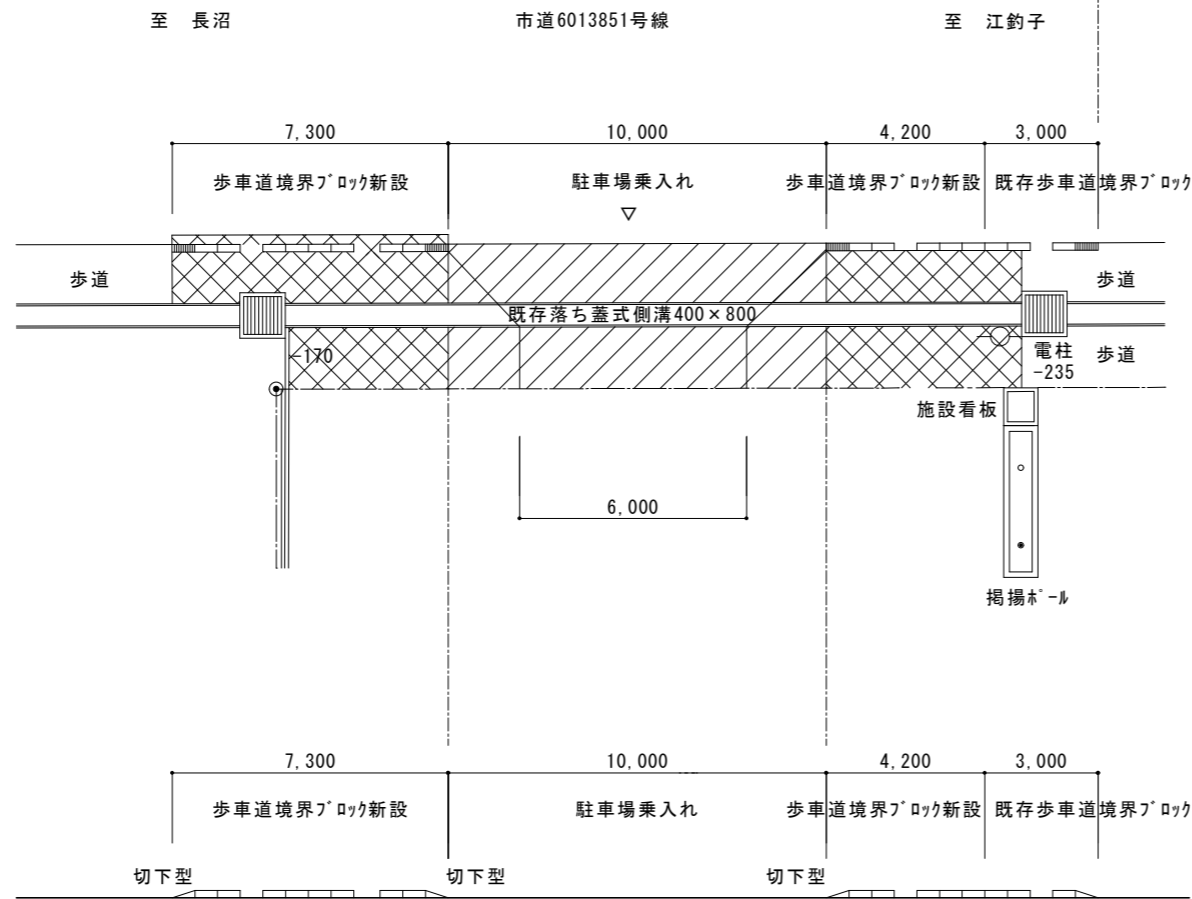


- 凡例
- 歩車道境界ブロック撤去
 - 乗入部舗装工 S=1:20
 - 既存舗装

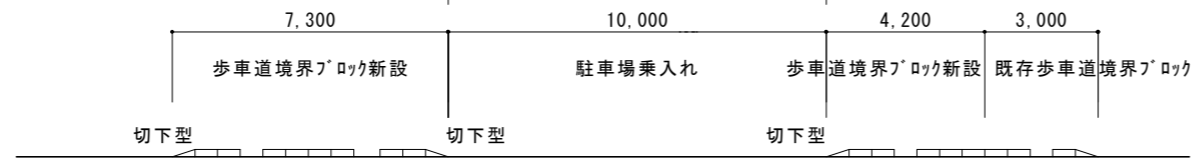
現況 平面図



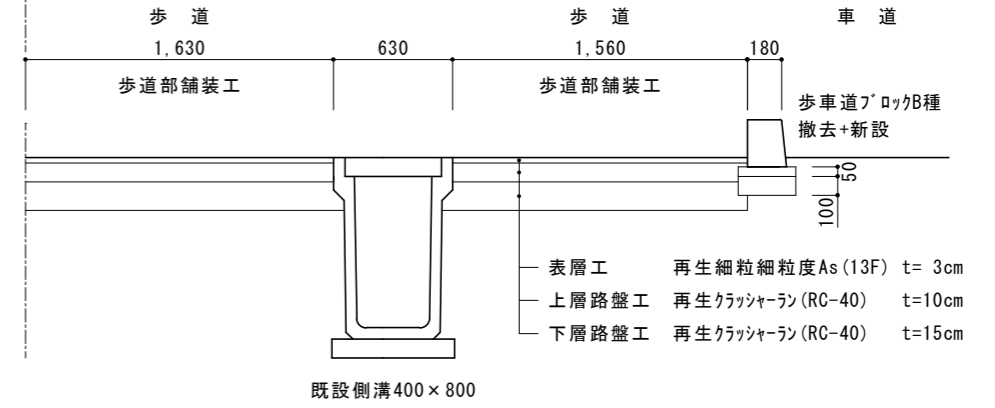
改修 平面図



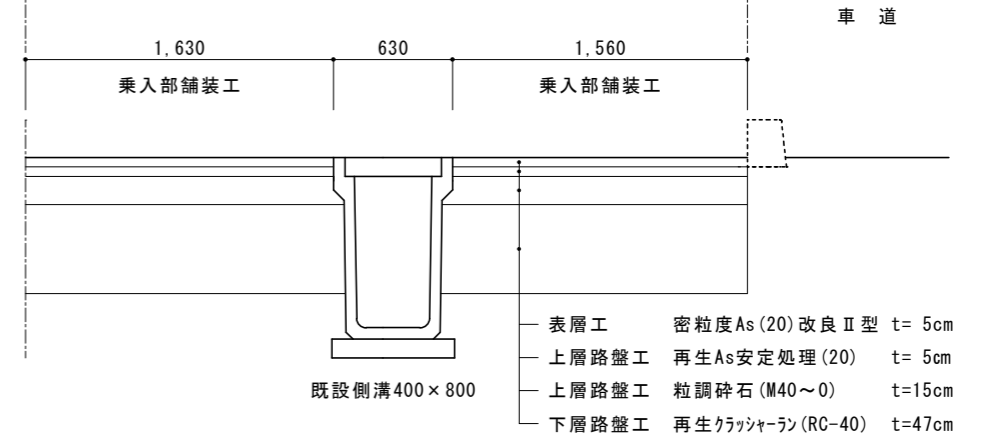
改修 断面図



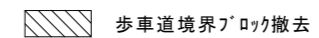
道路境界線

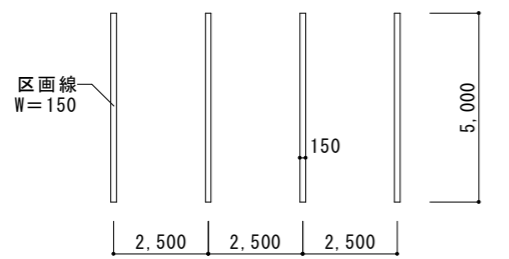
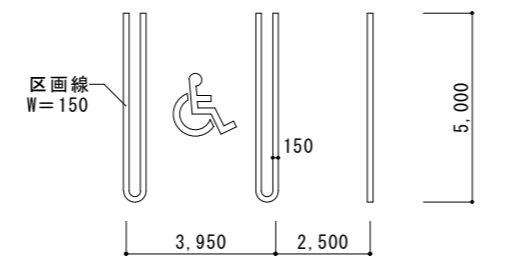
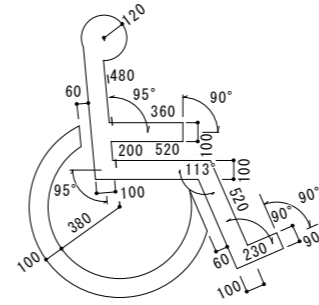
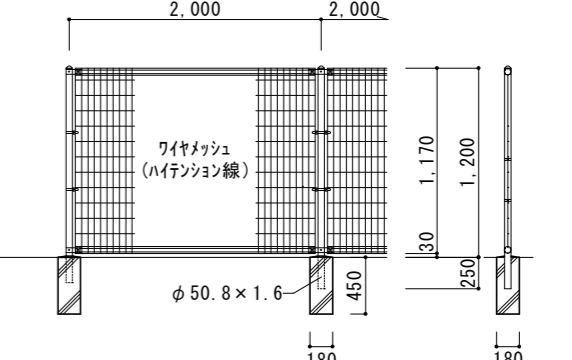
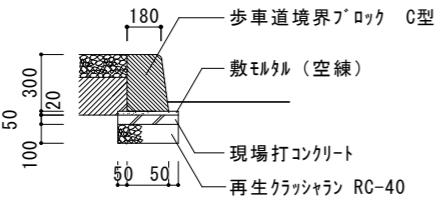
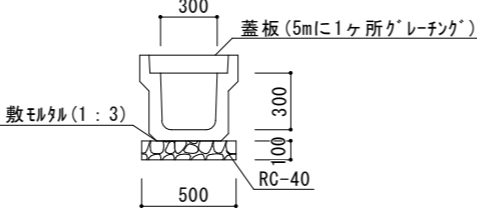
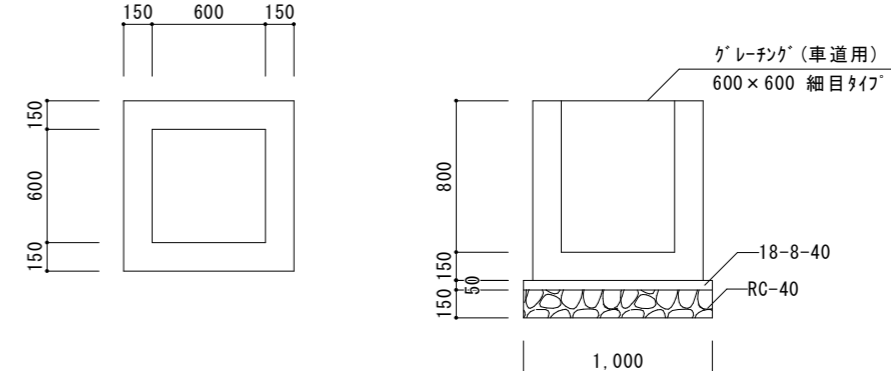
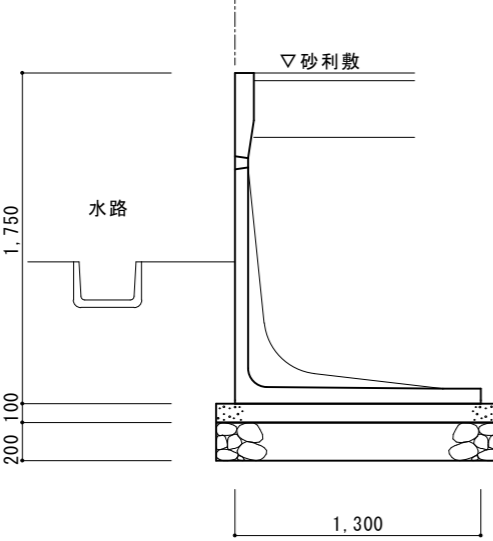


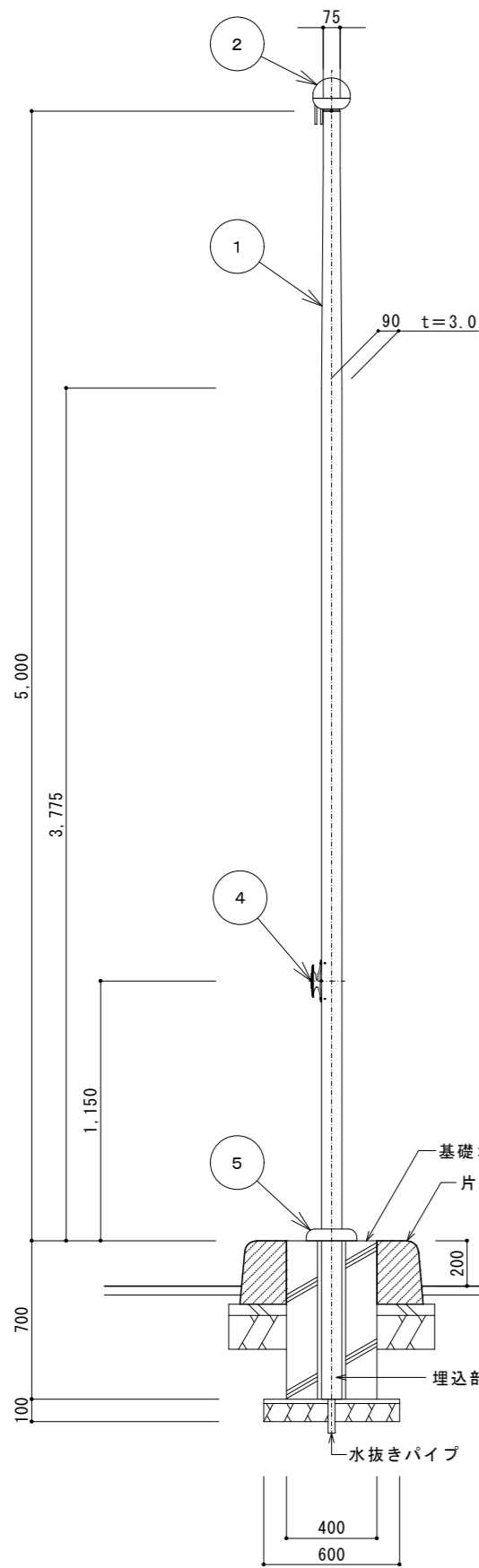
道路境界線



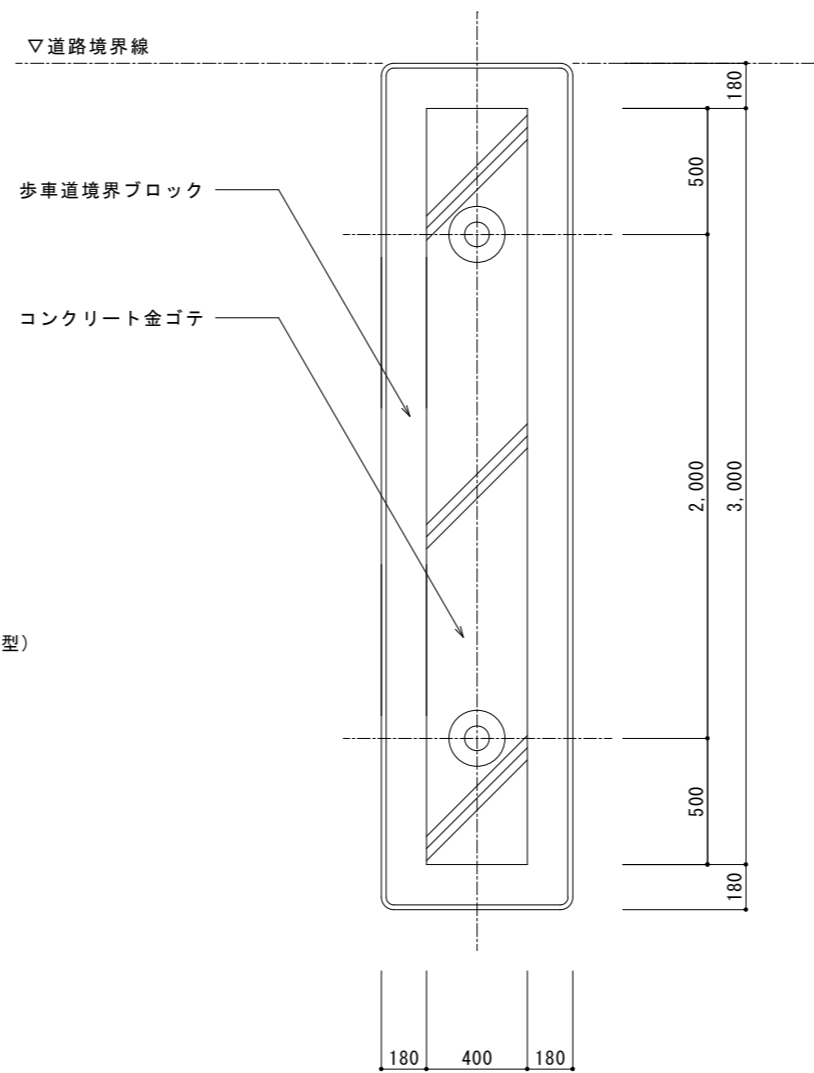
凡例



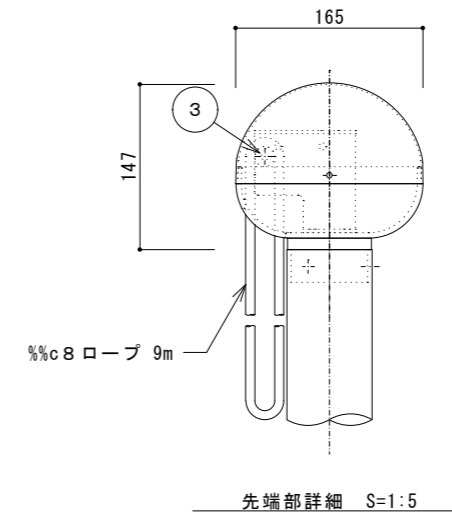
<p>路面表示 駐車場用 A1-1:100 A3-1:200</p> 	<p>路面表示 駐車場用 A1-1:100 A3-1:200</p> 	<p>身障者用駐車場表示マーク A1-1:20 A3-1:40</p> 	<p>メッシュフェンス A1-1:30 A3-1:60</p> 
<p>特記仕様 溶解式 白色トラフィックペイント JIS K5665 3種1号</p>	<p>特記仕様 溶解式 白色トラフィックペイント JIS K5665 3種1号</p>	<p>特記仕様 溶解式 白色 トラフィックペイント JIS K 5665 3種1号 厚1.5 巾：マーク100 駐車場舗装面に書き込み</p>	<p>・支柱、ジョイント、押え金具 ・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装 ・バンド：亜鉛・アルミ合金メッキの上アクリル系樹脂静電粉体塗装 ・ワイヤメッシュ：亜鉛メッキの上PVC樹脂静電粉体塗装 ・U型金具：亜鉛・アルミ・マグネシウム合金メッキの上防錆着色処理 ・ボルト、ナット類：溶解亜鉛メッキの上防錆着色処理とし ワッシャは溶解亜鉛メッキのみ</p>
<p>歩車道境界ブロック A1-1:20 A3-1:40</p> 	<p>横断側溝300×300 A1-1:20 A3-1:40</p> 	<p>集水樹 A1-1:20 A3-1:40</p> 	
<p>特記仕様 コンクリート境界ブロックはJIS A5371 (プレキャスト無筋コンクリート製品)の道路用境界ブロックとする。 目地モルタル、目地巾10mm</p>		<p>寸法 600×600×800 雨水樹の底部には、深さ15cm以上の泥だめを設置すること。</p>	
<p>擁壁 A1-1:20 A3-1:40</p> 			



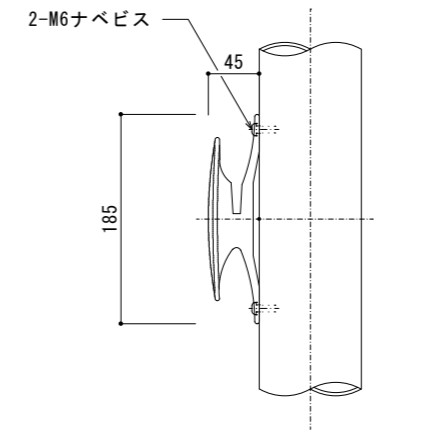
埋込式ポール姿図 S=1:60



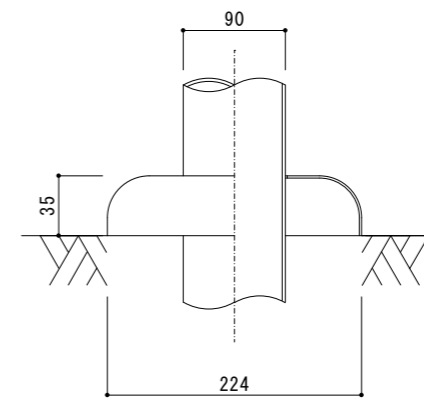
基礎平面図 S=1:60



先端部詳細 S=1:5



ロープ掛け部詳細 S=1:5



グラウンドカバー詳細 S=1:5

※グラウンドカバーは、ポール埋込部の化粧用で、別梱包部品です。

- 製品仕様
- ・主要材料はアルミニウム合金製とします。
 - ・表面処理はヘアライン研磨後、アクリル樹脂クリア塗装を施します。
 - ・材質指示のないボルト類はSUS304とします。

- 設計条件
- ・基準風速と地表面粗度の許容範囲の目安は下表を参照願います。(旗無し時)
 - ・基礎寸法は地盤の許容応力度が10t/m²(短期)時の参考寸法です。

地上~15m迄

	粗度区分 I	II	III	IV
制	30	—	○	○
定	32	—	—	○
風	34	—	—	○
速	36	—	—	○
(Vo)	38	—	—	○
	40	—	—	○
	42	—	—	○
	44	—	—	—
	46	—	—	—

- 注意事項
- ・本製品は旗を掲揚する為のポールです。旗以外のものは掲揚しないで下さい。ポール折損の要因となる場合があります。
 - ・強風時(瞬間最大風速15m/s時)には旗を取外して下さい。ポール折損の要因となる場合があります。
 - ・毎朝夕の昇降を推奨します。
 - ・製品改良のため、一部仕様変更をする場合があります。

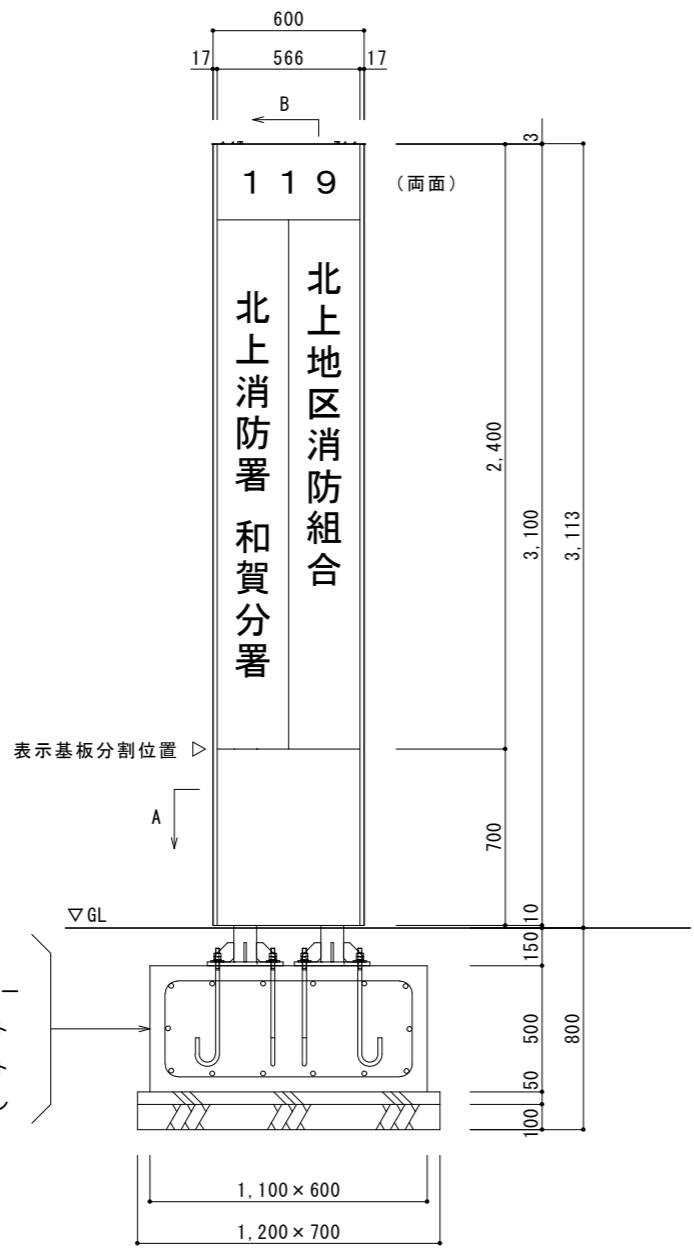
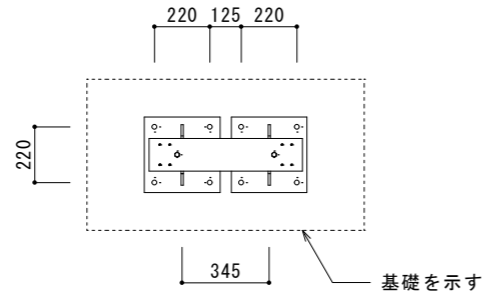
品番	品名	数量	材質
5	グラウンドカバー	1	A5052P
4	クリート	1	ADC5
3	滑車	1	ジュラコン
2	キャップ	1	ADC5/A11000
1	ポール	1	A6063-T6

尺度 1:5 1:30

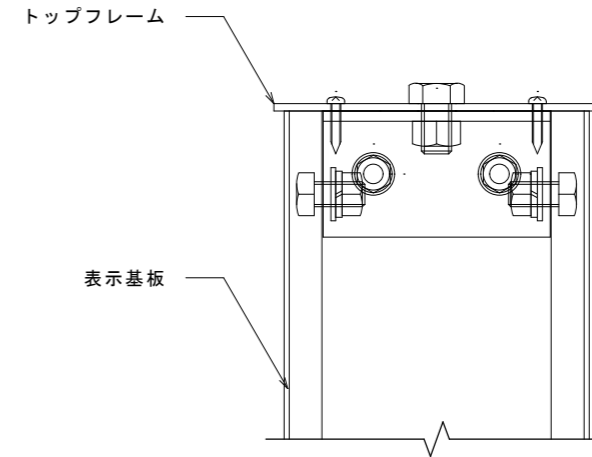
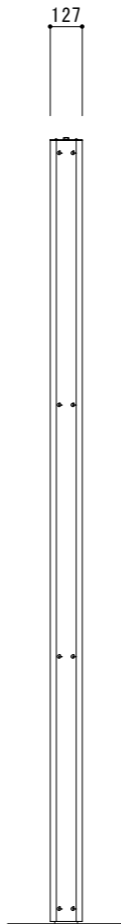
件名

品名 アルミニウム合金製旗用ポール

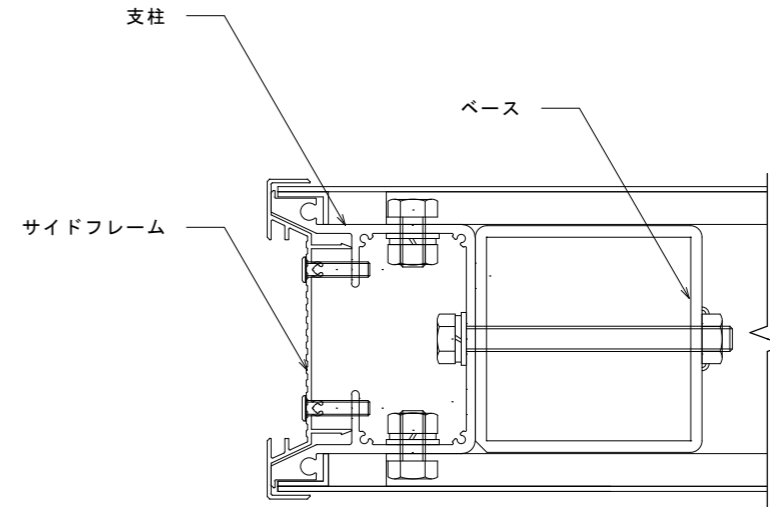
型式 5FP-Uzx



外観図 S=1/60



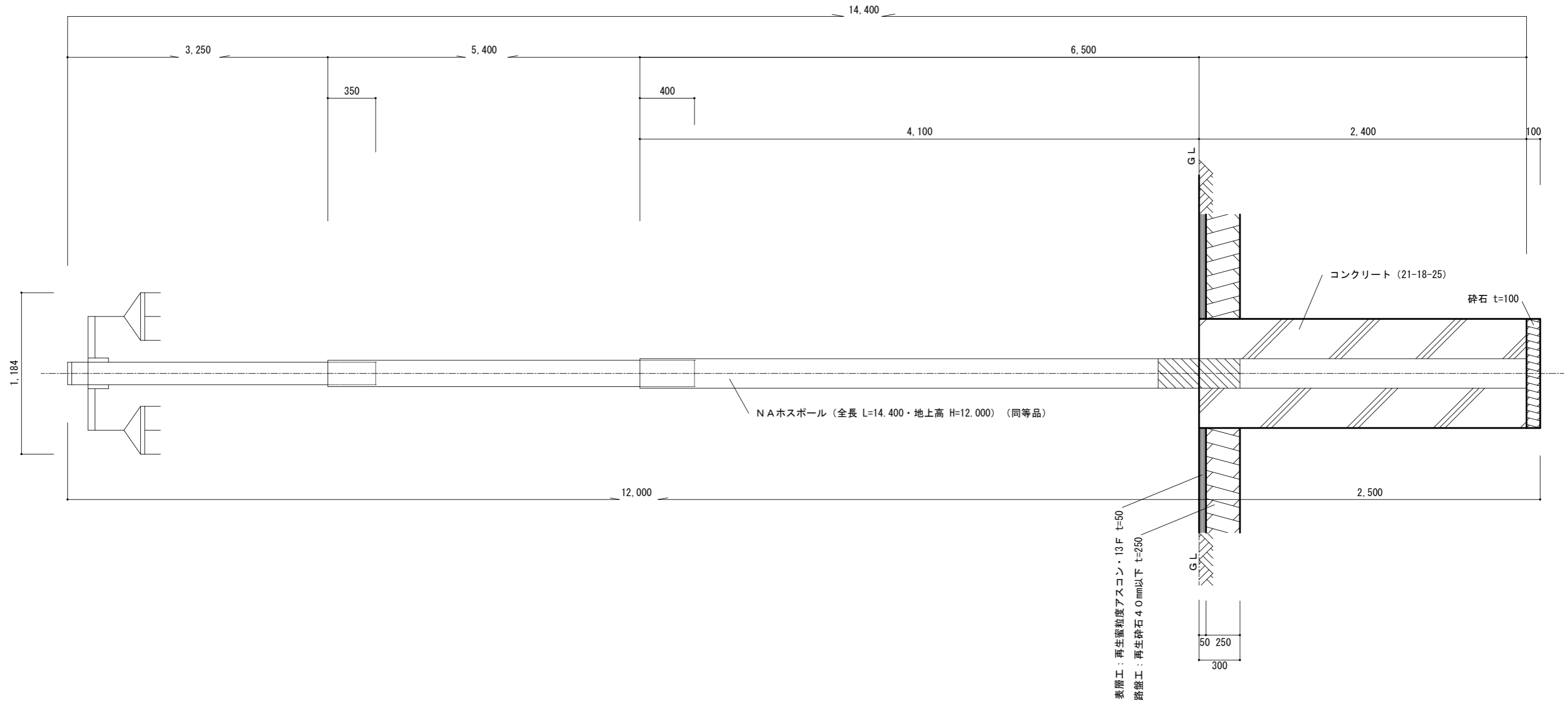
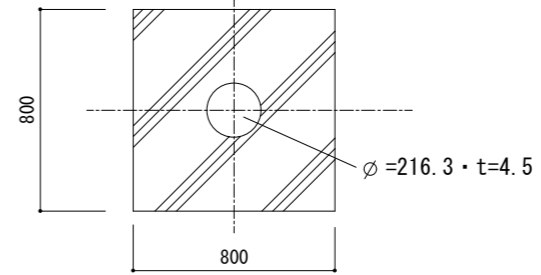
B部断面部分詳細図 S=1/6



A部断面詳細図 S=1/6

KOTOBUKI アルプランク UC-S712201 同等品

- 表示基板 : t2.0 アルミ板、合成樹脂焼付塗装 (ダークグレー)
- 裏パネル : t2.0 アルミ板、合成樹脂焼付塗装 (ダークグレー)
- 支柱 : アルミ押出形材、アルマイト (シルバー) クリア塗装
- サイドフレーム : アルミ押出形材、アルマイト (シルバー) クリア塗装
- トップフレーム : t3.0アルミ板、アルマイト (シルバー)
- ベース : 鋼材加工品、溶融亜鉛メッキ仕上
- ※アンカー以外のビス類は全てステンレスとする。
- ※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。
- ※(一社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。
- ※施設名称は両面とする。



6章 石綿含有建材の除去等

① 石綿粉じん濃度測定

○石綿粉じん濃度測定 (6.1.3)

測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)
・測定1	処理作業前	処理作業室内	・計	点
・測定2	処理作業前	調査対象室外部の付近	・計	点
・測定3	処理作業中	処理作業室内	・計	点
・測定4		セキュリティゾーン入口	・計	点
・測定5		集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1m/sec以下の位置	・計
測定6	処理作業室外	・施工区画周辺	・計	点
測定7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	・計	点
測定8	処理作業後シート	処理作業室内	・計	点
測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・計	点

測定方法

・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定4	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計) パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定
・測定5	

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)
・測定4	25	5	30
・測定5			
・測定	25	10	120
・測定	47	10	240

② 石綿含有建材の除去

○石綿含有吹付け材の除去 (6.3.2~3)

除去対象範囲 ○図示による
除去工法 ※6.3.2(1)による
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化 固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分 ○埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (熔融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有保温材等の除去 (6.4.1)

除去対象範囲 ○図示による
除去工法 ・切断又は破碎して除去 ・手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置 ※湿潤化 固形化
除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (熔融施設又は無害化処理施設)

○石綿含有成形板等の除去 (6.5.1) (6.5.3)

飛散防止の養生 ○行う (養生シート) ・行わない

除去対象範囲 ○図示による
除去した石綿含有成形板等の処分 ○石綿含有せっこうボード ※埋立処分 (管理型最終処分場) ○石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板等 ○埋立処分 (安定型最終処分場) ・中間処理 (熔融施設又は無害化処理施設)

7章 特殊な建設副産物の処理

1. 施工計画調査 (7.1.3)

特殊な建設副産物の調査に基づき処理計画を定め、施工計画書を監督職員に提出する。

特殊な建設副産物	種類、製造所、製造年、型式等等	使用箇所
・フロン、ハロン		
・六ふっ化硫黄ガス		
・PFOS		
・特定化学物質		

・分析調査 ・行う ・行わない

2. 特殊な建設副産物の処理等 (7.3.1)

特殊な建設副産物	処理及び回収等
・冷媒フロン	※登録を受けた回収業者に回収委託
・建材用断熱フロン	※焼却による破壊処理可能な処理施設
・ハロン	※ハロン消火設備設置業者等に処理委託
・イオン化式感知器	※法令に基づき製造業者等に処理委託
・六ふっ化硫黄ガス	※製造業者等に処理委託
・PFOS	※廃棄物処理業者に処理委託
・特定化学物質	※関係法令に基づき、処理業者に処理委託

電気設備

① 撤去

※特記なき部分は建築物解体特記仕様書と併せて適用する。

1. 一般事項
撤去前に内容物 (発電設備燃料等) の回収を要する機器、配管等の処理
・事前に回収し、洗浄等の処置を行う

2. 撤去
※ 図示された機器類、配管配線、ケーブルの解体を行う。
(地下埋設物、埋設配管を含む)
※ 下記の廃棄物等及び機器類は内外装材の解体前に取り外し回収する。
これ以外の配管配線、機器類はコンクリート及び配管配線、機器類はコンクリート及び内外装材と同時に解体してよい。

1) 廃棄物等
再資源化を図るもの
・ 小型二次電池
・ 蛍光灯及びHIDランプ (水銀リサイクル共)
・
特別管理産業廃棄物
・ アスベスト含有材 ()
・ PCB含有機器 (・ 蛍光灯安定器 ・ 変圧器)
・ 廃油 ()
・ 廃アルカリ (・ アルカリ蓄電池)

特殊な建設副産物
・ イオン化式感知器
・ 六ふっ化硫黄 (SF6) ガス (・ ガス絶縁開閉器)

2) 機器類
・ 受変電盤
・ 直流電源装置
・ 発電装置
・ 照明器具一式

機械設備

① 一般事項

② 撤去

※特記なき部分は建築物解体特記仕様書と併せて適用する。

・ 撤去前に内容物 (冷媒・吸収液・廃油等) の回収を要する機器、配管等の処置
・ 事前に回収し、洗浄等の処置を行う

・ 官公署への手続き等
工事の着手、施工にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な手続等を遅延なく行う。

種別	手続等
・貯油槽	※廃止届
・給水装置	※廃止届
・排水設備	※廃止届
・都市ガス設備	※廃止届
・ボイラー	※廃止届
・浄化槽	※廃止届
・昇降機	※廃止届

・ 廃酸・廃アルカリ処分
吸収冷凍機、吸収冷水機等の撤去前に臭化リチウム水溶液の抜き取りを行う。ただし、抜き取り費用は (・ 本工事 ・ 別途) とする。

・ ダイオキシン類処理
焼却炉等の撤去前に残灰よりサンプリング調査を行い、監督職員に報告する。ただし、サンプリング費用は (・ 本工事 ・ 別途) とする。

・ 廃油処理
オイルタンク、サービスタンク、油配管等は撤去前に内部清掃を行う。ただし、内部清掃、洗浄油の回収費用は (・ 本工事 ・ 別途) とする。

・ 冷媒 (フロン類) の回収
冷凍機、パッケージ型空調機等の撤去に伴う冷媒回収方法は、改修標準仕様書第3編2.4.3により適切に行うこと。ただし、家電リサイクル対象機器は除く。冷媒回収の費用は (・ 本工事 ・ 別途) とする。

・ 家電リサイクル
対象機器は とする。なお、冷媒回収はポンプダウン方式とする。(リサイクル料金は本工事に含む)

・ 汚泥、汚水処理
浄化槽及び排水槽内は汚泥・汚水を汲み取り、内部清掃を行う。ただし、汚泥・汚水・清掃洗浄水の回収、処分費は (・ 本工事 ・ 別途) とする。

・ 屋外設備
・ 給水装置
・ 本管にて閉栓とする。
・ 敷地内第1弁を閉としプラグ止めの上、埋設標示杭設置とする。

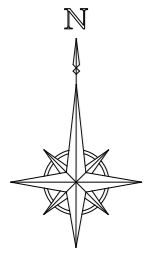
・ 排水設備
・ 本管にて閉栓とする。
・ 公設側にてキャップ止めとする。

・ 都市ガス設備
・ 本管にて閉栓とする。
・ 敷地内第1弁を閉としプラグ止めの上、埋設標示杭設置とする。

・ 石綿含有製品処理
ダクトフランジバックン及び配管エルボ部保温材の処理方法は、以下による。撤去する長方形ダクトのフランジ部、配管のエルボ・チーズ部に含まれる石綿を処分するため、フランジ・エルボ・チーズの前後を切断し、他のダクト・配管とは別に廃棄を行う。
※配管、ダクト以外の解体方法は、関連する官公署、石綿作業主任者などに確認し法令に従い適切に処理を行うこと。

ダクトフランジ部撤去参考詳細図

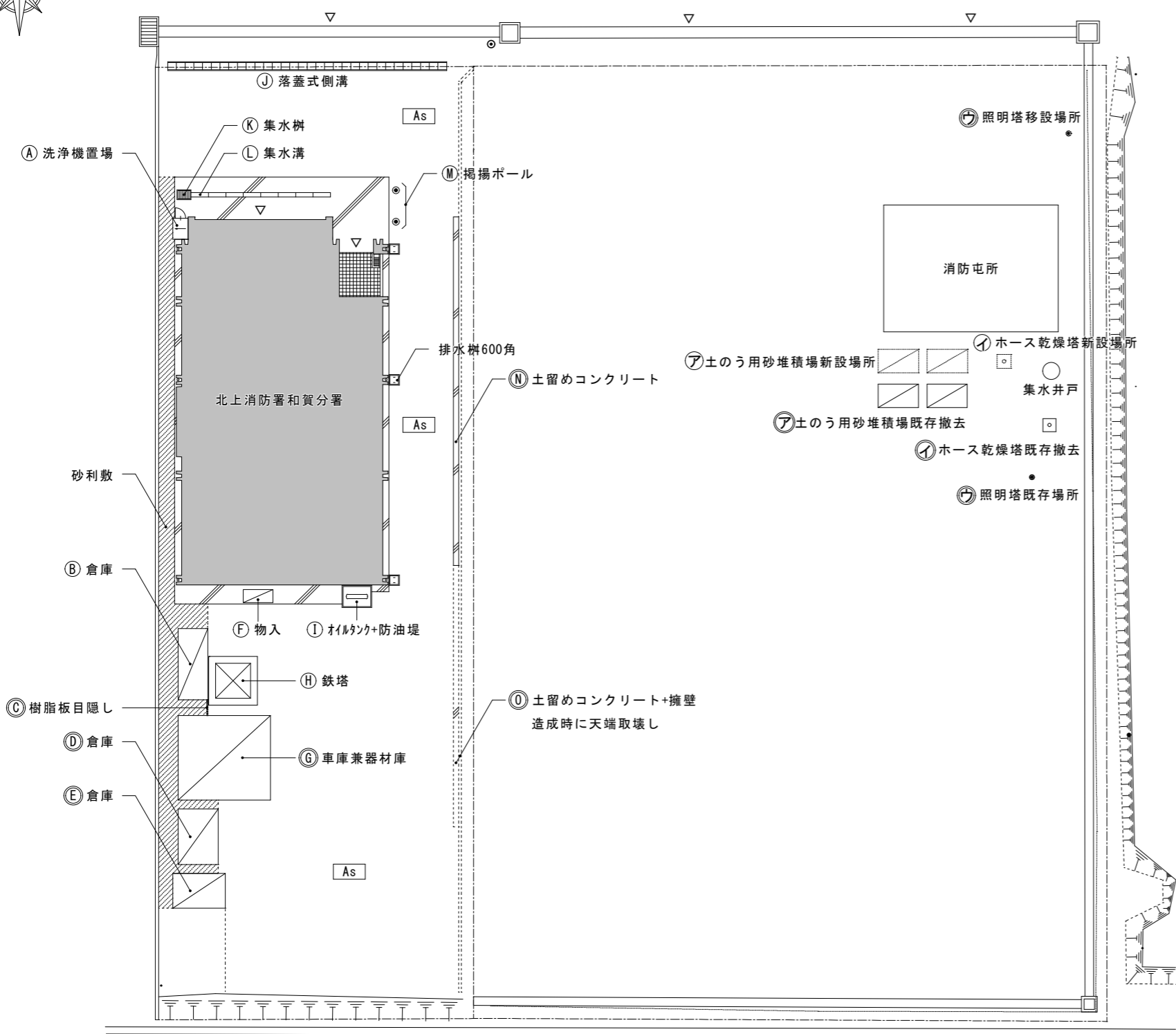
1. ダクトの切断に当たり飛散防止処置として、フランジ部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼りを行う。
2. フランジ部両側約100mmの箇所において慎重に切断する。
3. ダクト片側の切断終了後、フランジ部内部を外面同様、飛散防止処置として飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行い、もう片側の切断を行う。
4. 切断したフランジ付ダクトは、ビニール袋等に詰め、構外搬出適切処理とする。



至 長沼

市道6013851号線

至 江釣子



配置図 S=1:300

□ 附属設備表 (解体)

符号	部位	位置	仕上
A	洗浄機置場	寸法	W 870 D 1,200 H 1,300~H 1,400
		屋根	鋼板製波板葺
		外壁	合板12mm+0 P
		基礎	犬走り天端に固定
B	倉庫	寸法	W 4,100 D 1,700 H 2,100~H 2,000
		屋根	片流れ 鋼板製波板葺
		外壁	鋼板製波板、アクリル製波板、扉：合板両開き
		基礎	コンクリートブロックt100mm+一部コンクリート叩き
C	樹脂板目隠し	①倉庫側壁	W 1,200 H 1,800 樹脂板8枚ボルト固定
D	倉庫	形式・寸法	TAKUBO スチール製 W 3,200 D 2,300 H 2,700~H 2,600
		基礎	コンクリートブロックt100mm 平置き20個
E	倉庫	寸法	W 2,000 D 3,000 H 2,000~H 1,800
		屋根	片流れ 鋼板製波板葺
		外壁	鋼板製波板、扉：合板親子両開き
		基礎	土間コンクリート
F	物入	形式・寸法	TAKUBO スチール製 W 1,700 D 750 H 1,400
		基礎	コンクリートブロックt100mm 平置き4個 平プレート固定
G	車庫兼器材庫	形式・寸法	イナバ スチール製2連棟 W 4,850 D 5,300 H 2,400~H 2,200
		屋根	片流れ カラー鋼板葺
		外壁	カラー鋼板成形板 開口部：金属製シャッター 2連
H	鉄塔	斤舎南側	アンテナ塔 基礎2,850φ 鉄塔下部2,000φ H=30.0m
		防油堤	斤舎南側
I	オイルタンク	斤舎南側	鋼製タンク 最大440L
		防油堤	斤舎南側
J	落蓋式側溝	市道側	300A コンクリート蓋 L=16.0m
K	集水樹	斤舎北側	コンクリート樹 700φ グレーチング 500φ
L	集水溝	斤舎北側	グレーチング W 250 L=8.0m
M	掲揚ポール	斤舎東側	アルミポール 6.0m アルミポール 7.0m
N	土留めコンクリート	斤舎東側	W 300 L=20.0m H 500=(想定による)
O	土留めコンクリート+擁壁	斤舎東側	天端取壊し後の構造物 H1,000=(想定による)

□ 附属設備表 (解体・移設)

ア	土のう用袋堆積場 (解体)	消防屯所	コンクリート造 W2,300 D1,350 H1,400~1,450
イ	ホース乾燥塔 (解体)	消防屯所	アルミポール埋込式 H14.0m
ウ	照明塔 (移設)	消防屯所	コンクリート柱 300φ H6.0m

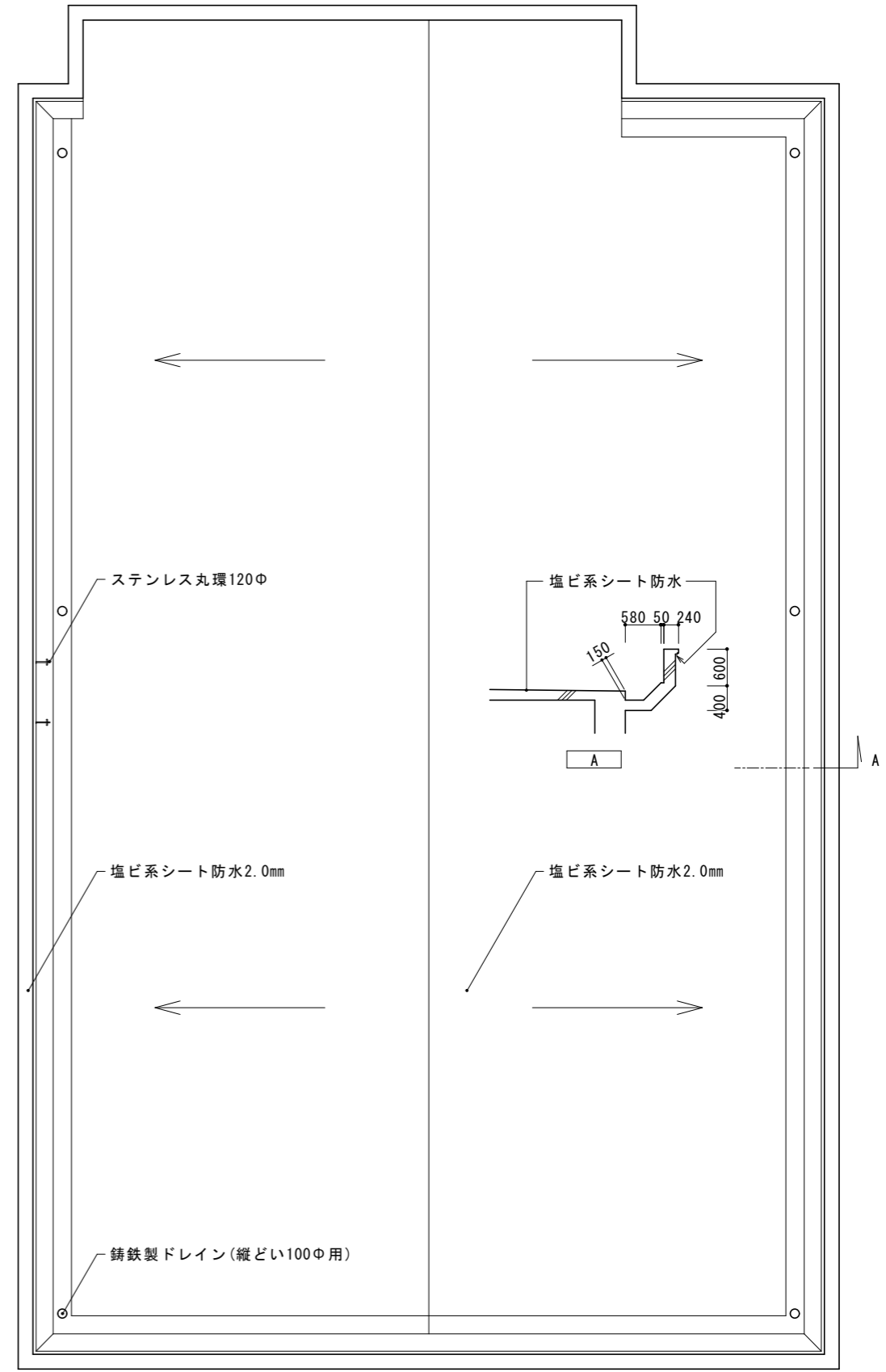
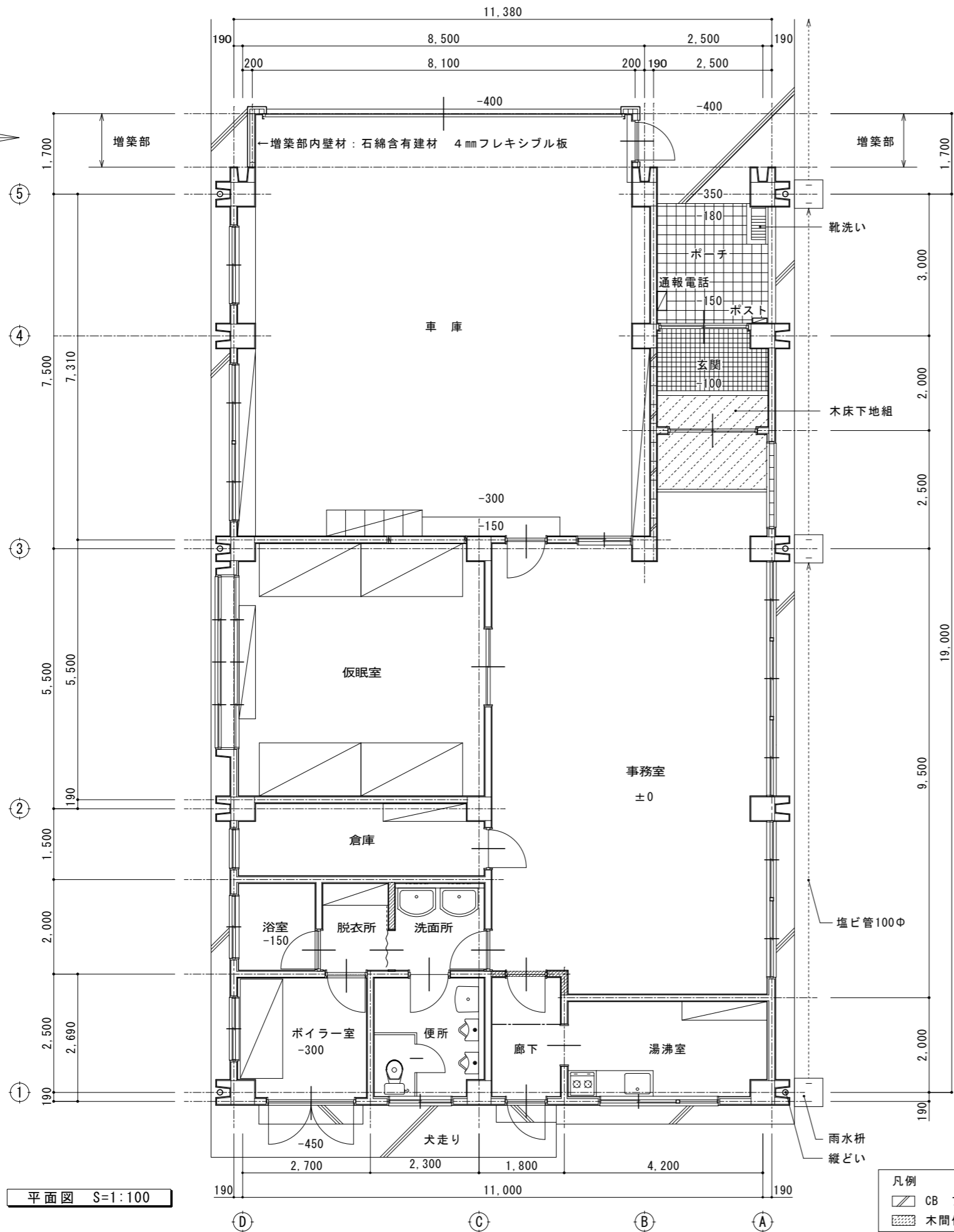
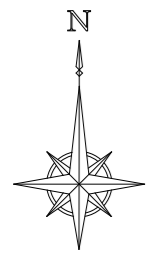
※ C、D、E、G、N、O及びア、イは新庁舎建設時に支障となるため、先行して解体に着手する事。
ウについては、先行して移設に着手する事。

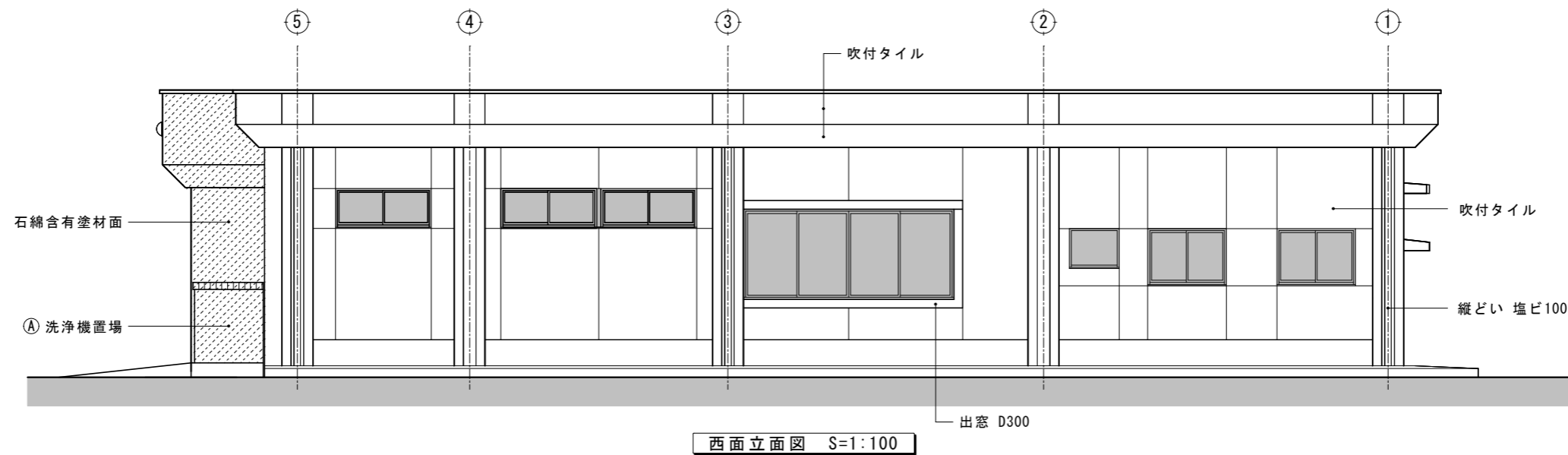
□ 外部仕上表

部位	位置	仕上	備考	部位	位置	仕上
屋根	一般	塩ビ系シート防水 2.0mm	水勾配	外壁面取付	北面	紋章 250Φ
	パラベットの裏	塩ビ系シート防水 2.0mm	ステンレス丸環 2ヶ所 16mm 100Φ		ポーチ上部	アクリル樹脂製 名称板 5×1,800×400
	パラベットの天端	塩ビ系シート防水巻き込み 2.0mm	W240 H550		ポーチ上部	赤色灯 200Φ
	横どい	塩ビ系シート防水 2.0mm	鋳鉄製ドレイン(縦どい100Φ用)		ポーチ内壁	駆け込み通報電話 300×200×430
軒天	ポーチ	LGS+スパンドレル	カラー鋼板	ポーチ内壁	ステンレス製 ポスト 400×140×250	
外壁	一般	吹付タイル		東面	アクリル樹脂製 駐車場表示板 5×400×1,200	
開口部	一般	金属製建具(アルミサッシ)	引違い窓、片開きドア、両開きドア、滑り出し窓	縦どい	東、西面	塩ビ 100Φ
	車庫出入口	オーバースライダー(鋼板製)	ガラスブロック	雨水拵	東面	コンクリート製 600口 排水管 塩ビ100Φ
ポーチ	床	200角 磁器質外装床タイル		靴洗い	ポーチ	人大仕上 800×400×750 グレーチング300×500×30
基礎	立上り巾木	コンクリート打放+薄塗仕上				
共通	外壁	* 石綿含有塗材面→立面図に図示				

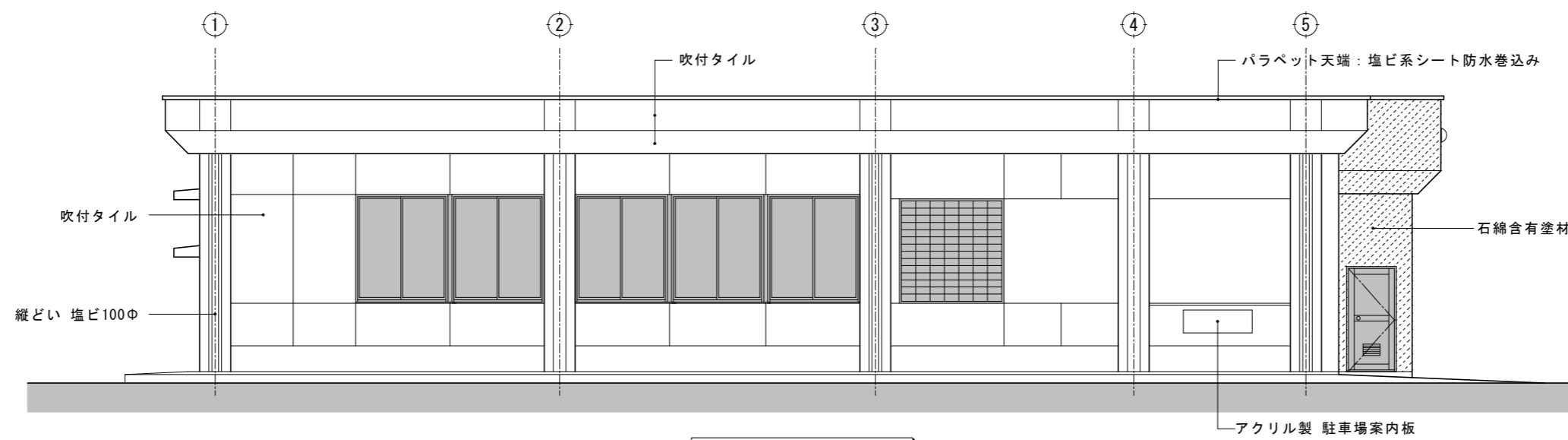
□ 内部仕上表

室名	床					壁			天井				備考
	位置	床高	下地	仕上	巾木H	巾木仕上	下地	仕上	下地	仕上	天井高	廻縁	
玄関	踏込	FL-100	モルタル	100角磁器質タイル	100	人大	モルタル	VP	LGS	スパンドレル	2,800	鋼板	上框(人大)80x100
	一般部分	FL±0	木床下地組	ビニル床シート2.0mm	75	塩ビ	モルタル	VP	LGS	スパンドレル	2,700	鋼板	
事務室	一般部分	FL±0	モルタル	Pタイル	75	塩ビ	モルタル	VP	LGS	9mmPB+9mm吸音板	2,700	塩ビ	天井点検口 450口 ブラインドBOX ブラインド
	踏込	FL±0	木床下地組	ビニル床シート2.0mm	75	塩ビ	モルタル	VP	LGS	9mmPB+9mm吸音板	2,700	塩ビ	
	廊下間仕切						木下地	9mmPB+VP					
仮眠室		FL±0	モルタル	ビニル床シート2.0mm	75	塩ビ	モルタル	ビニルクロス	LGS	9mmジブトーン	2,700	塩ビ	木製2段ベッド 2,150x1,120x1,790 昇降梯子・手摺付 天井付カーテンレール 天井点検口 450口
倉庫(書庫)		FL±0		モルタル		—		モルタル	LGS	9mmPB有孔板	2,300	塩ビ	
便所		FL±0	モルタル	50角磁器質タイル		—	モルタル	100角磁器質タイル	LGS	4mmフレキシブル板+VP	2,300	塩ビ	トイレブース
洗面所		FL±0	モルタル	Pタイル	75	塩ビ	木下地合板(西、北面)	ビニルクロス	LGS	9mmPB+9mm吸音板	2,300	塩ビ	洗面化粧台750x600x800 鏡450×600 膳板(人大)100×75
					75	塩ビ	モルタル(東、南面)	ビニルクロス					
脱衣所		FL±0	モルタル	Pタイル	75	塩ビ	モルタル	VP	LGS	4mmフレキシブル板+VP	2,300	塩ビ	木製棚 1,430x460x1,550
浴室		FL-150	モルタル	モザイクタイル		—	モルタル	100角磁器質タイル	LGS	4mmフレキシブル板+VP	2,300	塩ビ	
ポイラー室		FL-300		コンクリート金ゴテ		—		モルタル		スラブ表し+VP	3,900	—	鉄製棚 1,800x900x3,300 棚板12mm合板張り3段
廊下	一般部分	FL±0	モルタル	Pタイル	75	塩ビ	モルタル	VP	LGS	9mmPB+9mm吸音板	2,600	塩ビ	天井点検口 450口
	事務室間仕切						木下地	9mmPB+VP					アクリル樹脂製垂れ壁 5mm 1,500×H520
湯沸室		FL±0	モルタル	Pタイル	75	塩ビ	モルタル	VP	LGS	4mmフレキシブル板+VP	2,300	塩ビ	流し台1,200x550x860 コンロ台600x550x670 ガスコンロ W560 レンジフード600×550×600
							モルタル	流し前キッチンパネル					木製棚 1,800x390x30
車庫	一般部分	FL-300~-400		コンクリート金ゴテ		モルタル		モルタル	LGS	9mmPB目スカシ+VP	3,200	木製	木製棚 4,000x400x1,900(西、東面)、木製棚 2,370x430,x2,050(南面)
	増築部						* 石綿含有建材→	フレキシブルボード+VP					天井点検口 450口
共通事項	石綿含有天井材												* 石綿含有天井材は天井伏図に図示

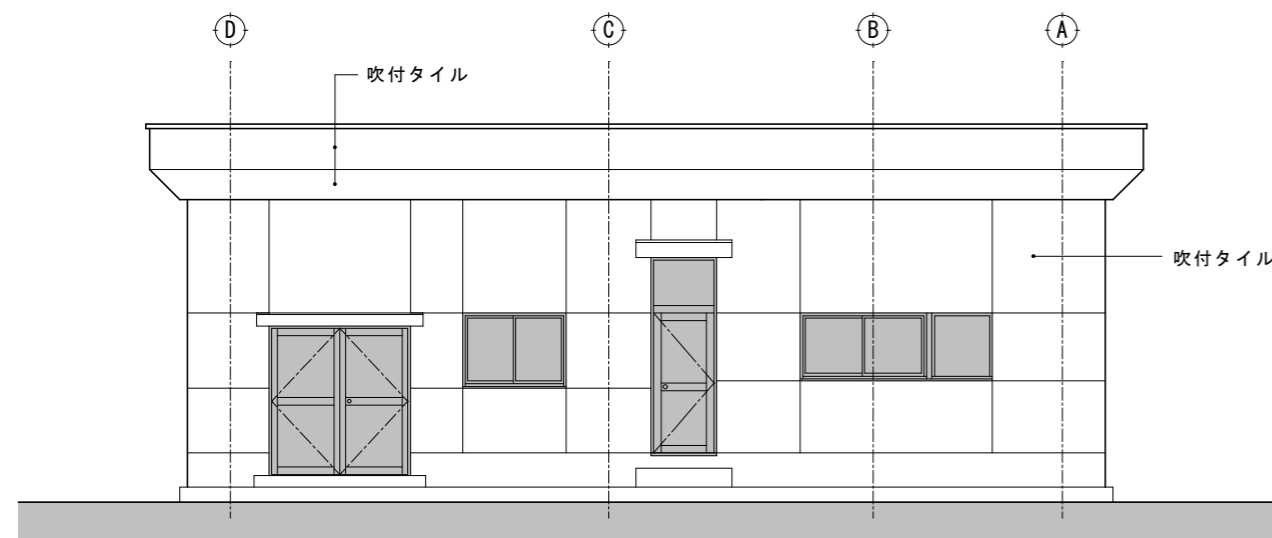




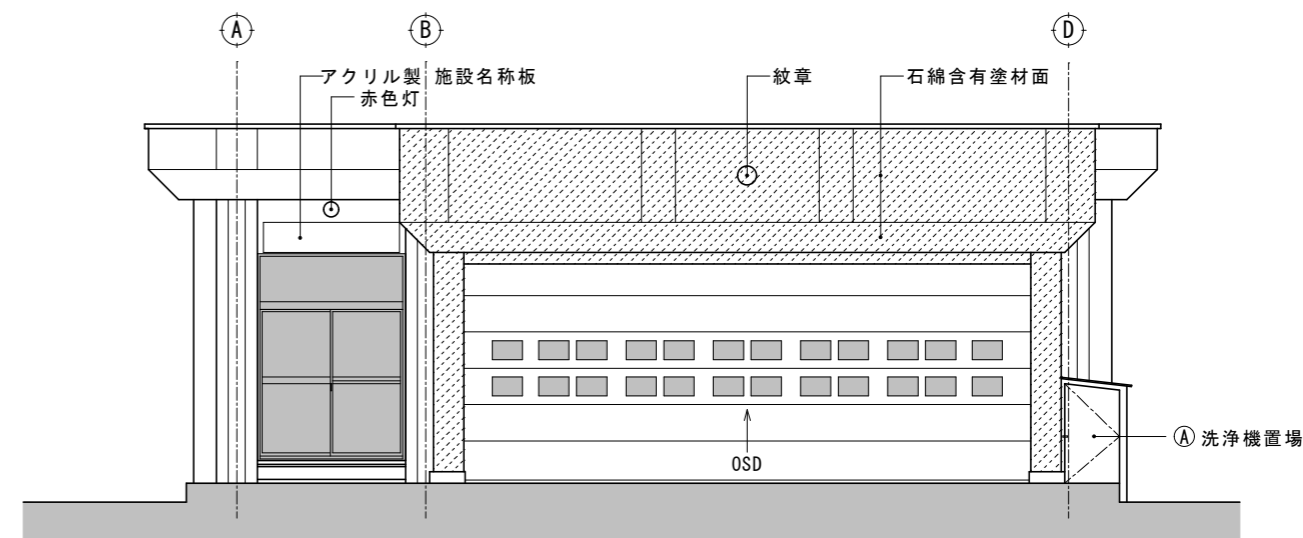
西面立面図 S=1:100



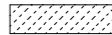
東面立面図 S=1:100



南面立面図 S=1:100



北面立面図 S=1:100

凡例  石棉含有塗材面を示す

平野建築事務所

一級建築士事務所 岩手県知事登録 第く(2703)504号

〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855

設計年月日

R 08 . 02

検図

製図

図面名称

立面図

縮尺

A1-1:50

A3-1:100

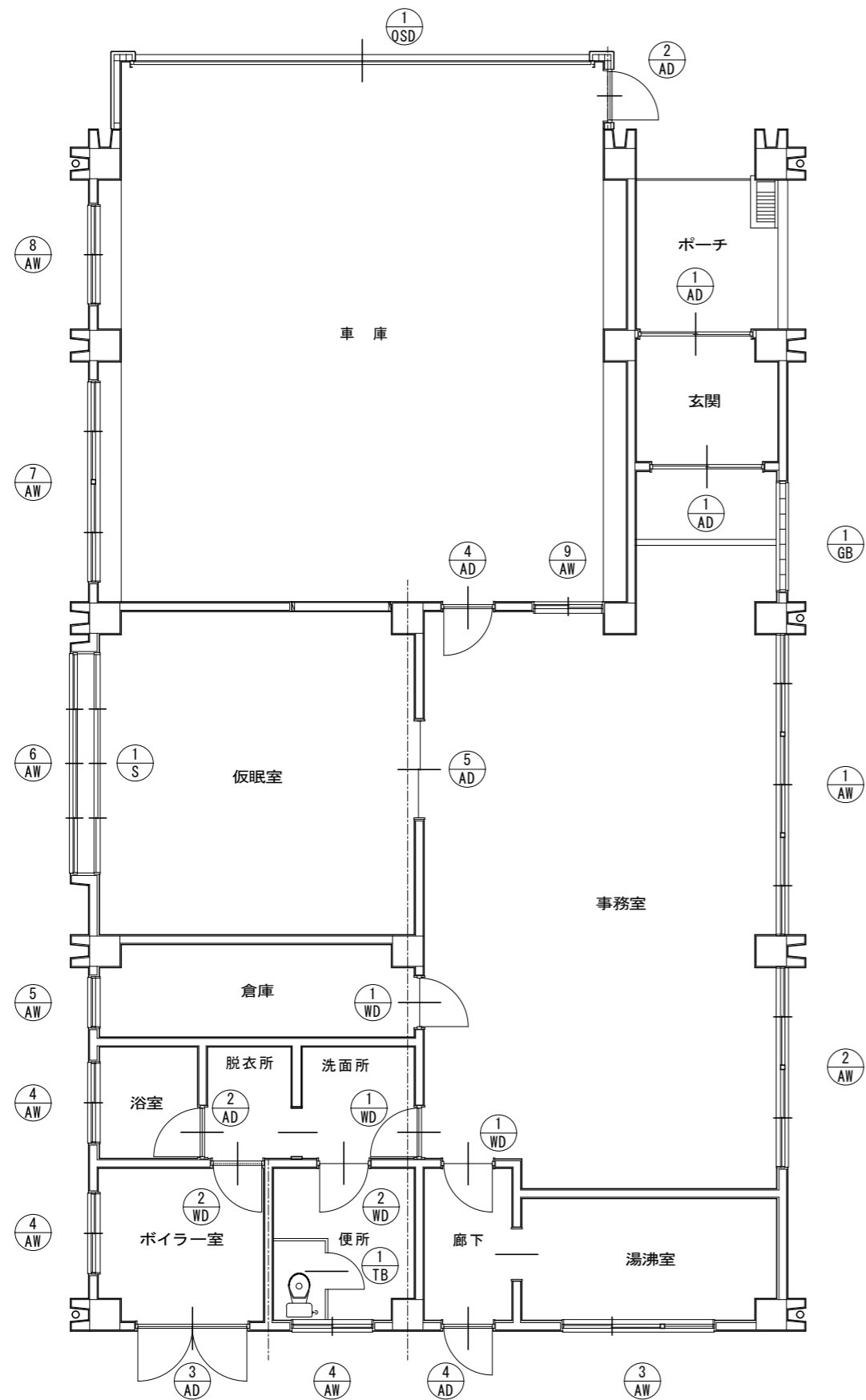
工事名称

北上消防署和賀分署庁舎建設等(建築)工事

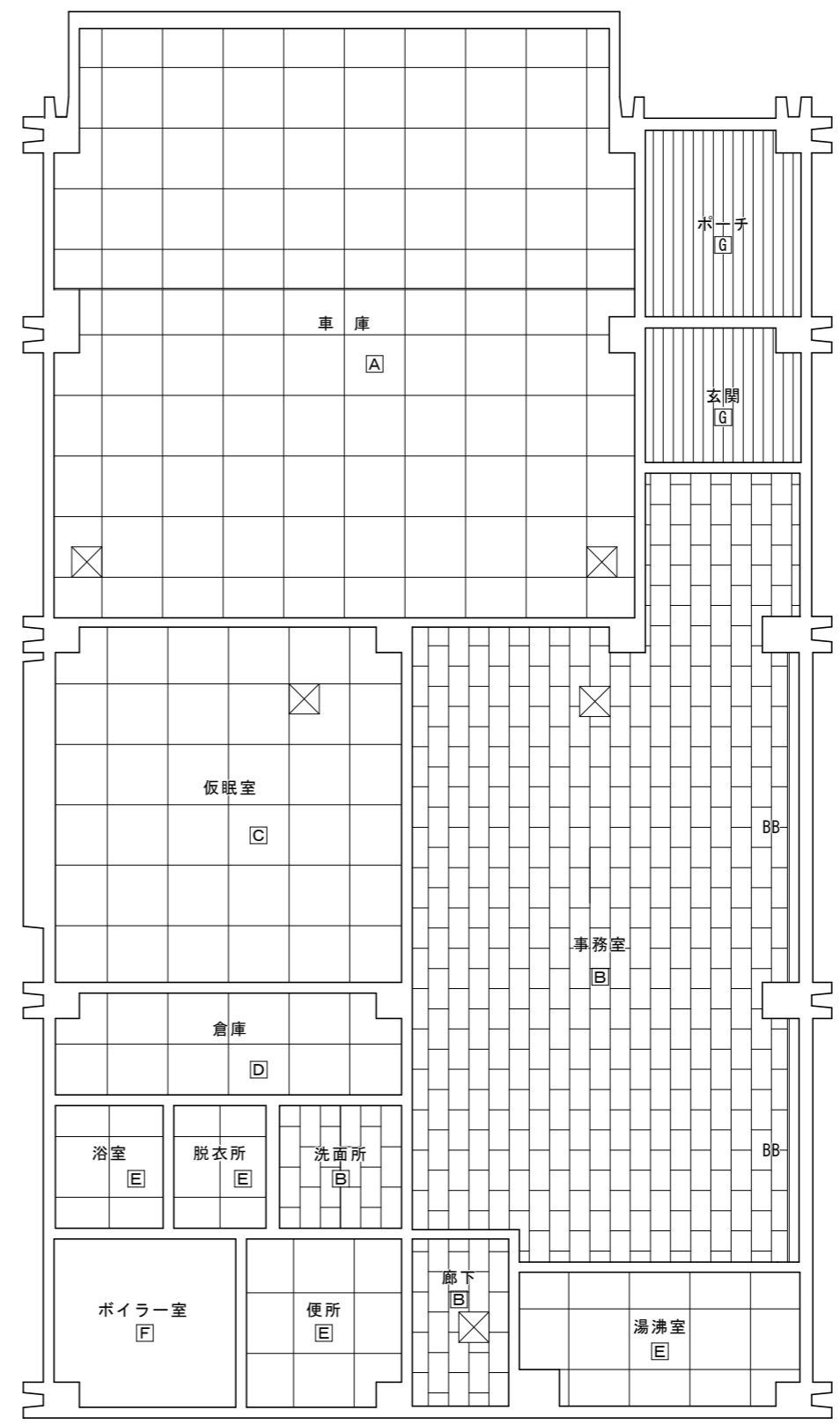
図面番号

設計図

D-07



建具配置図 S=1:100



天井伏図 S=1:100

□ 天井材一覧表

記号	仕上
A	9mmPB+OP
B	9mmPB+9mm吸音板
C	9mmジブトーン
D	9mmPB有孔板
E	4mmフレキシブル板+VP
F	スラブ表し
G	鋼板製スバンドレル
BB	フラインドボックス
X	天井点検口

□ 石綿含有天井材一覧表

記号	仕上・室名
B	9mm吸音板
E	事務室・廊下・洗面所
E	4mmフレキシブル板
E	湯沸室・便所・脱衣所浴室

符号	数量	AD-1	2	AD-2	2	AD-3	1	AD-4	2	AD-5	1	AW-1	1		
位置		玄関・ポーチ		車庫・浴室		ボイラー室		廊下・車庫		事務室		事務室			
形態	寸法														
形式		上部FIX・引違い戸	見込:100	片開きドア	見込:70	両開きドア	見込:70	上部FIX・片開きドア	見込:70	引違い戸	見込:100	引違い窓 3連窓	見込:70		
材種		アルミサッシ		アルミサッシ		アルミサッシ		アルミサッシ		アルミサッシ		アルミサッシ			
硝子		FL3		F4+アルミパネル		FW6.8+アルミパネル		FW6.8(PW6.8)+アルミパネル		FW6.8+アルミパネル		PW6.8			
符号	数量	AW-2	1	AW-3	1	AW-4	3	AW-5	1	AW-6	1	AW-7	1	AW-8	1
位置		事務室		湯沸室		便所・ボイラー室・浴室		倉庫		仮眠室		車庫		車庫	
形態	寸法														
形式		引違い窓 2連窓	見込:70	引違い窓+FIX窓	見込:70	引違い窓	見込:70	縦滑出し窓	見込:70	4枚引違い窓	見込:70	引違い窓 2連窓	見込:70	引違い窓	見込:70
材種		アルミサッシ		アルミサッシ		アルミサッシ		アルミサッシ		アルミサッシ		アルミサッシ		アルミサッシ	
硝子		PW6.8		F4		F4・ボイラー室PW6.8		F4		PW6.8		FW6.8		FW6.8	
符号	数量	AW-9	1	S-1	1	WD-1	3	WD-2	2	TB-1	1	GB-1	1	OSD-1	1
位置		事務室		仮眠室		事務室・廊下・洗面所		便所・ボイラー室		便所		事務室		車庫	
形態	寸法														
形式		上下 引違い窓	見込:70	4枚引違い窓	見込:40	片開きドア	見込:40	片開きドア	見込:40	トイレブース	見込:40	ガラスブロック	見込:100	オーバースライダー	
材種		アルミサッシ		木製障子		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ・SUS頭ツナギ		アルミサッシ		鋼板製	
硝子		PW6.8		障子紙		F4		F4				厚さ100		アクリル樹脂 明り取り窓	

平野建築事務所

一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(2703)504号

〒024-0062 岩手県北上市鍛冶町二丁目14番23号 大臣登録 第323316号 千田篤良 TEL 0197-64-0855

設計年月日

R 08・02

検図

製図

図面名称

建具表

縮尺

A1-1:50
A3-1:100

工事名称

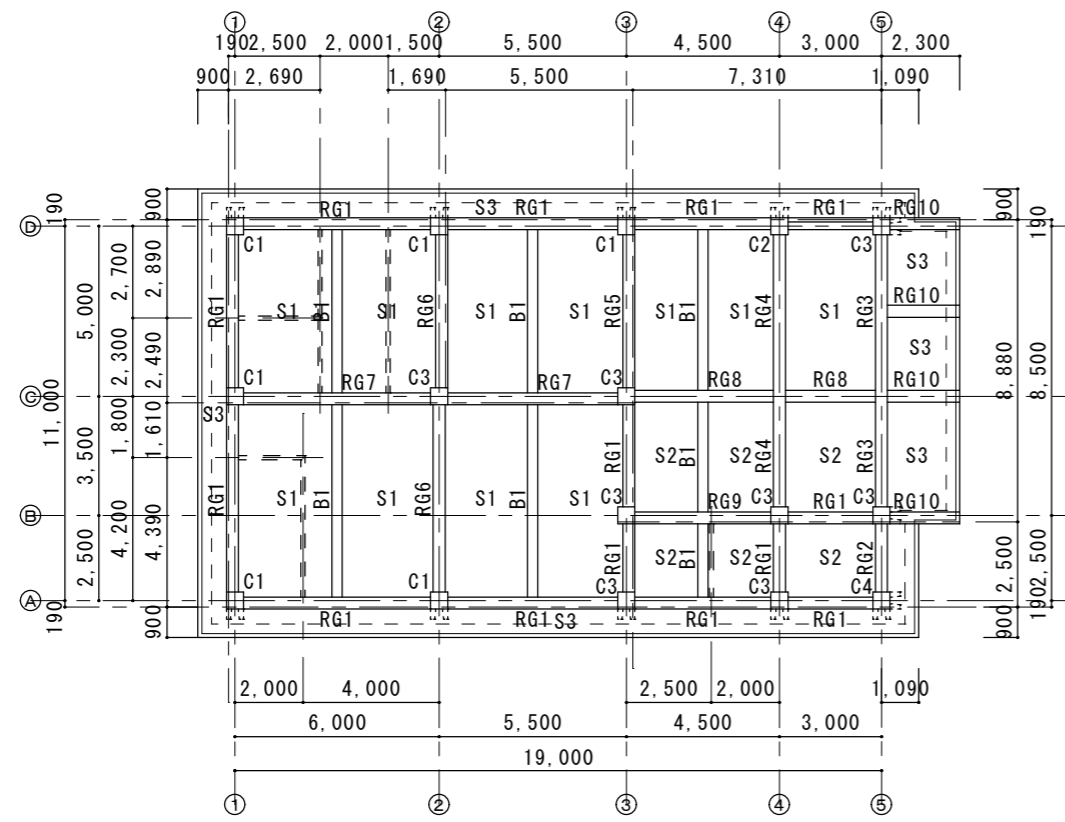
北上消防署和賀分署庁舎建設等(建築)工事

図面番号

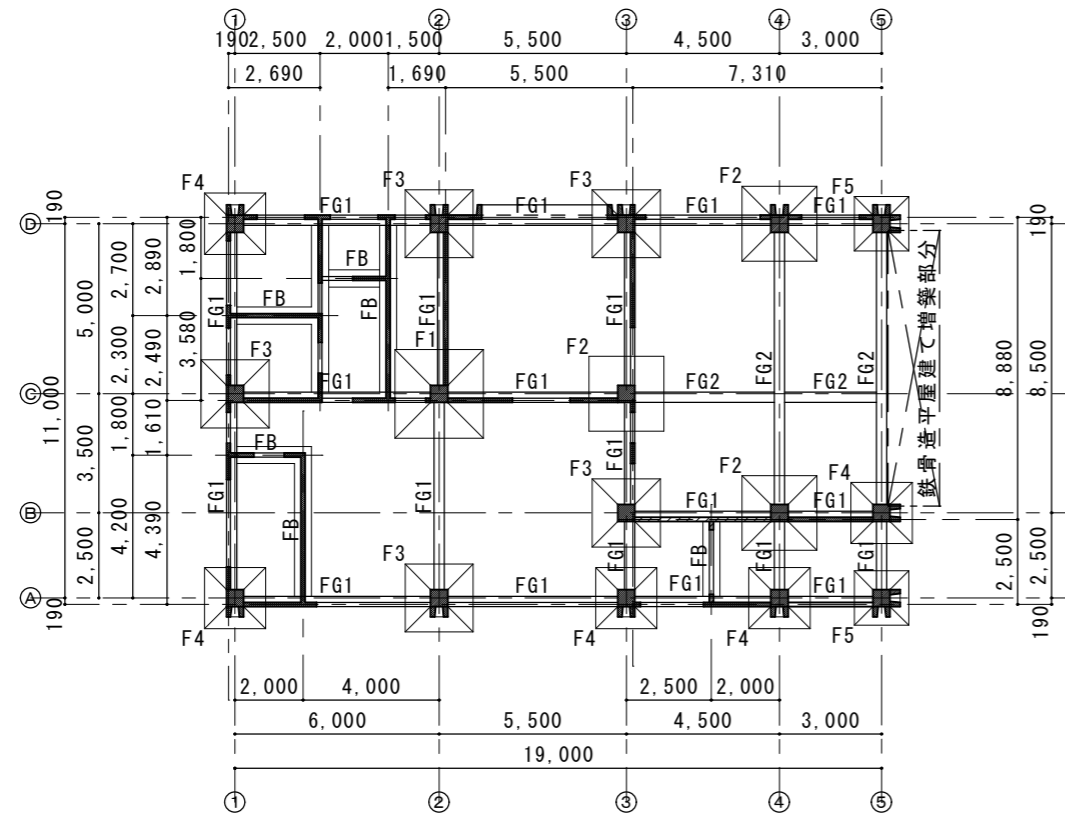
D-09

設計図

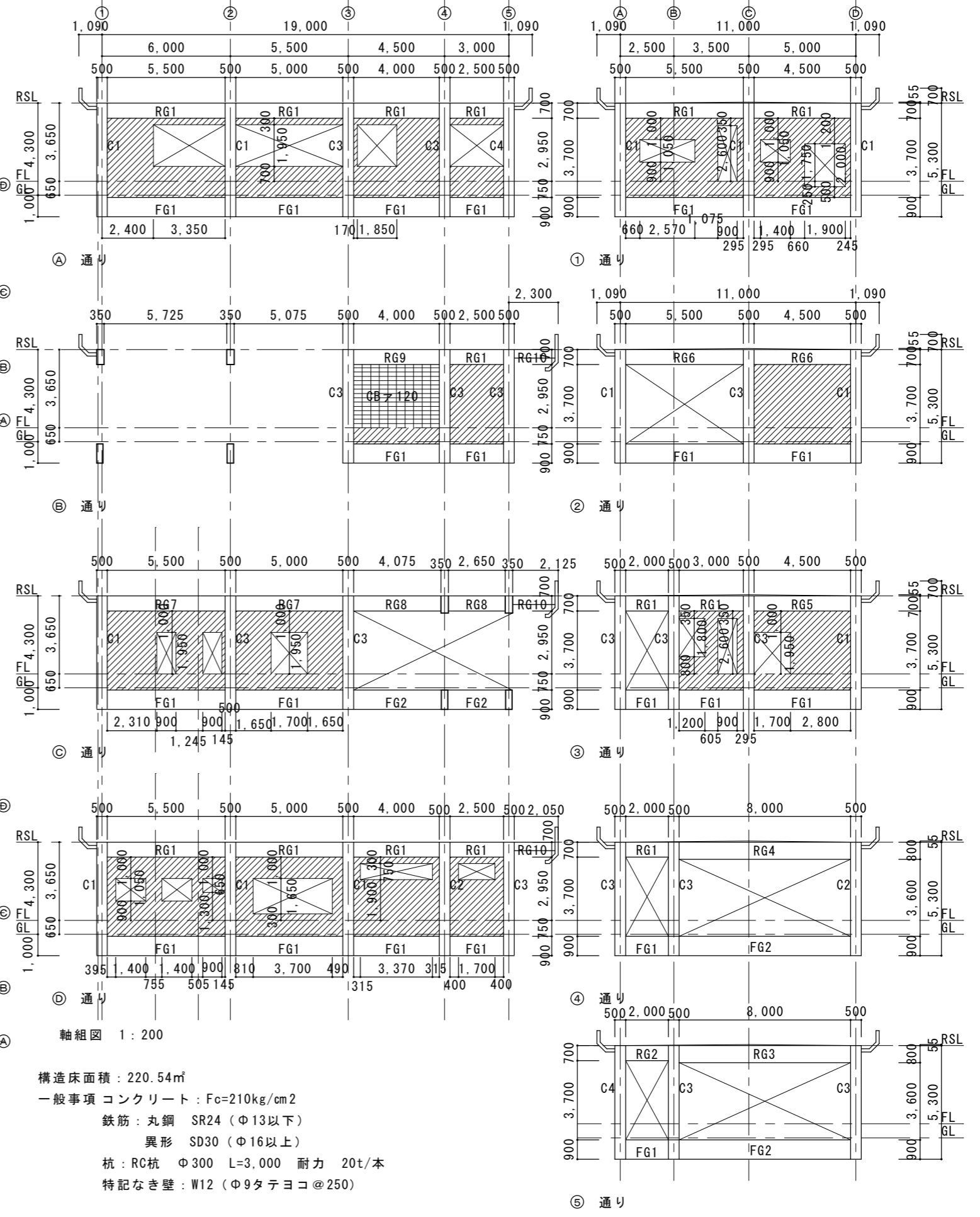
符号：Ⓐ 洗濯機置場 寸法・形式 W870 D1,200 H1,300~1,400	符号：Ⓑ 倉庫 正面 寸法・形式 W4,000 D1,700 H2,100~2,000	符号：Ⓒ 樹脂板目隠し（先行解体） 寸法・形式 W1,200 H1,800 樹脂板ボルト固定	符号：Ⓓ 倉庫（先行解体） 寸法・形式 W3,200 D2,300 H2,700~2,600 TAKUBO
			
符号：Ⓔ 倉庫（先行解体） 寸法・形式 W2,000 D3,000 H2,000~1,800	符号：Ⓕ 物入 寸法・形式 W1,700 D750 H1,400 TAKUBO	符号：Ⓖ 車庫兼器材庫（先行解体） 寸法・形式 2連棟 W4,850 D5,300 H2,400~2,200 INBイナバ	
			
符号：Ⓖ 鉄塔 寸法・形式 アンテナ塔 基礎2,850口 H≒30.0m	符号：Ⓖ オイルタンク・防油堤 寸法・形式 コンクリート製 W1,700 D1,270 H500・440L	符号：Ⓖ 落蓋式側溝 寸法・形式 300A コンクリート蓋 L=16.0m	符号：Ⓖ 集水溝 寸法・形式 コンクリート溝 700口 グレーチング 500x500
			
符号：Ⓜ 掲揚ポール 寸法・形式 アルミポール埋込式 H7.0m・H6.0m	符号：Ⓝ 土留めコンクリート（先行解体） 寸法・形式 L=20.0m W 300 H≒1,000=形状想定による		
			



屋根伏図 1:200



基礎伏図 1:200



軸組図 1:200

符号	C1	C2
位置	全域	全域
断面	500 	500
主筋	12-D19	12-D19
HOOB	柱頭、柱脚(2D以内)9Φ@100.他9Φ@150	
ダイヤ筋	9Φ@600	

符号	FG1			FG2		
位置	外端	中央	内端	外端	中央	内端
断面	300 	300 	300 	300 	300 	300
上端筋	3-D19	3-D19	3-D19	4-D19	4-D19	4-D19
下端筋	3-D19	3-D19	3-D19	4-D19	4-D19	4-D19
腹筋	2-9Φ*2 巾止@800			2-9Φ*2 巾止@800		
あばら筋	9Φ@200			9Φ@200		

符号	C3	C4
位置	全域	全域
断面	500 	500
主筋	12-D19	14-D19
HOOB	柱頭、柱脚(2D以内)9Φ@100.他9Φ@150	
ダイヤ筋	9Φ@600	

符号						
位置						
断面						
上端筋						
下端筋						
腹筋						
あばら筋						

符号	W12	WB
位置	全域	
断面	120 	120
縦筋	9Φ@250	9Φ@400
横筋	9Φ@250	9Φ@400

符号	F1	F2	F3
位置			
断面			

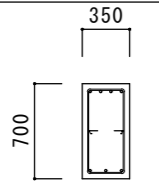
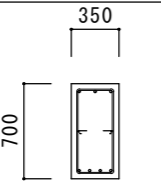
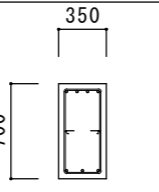
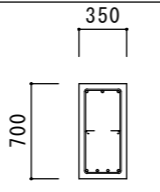
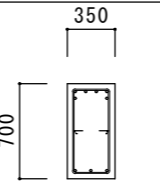
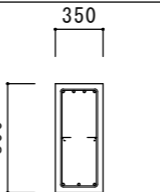
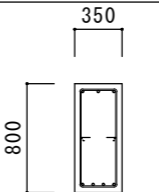
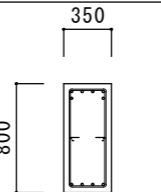

○ 杭 : RC杭 Φ300 L=3,000

符号	S1	S2	S3
位置	全域	全域	全域
断面	130 	130 	130
			短边上13Φ@150 短辺下13Φ@300 長边上9Φ@200 長辺下9Φ@400

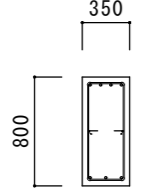
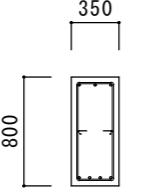
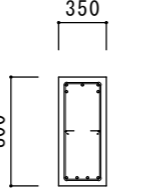
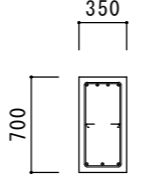
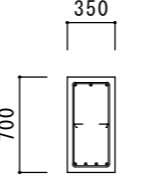
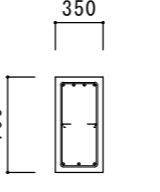
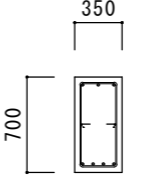
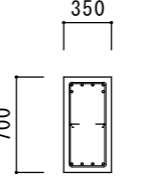
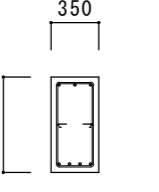
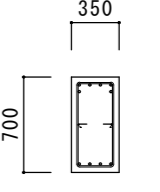
符号	F4	F5	FB
位置			
断面			

○ 杭 : RC杭 Φ300 L=3,000

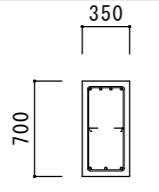
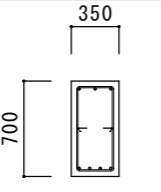
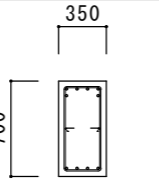
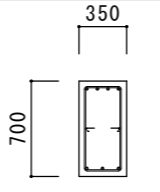
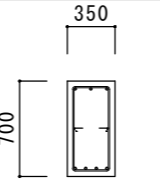
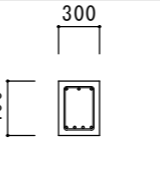
大梁断面表

符号	RG1			RG2			RG3		
位置	両端	中央	内端	両端	中央	内端	両端	中央	内端
R階									
上端筋	4-D19	3-D19	4-D19	4-D19	3-D19	6-D19	4-D19	3-D19	6-D19
下端筋	3-D19	4-D19	3-D19	3-D19	4-D19	4-D19	3-D19	4-D19	4-D19
腹筋	2-9Φ 巾止@1,000			2-9Φ 巾止@800			2-9Φ 巾止@600		
あばら筋	9Φ@250			9Φ@200			9Φ@150		

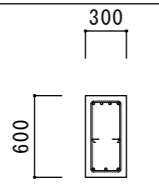
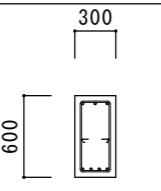
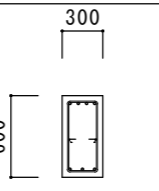
大梁断面表

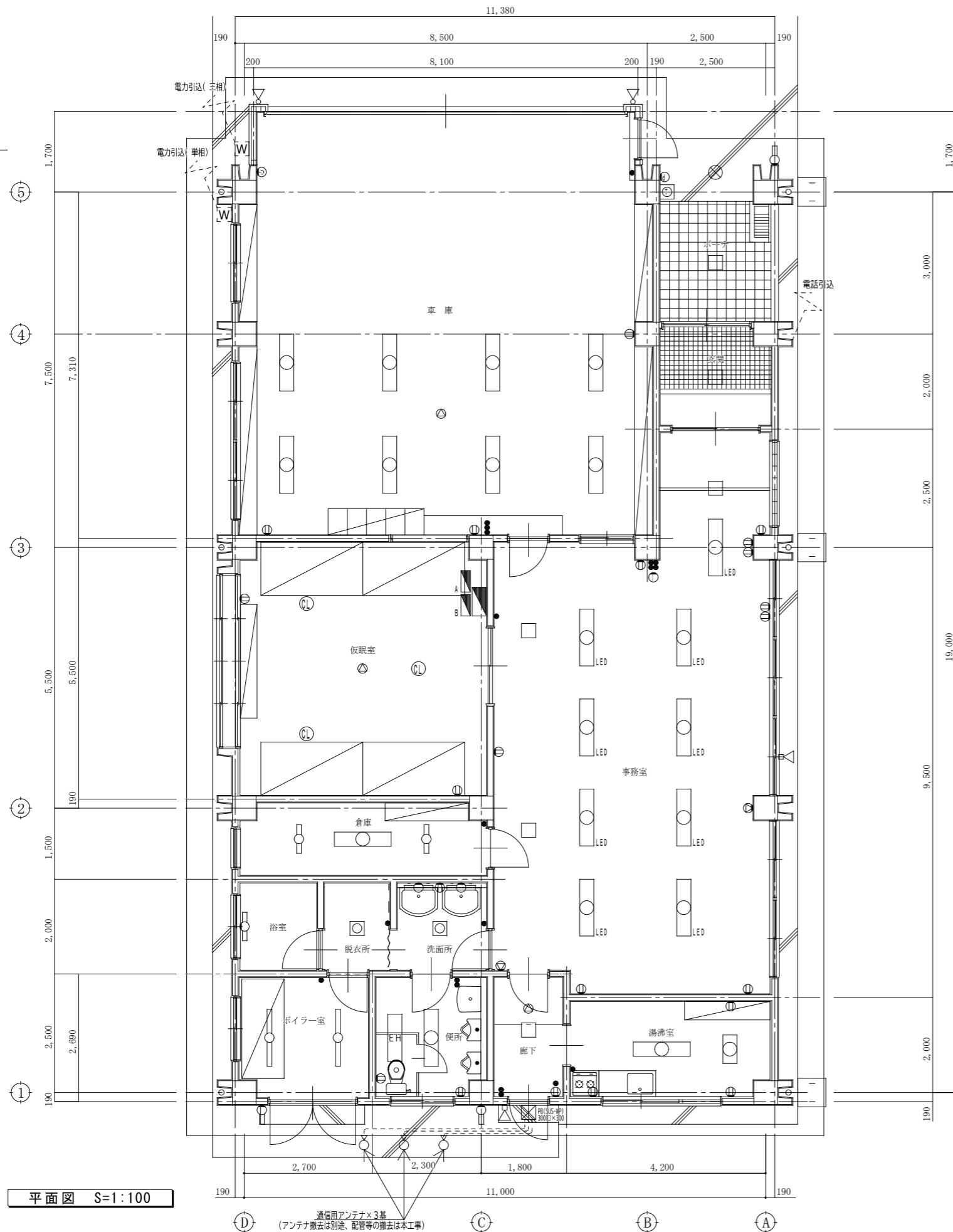
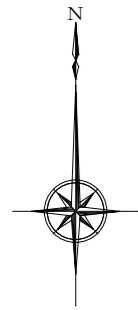
符号	RG4			RG5		RG6		RG7		
位置	外端	中央	内端	両端	中央	両端	中央	外端	中央	内端
2階										
上端筋	4-D22	3-D22	5-D22	4-D19	3-D19	4-D19	3-D19	6-D19	3-D19	6-D22
下端筋	3-D22	4-D22	4-D22	3-D19	4-D19	3-D19	4-D19	4-D19	4-D19	4-D22
腹筋	2-9Φ 巾止@600			2-9Φ 巾止@800		2-9Φ 巾止@800		2-9Φ 巾止@520		
あばら筋	13Φ@200			9Φ@200		9Φ@200		13Φ@200		

大梁断面表

符号	RG8			RG9		RG10
位置	外端	中央	内端	両端	中央	全断
R階						
上端筋	4-D22	3-D22	6-D22	4-D19	3-D19	3-D19
下端筋	3-D22	4-D22	4-D22	3-D19	4-D19	3-D19
腹筋	2-9Φ 巾止@400			2-9Φ 巾止@800		
あばら筋	13Φ@150			9Φ@200		13Φ@150

小梁断面表

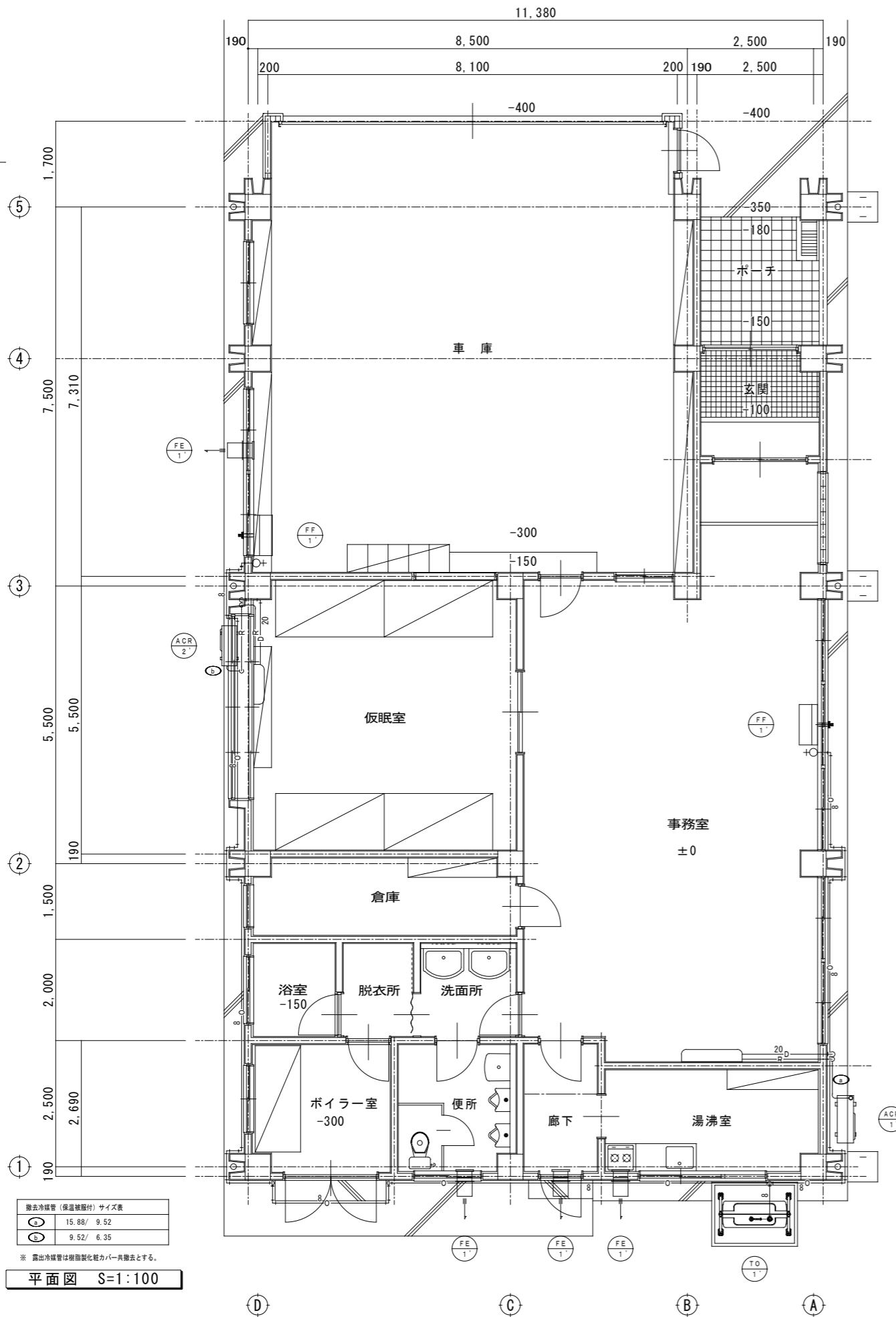
符号	RB		
位置	外端	中央	内端
2階			
上端筋	4-D19	3-D19	4-D19
下端筋	3-D19	4-D19	3-D19
腹筋	2-9Φ 巾止@800		
あばら筋	9Φ@200		



電気設備 撤去リスト

撤去機器		撤去
	分電盤(主50A、分岐12分岐) 340×640 埋込型	1面
	分電盤(主30A、分岐3分岐) 樹脂製ホーム分電盤	1面
	分電盤(分岐4分岐) 樹脂製ホーム分電盤	1面
	FL40W x1 露出型	2個
	FL40W x2 露出型	11個
	FL20W x1 露出型	2個
	FL20W x1 露出型(ブラケット)	3個
	FL20W x1 露出型(ブラケット)	1個
	FL20W x2 露出型	1個
	FCL30W x1 露出型	2個
	FCL30W x1 埋込型	6個
	IL60W x1 露出型	3個
	IL60W x1 露出型(赤色灯)	3個
	IL180W x1 投光器	2個
	LED 露出型	9個
	スイッチ 1P-1	8個
	スイッチ 1P-2	2個
	スイッチ 1P-3	1個
	スイッチ 1P-4	1個
	コンセント	21個
	コンセント(三相)	1個
	天井埋込スピーカー	3個
	壁掛スピーカー	2個
	屋外スピーカー(ホーン形)	2個
	緊急電話機ボックス	1個
	インターホン親機	1個
	玄関子機	1個

※その他配線器具・配線・配管共に全て撤去のこと。



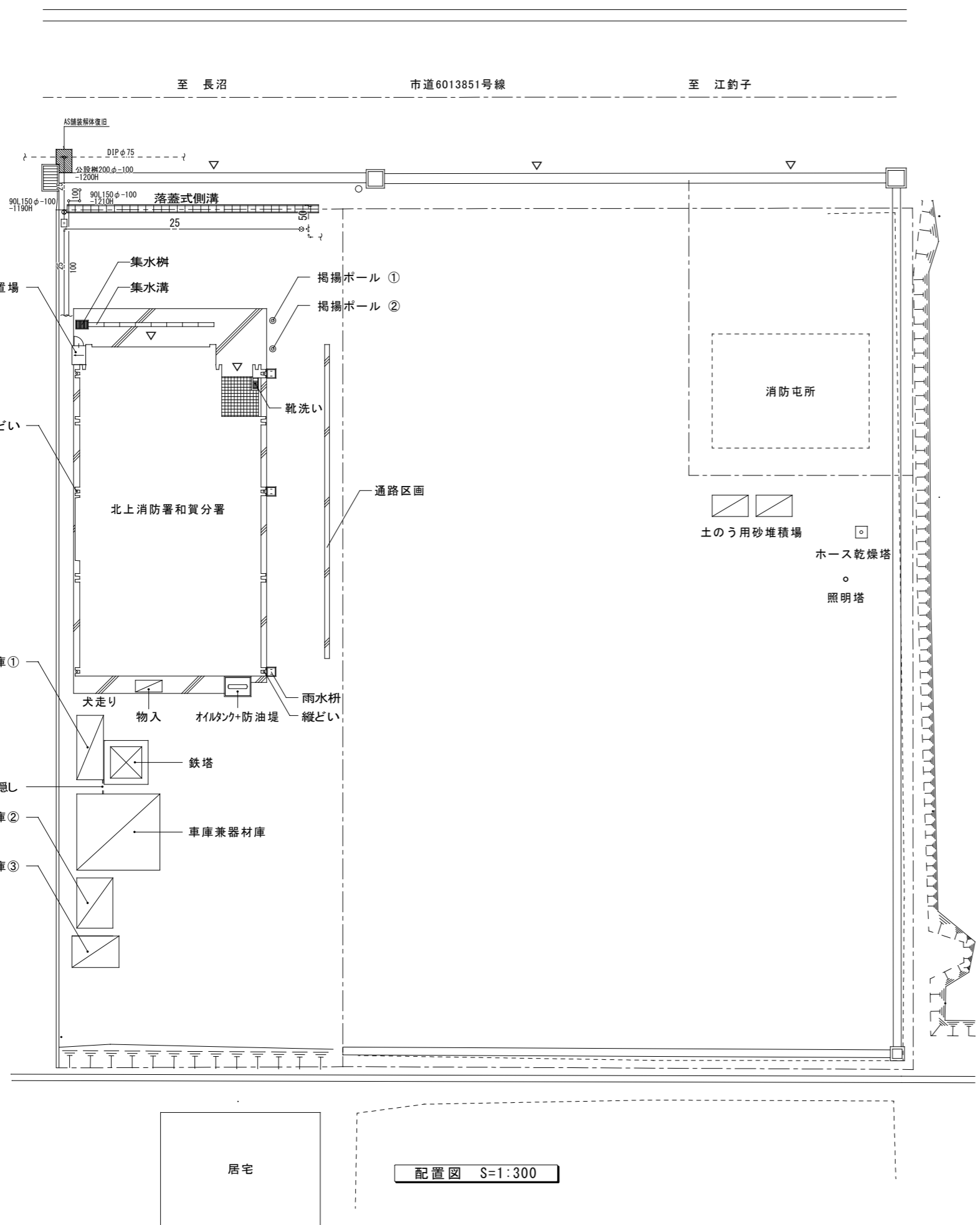
φ	15.88/ 9.52
φ	9.52/ 6.35

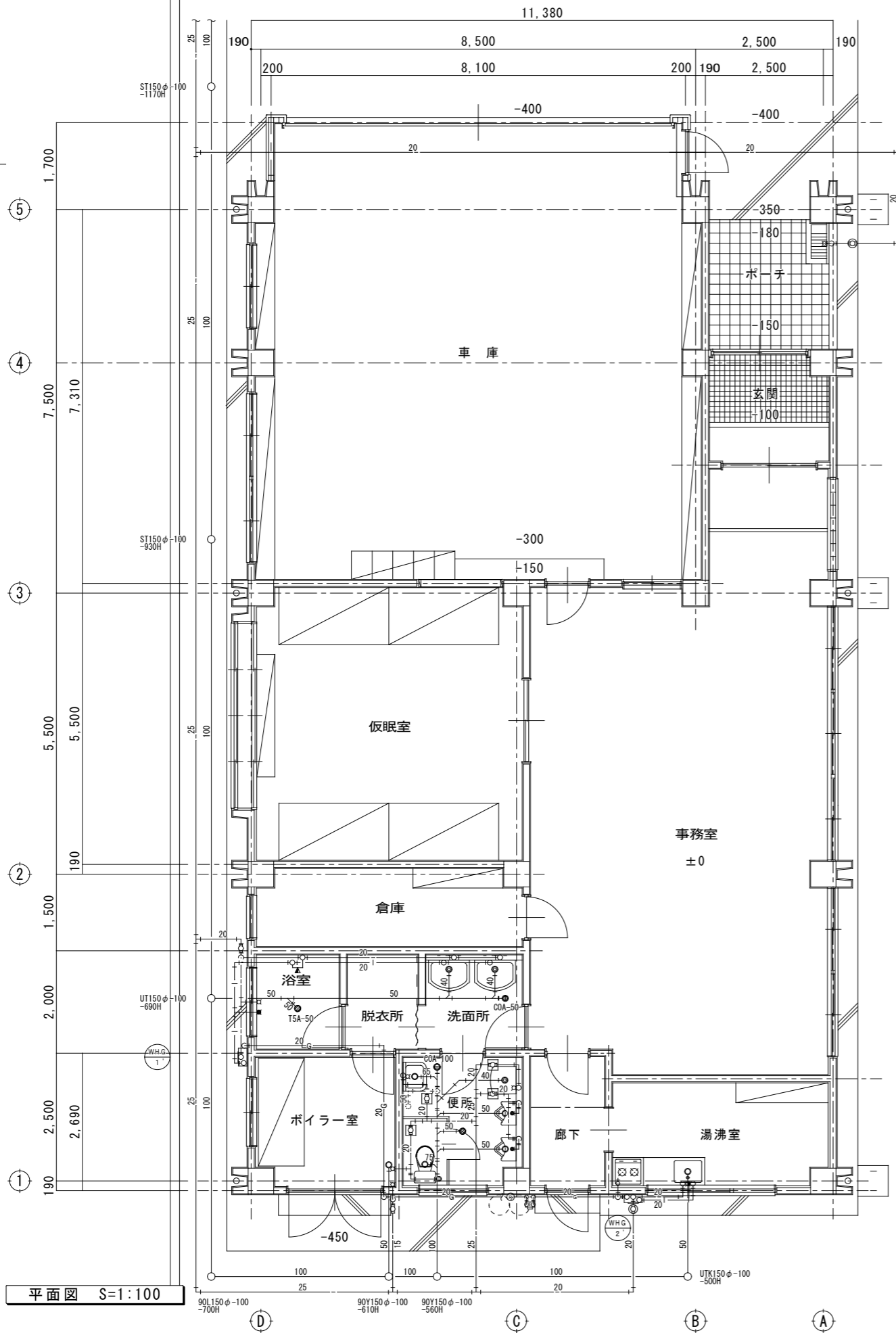
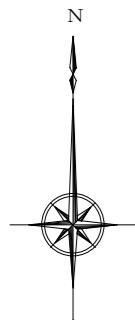
※ 露出冷媒管は樹脂製化粧カバー共撤去とする。

平面図 S=1:100

除去機器表

記号	名称	仕様・内訳	電力量		数量	設置場所	備考	
			φ-V	kW				
ACP-1'	空調機	冷媒ガス回収ポンプダウン、取外し後発注者に引渡しとする	3-200	2.95	1	事務室	RYP112CA	
		形 式: 空冷ヒートポンプエアコン 冷媒ガスR410A (2.9kg) 室外機寸法940×320×990H 重量73kg		2.87				
		壁掛け 冷房能力: 10.0KW 寸法1200×240×340H 重量17kg						
ACR-2'	空調機	冷媒ガス回収ポンプダウン、取外し後発注者に引渡しとする	1-100	1.17	1	仮眠室	AS-A408H, AO-A408	
		形 式: ルームエアコン 冷媒ガスR32 (0.78kg) 室外機寸法790×290×540H 重量32kg		1.38				
		壁掛け 冷房能力: 4.0KW 寸法790×206×280H 重量7kg						
TO-1'	オイルタンク	既設機器撤去、産廃処分	1-100	-	1	屋外		
		446L 寸法1415×520×1928H 重量78kg						
FF-1'	石油暖房機	既設機器撤去、産廃処分	1-100	-	2	事務室、車庫		
		機型 寸法800×349×594H 重量40kg						
FE-1'	排気機	既設機器撤去、産廃処分	1-100	-	4	候所、廊下、湯沸室、車庫		
		換気扇 250φ 寸法372×245×372H 重量5.6kg						

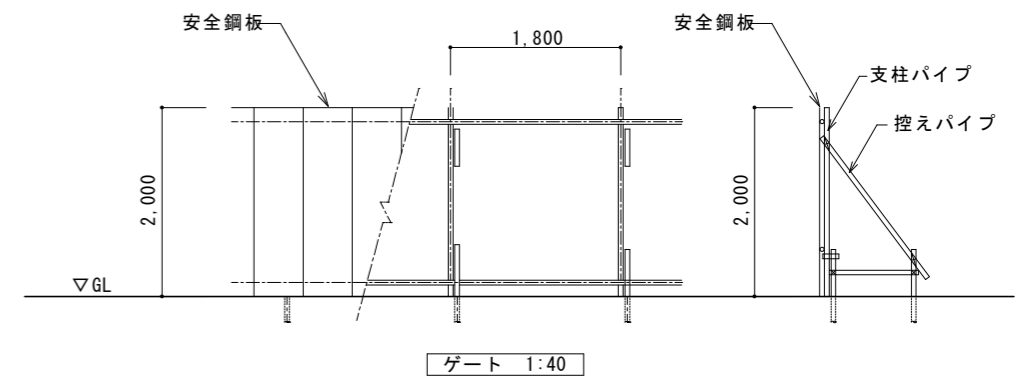
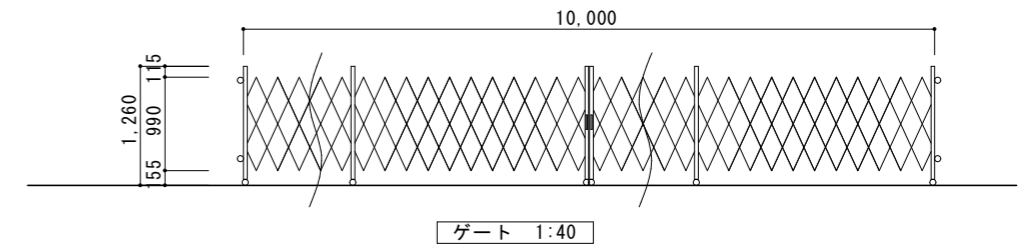
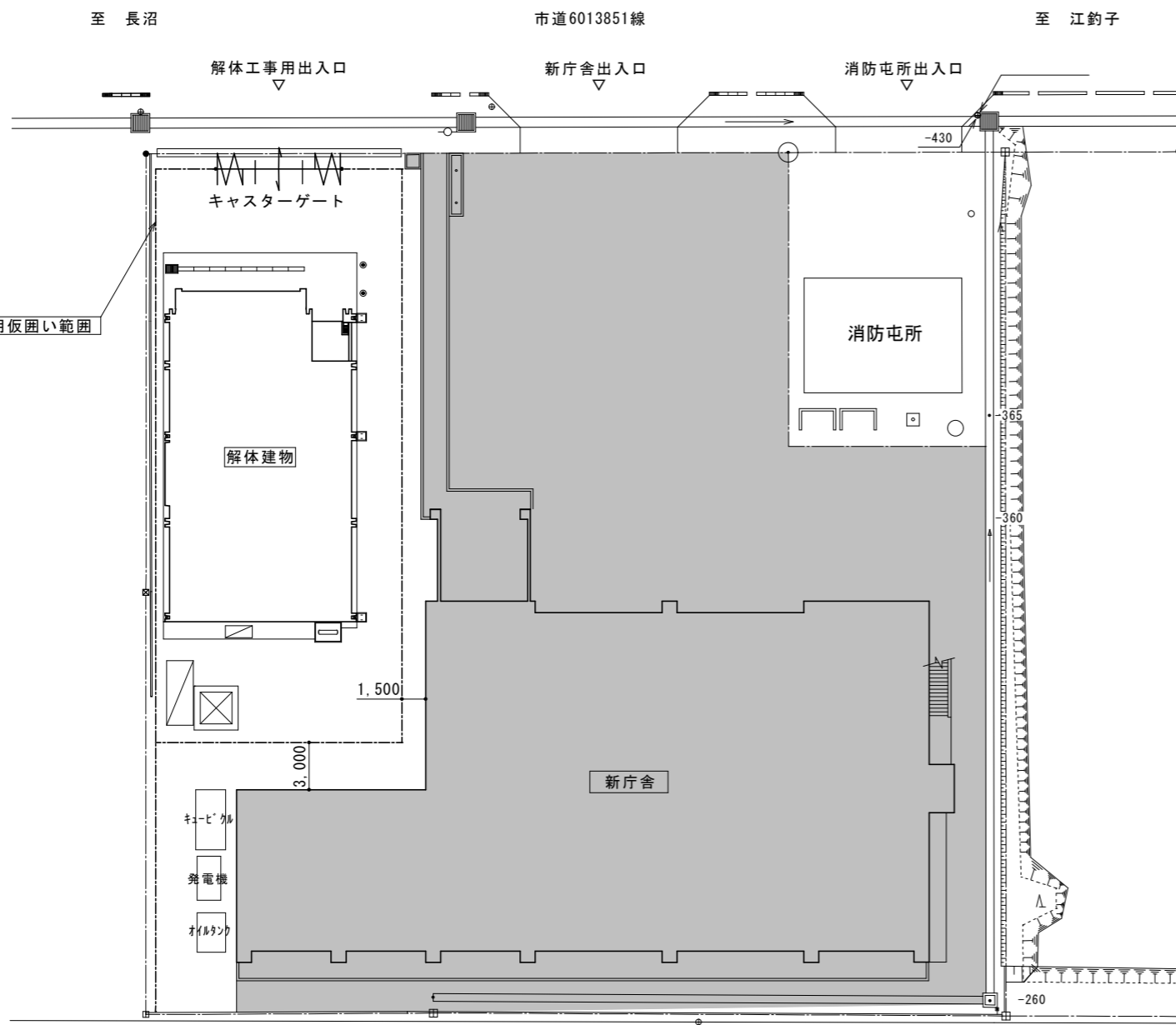




除去器具・機器表

記号	名称	仕様・内訳 (参考品番)	数量	単位	1階	2階	3階	4階	5階	外	合計	備考
	洋風便器	G780, S790B, TGF621	1	除去処分							1	
	小便器	U307C, TG60PW	2	除去処分							2	
	洗面器	L230D, T210S	1	除去処分							1	
	掃除用洗し	SK22A	1	除去処分							1	
	洗面化粧台	PTN-750型		除去処分		2					2	
	化粧鏡	TS119RBR1	1	除去処分							1	
	シャワー混合水栓	13A		除去処分			1				1	
	混合水栓	レバー式	1	除去処分							1	
	水栓	13A		除去処分		2	2	1			5	
	水栓栓	20A×0.6H AH200×200		除去処分		4					4	
	水栓栓	20A×0.6H B1+VP200		除去処分						2	2	
	水栓栓	20A×0.8H		除去処分						1	1	
	水栓栓	15A×0.8H		除去処分						1	1	
WHG-1'	ガス給湯器	屋外壁掛 24号		除去処分						1	1	
WHG-2'	ガス湯沸器	屋外壁掛 6号		除去処分						1	1	
	ヒューズコック	一口	1	除去処分							1	

※工事用仮設用地（借地）
573.29㎡



解体工事仮設計画 平面図 S=1:400

